HITACHI
Inspire the Next

プリンタマネージャ

3021-3-G00-C0

前書き

■ 著作権

All Rights Reserved. Copyright (C) 2015, 2021, Hitachi, Ltd.

■ 輸出時の注意

本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

なお、不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

■ 商標類

HITACHI、CommuniNet、XMAP は、株式会社 日立製作所の商標または登録商標です。

EUR は、ウイングアーク１ｓｔ株式会社の登録商標です。

Microsoft は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他記載の会社名、製品名などは、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

■ 発行

2021 年 10 月

変更内容

変更内容(3021-3-G00-C0)

日立 プリンタステータスモニタ 01-84、日立 プリンタステータスモニタ Client 01-84、日立 プリンタマネージャ 01-84、日立 プリンタマネージャ Client 01-84

追加・変更内容	変更個所
次の製品の適用 OS に「Windows Server 2016」および「Windows Server 2019」を追加した。 • 日立 プリンタステータスモニタ Client • 日立 プリンタマネージャ Client	−
拡張オプション使用時、監視サーバ（サーバ環境に配置したモニタ Client およびマネージャ Client）を複数のログインユーザで利用できるようにした。	1.1、1.2.1、1.2.3、1.2.4、1.2.5、3.1、3.4.1、3.4.2、3.4.5、3.4.11、9.3、9.6.1、9.8.1
モニタ Client の環境設定で、モニタで監視する出力先プリンタを一括でモニタクライアントの管理対象プリンタに設定できるようにした。	3.6.3
マネージャ Client の環境設定で、マネージャで管理するプリンタを一括でマネージャクライアントの管理対象プリンタに設定できるようにした。	3.7.3
情報採取ツールを Windows の標準ユーザーアカウントで起動できるようにした。これによって、製品ごとの関連情報を標準ユーザーアカウントのユーザ環境から採取できるようにした。	8.2
情報採取ツールを起動したユーザ以外のユーザが使用する、トレースログや製品のデータフォルダ下の情報を採取できるようにした。	8.2
次のメッセージを追加した。 KBPM2027-W、KBPM3010-E、KBPM4009-E	9.5、9.7、9.9

単なる誤字・脱字などはお断りなく訂正しました。

はじめに

■ マニュアルの目的

このマニュアルでは、プリンタマネージャの機能概要、構築（環境設定）、運用、およびトラブルシュート（メッセージ）について説明します。このマニュアルを利用することで、プリンタマネージャを利用した印刷管理の機能を理解し、印刷アプリケーションからの印刷データをプリンタへ出力する環境を構築して、通常の印刷業務に加え、プリンタ障害への対応や印刷ジョブの操作などの運用ができるようになることを目的としています。

■ 対象製品

P-242B-1114 日立 プリンタステータスモニタ 01-84（適用 OS：Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2、Windows Server 2016、Windows Server 2019、Windows 8.1、Windows 10）

P-F242B-11141 日立 プリンタステータスモニタ Client 01-84（適用 OS：Windows Server 2016、Windows Server 2019、Windows 8.1、Windows 10）

P-F242B-11142 日立 プリンタステータスモニタ 拡張オプション 01-83（適用 OS：Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2、Windows Server 2016、Windows Server 2019、Windows 10）

P-242B-1214 日立 プリンタマネージャ 01-84（適用 OS：Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2、Windows Server 2016、Windows Server 2019、Windows 8.1、Windows 10）

P-F242B-12141 日立 プリンタマネージャ Client 01-84（適用 OS：Windows Server 2016、Windows Server 2019、Windows 8.1、Windows 10）

注

64 ビット版の Windows では WOW64（Windows On Windows 64）環境で動作します。

■ 対象読者

このマニュアルは次の方を対象としています。

- システム構築者
- システム運用者

前提知識を次に示します。

- Windows の操作に関する知識
- 印刷アプリケーション（XMAP3、PRINT DATA EXCHANGE、CommuniNet、および EUR）に関する知識

- プリンタに関する知識（プリンタと接続するための設定、およびプリンタの運用に関する知識）
- システム構築で使用する周辺環境（ネットワーク）に関する知識

■ このマニュアルで使用する記号

このマニュアルで使用する記号を次のように定義しています。

記号	意味
[ ]	画面、画面項目、ボタン、キー、およびアイコンの名称を示します。 （例）［モニタ環境設定］画面、［OK］ボタン
[ ] ＋ [ ]	＋の前のキーを押したまま、後ろのキーを押すことを示します。 （例）［Alt］＋［F4］キー
[ ] － [ ]	1 つ前のメニューを選択し、続けて後ろの項目を選択することを示します。 （例）［ファイル］－［終了］
＜＞	可変項目を示します。 （例）<ログ出力先フォルダ>

■ このマニュアルで使用する製品名・機能名

このマニュアルでは、製品名・機能名を次のように表記しています。

表記		製品名・機能名
BJEX		Batch Job Execution Server
CommuniNet		CommuniNet Version 4
		CommuniNet Print Extenison
PDE	PDE - LP Edition	PRINT DATA EXCHANGE - Line Printer Edition
	PDE - LP Option	PRINT DATA EXCHANGE - Line Printer Option
Windows	Windows Server 2012	Windows Server 2012 Standard 日本語版
		Windows Server 2012 Datacenter 日本語版
	Windows Server 2012 R2	Windows Server 2012 R2 Standard 日本語版
		Windows Server 2012 R2 Datacenter 日本語版
	Windows Server 2016	Windows Server 2016 Standard 日本語版
		Windows Server 2016 Datacenter 日本語版
	Windows Server 2019	Windows Server 2019 Standard 日本語版
		Windows Server 2019 Datacenter 日本語版

表記		製品名・機能名
	Windows 8.1	Windows 8.1 Pro 日本語版(32 ビット版)
		Windows 8.1 Enterprise 日本語版(32 ビット版)
		Windows 8.1 Pro 日本語版(64 ビット版)
		Windows 8.1 Enterprise 日本語版(64 ビット版)
	Windows 10	Windows 10 Pro 日本語版(32 ビット版)
		Windows 10 Enterprise 日本語版(32 ビット版)
		Windows 10 Pro 日本語版(64 ビット版)
		Windows 10 Enterprise 日本語版(64 ビット版)
XMAP3		XMAP3 Server Runtime Version 5
		XMAP3 Client Runtime Version 5
XPS	OXPS	Open XML Paper Specification
	XPS	XML Paper Specification

■ このマニュアルで使用する英略語

このマニュアルで使用している英略語を次に示します。

英略語	英字での表記
AP	Application Program
CR	Carriage Return
CSV	Comma Separated Value
ESC/P	Epson Standard Code for Printer
GDI	Graphical Device Interface
IP	Internet Protocol
IPv4	Internet Protocol version 4
IVS	Ideographic Variation Sequence/Selector
LAN	Local Area Network
LF	Line Feed
LPQ	Line Printer Queue
MIB	Management Information Base
OCP	Operator Control Panel

英略語	英字での表記
OXPS	Open XML Paper Specification
OS	Operating System
PC	Personal Computer
PDL	Page Description Language
RFC	Request For Comments
SNMP	Simple Network Management Protocol
TOF	Top of Form
XML	Extensible Markup Language
XPS	XML Paper Specification

■ このマニュアルで使用する Windows のメニュー名および画面名

このマニュアルで使用している画面は、Windows 7 または Window 10 で採取しています。

［スタート］メニューが表示されない Windows 製品の場合は、画面左下から表示できる［スタート］画面からメニューを選択してください。

■ このマニュアルで使用する KB（キロバイト）などの単位表記

1KB（キロバイト）、1MB（メガバイト）、1GB（ギガバイト）、1TB（テラバイト）はそれぞれ 1,024 バイト、$1{,}024^2$ バイト、$1{,}024^3$ バイト、$1{,}024^4$ バイトです。

■ 関連マニュアル

このマニュアルで使用している関連マニュアル名の表記を次の表に示します。

表記	正式名称	資料番号
PRINT DATA EXCHANGE	PRINT DATA EXCHANGE	3020-3-P01
PRINT DATA EXCHANGE for Open	PRINT DATA EXCHANGE for Open	3020-3-P02
画面・帳票サポートシステム XMAP3 実行ガイド	XMAP3 Version 5 画面・帳票サポートシステム XMAP3 実行ガイド	3020-7-514
EUR 帳票出力 EUR Designer/EUR Viewer 編	EUR 帳票出力 EUR Designer/EUR Viewer 編	3021-7-005
EUR 帳票出力 機能解説 EUR Server 編	EUR 帳票出力 機能解説 EUR Server 編	3021-7-006

表記	正式名称	資料番号
CommuniNet Version 4	CommuniNet Version 4	3020-3-N71
CommuniNet Extension Version 4	CommuniNet Extension Version 4	3020-3-N72

目次

前書き　2
変更内容　3
はじめに　4

1　プリンタマネージャの概要　14
1.1　プリンタマネージャとは　15
1.2　プリンタマネージャの製品について　20
1.2.1　モニタとは　20
1.2.2　マネージャとは　23
1.2.3　モニタ Client とは　27
1.2.4　マネージャ Client とは　31
1.2.5　拡張オプションとは　35
1.3　プリンタマネージャのシステム構成　39
1.4　プリンタマネージャのサポート範囲　43
1.5　プリンタマネージャのプリンタ運用について　47

2　プリンタマネージャの機能　49
2.1　用紙交換通知について　50
2.2　障害通知について　57
2.3　印刷データの操作に関する機能について　62
2.4　印刷ジョブの操作に関する機能について　67
2.5　プリンタの操作に関する機能について　90
2.6　プリンタマネージャが出力するログの種類について　99

3　プリンタマネージャを使用した印刷環境の構築　100
3.1　印刷環境を構築する作業の流れ　101
3.2　プリンタと接続するための環境の準備　103
3.2.1　プリンタドライバをインストールする　103
3.2.2　変更後の出力フォルダを作成する　103
3.2.3　プリンタと接続するために必要な情報の決定　104
3.2.4　プリンタマネージャで使用するポート番号の確認　105
3.2.5　Windows ネットワーク関連の設定（インパクトプリンタ使用時）　106
3.3　プリンタマネージャのインストールとアンインストール　107
3.3.1　プリンタマネージャのインストールについて　107
3.3.2　プリンタマネージャをインストールする　108

3.3.3 プリンタマネージャをアンインストールする 109
3.4 モニタの環境設定 111
3.4.1 モニタの環境設定について 111
3.4.2 モニタの環境設定を開始する 112
3.4.3 出力先プリンタを新規に作成する 113
3.4.4 プリンタの印刷情報を設定する 118
3.4.5 プリンタの障害監視情報を設定する 121
3.4.6 作成済みの出力先プリンタを複製する 127
3.4.7 モニタの印刷ログの出力方式を設定する 131
3.4.8 モニタのシステム稼働ログの出力方式を設定する 133
3.4.9 イベントログの出力を設定する 135
3.4.10 モニタでマネージャを使用するための設定をする 137
3.4.11 モニタでクライアントの接続や起動のための設定をする 139
3.4.12 モニタの環境設定を終了する 141
3.5 マネージャの環境設定 142
3.5.1 マネージャの環境設定について 142
3.5.2 マネージャの環境設定を開始する 142
3.5.3 マネージャの管理対象プリンタを新規に追加する 144
3.5.4 ジョブ一覧ウィンドウに表示項目を追加する 146
3.5.5 マネージャの印刷ログの出力方式を設定する 150
3.5.6 マネージャのシステム稼働ログの出力方式を設定する 151
3.5.7 マネージャの環境設定を終了する 153
3.6 モニタ Client の環境設定 155
3.6.1 モニタ Client の環境設定について 155
3.6.2 モニタ Client の環境設定を開始する 155
3.6.3 モニタ Client の管理対象プリンタを新規に追加する 156
3.6.4 モニタ Client のシステム稼働ログの出力方式を設定する 159
3.6.5 モニタ Client の環境設定を終了する 161
3.7 マネージャ Client の環境設定 162
3.7.1 マネージャ Client の環境設定について 162
3.7.2 マネージャ Client の環境設定を開始する 162
3.7.3 マネージャ Client の管理対象プリンタを新規に追加する 163
3.7.4 マネージャ Client のシステム稼働ログの出力方式を設定する 166
3.7.5 マネージャ Client の環境設定を終了する 168

4 モニタおよびモニタ Client を使用した印刷環境の運用 169

4.1 モニタの運用を開始するための準備 170
4.2 モニタの開始と停止 171
4.2.1 モニタサービスを開始する 171

4.2.2 モニタサービスを停止する 172
4.3 用紙交換と障害のリカバリ 173
4.3.1 用紙交換通知または障害通知後の運用の流れ 173
4.3.2 印刷範囲を指定して印刷する 175
4.3.3 プレビューを表示して印刷イメージを確認する 175
4.3.4 印刷データをテスト印刷する 177
4.3.5 印刷を再開する 178
4.3.6 印刷を中止する 179
4.4 モニタ Client の開始と停止 180
4.4.1 モニタ Client の開始と停止の流れ 180
4.4.2 モニタ Client のモニタクライアントを起動する 180
4.4.3 モニタ Client のモニタクライアントを停止する 181
4.5 モニタ Client を使用した用紙交換通知または障害通知後の運用の流れ 183
4.6 モニタおよびモニタ Client のプリンタの管理 185
4.6.1 モニタの出力先プリンタ情報を編集する 185
4.6.2 モニタの出力先プリンタを削除する 188
4.6.3 モニタ Client の管理対象プリンタを削除する 190
4.7 モニタおよびモニタ Client の運用時の注意事項 191

5 マネージャおよびマネージャ Client を使用した印刷環境の運用 195
5.1 マネージャの運用を開始するための準備 196
5.2 マネージャの開始と停止 197
5.2.1 マネージャの開始と停止の流れ 197
5.2.2 マネージャサービスを開始する 197
5.2.3 マネージャのマネージャコンソールを起動する 198
5.2.4 マネージャのマネージャコンソールを終了する 199
5.2.5 マネージャサービスを停止する 200
5.3 マネージャ Client の開始と停止 202
5.3.1 マネージャ Client の開始と停止の流れ 202
5.3.2 マネージャ Client のマネージャクライアントを起動する 202
5.3.3 マネージャ Client のマネージャクライアントを停止する 203
5.4 ウィンドウのカスタマイズ 205
5.4.1 新規にジョブ一覧ウィンドウを追加する 205
5.4.2 ウィンドウの表示項目をカスタマイズする 207
5.4.3 フィルタリング条件で印刷ジョブの一覧をフィルタリングする 210
5.4.4 印刷ジョブの表示項目に列のフィルタリングを設定する 213
5.4.5 印刷ジョブまたはプリンタの一覧を表示項目ごとにソートする 214
5.4.6 ジョブ一覧ウィンドウを複製する 215
5.4.7 ジョブ一覧ウィンドウを削除する 216

5.4.8 ウィンドウの画面レイアウトを保存する 217
5.4.9 保存済みの画面レイアウトに戻す 218
5.5 印刷ジョブの管理 220
5.5.1 印刷ジョブの状態を確認する 220
5.5.2 プリンタの状態を確認する 224
5.5.3 プリンタによる印刷を一時停止する 225
5.5.4 プリンタによる印刷を再開する 226
5.5.5 印刷ジョブを全ページ印刷する 227
5.5.6 印刷ジョブに印刷範囲を指定して印刷する 229
5.5.7 印刷ジョブの出力先プリンタを変更する 231
5.5.8 印刷ジョブをプレビュー表示して印刷する 234
5.5.9 印刷ジョブの印刷を中止する 237
5.5.10 印刷処理済みの印刷ジョブを保留中にする 238
5.5.11 印刷ジョブを削除する 240
5.6 マネージャまたはマネージャ Client を使用した用紙交換通知または障害通知後の運用の流れ 243
5.7 マネージャまたはマネージャ Client のプリンタの管理 245
5.7.1 管理対象プリンタの印刷前後の動作を変更する 245
5.7.2 マネージャの管理対象プリンタを削除する 246
5.7.3 マネージャ Client の管理対象プリンタを削除する 247
5.7.4 印刷ジョブを定期的に削除する 248
5.8 マネージャおよびマネージャ Client 運用時の注意事項 251

6 プリンタマネージャのバックアップおよびリストア 253
6.1 バックアップおよびリストアの概要 254
6.1.1 印刷ジョブのバックアップについて 255
6.1.2 印刷ジョブのリストアについて 257
6.1.3 印刷ジョブのバックアップおよびリストアの運用 260
6.2 バックアップおよびリストアの実行 262
6.2.1 印刷ジョブをバックアップする 262
6.2.2 印刷ジョブをリストアする 267
6.3 プリンタマネージャのバックアップおよびリストアの注意事項 274

7 他製品とのインタフェース 275
7.1 XMAP3 からプリンタマネージャを使用するための設定 276
7.2 PDE からプリンタマネージャを使用するための設定 278
7.3 EUR からプリンタマネージャを使用するための設定 279
7.4 CommuniNet からプリンタマネージャを使用するための設定 280

8 トラブルシュート 281
8.1 プリンタマネージャが出力するログの取得 282

8.1.1 システム稼働ログの取得 282
8.1.2 印刷ログの取得 283
8.1.3 トレースログの取得 290
8.1.4 イベントログに出力されるログレベルと対処 291
8.2 情報採取ツールを利用した資料の取得 297

9 メッセージ 303
9.1 プリンタマネージャ共通でシステム稼働ログに出力されるメッセージ 304
9.2 モニタの画面操作で出力されるメッセージ 306
9.2.1 モニタの環境設定時に出力されるメッセージ 306
9.2.2 モニタの運用時に出力されるメッセージ 309
9.3 モニタのシステム稼働ログに出力されるメッセージ 312
9.4 マネージャの画面操作で出力されるメッセージ 324
9.4.1 マネージャの環境設定時に出力されるメッセージ 324
9.4.2 マネージャの運用時に出力されるメッセージ 326
9.5 マネージャのシステム稼働ログに出力されるメッセージ 330
9.6 モニタ Client の画面操作で出力されるメッセージ 340
9.6.1 モニタ Client の環境設定時に出力されるメッセージ 340
9.6.2 モニタ Client の運用時に出力されるメッセージ 342
9.7 モニタ Client のシステム稼働ログに出力されるメッセージ 345
9.8 マネージャ Client の画面操作で出力されるメッセージ 352
9.8.1 マネージャ Client の環境設定時に出力されるメッセージ 352
9.8.2 マネージャ Client の運用時に出力されるメッセージ 354
9.9 マネージャ Client のシステム稼働ログに出力されるメッセージ 358
9.10 印刷ジョブのバックアップおよびリストアで出力されるメッセージ 362

付録 364
付録 A 各バージョンの変更内容 365
付録 B 監視方式ごとの設定値 372
付録 C 障害通知画面に表示される OCP メッセージ 374

用語解説 378

索引 380

1 プリンタマネージャの概要

プリンタマネージャを利用したシステムの導入を検討するための情報をとして、プリンタマネージャの製品情報、システム構成などを説明します。

1.1 プリンタマネージャとは

プリンタマネージャとは、Windows 環境でプリンタ管理および印刷管理に関する機能を提供し、印刷環境を支援する次の製品の総称です。プリンタマネージャは、プリンタを監視して障害が発生した場合にリカバリ印刷したり、印刷ジョブを操作したりできます。また、クライアント環境でもサーバ環境と同様にプリンタを管理でき、障害が発生した場合にクライアントマシンからリカバリ印刷したり、印刷ジョブを操作したりできます。

- 日立 プリンタステータスモニタ（以降、モニタといいます）
- 日立 プリンタマネージャ（以降、マネージャといいます）
- 日立 プリンタステータスモニタ Client（以降、モニタ Client といいます）
- 日立 プリンタマネージャ Client（以降、マネージャ Client といいます）

また、プリンタマネージャで、特定のプリンタのプリンタ管理や印刷管理をする場合や、監視サーバ（サーバ環境に配置したモニタ Client およびマネージャ Client）を複数のログインユーザで利用する場合は、次のオプション製品が必要になります。

- 日立 プリンタステータスモニタ 拡張オプション（以降、拡張オプションといいます）

プリンタマネージャを使用した印刷管理の概要

プリンタマネージャには、サーバ環境の製品と、クライアント環境の製品があります。それぞれの製品を使用した印刷管理の概要について説明します。

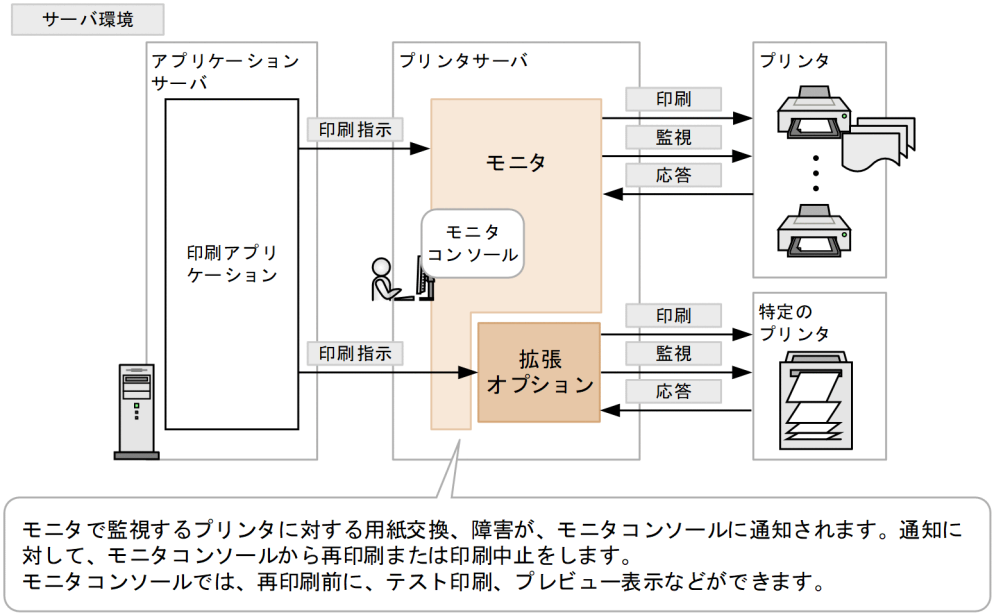
サーバ環境での印刷管理の概要

サーバ環境の製品には、モニタと、マネージャがあります。

モニタでは、モニタで監視するプリンタでの障害発生時に再印刷やテスト印刷などが利用できます。

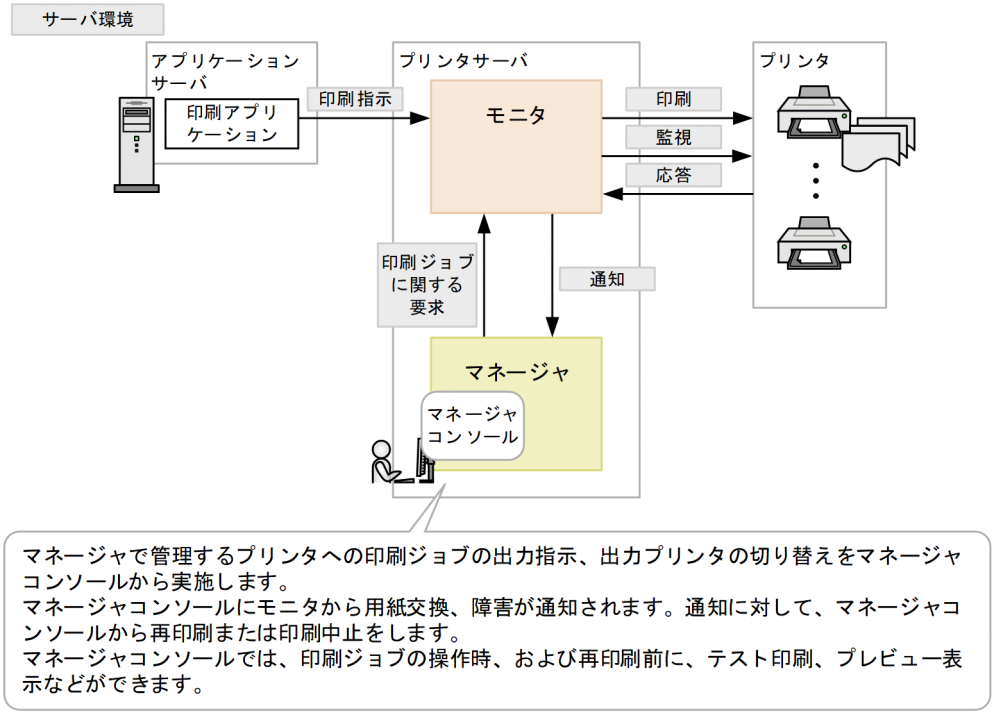
サーバ環境でモニタ使用時の印刷管理の概要を次の図に示します。

図 1-1　サーバ環境での印刷管理の概要（モニタ使用時）



マネージャでは、モニタで監視するプリンタのうち、マネージャで管理するプリンタに対して、印刷ジョブの出力指示や出力プリンタの切り替えなどが利用できます。サーバ環境でマネージャ使用時の印刷管理の概要を次の図に示します。

図 1-2　サーバ環境での印刷管理の概要（マネージャ使用時）



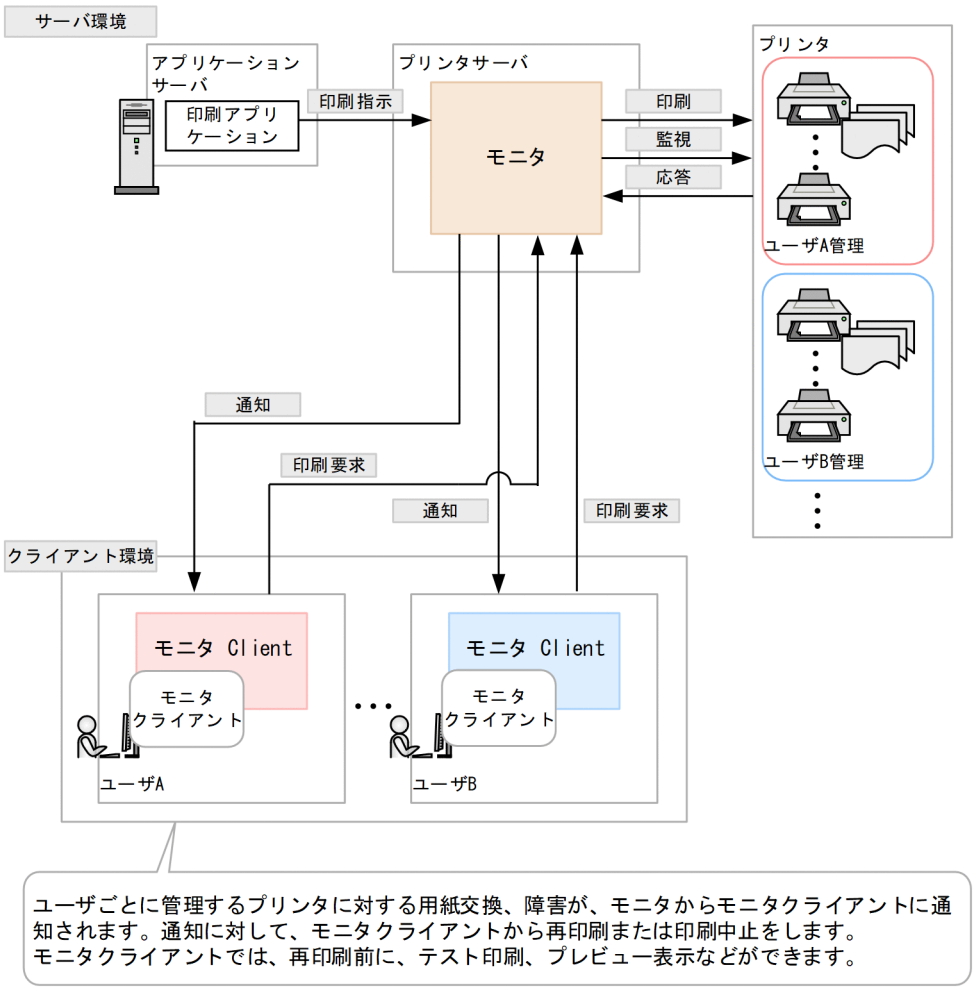
クライアント環境での印刷管理の概要

クライアント環境の製品には、モニタ Client と、マネージャ Client があります。モニタ Client およびマネージャ Client は、監視サーバとしてサーバ環境にも配置できます。

モニタ Client では、各ユーザで管理するプリンタに対して、障害発生時の再印刷やテスト印刷などが利用できます。各モニタクライアントでは、異なるログインユーザが起動した場合でも、ユーザ間で同

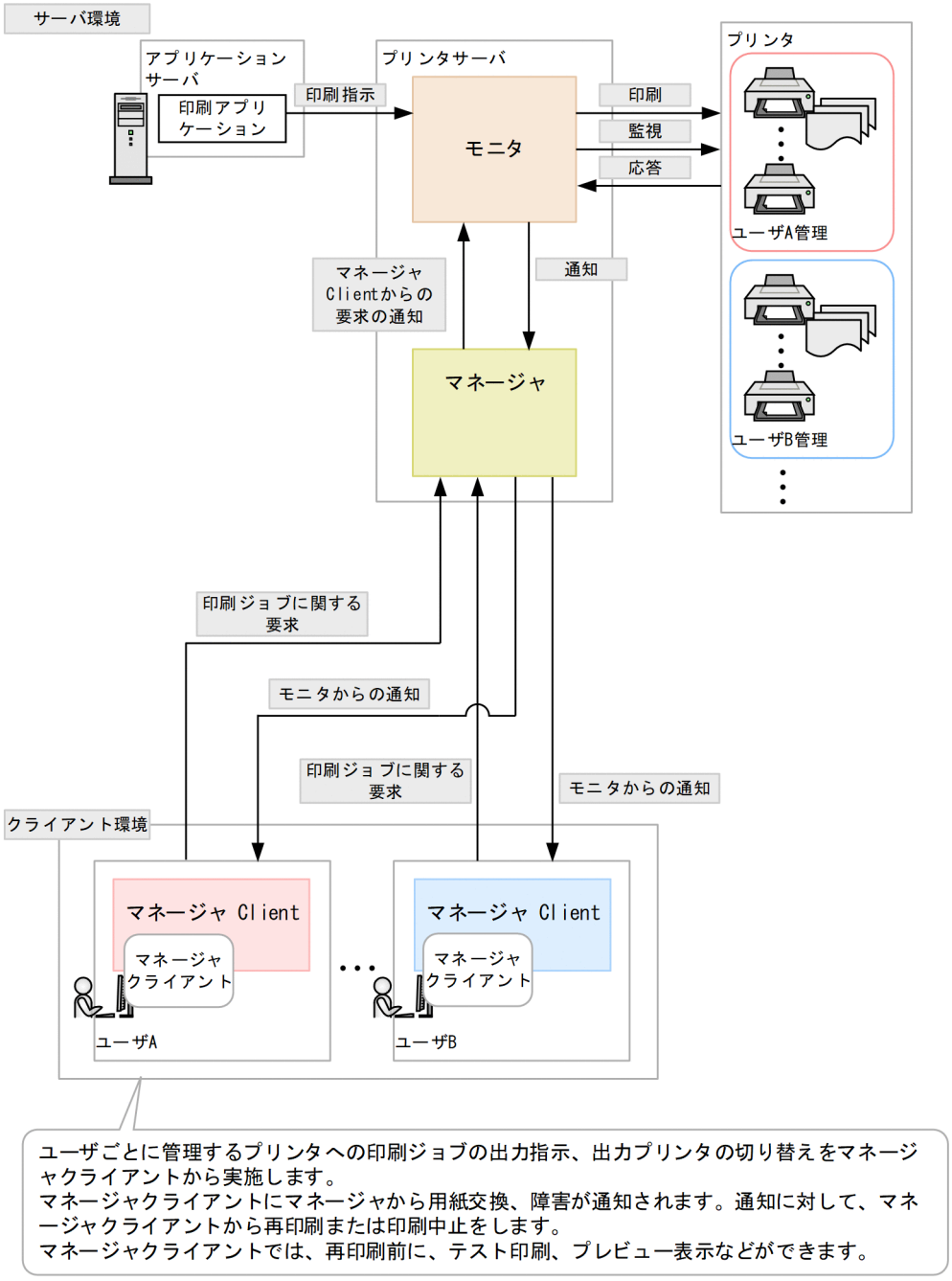
じプリンタを監視することも、ユーザごとに異なるプリンタを監視することもできます。クライアント環境がモニタ Client の場合の印刷管理の概要を次の図に示します。

図 1-3　クライアント環境での印刷管理の概要（モニタ Client の場合）



マネージャ Client では、各ユーザで管理するプリンタに対して、印刷ジョブの出力指示や出力プリンタの切り替えなどが利用できます。各マネージャクライアントでは、異なるログインユーザが起動した場合でも、ユーザ間で同じプリンタを管理することも、ユーザごとに異なるプリンタを管理することもできます。クライアント環境がマネージャ Client の場合の印刷管理の概要を次の図に示します。

図 1-4　クライアント環境での印刷管理の概要（マネージャ Client の場合）



プリンタマネージャの特長

プリンタマネージャの主な特長を次に示します。

- プリンタ障害発生時にリカバリ印刷できます

  プリンタに障害が発生した場合、障害情報を画面で通知します。障害を回復したあと、通知された画面からテスト印刷や再印刷などのリカバリ印刷を操作できます。また、プリンタの自動再開に対応し、障害回復後に通知画面を操作することなく再印刷することもできます。

- 印刷ジョブを操作できます

管理対象プリンタに対して印刷指示されたジョブを印刷範囲を指定して出力したり、ほかのプリンタへ出力したり、プレビュー表示したり、削除したりできます。また、プリンタに印刷後も印刷ジョブを保存して、再印刷することもできます。

さらに、印刷保留中、および印刷処理済みの印刷ジョブを、プリンタ単位のファイルに保管（バックアップ）できます。この保管した印刷ジョブは、画面に復元（リストア）できます。これによって、月末に一括印刷したい帳票をまとめておいたり、印刷が完了した帳票のうち特定の帳票だけをまとめて再印刷したりする運用ができます。

- ユーザに用紙交換やプリンタ障害を通知できます

  あらかじめ設定された用紙交換メッセージを印刷直前に画面で通知できます。また、プリンタマネージャから印刷を開始したプリンタを監視して、障害が発生した場合は画面で通知します。

- プリンタごとの監視設定を最適な値で一括設定できます

  モニタの環境設定で監視方式を選択するだけで、管理対象プリンタごとの次に示す情報に対して最適な値を一括設定できます。これによって、プリンタ追加時の環境設定に掛かる時間を短縮できます。

  - プリンタ障害時のリカバリ方法
  - プリンタへ送信するデータの数（多重度）
  - プリンタ障害回復後の［障害通知］画面の扱い

プリンタマネージャを使用したシステムの前提環境

プリンタマネージャを使用したシステムが動作するために必要な前提環境を次に示します。

Windows のサービス

プロセス名	Windows のサービス名	説明
spoolsv.exe	Print Spooler	モニタが動作するために前提となる Windows のサービスです。 印刷ジョブの入力に使用します。

1.2　プリンタマネージャの製品について

1.2.1　モニタとは

モニタとは、プリンタで印刷する際に、用紙交換や障害が発生した場合に画面を表示して、システム運用者に用紙交換やリカバリ操作を促す機能を提供する製品です。

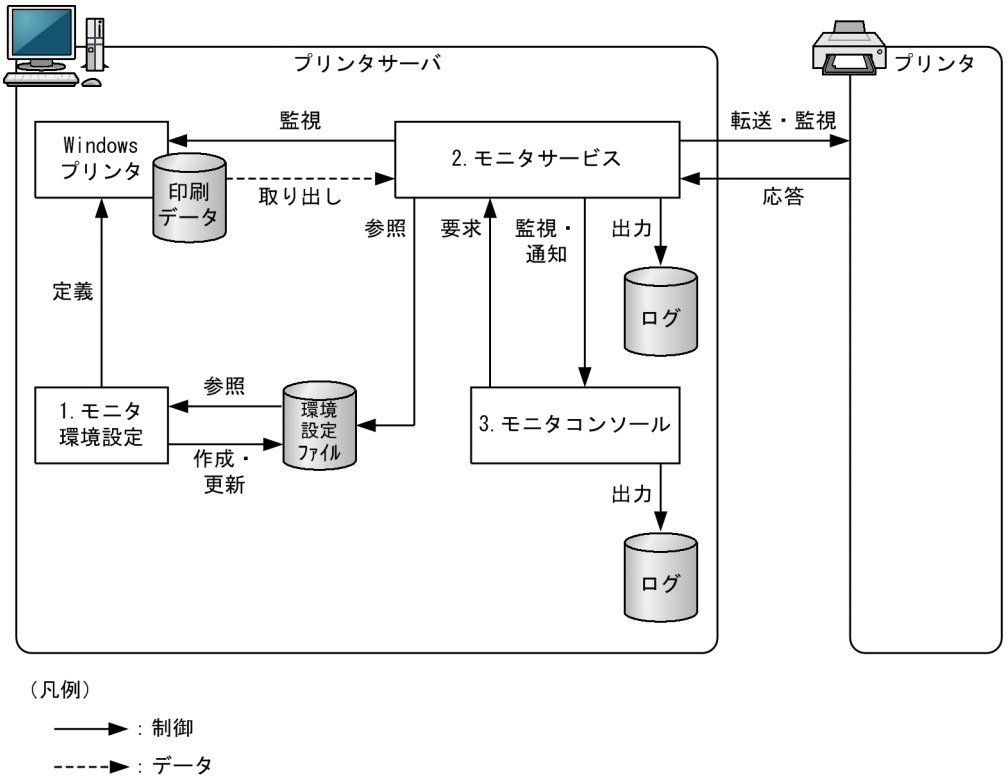
モニタでは、Windows プリンタを監視し、印刷データをモニタ内のサービス（モニタサービス）が取り出し、LAN 接続されたプリンタへ転送します。

モニタサービスは、プリンタの応答を受け、障害発生時にはモニタの画面（モニタコンソール）を起動して障害を通知します。システム運用者は、モニタコンソールから再印刷などの印刷指示をモニタサービス経由で行います。

> **重要**
>
> 監視サーバ（サーバ環境に配置したモニタ Client）を複数のログインユーザで利用する場合、用紙交換やプリンタ障害はすべてモニタクライアントに通知されます。

モニタの構成要素を次の図に示します。

図 1-5　モニタの構成要素



1. モニタ環境設定

モニタを使用する際に必要なプリンタ情報を定義し、環境設定ファイルへプリンタ情報を出力します。環境設定ファイルに従って、Windows プリンタを作成します。

2. モニタサービス

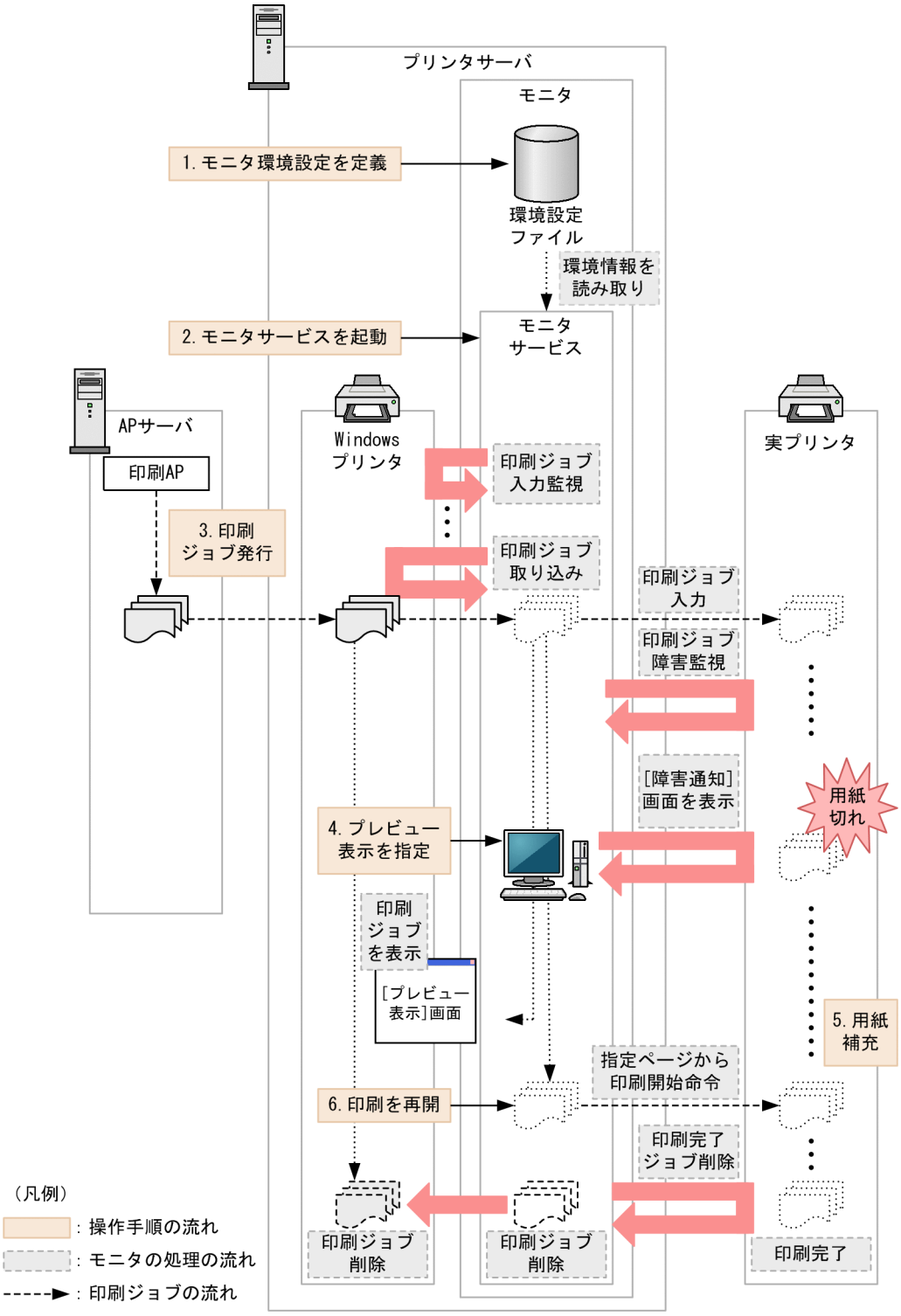
   Windows プリンタから印刷データを取り出してプリンタへ出力し、そのプリンタを監視します。用紙交換や障害が発生した場合は、モニタコンソールへ通知します。

3. モニタコンソール

   モニタサービスから通知された内容を画面に表示します。ユーザの画面操作に従って、再印刷やテスト印刷などの要求をモニタサービスへ通知します。

また、モニタを利用した操作と処理の流れを次の図に示します。

図 1-6　モニタを利用した操作と処理の流れ



この図の操作手順を次に示します。

1. モニタの環境設定で、監視するプリンタを定義します。
2. モニタサービスを Windows サービスから起動します。
3. 印刷アプリケーションプログラムから印刷ジョブを Windows プリンタに出力指示（印刷）します。

4. [障害通知] 画面から、エラーとなったページを確認するためにプレビュー表示を指定します。
5. 用紙切れのため、用紙を補充します。
6. [障害通知] 画面で再印刷するページを指定して、印刷を再開します。

1.2.2 マネージャとは

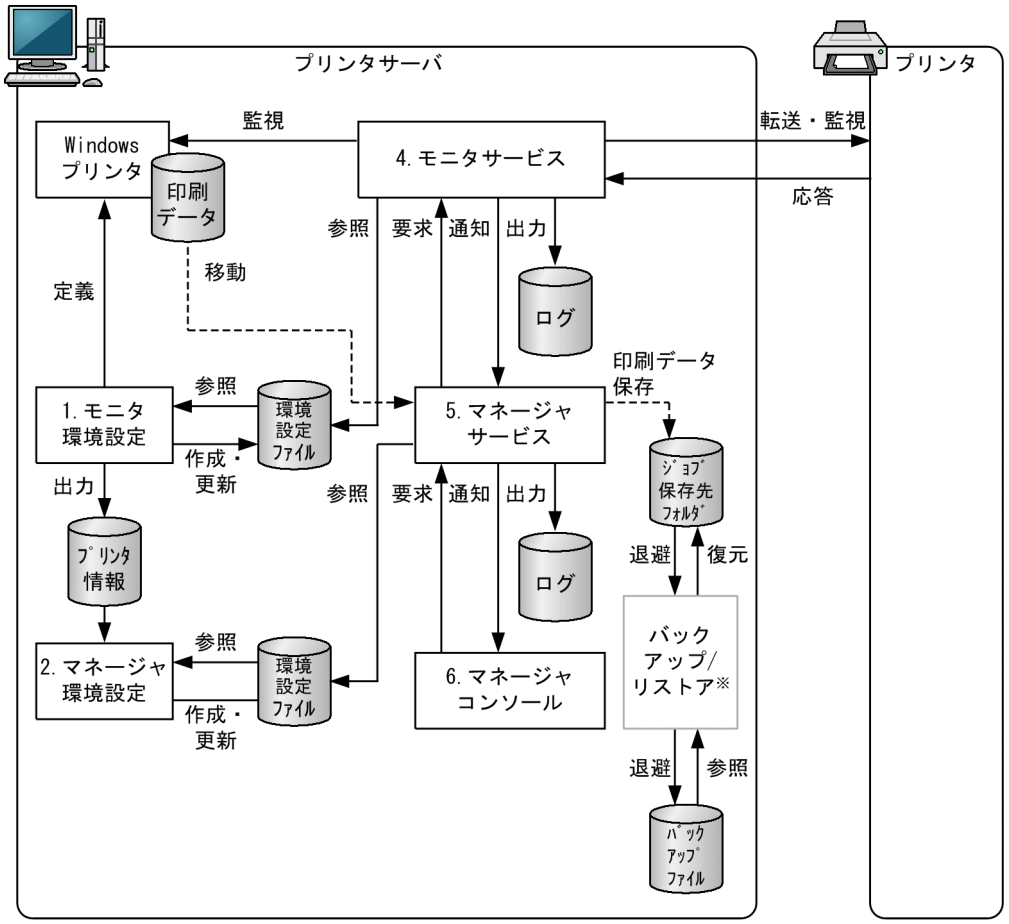
マネージャとは、マネージャが管理するプリンタへ印刷する際に、システム運用者にマネージャの画面を利用して印刷ジョブを操作する機能を提供する製品です。

モニタでは、Windows プリンタを監視し、印刷データをモニタ内のサービスが取り出し、そのデータをマネージャのジョブ保存先フォルダへ移動します。マネージャ内のサービス（マネージャサービス）は、ジョブ保存先フォルダに印刷データが保存されたことを検知して、ジョブを登録します。その後、マネージャの画面（マネージャコンソール）からの印刷操作を受けて、マネージャサービスがマネージャコンソールからの要求をモニタサービスへ通知します。モニタサービスは、マネージャサービスからの要求を LAN 接続されたプリンタへ転送します。

マネージャコンソールは、モニタからの更新通知を受けて、ジョブやプリンタの情報を更新します。プリンタの障害発生時には、モニタサービスから通知を受けたマネージャサービスが、マネージャコンソールへ障害を通知します。システム運用者は、マネージャコンソールから再印刷などの印刷指示をマネージャサービス経由で行います。

マネージャの構成要素を次の図に示します。

図 1-7　マネージャの構成要素



（凡例）

——►：制御

- - - -►：データ

注※
バックアップ/リストアは、マネージャのユティリティです。

1. モニタ環境設定

   モニタを使用する際に必要なプリンタ情報を定義し、環境設定ファイルへプリンタ情報を出力します。環境設定ファイルに従って、Windows プリンタを作成します。また、モニタで管理する出力先プリンタの一覧を出力します。

2. マネージャ環境設定

   マネージャで管理する印刷ジョブを出力するプリンタ情報を定義し、環境設定ファイルへ出力します。監視対象プリンタを登録する際には、モニタ環境設定が出力した出力先プリンタの一覧を利用できます。

3. モニタサービス

   Windows プリンタから印刷データを取り出してプリンタへ出力し、そのプリンタを監視します。障害が発生した場合は、マネージャサービスへ通知します。

4. マネージャサービス

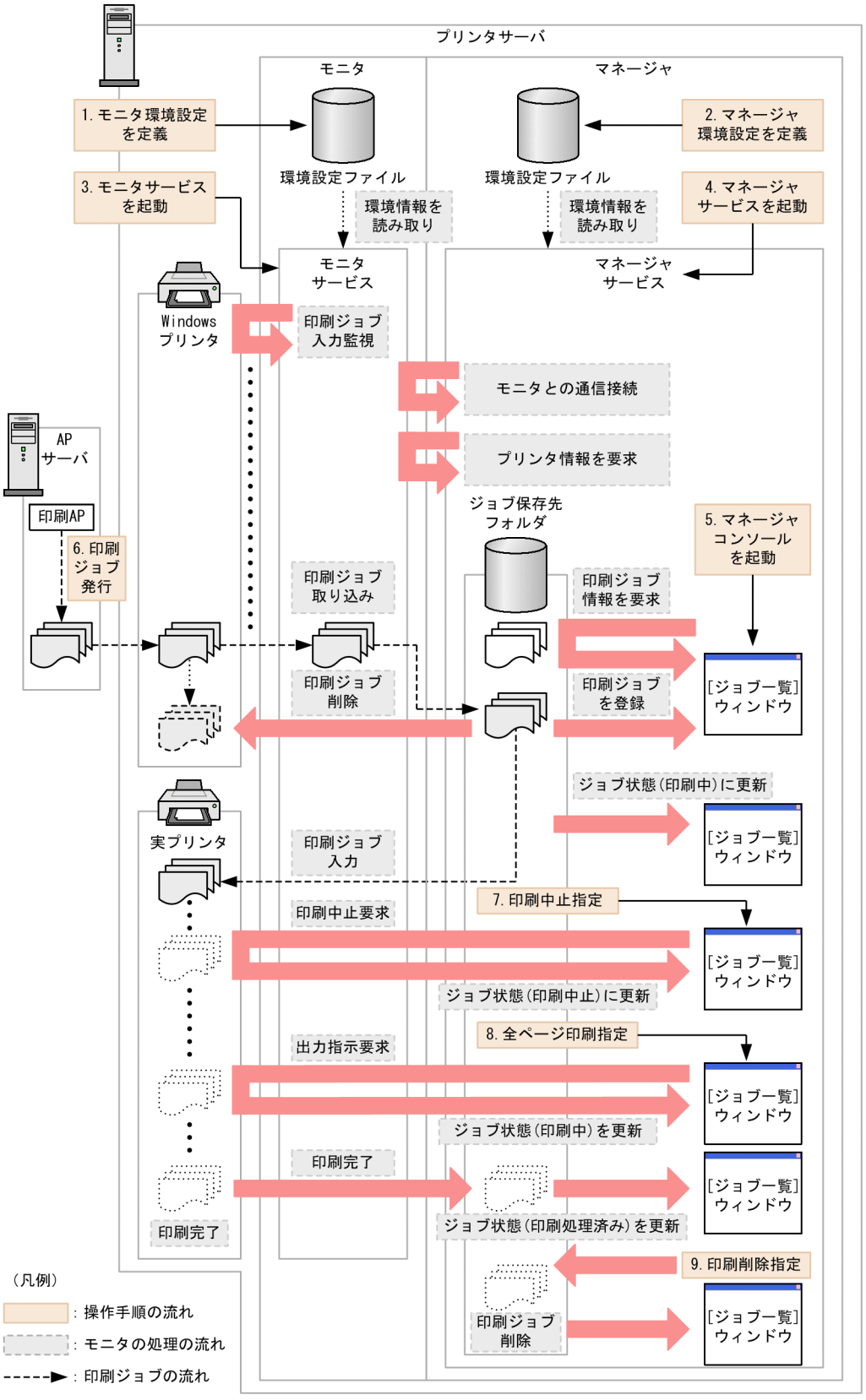
マネージャで管理する印刷ジョブを制御します。マネージャコンソールからの要求をモニタサービスへ通知し、モニタサービスからの要求をマネージャコンソールへ通知します。また、用紙交換が発生した場合は、マネージャコンソールへ通知し、マネージャコンソールからの要求を実行します。

5. マネージャコンソール

   マネージャサービスから通知された内容を画面に表示します。ユーザの画面操作に従って、印刷ジョブに対する出力指示の要求をマネージャサービスへ通知します。

また、マネージャを利用した操作と処理の流れを次の図に示します。

図 1-8　マネージャを利用した操作と処理の流れ



この図の操作手順を次に示します。

1. モニタの環境設定で、監視するプリンタを定義します。

2. マネージャの環境設定で、印刷ジョブを運用するプリンタを定義します。
3. モニタサービスを Windows サービスから起動します。
4. マネージャサービスを Windows サービスから起動します。
5. マネージャコンソールを起動します。
6. 印刷アプリケーションプログラムから印刷ジョブを Windows プリンタに出力指示（印刷）します。
7. マネージャコンソールから、印刷中止を指定します。
8. マネージャコンソールから、全ページ印刷を指定します。
9. マネージャコンソールから、印刷ジョブをジョブ保存先フォルダから削除するために印刷削除を指定します。

関連項目

- 6.1.1　印刷ジョブのバックアップについて
- 6.1.2　印刷ジョブのリストアについて

1.2.3　モニタ Client とは

モニタ Client とは、プリンタで印刷する際に、モニタ Client で管理するプリンタで用紙交換や障害が発生した場合に、その情報を受信して画面を表示し、システム運用者に用紙交換やリカバリ操作を促す機能を提供する製品です。モニタ Client は、監視サーバとしてサーバ環境にも配置できます。監視サーバは、プリンタサーバと同じサーバマシン上にも、別のサーバマシン上にも配置できます。拡張オプションを使用すると、監視サーバを複数のログインユーザで利用できます。

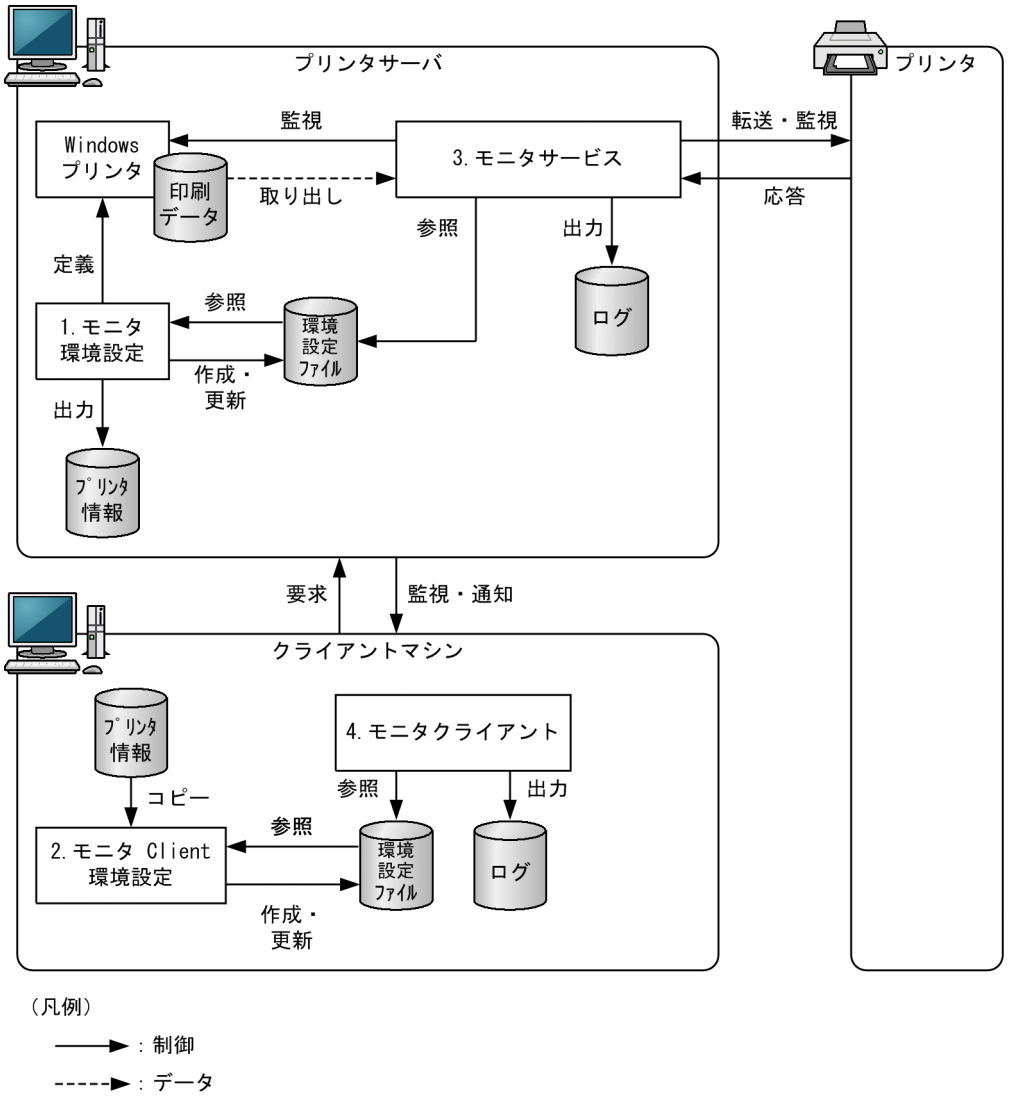
モニタ Client では、モニタクライアントを起動して常駐し、モニタサービスからの通知を受信待機します。プリンタの応答を受けて、モニタサービスがモニタコンソールに障害発生を通知する際に、同じ情報をモニタクライアントで受信します。システム運用者は、モニタクライアントから再印刷などの印刷指示をモニタサービス経由で行います。

重要

監視サーバをプリンタサーバと同じサーバマシンに配置して、複数のログインユーザで利用する場合、モニタコンソールは起動しません。用紙交換やプリンタ障害は、モニタクライアントにだけ通知されます。このため、モニタサービス起動後に、必ず、モニタクライアントを起動してください。

モニタ Client の構成要素を次の図に示します。

図 1-9　モニタ Client の構成要素



1. モニタ環境設定

   モニタを使用する際に必要なプリンタ情報を定義し、環境設定ファイルへプリンタ情報を出力します。環境設定ファイルに従って、Windows プリンタを作成します。また、モニタで管理する出力先プリンタの一覧を出力します。

2. モニタ Client 環境設定

   モニタの IP アドレスや監視対象のプリンタを登録し、環境設定ファイルへ出力します。監視対象プリンタを登録する際には、モニタ環境設定が出力した出力先プリンタの一覧を利用できます。

3. モニタサービス

   Windows プリンタから印刷データを取り出してプリンタへ出力し、そのプリンタを監視します。用紙交換や障害が発生した場合は、モニタクライアントへ通知します。

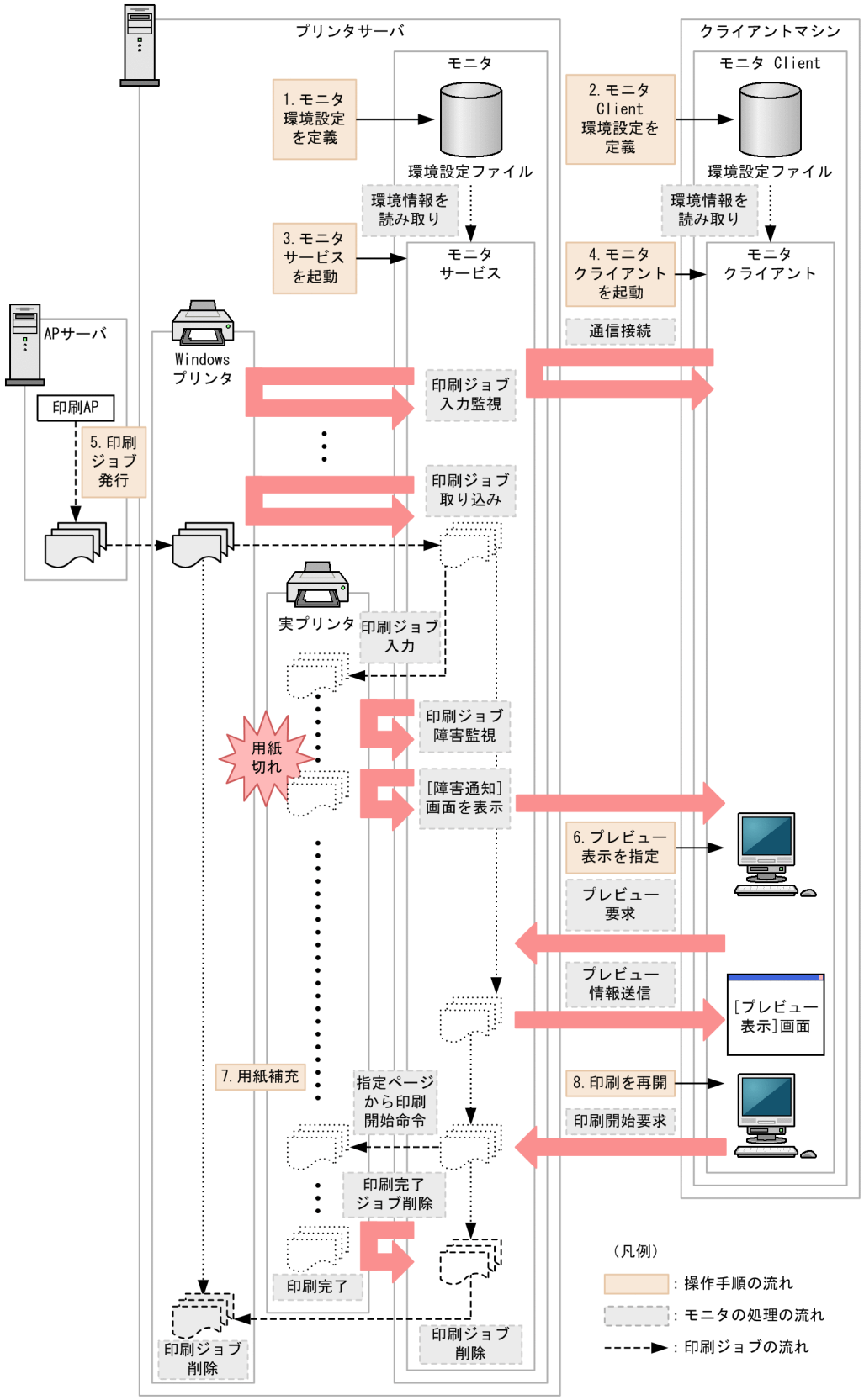
4. モニタクライアント

   モニタサービスから通知された内容を画面に表示します。表示する内容は、クライアントマシンにログインするすべてのユーザで共通の設定とするか、またはログインするユーザごとに設定するかによって

異なります。ユーザの画面操作に従って、再印刷やテスト印刷などの要求をモニタサービスへ通知します。

また、モニタ Client を利用した操作と処理の流れを次の図に示します。

図 1-10　モニタ Client を利用した操作と処理の流れ



この図の操作手順を次に示します。

1. モニタの環境設定で、監視するプリンタを定義します。

2. モニタ Client の環境設定で、クライアント環境で監視するプリンタを定義します。
3. モニタサービスを Windows サービスから起動します。
4. モニタクライアントを起動します。
5. 印刷アプリケーションプログラムから印刷ジョブを Windows プリンタに出力指示（印刷）します。
6. モニタクライアントの［障害通知］画面から、エラーとなったページを確認するためにプレビュー表示を指定します。
7. 用紙切れのため、用紙を補充します。
8. モニタクライアントの［障害通知］画面で再印刷するページを指定して、印刷を再開します。

関連項目

- 1.2.5　拡張オプションとは

1.2.4　マネージャ Client とは

マネージャ Client とは、マネージャ Client で管理するプリンタへ印刷する際に、システム運用者にマネージャ Client の画面（マネージャクライアント）を利用して印刷ジョブを操作する機能を提供する製品です。マネージャ Client は、監視サーバとしてサーバ環境にも配置できます。監視サーバは、プリンタサーバと同じサーバマシン上にも、別のサーバマシン上にも配置できます。拡張オプションを使用すると、監視サーバを複数のログインユーザで利用できます。

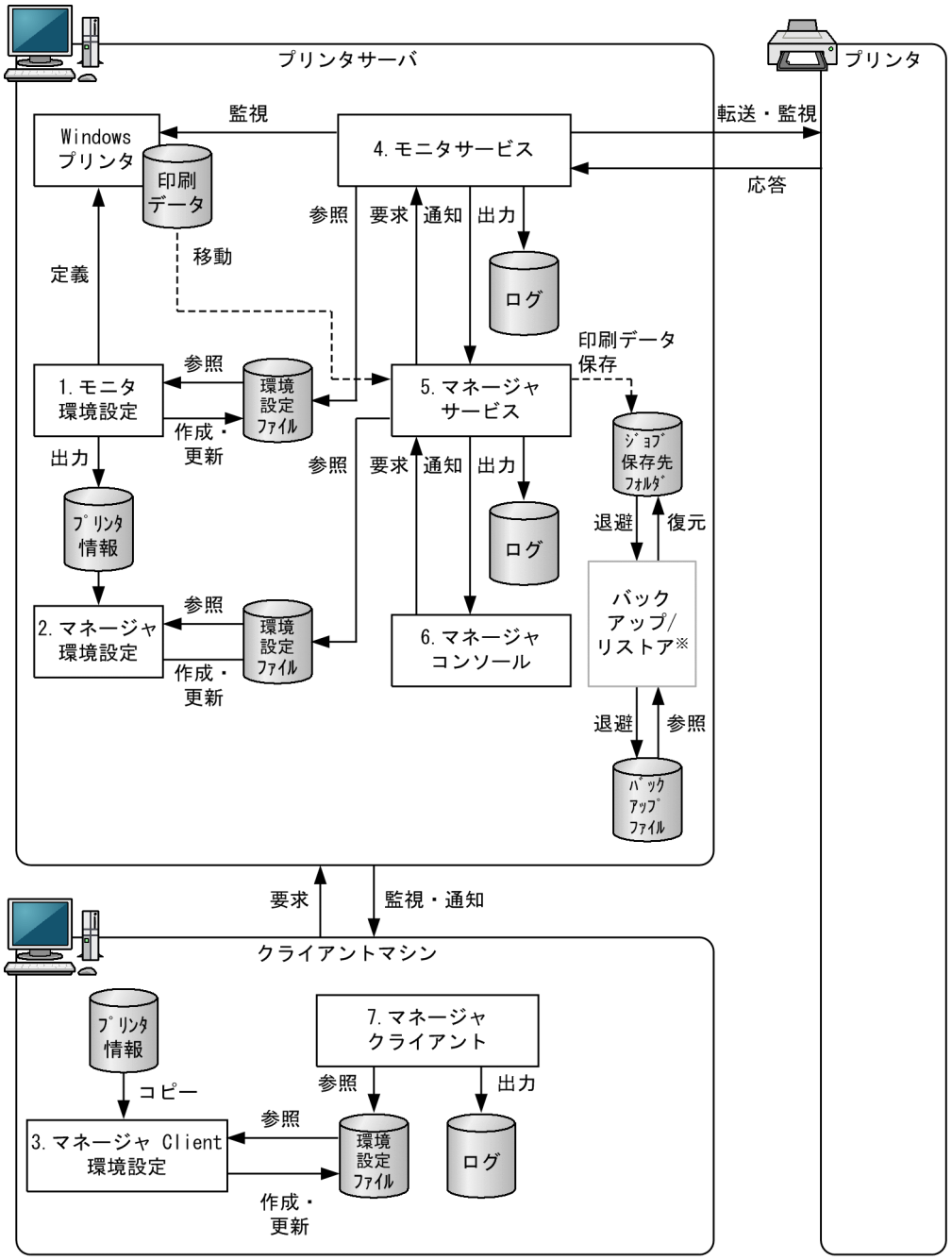
マネージャ Client では、マネージャクライアントを起動して、マネージャサービスから受信したジョブ登録通知を画面に表示します。システム運用者は、マネージャクライアントから全ページ印刷などの印刷指示を、マネージャサービスおよびモニタサービスを経由して行います。

マネージャクライアントは、モニタからの更新通知を受けて、ジョブやプリンタの情報を更新します。プリンタの障害発生時には、モニタサービスから通知を受けたマネージャサービスが、マネージャクライアントへ障害を通知します。システム運用者は、マネージャクライアントから再印刷などの印刷指示をマネージャサービス経由で行います。

> **重要**
>
> 監視サーバをプリンタサーバと同じサーバマシンに配置して、複数のログインユーザで利用する場合、マネージャクライアントとマネージャコンソールは、同じログインユーザで起動できません。この場合は、それぞれ異なるログインユーザで起動してください。

マネージャ Client の構成要素を次の図に示します。

図 1-11　マネージャ Client の構成要素



（凡例）

——►：制御

-----►：データ

注※
バックアップ/リストアは、マネージャのユティリティです。

1. モニタ環境設定

モニタを使用する際に必要なプリンタ情報を定義し、環境設定ファイルへプリンタ情報を出力します。環境設定ファイルに従って、Windows プリンタを作成します。また、モニタで管理する出力先プリンタの一覧を出力します。

2. マネージャ環境設定

マネージャで管理する印刷ジョブを出力するプリンタ情報を定義し、環境設定ファイルへ出力します。監視対象プリンタを登録する際には、モニタ環境設定が出力した出力先プリンタの一覧を利用できます。

3. マネージャ Client 環境設定

   マネージャの IP アドレスや監視対象のプリンタを登録し、環境設定ファイルへ出力します。監視対象プリンタを登録する際には、モニタ環境設定が出力した出力先プリンタの一覧を利用できます。

4. モニタサービス

   Windows プリンタから印刷データを取り出してプリンタへ出力し、そのプリンタを監視します。用紙交換や障害が発生した場合は、マネージャサービスへ通知します。

5. マネージャサービス

   マネージャで管理する印刷ジョブを制御します。マネージャクライアントからの要求をモニタサービスへ通知し、モニタサービスからの要求をマネージャクライアントへ通知します。また、用紙交換が発生した場合は、マネージャクライアントへ通知し、マネージャクライアントからの要求を実行します。

6. マネージャコンソール

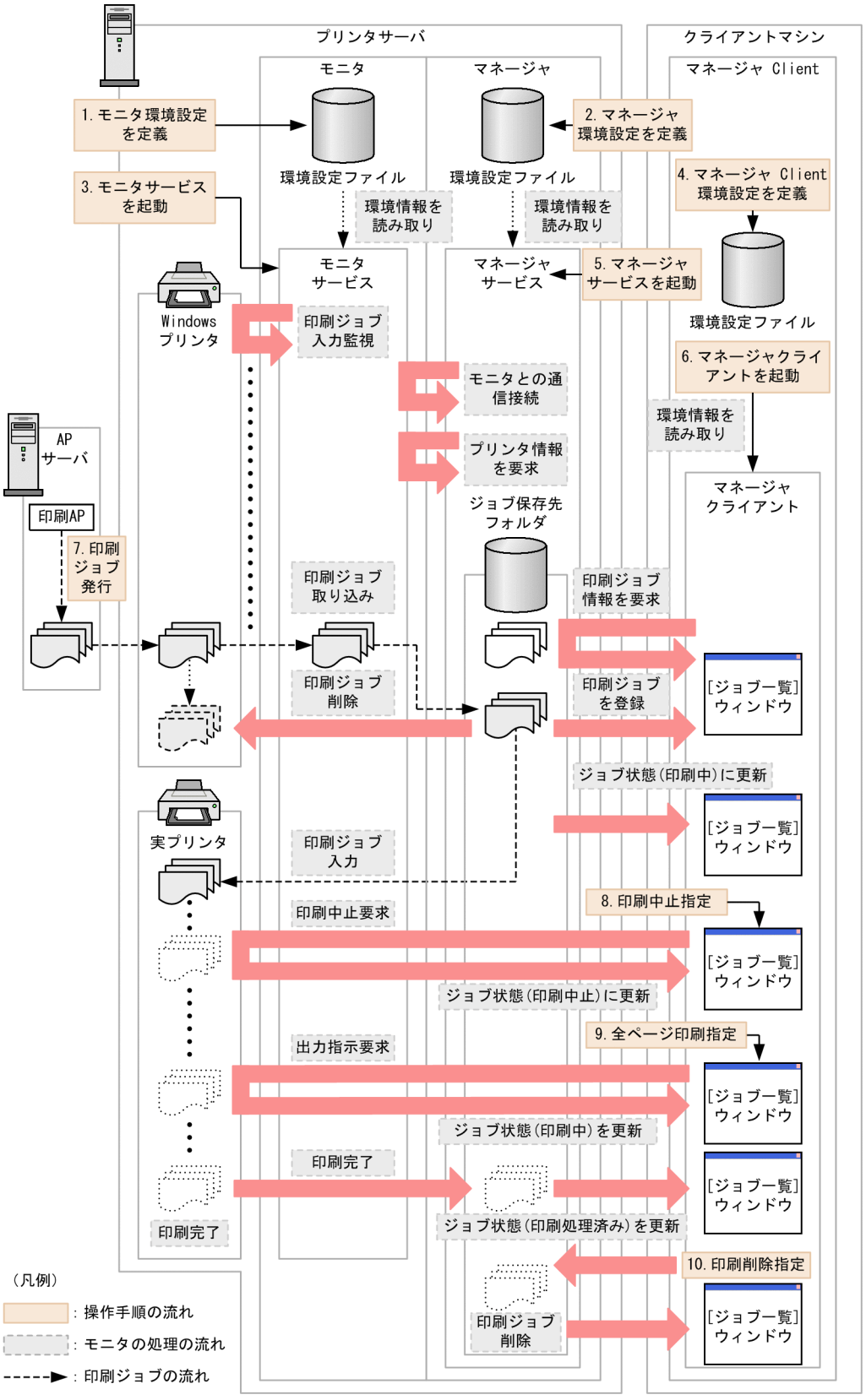
   マネージャサービスから通知された内容を画面に表示します。ユーザの画面操作に従って、印刷ジョブに対する出力指示の要求をマネージャサービスへ通知します。

7. マネージャクライアント

   マネージャサービスから通知された内容を画面に表示します。表示する内容は、クライアントマシンにログインするすべてのユーザで共通の設定とするか、またはログインするユーザごとに設定するかによって異なります。ユーザの画面操作に従って、印刷ジョブに対する出力指示の要求をマネージャサービスへ通知します。

また、マネージャ Client を利用した操作と処理の流れを次の図に示します。

図 1-12　マネージャ Client を利用した操作と処理の流れ



この図の操作手順を次に示します。

1. モニタの環境設定で、監視するプリンタを定義します。

2. マネージャの環境設定で、印刷ジョブを運用するプリンタを定義します。
3. モニタサービスを Windows サービスから起動します。
4. マネージャ Client の環境設定で、クライアント環境で印刷ジョブを運用するプリンタを定義します。
5. マネージャサービスを Windows サービスから起動します。
6. マネージャクライアントを起動します。
7. 印刷アプリケーションプログラムから印刷ジョブを Windows プリンタに出力指示（印刷）します。
8. マネージャクライアントから、印刷中止を指定します。
9. マネージャクライアントから、全ページ印刷を指定します。
10. マネージャクライアントから、印刷ジョブをジョブ保存先フォルダから削除するために印刷削除を指定します。

関連項目

- 1.2.5　拡張オプションとは
- 6.1.1　印刷ジョブのバックアップについて
- 6.1.2　印刷ジョブのリストアについて

1.2.5　拡張オプションとは

拡張オプションとは、プリンタマネージャの機能に、特定のプリンタの使用や、監視サーバの複数のログインユーザでの利用といった拡張機能を提供するオプション製品です。この拡張オプションをモニタと同じプリンタサーバに配置すると、次の拡張機能を使用できます。

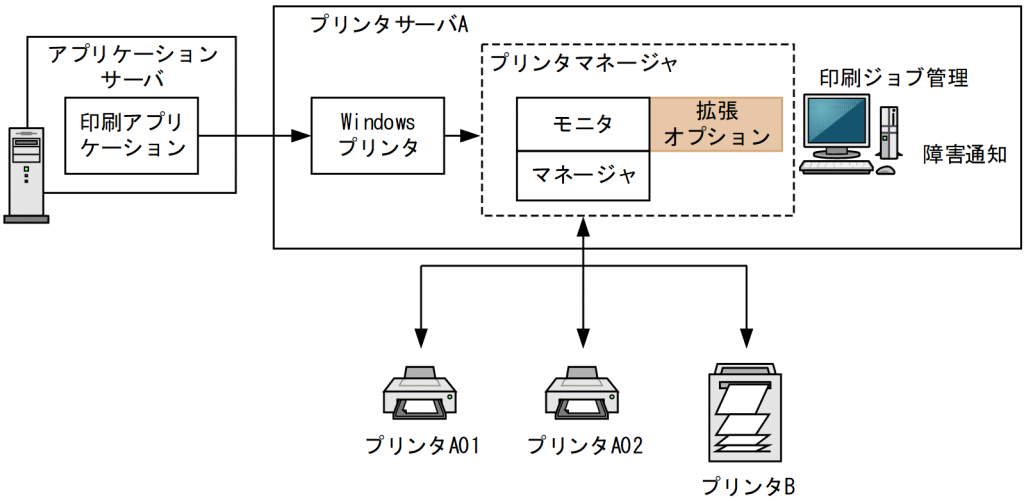
- 特定のプリンタを監視して、障害発生時にリカバリ印刷したり、印刷ジョブを操作したりできる
- 監視サーバを複数のログインユーザで利用できる

特定プリンタの監視および印刷管理

特定のプリンタを監視して、障害発生時にリカバリ印刷したり、印刷ジョブを操作したりできます。

特定プリンタの監視および印刷管理を次の図に示します。

図 1-13　特定プリンタの監視および印刷管理



この図は、拡張オプションを利用して、特定のプリンタであるプリンタ B を印刷管理している例です。プリンタ B のログは、ほかのプリンタと同様にモニタから出力されます。

監視サーバの複数のログインユーザによる利用

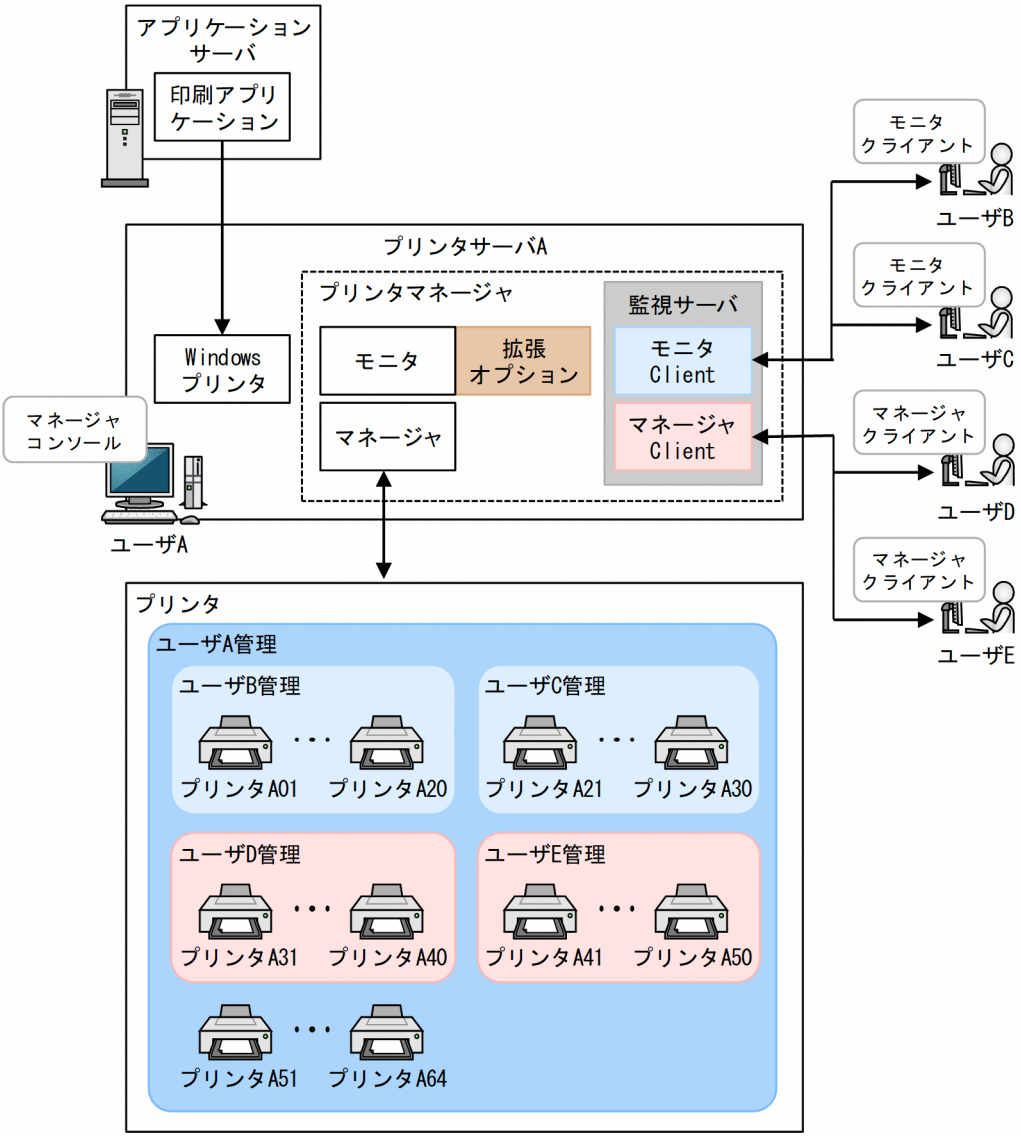
複数のログインユーザが、別のマシンから監視サーバのモニタクライアントおよびマネージャクライアントを同時に起動して利用できます。これによって、管理対象プリンタをクライアントマシンごとではなく、ログインユーザごとに振り分けることができます。

複数のログインユーザで利用する場合は、モニタの環境設定で次の設定が必要です。

- ［クライアント設定］画面で［複数のログインユーザでモニタ/マネージャクライアントを起動する］チェックボックスをチェックする
- ［マネージャ設定］画面で［マネージャ機能を使用する］チェックボックスをチェックする（マネージャクライアント利用時）

監視サーバの複数のログインユーザによる利用を次の図に示します。

図 1-14　監視サーバの複数のログインユーザによる利用



この図は、プリンタサーバ上に監視サーバを配置し、クライアントマシンからリモートデスクトップ接続でログインして、複数のログインユーザがモニタクライアントまたはマネージャクライアントを利用している例です。この場合、プリンタサーバ上のモニタではモニタコンソールが利用できなくなるため、ユーザ A がマネージャコンソールからすべてのプリンタを管理するように設定しています。プリンタサーバ上のモニタクライアントおよびマネージャクライアントは、クライアントマシンからリモートデスクトップ接続でログインしていないユーザであれば同時に起動できます（ただし、同一サーバ上のマネージャコンソールとマネージャクライアントは、別のユーザまたは別のセッションの場合にだけ起動できます）。

また、複数のログインユーザで利用する監視サーバは、プリンタサーバとは別のサーバマシンに配置することも、モニタ Client およびマネージャ Client のクライアントマシンがあるシステムに追加で配置することもできます。ただし、マネージャ、および監視サーバ（モニタ Client とマネージャ Client）へ同時に接続するユーザは、合計で 8 ユーザを目安に運用することをお勧めします。

重要

- モニタクライアントおよびマネージャクライアントは、直接マシンにログインする方法、およびリモートデスクトップ接続による方法で起動できますが、ターミナルサービス接続による方法では起動できません。リモートデスクトップ接続で起動した場合、「切断」で終了するとセッションが残るため、サーバマシンでの大量のログ出力やアプリ起動による負荷、メモリの圧迫などによる障害発生が考えられます。このため、リモートデスクトップ接続で起動した場合は、「切断」ではなく「サインアウト」で終了してください。
- モニタの環境設定の［クライアント設定］画面で複数のログインユーザで利用するための設定をすると、モニタコンソールは起動できません。モニタ Client の環境設定でモニタの出力先プリンタをすべて管理する設定をしたモニタクライアントを用意し、常時リモートデスクトップ接続してすべてのプリンタを監視してください。
- 拡張オプションをインストールしている場合でも、モニタの環境設定の［クライアント設定］画面で複数のログインユーザで利用するための設定をしていないとき、同一サーバマシン上にあるモニタクライアントおよびマネージャクライアントは起動できません。別のサーバマシン上にあるモニタクライアントおよびマネージャクライアントのログインユーザで起動してください。
- モニタ Client を配置したサーバマシンから接続を切断しても、モニタクライアントは起動したままプリンタの状態を監視します。このため、再ログイン時にプリンタの監視結果を確認できます。しかし、サーバマシンからサインアウトすると、モニタクライアントは停止してプリンタの状態を監視しません。このため、次回ログイン時にはモニタクライアントを再起動してください。
- マネージャ Client を配置したサーバマシンから接続を切断しても、マネージャクライアントは起動したままとなります。しかし、サーバマシンからサインアウトすると、マネージャクライアントは停止するため、次回ログイン時にはマネージャクライアントを再起動してください。

1.3　プリンタマネージャのシステム構成

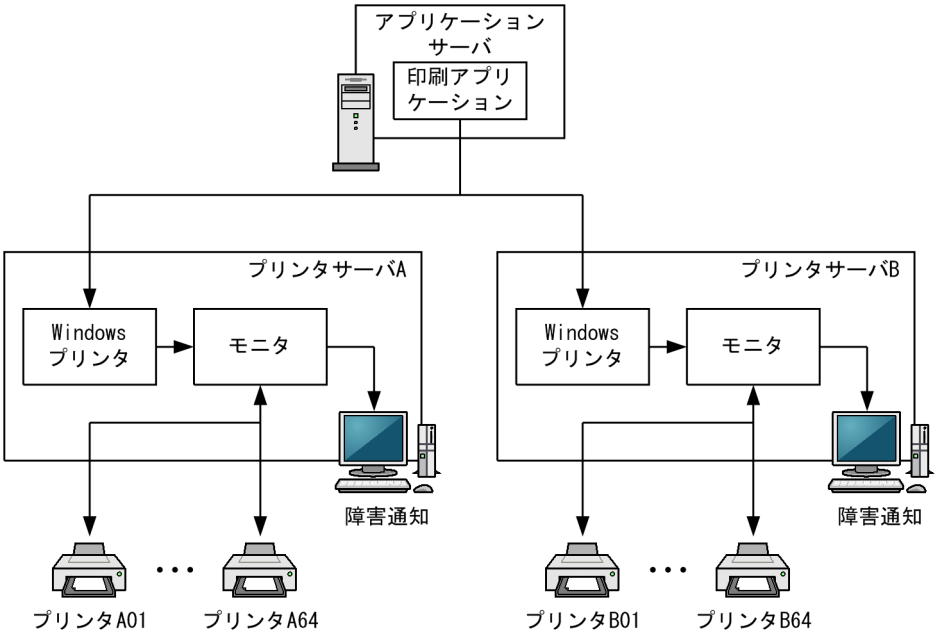
アプリケーションサーバ上の印刷アプリケーションは、帳票を出力するプリンタを配置しているプリンタサーバを経由して、印刷データをプリンタへ出力します。プリンタマネージャの各製品をプリンタサーバやクライアントマシンに配置することで、印刷環境でさまざまな運用ができるようになります。

プリンタの障害を検知するモニタを利用するシステム

モニタをプリンタサーバに配置して、プリンタサーバで使用するプリンタ情報を設定すると、プリンタサーバのプリンタをモニタで管理できるようになります。また、印刷アプリケーションからプリンタへ出力する際にプリンタで障害が発生すると、その障害をモニタで検知してプリンタサーバへ通知できるようになります。

モニタで特定のプリンタの障害を検知する場合は、モニタを配置したプリンタサーバに拡張オプションを配置してください。

モニタを利用したシステムを次の図に示します。



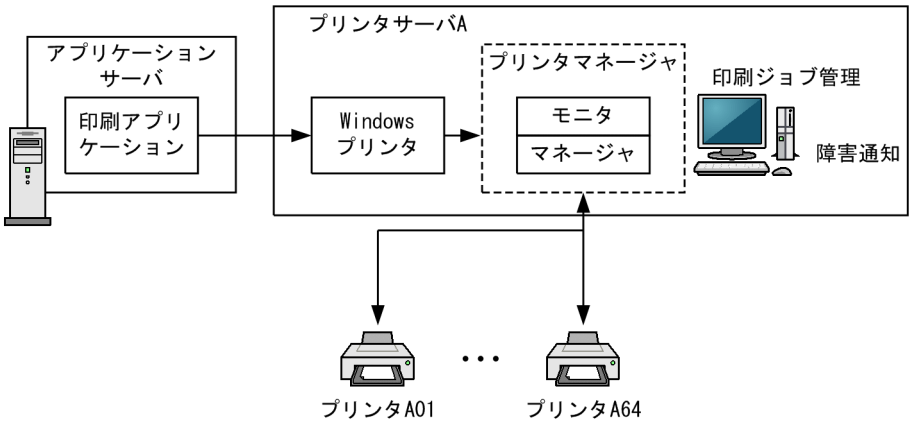
なお、モニタに設定できるプリンタは 64 台までです。ただし、1 つのプリンタサーバで同時に稼働できるプリンタ数の目安は 16 台です。実際のプリンタの運用を考慮してシステム構成を検討してください。

プリンタの印刷ジョブを制御するマネージャを利用するシステム

モニタとマネージャをプリンタサーバに配置して、プリンタサーバで使用するプリンタ情報をモニタに、印刷ジョブを管理するプリンタ情報をマネージャにそれぞれ設定すると、各プリンタの印刷ジョブをマネージャで管理できるようになります。これによって、印刷アプリケーションからプリンタへ出力する際に、印刷前に印刷ジョブの印刷イメージを確認したり、印刷ジョブごとに出力先プリンタを切り替えたりできるようになります。

マネージャで特定のプリンタの印刷ジョブを制御する場合は、モニタを配置したプリンタサーバに拡張オプションを配置してください。

マネージャを利用したシステムを次の図に示します。



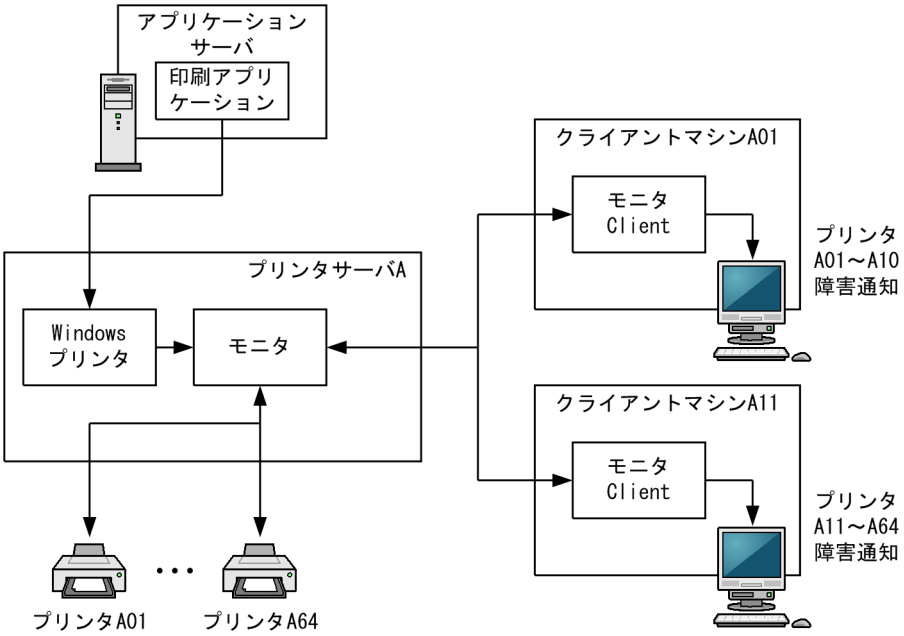
プリンタの障害をクライアントマシンで検知するシステム

モニタをプリンタサーバに配置し、モニタからの障害通知を表示するクライアントマシンにモニタ Client を配置します。プリンタサーバで使用するすべてのプリンタ情報をモニタに設定し、モニタ Client に障害を監視したいプリンタ情報を設定すると、クライアントマシンごとに監視対象のプリンタの障害を検知できるようになります。

印刷アプリケーションからプリンタへ出力する際にプリンタで障害が発生すると、その障害をモニタで検知してプリンタサーバへ通知し、同じ情報をモニタ Client にも通知できるようになります。

クライアントマシンで特定のプリンタの障害を検知する場合は、モニタを配置したプリンタサーバに拡張オプションを配置してください。

モニタ Client を利用したシステムを次の図に示します。



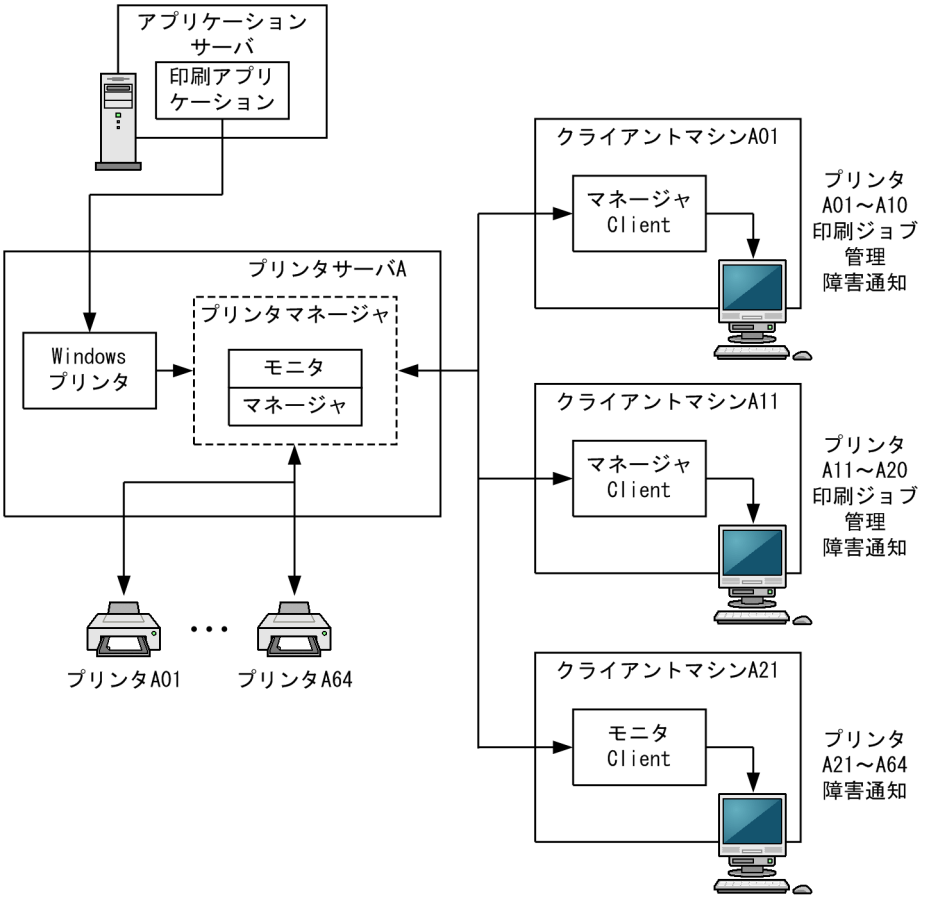
プリンタの印刷ジョブをクライアントマシンで制御するシステム

モニタとマネージャをプリンタサーバに配置して、印刷ジョブを制御するクライアントマシンにマネージャ Client を配置します。プリンタサーバで使用するプリンタ情報をモニタに、印刷ジョブを管理するプリンタ情報をマネージャに設定します。さらに、マネージャ Client に印刷ジョブを管理したいプリンタ情報を設定すると、クライアントマシンごとに管理対象のプリンタの印刷ジョブを制御できるようになります。これによって、印刷アプリケーションからプリンタへ出力する際に、印刷前に印刷ジョブの印刷イメージを確認したり、印刷ジョブごとに出力先プリンタを切り替えたりできるようになります。

また、モニタとマネージャをプリンタサーバに配置したシステムには、モニタからの障害通知を表示するクライアントマシン（モニタ Client）も配置できます。モニタ Client に障害を監視したいプリンタ情報を設定すると、クライアントマシンごとに監視対象のプリンタの障害を検知できるようになります。

クライアントマシンで特定のプリンタの印刷ジョブを制御する場合は、モニタを配置したプリンタサーバに拡張オプションを配置してください。

クライアントマシン（マネージャ Client およびモニタ Client）を利用したシステムを次の図に示します。



関連項目

- 1.2.5　拡張オプションとは

1.4　プリンタマネージャのサポート範囲

プリンタマネージャがサポートする、障害リカバリ制御および印刷データ形式について説明します。

上位の印刷アプリケーションは、Windows プリンタを経由して、印刷ジョブを Windows スプールに出力します。プリンタマネージャは、この印刷ジョブに従って、Windows スプールから印刷データを取り出して、監視対象とするプリンタに送信し、プリンタの状態（印刷完了および障害）を監視します。

サポートする障害リカバリ制御

プリンタマネージャがサポートする障害リカバリ制御には、プリンタの状態（印刷完了、および障害）を監視する方式（「ジョブ単位」および「ページ単位」）と、プリンタの状態（印刷完了、および障害）を監視しない方式（「制御しない」）があります。

- ジョブ単位

  印刷ジョブごとに、プリンタの状態（出力完了、および障害）を監視します。印刷ジョブごとに印刷データをまとめて出力するので、印刷性能が確保されます。

  この場合、利用する監視方式によって、障害が発生したときのエラーページの扱いが異なります。

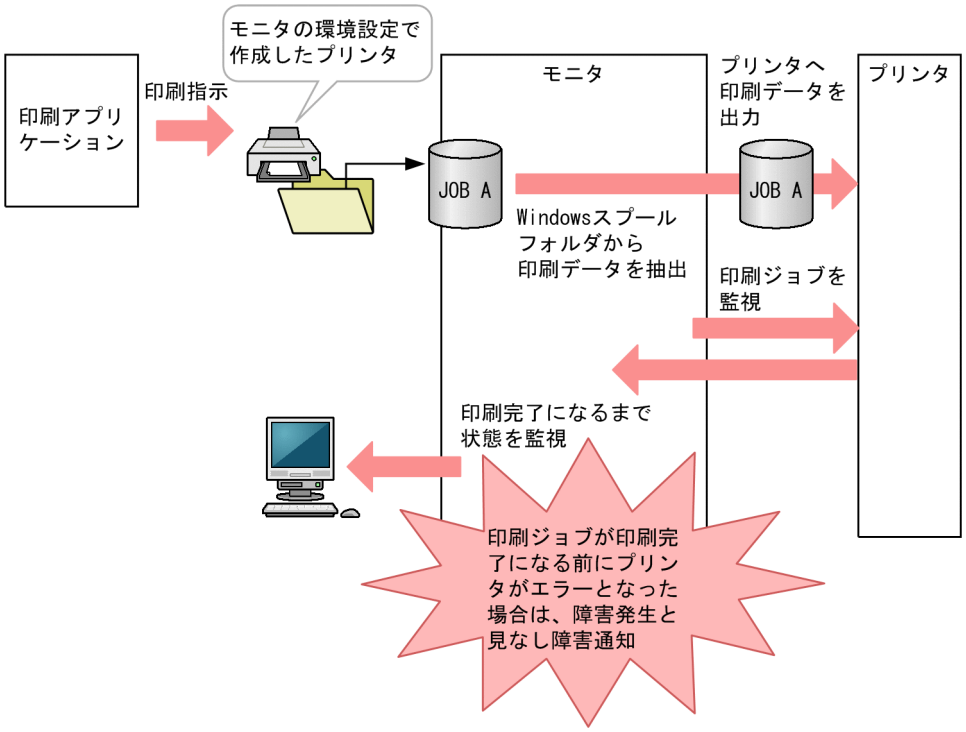
  標準 MIB を利用する場合：障害が発生したときのエラーページは通知されません。

  拡張 MIB を利用する場合：障害が発生したときのエラーページは通知されます。

  同期印刷で印刷管理方式がジョブ単位の場合は、モニタの環境設定でプリンタを作成するときに、印刷管理方式として「ジョブ単位で制御」を指定します。

  ジョブ単位で監視する場合の障害検知の仕組みを次の図に示します。

  図 1-15　ジョブ単位で監視する場合の障害検知の仕組み



- ページ単位

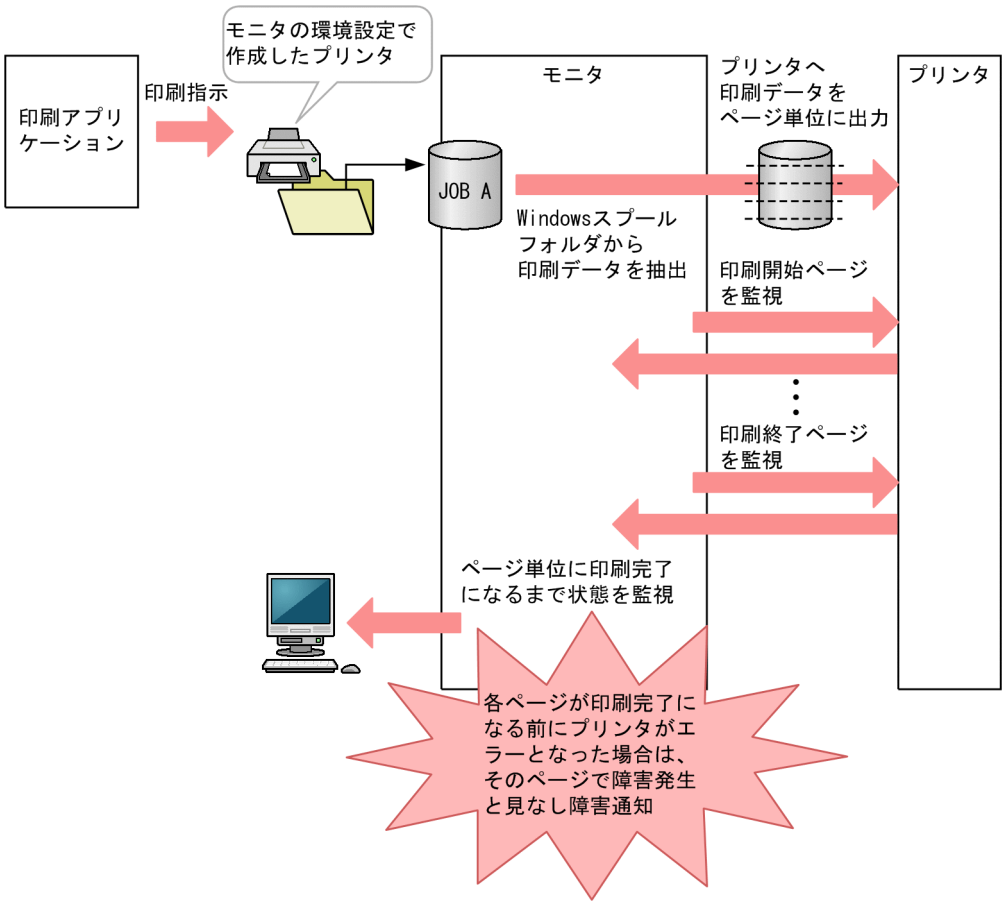
  印刷ジョブのページごとに、プリンタの状態（出力完了、および障害）を監視します。ページ単位に分けて監視するため、障害が発生したときのエラーページを通知できます。

  ただし、ページ単位で印刷完了の同期をとるため、ページ間の印刷間隔が空くことがあります。

  同期印刷で印刷管理方式がページ単位の場合は、モニタの環境設定でプリンタを作成するときに、印刷管理方式として「ページ単位で制御」を指定します。

  ページ単位で監視する場合の障害検知の仕組みを次の図に示します。

図 1-16　ページ単位で監視する場合の障害検知の仕組み

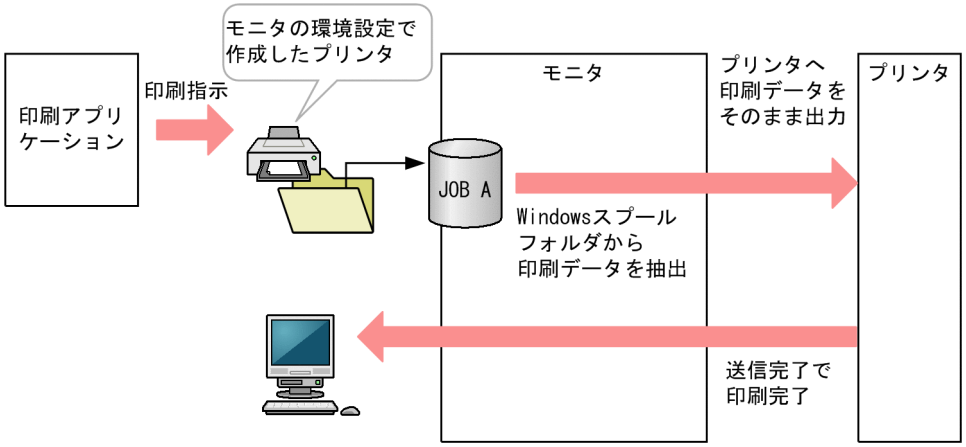


- 制御しない

  プリンタの状態（印刷完了、および障害）を監視しません。

  制御しない場合の障害検知の仕組みを次の図に示します。

図 1-17　制御しない場合の障害検知の仕組み



サポートする印刷データ形式

プリンタマネージャがサポートする印刷データ形式を次に示します。

- 汎用形式
  XPS プリンタドライバ形式（XPS 形式）で出力する印刷データです。
- RAW 形式（ESC/P）
  ESC/P 形式で出力する印刷データです。
  ページ単位で監視する場合は、ページ末尾に改ページ（0C）コードが必要です。
- RAW 形式（その他）
  XPS 形式でも ESC/P 形式でもない形式で出力する印刷データです。
  印刷データは出力できますが、プレビュー表示できません。

印刷データ形式と障害リカバリ制御の組み合わせ

モニタの環境設定で設定する印刷データ形式と障害リカバリ制御の組み合わせによっては、印刷データをページ指定して出力できなかったり、プレビュー表示できなかったりすることがあります。印刷データ形式と障害リカバリ制御の組み合わせによる印刷データの出力およびプレビュー表示の可否を次の表に示します。

表 1-1　印刷データ形式と障害リカバリ制御の組み合わせによる印刷データの出力およびプレビュー表示の可否

[印刷データ形式] の設定値	[障害リカバリ制御] の設定値	印刷データの出力の可否	印刷データのプレビュー表示の可否
汎用形式で扱う	• ジョブ単位で制御 • ページ単位で制御 • 制御しない	○	○
RAW 形式で扱う（ESC/P）	• ジョブ単位で制御 • ページ単位で制御	○	○

[印刷データ形式] の設定値	[障害リカバリ制御] の設定値	印刷データの出力の可否	印刷データのプレビュー表示の可否
	• 制御しない		
RAW 形式で扱う（その他）	• ジョブ単位で制御 • ページ単位で制御※1 • 制御しない	△※2	×

（凡例）

○：出力またはプレビュー表示できます。

△：出力またはプレビュー表示に制限があります。

×：出力またはプレビュー表示できません。

注※1

［ページ単位で制御］を選択しても、プリンタの監視は［ジョブ単位で制御］と同じ動作となります。ページ単位でプリンタの監視はできません。

注※2

印刷データを全ページ印刷できますが、次に示す画面で印刷ページを範囲指定した印刷やテスト印刷はできません。

- ［障害通知］画面
- ［用紙交換通知］画面
- ［条件指定印刷］画面

なお、01-70 より前のモニタで作成した出力プリンタの設定を変更する場合、印刷データ形式と障害リカバリ制御の設定値の組み合わせによっては、印刷データ形式の設定値が変更前と変更後で異なることがあります。モニタの環境設定変更時の印刷データ形式と障害リカバリ制御の設定値の対応を次の表に示します。

表 1-2　モニタの環境設定変更時の印刷データ形式と障害リカバリ制御の設定値の対応

01-70 より前のモニタの環境設定		01-70 以降のモニタの環境設定	
[印刷データ形式] の設定値	[障害リカバリ制御] の設定値	[印刷データ形式] の設定値	[障害リカバリ制御] の設定値
汎用形式で扱う	ジョブ単位で制御	汎用形式で扱う	ジョブ単位で制御
	ページ単位で制御		ページ単位で制御
	制御しない		制御しない
RAW 形式で扱う	ジョブ単位で制御	RAW 形式で扱う（ESC/P）	ジョブ単位で制御
	ページ単位で制御		ページ単位で制御
	制御しない	RAW 形式で扱う（その他）	制御しない

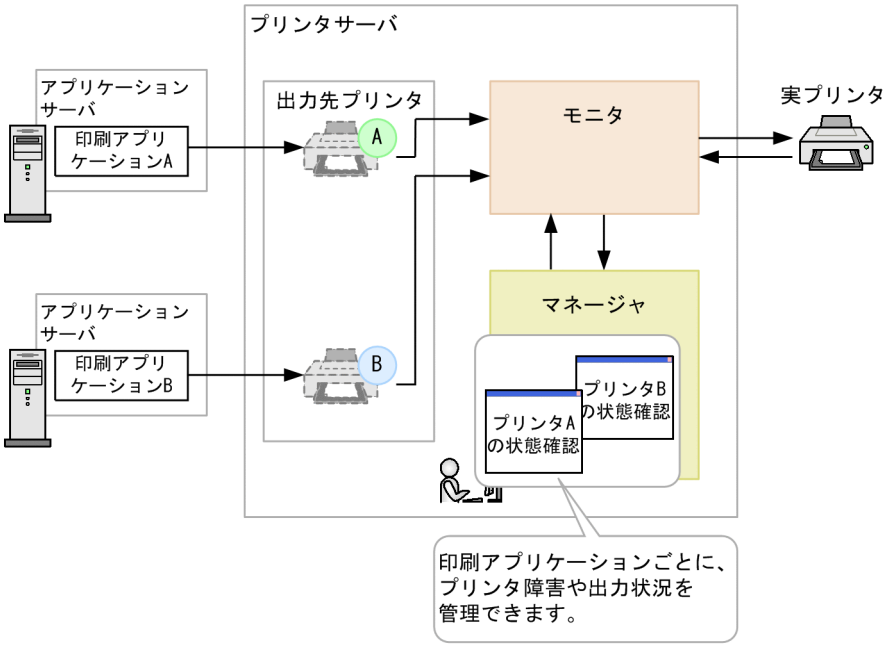
1.5　プリンタマネージャのプリンタ運用について

プリンタマネージャでは、1 台の実プリンタに対して複数の出力先プリンタ（Windows プリンタ）を作成できます。出力先プリンタを複数作成すると、出力する帳票の用途に応じた使い分けができるようになります。

（例 1）印刷アプリケーションごとにプリンタを使い分けたい場合

印刷アプリケーションごとに出力先プリンタを作成すると、マネージャコンソールおよびマネージャクライアントで、印刷ジョブ単位ではなく、印刷アプリケーション単位に帳票データの出力状況や、プリンタ障害への対応状況を把握できるようになります。

印刷アプリケーションごとにプリンタの状態を監視している例を次の図に示します。



（凡例）

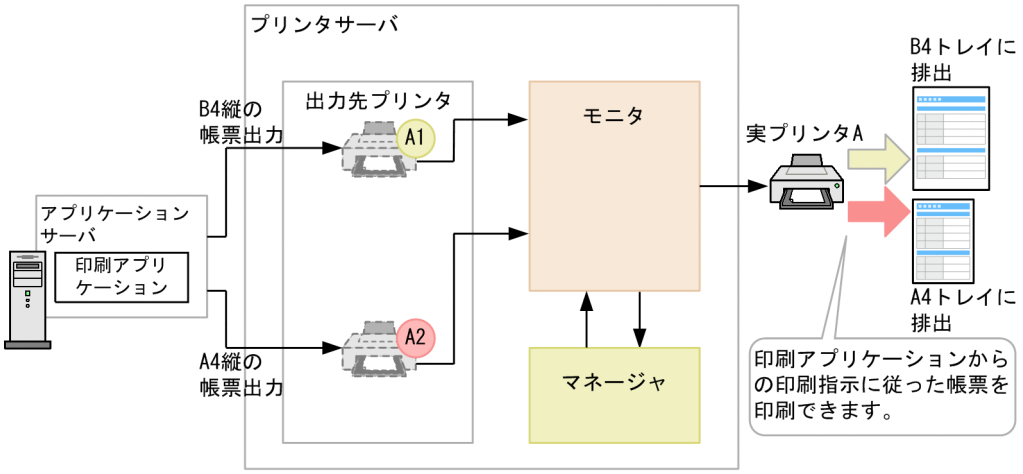
A：印刷アプリケーションAからの印刷用に用意したプリンタ（プリンタA）を示します。

B：印刷アプリケーションBからの印刷用に用意したプリンタ（プリンタB）を示します。

（例 2）帳票の用途ごとにプリンタを使い分けたい場合

帳票の用途ごとに出力先プリンタを作成すると、印刷アプリケーションから用紙サイズや用紙向きの異なる帳票出力指示が発生しても、実プリンタで用紙を差し替えることなく、それぞれの用途に対応した出力先プリンタに切り替えて帳票を印刷できるようになります。

用紙サイズの異なる帳票出力に対応している例を次の図に示します。



（凡例）

A1：印刷アプリケーションからのB4縦帳票の印刷指示用に用意したプリンタ（プリンタA1）を示します。

A2：印刷アプリケーションからのA4縦帳票の印刷指示用に用意したプリンタ（プリンタA2）を示します。

重要

1 台の実プリンタに対する出力先プリンタには、すべて同じ IP アドレスを設定するため、複数の出力先プリンタから同時に実プリンタに対して出力できません。複数の出力先プリンタを使用する場合は、複数台が同時に稼働する運用ではなく、常にどれか 1 台が稼働する運用としてください。

また、複数の出力先プリンタから同時に印刷を開始した場合、印刷ジョブの順序が不正となり、出力する帳票が途中で切り替わって印刷結果が不正となることがあります。この場合、印刷する出力先プリンタ以外を一時停止することで、正しい順序で印刷できます。

2 プリンタマネージャの機能

プリンタマネージャを使用した印刷環境の環境設定、および運用を検討するための情報として、プリンタマネージャの機能について説明します。プリンタマネージャでは、用紙交換や障害の発生を画面に通知したり、印刷制御を画面で操作したりできます。

2.1 用紙交換通知について

用紙交換通知の仕組み

用紙交換通知とは、印刷アプリケーションで用紙交換メッセージが設定されている印刷ジョブが登録された場合に、印刷データをプリンタに送信する直前にモニタまたはマネージャが［用紙交換通知］画面を表示して、システム運用者に用紙交換を促すことです。

システム運用者は、［用紙交換通知］画面が表示されたら、プリンタに現在セットされている用紙を確認し、必要に応じて用紙をセットしたあと、［用紙交換通知］画面の［印刷開始］ボタンをクリックすると、印刷を再開できます。［用紙交換通知］画面は、モニタ運用時はモニタコンソール、モニタ Client 運用時はモニタコンソールとモニタクライアント、マネージャ運用時はマネージャコンソール、マネージャ Client 運用時はマネージャコンソールとマネージャクライアントに表示されます。

また、用紙交換後、必要に応じて［用紙交換通知］画面からテスト印刷をすることで、設定した用紙と印刷のずれがないかを確認できます。ずれがないことを確認できたら、先頭ページから印刷を再開できます。なお、テスト印刷では用紙にスタンプを印字することで、テスト印刷と実印刷を区別できます。

メモ

モニタまたはモニタ Client 運用時

用紙交換通知に対するユーザからの操作は、すべてのモニタコンソール、またはモニタクライアントの中で、最初にモニタが受け付けた要求だけを有効にします。以降は、有効にした要求元からの操作だけが、モニタに受け付けられます。そのほかのモニタコンソール、またはモニタクライアントの［用紙交換通知］画面は自動的にクローズされます。

マネージャまたはマネージャ Client 運用時

マネージャが用紙交換通知処理を制御します。すべてのマネージャコンソール、またはマネージャクライアントの中で、最初にマネージャが受け付けた要求だけを有効にします。以降は、有効にした要求元からの操作だけが、マネージャに受け付けられます。そのほかのマネージャコンソール、またはマネージャクライアントの［用紙交換通知］画面は自動的にクローズされます。

なお、マネージャ Client 運用時でも、マネージャコンソールで出力先プリンタを切り替えて印刷ジョブを出力した場合、［用紙交換通知］画面はマネージャコンソールにだけ表示されます。マネージャクライアントで出力先プリンタを切り替えて印刷ジョブを出力した場合、［用紙交換通知］画面はマネージャコンソールとマネージャクライアントに表示されます。

印刷アプリケーションからの用紙交換メッセージの指定形式

［用紙交換通知］画面の用紙交換メッセージは、印刷アプリケーションで指定します。用紙交換メッセージの指定形式を次に示します。

```
<ドキュメント名>△△△FNAM-<用紙交換メッセージ>
```

（凡例）

△：半角空白

モニタは、指定した用紙交換メッセージを次の形式で［用紙交換通知］画面に表示します。

「<用紙交換メッセージ>」の用紙に交換してください。

なお、モニタは、印刷アプリケーションで用紙交換メッセージが指定されていない場合でも、「<ドキュメント名>△△△FNAM-」が指定（「FNAM-」キーワードがドキュメント名に指定）されているときは、「用紙交換が必要である」と判断します。「<ドキュメント名>△△△FNAM-」は、標準用紙交換メッセージともいいます。

「<ドキュメント名>△△△FNAM-」が指定されている場合、モニタは［用紙交換通知］画面に次の内容を表示します。

用紙を交換してください。

［用紙交換通知］画面の表示抑止について

［用紙交換通知］画面は、用紙交換通知の使用有無の指定によって、表示を抑止できます。さらに、用紙交換通知を使用する場合は、印刷アプリケーションから標準用紙交換メッセージが指定されたときにだけ、表示を抑止することもできます。

用紙交換通知に「使用しない」を指定すると、印刷アプリケーションで用紙交換メッセージが指定されているかどうかに関係なく、［用紙交換通知］画面はすべて表示されません。

用紙交換通知に「使用する（ 標準用紙交換メッセージを抑止)」を指定すると、印刷アプリケーションで標準用紙交換メッセージが指定されている場合、［用紙交換通知］画面は表示されませんが、用紙交換メッセージが指定されている場合は表示されます。

［用紙交換通知］画面の表示契機

［用紙交換通知］画面の表示契機は、「FNAM-」キーワードおよび用紙交換メッセージの内容と、印刷ジョブの指定によって異なります。また、［用紙交換通知］画面の表示抑止（［用紙交換通知］の使用有無）を設定しているかどうかによっても異なります。

［用紙交換通知］画面の表示を抑止していない場合

［用紙交換通知］で［使用する］を選択している場合の［用紙交換通知］画面の表示契機を次の表に示します。

表 2-1 ［用紙交換通知］画面の表示契機（[用紙交換通知］で［使用する］を選択している場合）

1 つ前の印刷ジョブ		現在の印刷ジョブの用紙交換メッセージの有無	1 つ前の印刷ジョブと現在の印刷ジョブの用紙交換メッセージの比較	［用紙交換通知］画面の表示
印刷ジョブの有無	用紙交換メッセージの有無			
あり	あり	あり	一致※	表示しない
			不一致	表示する
		なし	比較しない	表示する
	なし	あり	比較しない	表示する
		なし	比較しない	表示しない
なし	なし	あり	比較しない	表示する
		なし		表示しない

注※

次の場合は「用紙交換メッセージなし」として扱われます。このため、1 つ前の印刷ジョブと現在の印刷ジョブの用紙交換メッセージが一致する場合でも［用紙交換通知］画面を表示します。

- 1 つ前の印刷ジョブに対して［用紙交換通知］画面で［印刷中止］ボタンをクリックして印刷をキャンセルした場合
- モニタサービスを再起動した場合

［用紙交換通知］画面の表示を抑止している場合

［用紙交換通知］画面の表示をすべて抑止するか、印刷アプリケーションで標準用紙交換メッセージが指定されている場合にだけ表示を抑止するかを指定できます。

- ［使用しない］

  印刷アプリケーションで用紙交換メッセージが指定されているかどうかに関係なく、［用紙交換通知］画面はすべて表示されません。

- ［使用する（ 標準用紙交換メッセージを抑止)］

  印刷アプリケーションで「<ドキュメント名>△△△FNAM-<用紙交換メッセージ>」が指定されている場合にだけ、［用紙交換通知］画面は表示されます。印刷アプリケーションで「<ドキュメント名>△△△FNAM-」が指定されている場合、［用紙交換通知］画面は表示されません。

［用紙交換通知］で［使用する（ 標準用紙交換メッセージを抑止)］を選択している場合の［用紙交換通知］画面の表示契機を次の表に示します。

表 2-2 ［用紙交換通知］画面の表示契機（[用紙交換通知］で［使用する（ 標準用紙交換メッセージを抑止）を選択している場合）

1 つ前の印刷ジョブ		現在の印刷ジョブの用紙交換メッセージの有無	1 つ前の印刷ジョブと現在の印刷ジョブの用紙交換メッセージの比較	［用紙交換通知］画面の表示
印刷ジョブの有無	用紙交換メッセージの有無			
あり	あり	あり	一致※	表示しない
			不一致	表示する
		なし	比較しない	表示しない
	なし	あり	比較しない	表示する
		なし	比較しない	表示しない
なし	なし	あり	比較しない	表示する
		なし		表示しない

注※

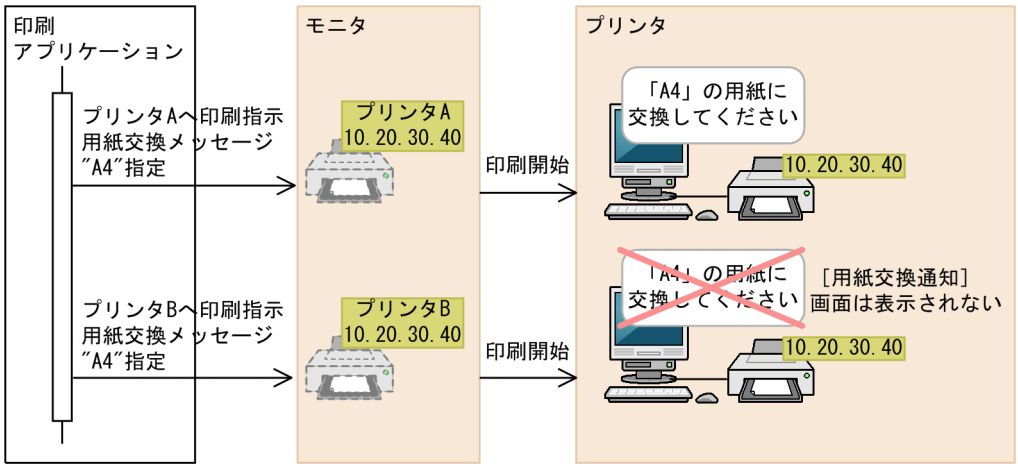
次の場合は「用紙交換メッセージなし」として扱われます。このため、1 つ前の印刷ジョブと現在の印刷ジョブの用紙交換メッセージが一致する場合でも［用紙交換通知］画面を表示します。

- 1 つ前の印刷ジョブに対して［用紙交換通知］画面で［印刷中止］ボタンをクリックして印刷をキャンセルした場合
- モニタサービスを再起動した場合

重要

同一 IP アドレスの出力先プリンタへ帳票を出力する場合、ある印刷ジョブで［用紙交換通知］画面を表示したあとに、同じ内容の用紙交換メッセージが指定された印刷ジョブが続けて印刷されても、［用紙交換通知］画面は表示されません。

例えば、印刷アプリケーションから同じ IP アドレスのプリンタ A とプリンタ B に対して、同じ内容の用紙交換メッセージが指定されたジョブが続けて印刷された場合、プリンタ A の印刷開始時は［用紙交換通知］画面が表示されますが、続けて印刷するプリンタ B の印刷開始時は［用紙交換通知］メッセージが同じ内容のため、［用紙交換通知］画面は表示されません。

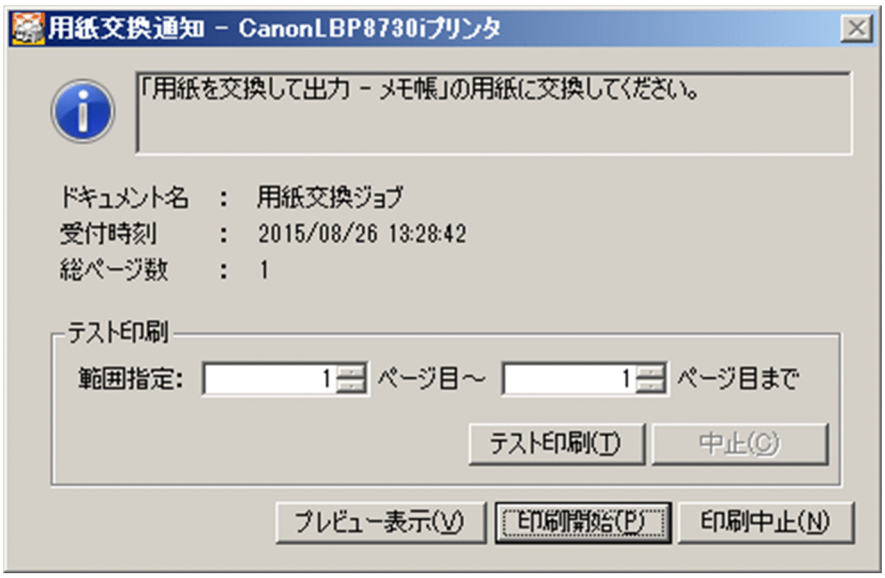


また、ページプリンタで複数トレイを使用している場合に、前回と同じ内容の用紙交換メッセージが指定された印刷ジョブが印刷されると、印刷アプリケーションの出力先トレイの設定が異なっていても、［用紙交換通知］画面は表示されません。

［用紙交換通知］画面について

［用紙交換通知］画面を次の図に示します。

図 2-1　［用紙交換通知］画面（マネージャ運用時の表示例）



［用紙交換通知］画面の表示項目を次の表に示します。

表 2-3　［用紙交換通知］画面の表示項目

項目	内容
タイトル	画面タイトルが「用紙交換通知 - <プリンタ名>」の形式で表示されます。プリンタ名には、モニタの環境設定（［出力先プリンタ新規作成］画面）で指定した出力先プリンタ名が表示されます。

項目		内容
用紙交換メッセージ		印刷アプリケーションで指定した用紙交換メッセージが表示されます。用紙交換メッセージは、「<ドキュメント名>△△△FNAM-<用紙交換メッセージ>」の形式（△：半角空白）で指定されたメッセージを利用して表示します。
[ドキュメント名] ※1		用紙交換通知が発生した印刷ジョブで、印刷ドキュメント名から取得したドキュメント名が表示されます。 なお、用紙交換を示す「△△△FNAM-」（△：半角空白）以降は表示されません。
[受付時刻] ※1		用紙交換通知が発生した印刷ジョブを受け付けた時刻が表示されます。
[総ページ数] ※1		用紙交換通知が発生した印刷ジョブの印刷データのページ数が表示されます。0 ページの場合は「-」が表示されます。
[テスト印刷] ※2	[範囲指定]	テスト印刷する開始ページと終了ページの範囲を数値で指定します。数値は、スピンボタンをクリックして指定することもできます。
	[テスト印刷] ボタン	[範囲指定] で指定した開始ページから終了ページまでの範囲をテスト印刷できます。テスト印刷の場合、モニタの環境設定（[出力先プリンタ設定] 画面の「印刷」タブ）で指定した印字文字（スタンプ印字する文字列）も印刷できます。 なお、ボタン操作時の確認メッセージは、モニタの環境設定（[出力先プリンタ設定] 画面の「印刷」タブ）で表示するかどうかを設定できます。
	[中止] ボタン	テスト印刷中の印刷ジョブが中止されます。
[プレビュー表示] ボタン※2		印刷ジョブの印刷データをプレビュー表示できます。テスト印刷または印刷を開始するページが [プレビュー表示] 画面に表示されます。
[印刷開始] ボタン		用紙交換が発生した印刷ジョブの印刷を開始します。印刷が完了すると、画面を閉じます。 なお、ボタン操作時の確認メッセージは、モニタの環境設定（[出力先プリンタ設定] 画面の「印刷」タブ）で表示するかどうかを設定できます。
[印刷中止] ボタン		用紙交換が発生した印刷ジョブの印刷を中止し、画面を閉じます。 なお、製品によって印刷ジョブの扱いが異なります。モニタまたはモニタ Client の場合は印刷ジョブを削除し、マネージャまたはマネージャ Client の場合は印刷ジョブを削除しません。

注※1

印刷ジョブを識別するための情報です。

注※2

ページを特定できない印刷ジョブの場合、テスト印刷、およびプレビュー表示はできません。

用紙交換通知に対する操作

用紙交換通知に対して、次のどれかの操作ができます。

- 印刷データをプレビュー表示して印刷イメージを確認し、用紙を交換して再印刷する
- 用紙を交換したあと、同一プリンタへテスト印刷し、印字結果を確認してから再印刷する
- 用紙を交換したあと、同一プリンタへ再印刷する
- 用紙交換が発生した印刷ジョブの印刷を中止する

関連項目

- 7.1　XMAP3 からプリンタマネージャを使用するための設定
- 7.2　PDE からプリンタマネージャを使用するための設定
- 7.3　EUR からプリンタマネージャを使用するための設定
- 7.4　CommuniNet からプリンタマネージャを使用するための設定

2.2 障害通知について

障害検知の仕組み

障害通知とは、印刷中にプリンタでエラーが発生した際に、モニタが［障害通知］画面を表示して、システム運用者に障害が発生したことを通知することです。

システム運用者は、［障害通知］画面が表示されたら、プリンタの障害を回復したあと、［障害通知］画面から再印刷を指示することで、印刷ジョブを完了できます。［障害通知］画面は、モニタ運用時はモニタコンソール、モニタ Client 運用時はモニタコンソールとモニタクライアント、マネージャ運用時はマネージャコンソール、マネージャ Client 運用時はマネージャコンソールとマネージャクライアントに表示されます。

メモ

モニタまたはモニタ Client 運用時

障害通知に対するユーザからの操作は、すべてのモニタコンソール、またはモニタクライアントの中で、最初にモニタが受け付けた要求だけを有効にします。以降は、有効にした要求元からの操作だけが、モニタに受け付けられます。そのほかのモニタコンソール、またはモニタクライアントの［障害通知］画面は自動的にクローズされます。

マネージャまたはマネージャ Client 運用時

障害通知に対するユーザからの操作は、すべてのマネージャコンソール、またはマネージャクライアントの中で、最初にマネージャが受け付けた要求だけを有効にします。以降は、有効にした要求元からの操作だけが、マネージャに受け付けられます。そのほかのマネージャコンソール、またはマネージャクライアントの［障害通知］画面は自動的にクローズされます。

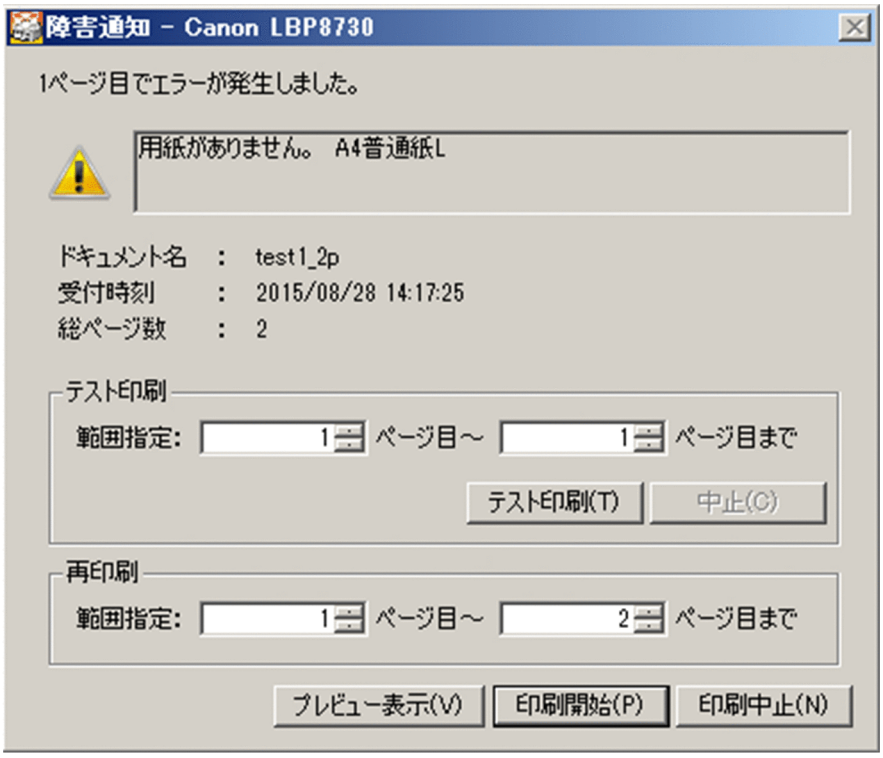
障害通知が表示している状態でマネージャコンソールまたはマネージャクライアントを終了した場合、マネージャコンソールまたはマネージャクライアントの次回起動時に再度障害通知が表示されます。

なお、マネージャ Client 運用時でも、マネージャコンソールで出力先プリンタを切り替えて印刷ジョブを出力した場合、［障害通知］画面はマネージャコンソールにだけ表示されます。マネージャクライアントで出力先プリンタを切り替えて印刷ジョブを出力した場合、［障害通知］画面はマネージャコンソールとマネージャクライアントに表示されます。

［障害通知］画面について

［障害通知］画面を次の図に示します。

図 2-2 ［障害通知］画面（マネージャ運用時の表示例）



［障害通知］画面の表示項目を次の表に示します。

表 2-4 ［障害通知］画面の表示項目

項目	内容
タイトル	画面タイトルが「障害通知 - <プリンタ名>」の形式で表示されます。プリンタ名には、モニタの環境設定（［出力先プリンタ新規作成］画面）で指定した出力先プリンタ名が表示されます。
エラー発生個所通知	エラー発生個所が表示されます。エラー発生個所の表示形式は、モニタの環境設定（［出力先プリンタ設定］画面の「印刷」タブ）で指定した障害リカバリ制御方式によって異なります。 障害リカバリ制御方式が［ページ単位で制御］の場合 xx ページ目でエラーが発生しました。 xx には、障害が発生したページ数が表示されます。 障害リカバリ制御方式が［ページ単位で制御］以外の場合 エラーが発生しました。
OCP メッセージ	プリンタで発生したプリンタエラーの OCP メッセージが表示されます。1 行目には、「プリンタコンソールで上段に表示される OCP メッセージ」、2 行目には、「プリンタコンソールで下段に表示される OCP メッセージ」が表示されます。 ただし、OCP メッセージは取得できないことがあります。OCP メッセージが取得できない場合は、モニタが生成したものが OCP メッセージとして表示されます。 なお、プリンタの監視方式に、標準 MIB、または拡張 MIB のどちらを使用するかによって、出力される OCP メッセージは異なります。

項目		内容
［ドキュメント名］※1		プリンタエラーが発生した印刷ジョブで、印刷ドキュメント名から取得したドキュメント名が表示されます。 なお、用紙交換を示す「△△△FNAM-」（△：半角空白）以降は表示されません。
［受付時刻］※1		プリンタエラーが発生した印刷ジョブを受け付けた時刻が表示されます。
［総ページ数］※1		プリンタエラーが発生した印刷ジョブのページ数が表示されます。0 ページの場合は「-」が表示されます。
［テスト印刷］※2	［範囲指定］	印刷ジョブをテスト印刷する開始ページと終了ページの範囲を数値で指定します。数値は、スピンボタンをクリックして指定することもできます。
	［テスト印刷］ボタン	［範囲指定］で指定した開始ページから終了ページまでの範囲で印刷ジョブをテスト印刷できます。テスト印刷の場合、モニタの環境設定（［出力先プリンタ設定］画面の「印刷」タブ）で指定した印字文字（スタンプ印字する文字列）も印刷できます。 なお、ボタン操作時の確認メッセージは、モニタの環境設定（［出力先プリンタ設定］画面の「印刷」タブ）で表示するかどうかを設定できます。
	［中止］ボタン	テスト印刷中のジョブが中止されます。
［再印刷］※2	［範囲指定］	印刷ジョブを再印刷する開始ページと終了ページの範囲を数値で指定します。数値は、スピンボタンをクリックして指定することもできます。
［プレビュー表示］ボタン※2		印刷ジョブの印刷イメージをプレビュー表示できます。テスト印刷、再印刷または印刷を開始するページが［プレビュー表示］画面に表示されます。
［印刷開始］ボタン		プリンタエラーが発生したジョブの印刷を開始します。 なお、ボタン操作時の確認メッセージは、モニタの環境設定（［出力先プリンタ設定］画面の「印刷」タブ）で表示するかどうかを設定できます。
［印刷中止］ボタン		プリンタエラーが発生したジョブの印刷を中止し、画面を閉じます。 なお、製品によって印刷ジョブの扱いが異なります。モニタまたはモニタ Client の場合は印刷ジョブを削除し、マネージャまたはマネージャ Client の場合は印刷ジョブを削除しません。

注※1

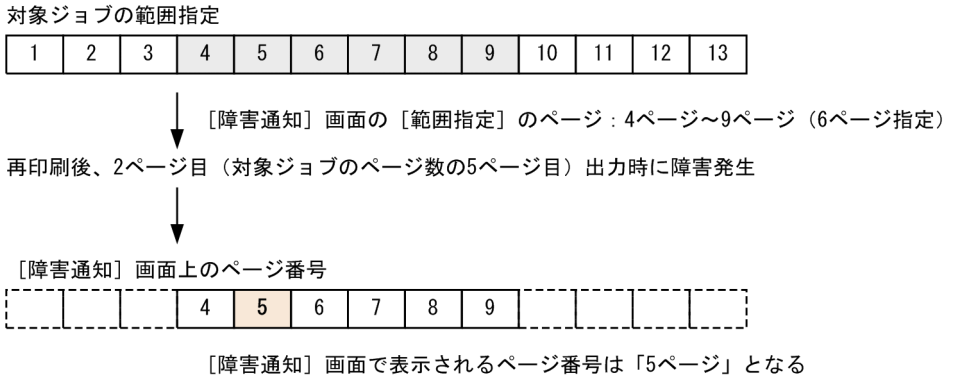
印刷ジョブを識別するための情報です。

注※2

ページを特定できない印刷ジョブの場合、テスト印刷、再印刷およびプレビュー表示はできません。

エラー発生個所のページ番号通知について

［障害通知］画面から［範囲指定］で再印刷した印刷ジョブでプリンタエラーが発生した場合、［障害通知］画面のエラー発生個所通知には、［範囲指定］で指定したページ番号ではなく、範囲指定前（対象ジョブ）のページ番号が表示されます。



障害のリカバリ方法

障害通知に対して、次のどれかの操作を実施して障害をリカバリします。

- プリンタエラーを回復したあと、同一プリンタへテスト印刷し、印字結果を確認してから再印刷する
- プリンタエラーを回復したあと、印刷データをプレビュー表示し、印刷イメージを確認してから再印刷する
- プリンタエラーを回復したあと、同一プリンタへ印刷範囲を指定して再印刷する
- プリンタエラーを回復したあと、同一プリンタへ再印刷する
- プリンタエラーが発生した印刷ジョブの印刷を中止する

なお、モニタの環境設定でプリンタの自動再開に対応する設定を有効にしている場合、障害検知によるプリンタエラーを取り除いたあとは、自動的に［障害通知］画面が閉じられ、プリンタで印刷が再開されます。

この場合、プリンタへ印刷指示したデータをクリアしないため、次の操作はできません。

- プリンタエラーによる障害検知によって表示した［障害通知］画面で、同一プリンタへテスト印刷する
- プリンタエラーによる障害検知によって表示した［障害通知］画面で、同一プリンタへ印刷範囲を指定して再印刷する

重要

ネットワーク系の障害時に、［障害通知］画面で「ツウシンダン」と表示された場合、モニタではプリンタの印刷状況やエラー状態が取得できなくなるため、「異常終了（通信断）」として扱います。このため、モニタの環境設定でプリンタの自動再開に対応する設定を有効にしてい る場合も、自動的に印刷は再開されません。

この場合は、［障害通知］画面で「ツウシンダン」と表示されたジョブの印刷を中止します。その後、ジョブの送信先となるプリンタでプリンタ状態が「オンライン」になっていることを確認したあとに、ジョブの印刷を再開してください。

印刷エラー発生ジョブの自動キャンセル

印刷エラーが発生した印刷ジョブを、自動的にキャンセルして出力先プリンタへの印刷処理を取り消 すことができます。印刷エラーが発生してから、自動的に印刷ジョブをキャンセルするまでの待ち時間は、モニタの環境設定で指定します。

関連項目

- 付録 C　障害通知画面に表示される OCP メッセージ

2.3　印刷データの操作に関する機能について

プリンタマネージャでは、用紙交換通知や障害通知で出力される画面で、印刷データの印刷動作を設定できます。これによって、印刷交換後、またはプリンタエラー回復後に、出力する印刷データの印刷イメージを確認したり、テスト印刷して印字結果を確認したりできます。さらに、印刷範囲をページ指定して印刷することもできます。また、モニタの環境設定では、印刷データの送信処理を多重化する指定もできます。

印刷データの範囲指定印刷

障害通知でプリンタエラーを回復したあと、印刷データの印刷範囲をページ指定して再印刷できます。

印刷データのプレビュー表示

印刷データのプレビューでは、印刷前に印字される内容（印刷イメージ）を確認できます。次の画面操作をすると、印刷データのプレビュー（[プレビュー表示］画面）を表示できます。

モニタおよびモニタ Client の場合

- ［用紙交換通知］画面で［プレビュー表示］ボタンをクリックする
- ［障害通知］画面で［プレビュー表示］ボタンをクリックする

マネージャおよびマネージャ Client の場合

- ［用紙交換通知］画面で［プレビュー表示］ボタンをクリックする※1
- ［障害通知］画面で［プレビュー表示］ボタンをクリックする※1
- マネージャコンソール、またはマネージャクライアントのどちらかの［ジョブ一覧］ウィンドウで印刷ジョブを選択し、右クリックで［プレビュー表示]、またはメニューバーから［ジョブ］－［プレビュー表示］を選択する
- ［条件指定印刷］画面で［プレビュー表示］ボタンをクリックする※2

注※1

［用紙交換通知］画面および［障害通知］画面から表示した［プレビュー表示］画面では、印刷に関する設定は表示されません。

注※2

［条件指定印刷］画面の［プレビュー表示］ボタンは、1 つの印刷ジョブを選択した場合に使用できます。複数の印刷ジョブを選択して条件印刷する場合、[条件指定印刷（複数ジョブ選択)］画面では［プレビュー表示］ボタンは非活性となります。

［プレビュー表示］画面を次の図に示します。

図 2-3　［用紙交換通知］画面からの［プレビュー表示］画面（モニタ運用時の表示例）

図 2-4　マネージャコンソールの［ジョブ一覧］ウィンドウからの［プレビュー表示］画面

［プレビュー表示］画面の表示項目を次の表に示します。

表 2-5 ［プレビュー表示］画面の表示項目

項目	内容	モニタおよびモニタ Client	マネージャおよびマネージャ Client
［ドキュメント名］※1	印刷ドキュメント名から取得したドキュメント名が表示されます。 なお、用紙交換を示す「△△△FNAM-」（△：半角空白）以降は表示されません。	○	○
［受付時刻］※1	印刷ジョブを受け付けた時刻が表示されます。	○	○
検索指定※2	検索テキストボックスに検索する文字列を 259 文字以内で入力して、テキストボックスの横にある ボタンまたは ボタンをクリックして検索方向を指定します。検索文字列が見つかった場合は、文字列が選択状態で表示され、見つからなかった場合は、文字列が検索範囲内で見つからないことを示すメッセージが表示されます。 ボタンをクリックすると、選択状態の文字列の先頭、または現在のページの末尾を検索開始位置として先頭ページまで検索され、 ボタンをクリックすると、選択状態の文字列の末尾、または現在のページの先頭を検索開始位置として最終ページまで検索されます。検索中は、検索処理の進捗を示す画面（［検索中］画面）が表示されます。［検索中］画面の［キャンセル］ボタンをクリックすると、検索処理が中止されます。検索テキストボックスが未入力の場合、 ボタンと ボタンは非活性となります。 また、検索テキストボックスに文字列を指定して［Enter］キーを押した場合は、 ボタンをクリックしたときと同じ動作となります。	○	○
拡大・縮小指定	ページを拡大または縮小するときの倍率を 25%～500%の範囲で指定します。倍率は、コンボボックスのドロップダウンリストから選択、またはコンボボックスに直接入力して指定するか、もしくはコンボボックスの横にある ボタンまたは ボタンをクリックして指定します。 25%で表示している場合は ボタンが、500%で表示している場合は ボタンが、それぞれ非活性となります。 倍率をキーボード操作で指定する場合、拡大するときは［Ctrl］＋［+］キー、縮小するときは［Ctrl］＋［−］キーを使用してください。 また、コンボボックスでは、次の表示指定を選択できます。表示指定で指定した場合も、倍率が 25%～500%の範囲に収まるように表示します。 • 幅に合わせる ページの横幅が［プレビュー表示］画面のプレビュー表示領域内に収まるように表示します。 • 高さに合わせる ページの縦幅が［プレビュー表示］画面のプレビュー表示領域内に収まるように表示します。 • 全体表示	○	○

項目	内容	モニタおよびモニタClient	マネージャおよびマネージャClient
	ページ全体が［プレビュー表示］画面のプレビュー表示領域内に収まるように表示します。		
プレビュー表示※3	対象ページの内容をプレビューします。	○	○
［ページ］	プレビュー表示するページを数値で指定します。/のあとには、総ページ数※1 が表示されます。数値は、テキストボックスの横にある矢印（ または ）をクリックして指定することもできます。 また、 ボタンをクリックすると先頭ページへ移動でき、 ボタンをクリックすると最終ページへ移動できます。先頭ページを表示している場合は ボタンが、最終ページを表示している場合は ボタンが、それぞれ非活性となります。 ページをキーボード操作で指定する場合は、［Home］キー、［End］キー、［Page Up］キー、および［Page Down］キーを使用してください。	○	○
［出力先プリンタ］	印刷ジョブを出力する出力先プリンタをドロップダウンリストから選択します。 ドロップダウンリストには、マネージャが管理しているすべてのプリンタが表示されます。なお、印刷ジョブに設定されているプリンタと、プリンタドライバが異なるプリンタを選択した場合の印刷結果は保証しません。 ［用紙交換通知］画面または［障害通知］画面から［プレビュー表示］画面を表示した場合、この項目は表示されません。	×	○
［範囲指定］	印刷を開始するページと終了するページを数値で指定します。数値は、スピンボタンをクリックして指定することもできます。 ［用紙交換通知］画面または［障害通知］画面から［プレビュー表示］画面を表示した場合、この項目は表示されません。	×	○
［印刷］ボタン	出力先プリンタへ開始ページから終了ページまでの印刷データの印刷を開始し、画面を閉じて［ジョブ一覧］ウィンドウに戻ります。 ［用紙交換通知］画面または［障害通知］画面から［プレビュー表示］画面を表示した場合、この項目は表示されません。	×	○
［閉じる］ボタン	［プレビュー表示］画面を閉じます。	○	○

（凡例）

○：表示します。

×：表示しません。

注※1

印刷ジョブを識別するための情報です。

注※2

検索指定時の注意事項を次に示します。

- 複数行にわたる文字列は検索できません。
- イメージデータで埋め込まれた文字列は検索できません。
- 汎用形式の印刷データの場合、大文字と小文字は区別しません。半角と全角は区別します。
- ESC/P 形式の印刷データの場合、大文字と小文字、半角と全角ともに区別しません。また、プリンタドライバ経由で出力する文字列は検索できません。
- 空白文字は、検索文字列の一部として扱われます。
- 特殊文字は検索できないことがあります。または、半角空白として検索されることがあります。
- 印刷データによっては、プレビュー表示のページ内で検索が前後することがあります。
- ページの表示領域外にある文字列は検索されますが、選択状態では表示されません。
- 検索方向によっては、選択状態の文字列が再検索されて、再度、選択状態で表示されることがあります。

注※3

プレビュー表示の対象は、サポートしている ESC/P コマンド、およびすべての XPS データです。サポートしていない ESC/P コマンドが含まれる印刷ジョブの内容は、正しくプレビューされません。

また、ESC/P 形式の印刷データの場合に、何らかの要因で［プレビュー表示］画面が異常停止して閉じたときは、［プレビュー表示］画面の表示元の画面（［用紙交換通知］画面、［障害通知］画面など）も強制的に終了します。

印刷データのテスト印刷

用紙交換通知で用紙を交換したあとや、障害通知でプリンタエラーを回復したあとに、印刷データを出力先プリンタへテスト印刷して、用紙位置や印字結果を確認できます。テスト印刷時も印刷範囲をページ指定できます。また、本番環境の印刷紙と区別できるように、テスト印刷では、出力する印刷紙にスタンプを印字できます。

印刷データの印刷中止

用紙交換後、またはプリンタエラー回復後に印刷を再開したあと、出力先プリンタへの印刷処理を取り消すことができます。

印刷データ送信処理の多重化

同期印刷（ページ同期およびジョブ同期）の場合に、プリンタからの印刷完了を待たないで、次の印刷データをプリンタへ送信することで、印刷データの送信処理を多重化できます。多重化する印刷データの送信処理数を多重度といいます。ただし、次の印刷データで用紙交換通知が必要な場合は、印刷データを送信しないで、印刷完了を待ってから用紙交換を通知します。多重度は、プリンタの性能を考慮して指定してください。

2.4　印刷ジョブの操作に関する機能について

プリンタマネージャでは、マネージャの環境設定で印刷ジョブの印刷動作を設定できます。これによって、次の画面から印刷ジョブの状態（以降、ジョブ状態といいます）を管理するだけでなく、印刷を保留にした印刷ジョブを任意のタイミングで出力したり、印刷後に保存した印刷ジョブを再印刷したりする運用ができます。

- マネージャコンソール（[日立 プリンタマネージャ］画面）
- マネージャクライアント（[日立 プリンタマネージャ クライアント］画面）

また、マネージャコンソールおよびマネージャクライアントでは、印刷ジョブを印刷する前に、プレビュー表示したり、印刷範囲を指定したりすることもできます。さらに、マネージャのユティリティを利用すると、印刷保留中、および印刷処理済みの印刷ジョブをプリンタ単位のファイルに保管（バックアップ）したり、保管した印刷ジョブを画面に復元（リストア）したりできます。なお、バックアップは、モニタサービス、およびマネージャサービスが停止している時に使用できます。

印刷ジョブの一覧表示

マネージャが管理する印刷ジョブの情報をモニタから受け取って、マネージャコンソールまたはマネージャクライアントの［ジョブ一覧］ウィンドウに表示できます。

- マネージャコンソールの場合

  ［ジョブ一覧］ウィンドウには、マネージャの環境設定で登録した管理対象プリンタに対する印刷ジョブが表示されます。

- マネージャクライアントの場合

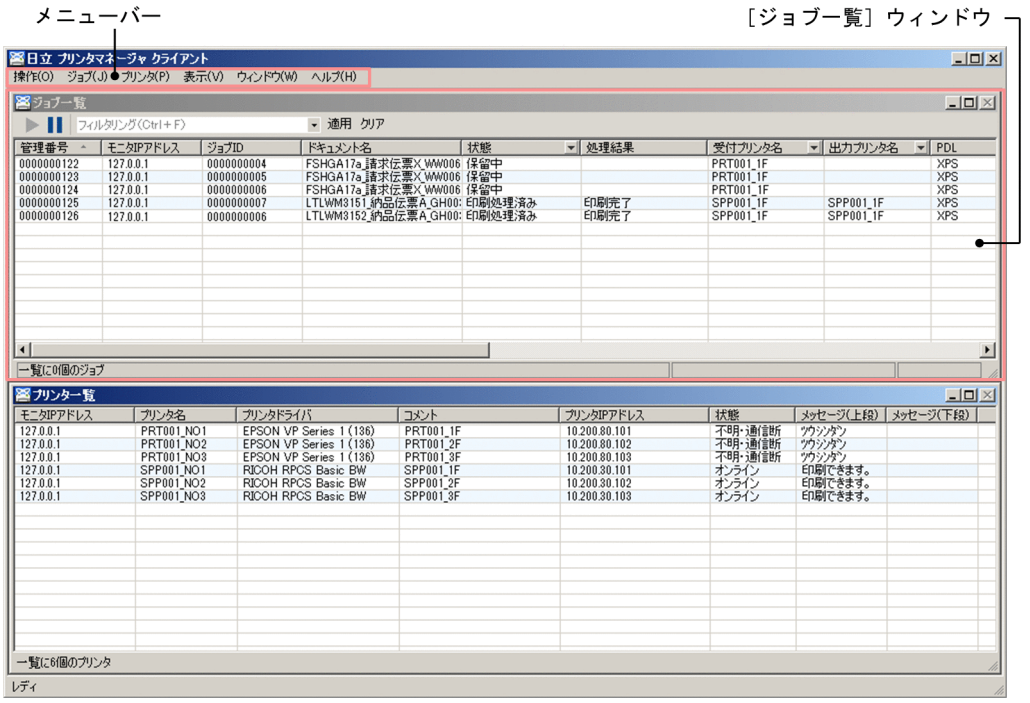
  ［ジョブ一覧］ウィンドウには、マネージャ Client の環境設定で登録した管理対象プリンタに対する印刷ジョブが表示されます。また、管理対象プリンタがマネージャの環境設定で登録していないプリンタのときも、その管理対象プリンタに対する印刷ジョブが［ジョブ一覧］ウィンドウに表示されます。

印刷アプリケーションから Windows スプールフォルダに登録された印刷データは、モニタによってジョブ保存先フォルダへ移動されます。印刷データが保存されたことをマネージャが検知すると、印刷ジョブがマネージャによって登録されて管理できるようになります。

［ジョブ一覧］ウィンドウを次の図に示します。

図 2-5　マネージャコンソールの［ジョブ一覧］ウィンドウ

図 2-6　マネージャクライアントの［ジョブ一覧］ウィンドウ



マネージャコンソールまたはマネージャクライアントでは、メニューバーから次の操作ができます。

- ［操作］：マネージャに対する操作
- ［ジョブ］：印刷ジョブに対する操作
- ［プリンタ］：［プリンター覧］ウィンドウの出力先プリンタに対する操作
- ［表示］：［ジョブ一覧］ウィンドウの表示に対する操作
- ［ウィンドウ］：マネージャコンソールおよびマネージャクライアントの表示に対する操作

- ［ヘルプ］：ヘルプ・バージョン情報の表示に対する操作

表 2-6　マネージャコンソールおよびマネージャクライアントのメニューバーの項目（［ジョブ一覧］ウィンドウ操作時）

項目			内容
［操作］	［終了］		マネージャの場合は、マネージャコンソールを終了します。 マネージャ Client の場合は、マネージャクライアントを終了します。
［ジョブ］	［出力指示］	［全ページ印刷］	選択した印刷ジョブのすべてのページを印刷します。
		［条件指定印刷］	選択した印刷ジョブに対して条件を指定して印刷するための画面（［条件指定印刷］画面または［条件指定印刷（複数ジョブ選択）］画面）を表示します。
	［プレビュー表示］		選択した印刷ジョブの［プレビュー表示］画面を表示します。
	［保留中にする］		選択した印刷ジョブのジョブ状態を「印刷処理済み」から「保留中」に遷移します。状態が「印刷処理済み」以外の印刷ジョブを選択している場合、このメニューは非活性となります。
	［印刷中止］		選択した印刷ジョブの印刷を中止します。
	［削除］		選択した印刷ジョブを削除します。
［表示］	［表示列の設定...］		［ジョブ一覧］ウィンドウに表示する項目や、項目の並びを編集するための画面（［表示列の設定］画面）を表示します。
	［フィルタリング対象属性の設定...］		印刷ジョブをフィルタリングして表示する場合に、そのフィルタリング条件を適用する表示項目を設定するための画面（［フィルタリング対象属性の設定］画面）を表示します。
	［画面レイアウト］	［画面レイアウトを保存する］	現在表示中の画面レイアウト（ウィンドウの表示位置や、表示項目の並び順など）を保存します。保存した画面レイアウトの扱いは、［表示］－［画面レイアウト］－［常に保存時の画面レイアウトで起動する］を選択して、［常に保存時の画面レイアウトで起動する］をチェックしているかどうかによって異なります。 • ［常に保存時の画面レイアウトで起動する］をチェックしている場合 保存した画面レイアウトは、マネージャコンソールまたはマネージャクライアントを終了したあとも保持されます。次回起動時には、保存した画面レイアウトで表示されます。 • ［常に保存時の画面レイアウトで起動する］をチェックしていない場合 保存した画面レイアウトは、マネージャコンソールまたはマネージャクライアントの終了時に破棄されます。次回起動時には、前回終了した時点の画面レイアウトで表示されます。
		［保存時の画面レイアウトに戻す］	現在表示中の画面レイアウトを破棄して、［表示］－［画面レイアウト］－［画面レイアウトを保存する］で保存した画面レイアウトで表示します。

項目			内容
			画面レイアウトを保存していない場合、このメニューは非活性となります。
		[常に保存時の画面レイアウトで起動する]	マネージャコンソールまたはマネージャクライアント起動時に、[表示] − [画面レイアウト] − [画面レイアウトを保存する] で保存した画面レイアウトで表示するかどうかを指定します。メニューにチェックが付くと保存済みの画面レイアウトで表示され、チェックが外れると前回終了時の画面レイアウトで表示されます。なお、一度も [画面レイアウトを保存する] を設定していない場合は、非活性となります。
	[ジョブ一覧ウィンドウの追加...]		新規に [ジョブ一覧] ウィンドウを追加するための画面 ([ジョブ一覧ウィンドウの追加] 画面) を表示します。 マネージャコンソールまたはマネージャクライアントに表示できる [ジョブ一覧] ウィンドウの数は、最大 64 個です。64 個を超えると、[ジョブ一覧ウィンドウの追加] 画面は表示できません。
	[ジョブ一覧ウィンドウの複製...]		選択した [ジョブ一覧] ウィンドウの設定を引き継いだ [ジョブ一覧] ウィンドウを作成するための画面 ([ジョブ一覧ウィンドウの複製] 画面) を表示します。 [ジョブ一覧] ウィンドウを選択していない場合、このメニューは非活性となります。 マネージャコンソールまたはマネージャクライアントに表示できる [ジョブ一覧] ウィンドウの数は、最大 64 個です。64 個を超えると、[ジョブ一覧ウィンドウの複製] 画面は表示できません。
	[ジョブ一覧ウィンドウの削除]		[ジョブ一覧] ウィンドウをマルチウィンドウで表示している場合に、選択した [ジョブ一覧] ウィンドウを削除します。 [ジョブ一覧] ウィンドウが 1 つの場合、このメニューは非活性となります。[ジョブ一覧] ウィンドウが 2 つ以上の場合に、[ジョブ一覧] ウィンドウを選択していないときも、このメニューは非活性となります。
	[ジョブ一覧の自動更新を一時停止]		モニタから更新通知を受け取ったタイミングで、[ジョブ一覧] ウィンドウの情報は自動更新されます。この更新通知による [ジョブ一覧] ウィンドウの自動更新を一時停止します。[ジョブ一覧の自動更新を一時停止] のチェックを外すと、更新通知による [ジョブ一覧] ウィンドウの自動更新を開始します。この設定はアクティブな [ジョブ一覧] ウィンドウにだけ適用されます。
[ウィンドウ]	[ウィンドウの整列]		[ジョブ一覧] ウィンドウ、および [プリンター一覧] ウィンドウを上下に並べて表示します。[プリンター一覧] ウィンドウを最上段に、[ジョブ一覧] ウィンドウを下段に配置します。最小サイズ、および最大化サイズで表示されている場合は、最小化および最大化を解除したサイズで再配置されます。
	[プリンター一覧]		[プリンター一覧] ウィンドウをアクティブ状態にします。[プリンター一覧] ウィンドウは、[ウィンドウ] メニューの最上段に表示されます。最小サイズで表示されている場合は、最小化を解除したサイズでアクティブ状態にします。最大サイズで表示されている場合は、そのままのサイズで [プリンター一覧] ウィンドウに表示を切り替えます。

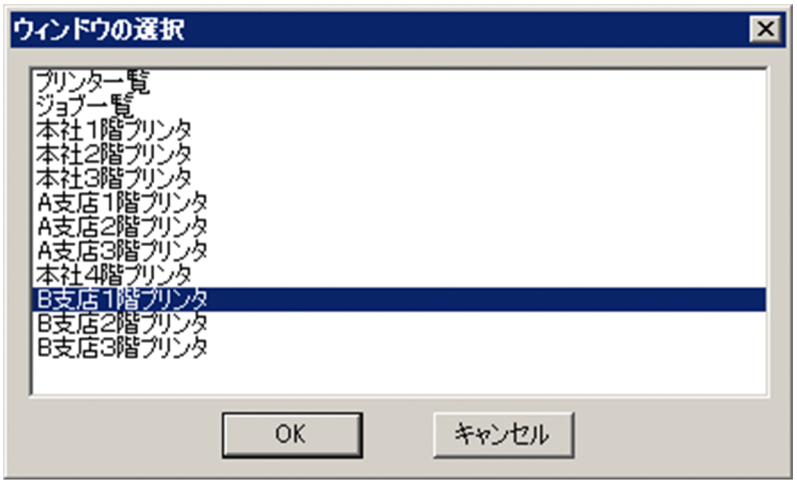
項目		内容
	<［ジョブ一覧］ウィンドウのウィンドウタイトル>	選択したウィンドウタイトルの［ジョブ一覧］ウィンドウをアクティブ状態にします。［ジョブ一覧］ウィンドウは、［ウィンドウ］メニューの下段に表示されます。最小サイズで表示されている場合は、最小化を解除したサイズでアクティブ状態にします。最大サイズで表示されている場合は、そのままのサイズで［ジョブ一覧］ウィンドウに表示を切り替えます。
	［その他のウィンドウ...］	アクティブ状態にする［プリンター一覧］ウィンドウ、または［ジョブ一覧］ウィンドウを選択するための画面（［ウィンドウの選択］画面※）を表示します。このメニューは、登録されている［プリンター一覧］ウィンドウ、および［ジョブ一覧］ウィンドウの合計が 10 個以上の場合に表示されます。
［ヘルプ］	［バージョン情報］	バージョン情報を表示します。

注※

［ウィンドウの選択］画面は、メニューバーの［ウィンドウ］メニューから［その他のウィンドウ...］を選択すると表示されます。［その他のウィンドウ...］は、登録されている［プリンター一覧］ウィンドウ、および［ジョブ一覧］ウィンドウの合計が 10 個以上の場合に表示されます。

［ウィンドウの選択］画面を次の図に示します。

図 2-7 ［ウィンドウの選択］画面



［ウィンドウの選択］画面には、［プリンター一覧］ウィンドウが最上段に、［ジョブ一覧］ウィンドウのウィンドウタイトルが下段にランダムで表示されます。［ウィンドウの選択］画面の［ジョブ一覧］ウィンドウの並びは、［ウィンドウの整列］で表示されるウィンドウの並びと異なることがあります。

マネージャコンソールおよびマネージャクライアントの［ジョブ一覧］ウィンドウでは、印刷ジョブのさまざまな情報を表示します。表示項目については、「5.5.1　印刷ジョブの状態を確認する」を参照してください。

重要

01-70 より前のマネージャで表示項目の順序を入れ替えている場合、次の項目は、[ジョブ一覧] ウィンドウに表示されません。

- 印刷受付日時
- 印刷回数
- 部数
- コンピュータ名
- ユーザ名

これらの項目を表示する場合は、[表示列の設定] 画面の [ジョブ一覧] タブで、表示する項目のチェックボックスをチェックしてください。

また、マネージャコンソールおよびマネージャクライアントは、定期的にモニタから印刷ジョブの状態（以降、ジョブ状態といいます）に関する更新通知を受け取って、[ジョブ一覧] ウィンドウを更新します。システム運用者は、この情報を基に、ジョブ状態を確認して出力指示したり、印刷の進捗を管理したりする運用ができます。

ジョブ状態の意味を次の表に示します。

表 2-7　ジョブ状態の意味

ジョブ状態	意味
ジョブ登録中	マネージャが、ジョブ保存先フォルダへ格納されたジョブを検知し、ジョブ登録処理および印刷前保留設定を判定している状態です。
保留中	管理対象プリンタで印刷前保留が設定されているため、印刷ジョブの印刷を保留にしている状態です。 マネージャコンソールまたはマネージャクライアントのメニューから印刷ジョブに対して出力指示をすると、印刷を開始できます。
印刷要求開始待ち	「保留中」、「印刷処理済み」または「ジョブ登録中」の印刷ジョブに対して、マネージャコンソールまたはマネージャクライアントから出力指示され、マネージャがモニタへの印刷要求処理の開始を待機している状態です。
印刷要求中	マネージャがモニタへ印刷要求を送信している状態です。
印刷データ作成中	実プリンタへ送信する印刷データをモニタが作成している状態です。
印刷データ送信待ち	モニタで印刷データの作成が完了し、実プリンタへの送信を待機している状態です。
用紙交換待ち	印刷開始前に、用紙交換通知に対するユーザの応答を待機している状態です。
印刷データ送信開始	モニタが実プリンタへ印刷データの送信を開始した状態です。 モニタがプリンタを監視するタイミングによっては、マネージャへ通知されないことがあります。
印刷待ち	実プリンタへ印刷データの送信が完了し、実際に印刷が開始されるまで待機している状態です。

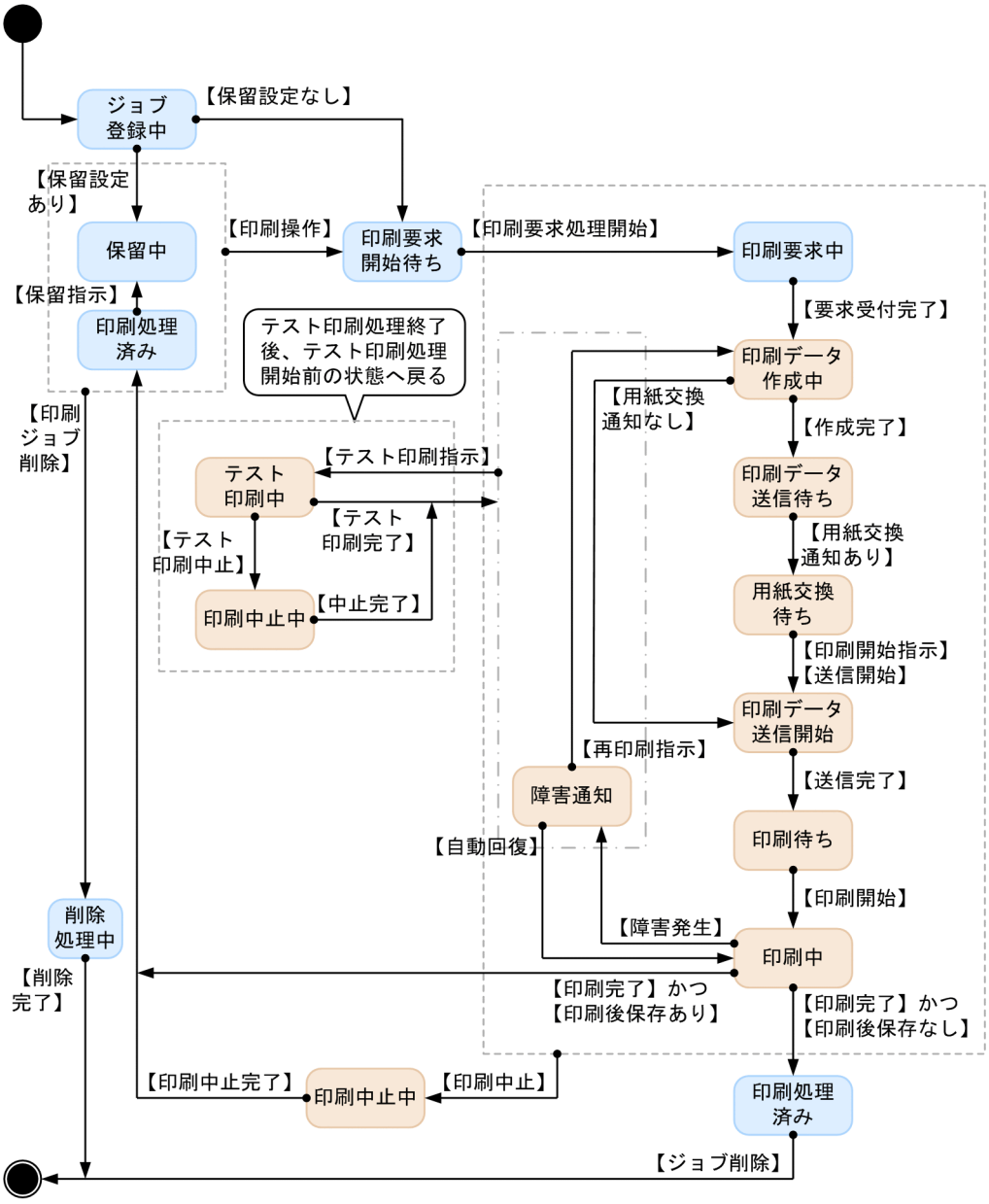
ジョブ状態	意味
	モニタがプリンタを監視するタイミングによっては、マネージャへ通知されないことがあります。
印刷中	実プリンタで印刷している状態です。印刷の進捗が取得できる場合は「<印刷の進捗率>%」が表示されます。 モニタがプリンタを監視するタイミングによっては、マネージャへ通知されないことがあります。また、非同期制御の場合、マネージャへ通知されません。
印刷処理済み	実プリンタで印刷処理が完了した状態です。印刷処理を完了した要因が［処理結果］に表示されます。 ［処理結果］に表示される要因を次に示します。 • 印刷完了 • 印刷中止（未印刷） • 印刷中止（印刷） • 受付エラー • 異常終了（通信断） • 異常終了（内部処理エラー）
障害通知	実プリンタで印刷中に発生した障害通知に対するユーザの応答を待機している状態です。
印刷中止中	印刷処理中の印刷ジョブを中止している状態です。
テスト印刷中	モニタがテスト印刷用の印刷データを作成し、実プリンタへ印刷している状態です。
削除処理中	マネージャが印刷ジョブをジョブ保存先フォルダから削除している状態です。

注

印刷要求中、印刷データ作成中、印刷データ送信待ち、用紙交換待ち、印刷データ送信開始、印刷待ち、印刷中、および障害通知を総称して、「出力処理中」と表記することもあります。

ジョブ状態の状態遷移を次の図に示します。

図 2-8　ジョブ状態の状態遷移



[ジョブ一覧] ウィンドウでは、運用に合わせてマルチウィンドウで表示したり、表示項目をカスタマイズしたり、表示内容を絞り込んだりソートしたりして、画面の表示をカスタマイズできます。カスタマイズした画面レイアウトを保存しておくと、マネージャコンソールまたはマネージャクライアント起動時に [ジョブ一覧] ウィンドウを保存済みのレイアウトで表示したり、編集後に保存済みのレイアウトに戻したりする運用もできます。

ジョブ一覧のマルチウィンドウ表示

マネージャコンソールまたはマネージャクライアントでは、複数の［ジョブ一覧］ウィンドウを同時に表示できます。これによって、プリンタ単位にウィンドウを分けてジョブを監視するなど、運用目的に合わせてカスタマイズしたウィンドウを複数表示できます。

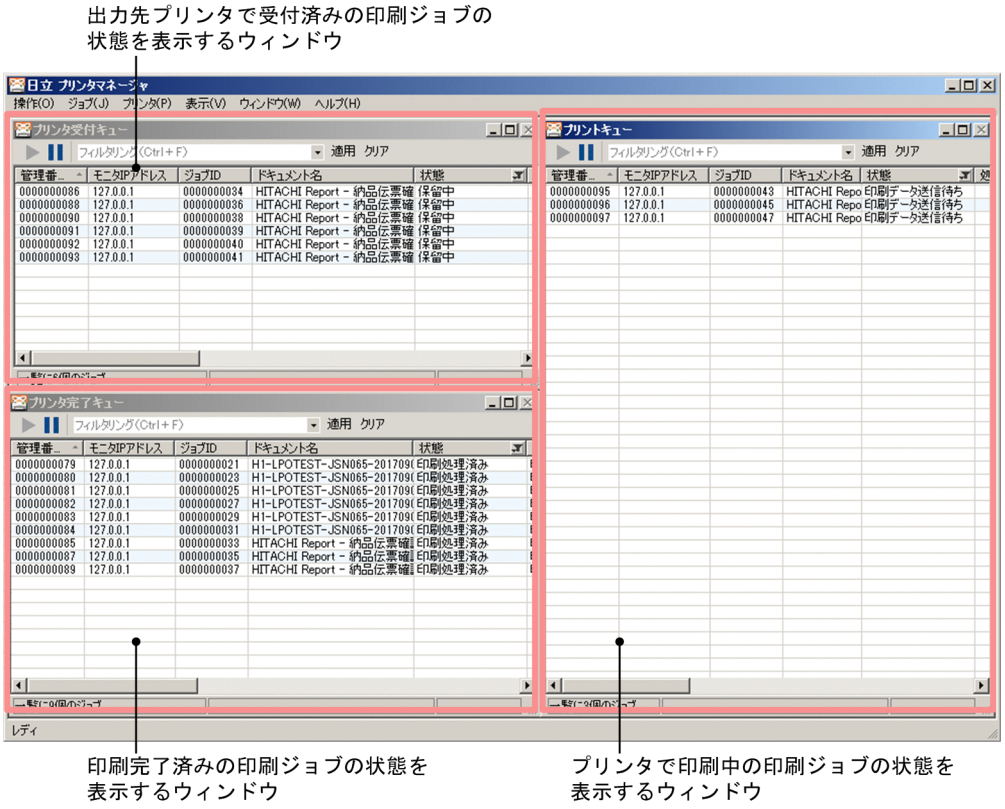
同時に表示する［ジョブ一覧］ウィンドウは、次のどちらかの方法で作成します。

- 新規に［ジョブ一覧］ウィンドウを追加する
- ［ジョブ一覧］ウィンドウを複製する

マルチウィンドウで表示できる［ジョブ一覧］ウィンドウの数は、最大 64 画面です。管理対象のプリンタが変更になった場合など、不要になった［ジョブ一覧］ウィンドウは、メニューバーから［表示］－［ジョブ一覧ウィンドウの削除］を選択して削除できます。

ジョブ一覧のマルチウィンドウ表示の運用例を次に示します。

運用例 1：ジョブ状態ごとに［ジョブ一覧］ウィンドウを分けて表示する



この例では、次に示す 3 つのウィンドウを表示します。これによって、印刷ジョブを印刷前、印刷中、印刷後に分けて管理できます。

1. 出力先プリンタで受付済みの印刷ジョブ（プリンタ受付キュー）の状態を表示するウィンドウ

   表示項目の［状態］で「ジョブ登録中」、「保留中」、「印刷要求開始待ち」、「印刷要求中」、「印刷データ作成中」を選択したフィルタを設定する

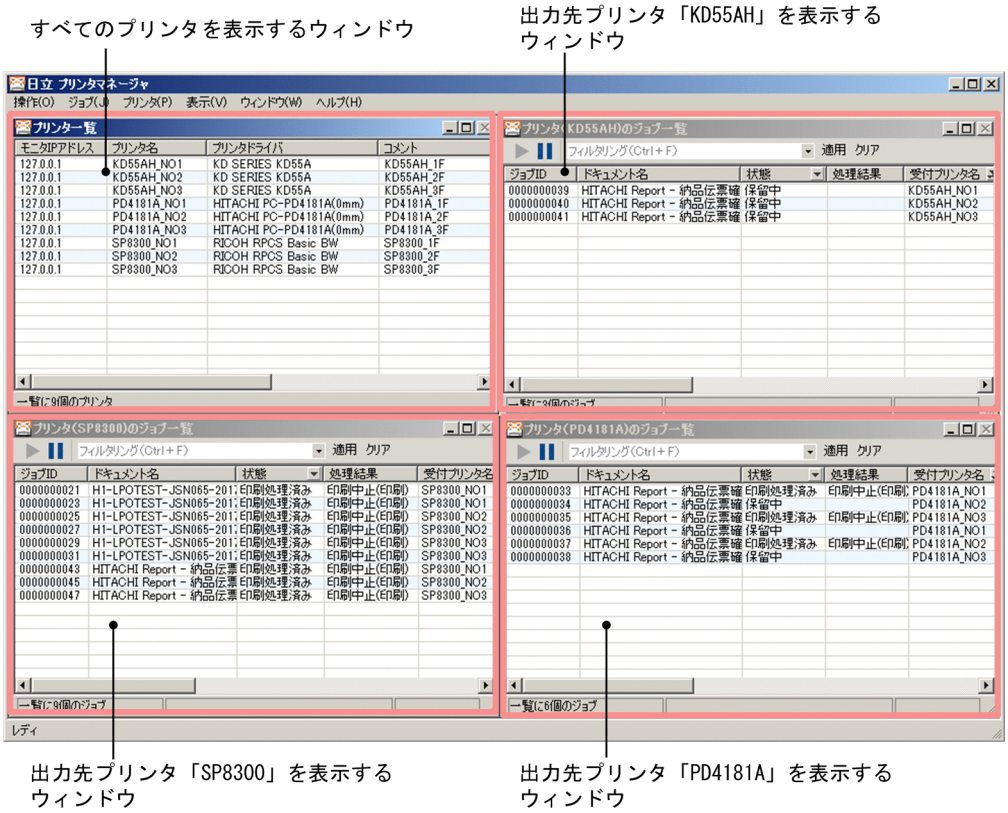
2. 印刷完了済みの印刷ジョブ（プリンタ完了キュー）の状態を表示するウィンドウ

表示項目の［状態］で「印刷処理済み」、「削除処理中」を選択したフィルタを設定する

3. プリンタで印刷中の印刷ジョブ（プリントキュー）の状態を表示するウィンドウ

   表示項目の［状態］で「印刷データ送信待ち」、「印刷データ送信開始」、「印刷待ち」、「印刷中」、「テスト印刷中」、「用紙交換待ち」、「障害通知」、「印刷中止中」を選択したフィルタを設定する

運用例 2：出力先プリンタごとに［ジョブ一覧］ウィンドウを分けて表示する



この例では、すべてのプリンタを表示するウィンドウと、次に示す 3 つのウィンドウを表示します。これによって、印刷ジョブの状態を確認して、出力先プリンタによる印刷を一時停止したり、再開したりする運用ができます。

1. 出力先プリンタ「KD55AH」を表示するウィンドウ

   表示項目の［受付プリンタ名］で出力先プリンタ「KD55AH」のプリンタ名を選択したフィルタを設定する

2. 出力先プリンタ「SP8300」を表示するウィンドウ

   表示項目の［受付プリンタ名］で出力先プリンタ「SP8300」のプリンタ名を選択したフィルタを設定する

3. 出力先プリンタ「PD4181A」を表示するウィンドウ

   表示項目の［受付プリンタ名］で出力先プリンタ「PD4181A」のプリンタ名を選択したフィルタを設定する

[ジョブ一覧] ウィンドウの新規追加

新規に［ジョブ一覧］ウィンドウを追加できます。この場合は、［ジョブ一覧ウィンドウの追加］画面で、追加するウィンドウのタイトルを指定します。

［ジョブ一覧ウィンドウの追加］画面を次の図に示します。

図 2-9 ［ジョブ一覧ウィンドウの追加］画面

表 2-8 ［ジョブ一覧ウィンドウの追加］画面の表示項目

項目	内容
［タイトル］	追加する［ジョブ一覧］ウィンドウのタイトルバーに表示する名前（ウィンドウタイトル）を、最大 200 文字のテキストで入力します。 空白文字だけのウィンドウタイトルは指定できません。ウィンドウタイトルの先頭および末尾にある、全角および半角の空白文字は、［ジョブ一覧］ウィンドウを追加する際に削除されます。ウィンドウタイトルは、ほかの［ジョブ一覧］ウィンドウと重複しないように入力してください。
［OK］ボタン	指定した内容を有効にして、画面を閉じます。［タイトル］がタイトルバーに設定された［ジョブ一覧］ウィンドウが新たに作成されます。
［キャンセル］ボタン	指定した内容を破棄して、画面を閉じます。

[ジョブ一覧] ウィンドウの複製

選択した［ジョブ一覧］ウィンドウと同じ設定の［ジョブ一覧］ウィンドウを複製できます。この場合は、［ジョブ一覧ウィンドウの複製］画面で、複製先のウィンドウのタイトルを指定します。複製先の［ジョブ一覧］ウィンドウには、複製元の［ジョブ一覧］ウィンドウの設定が引き継がれます。ウィンドウの表示をカスタマイズした［ジョブ一覧］ウィンドウを複数作成する場合などに使用します。

［ジョブ一覧ウィンドウの複製］画面を次の図に示します。

図 2-10 ［ジョブ一覧ウィンドウの複製］画面

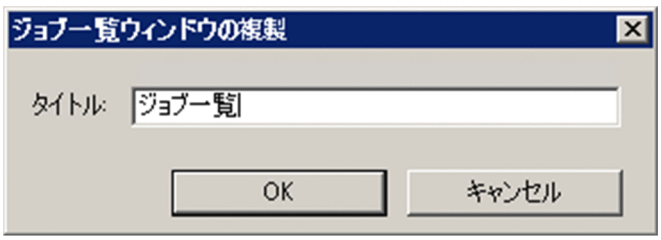


表 2-9 ［ジョブ一覧ウィンドウの複製］画面の表示項目

項目	内容
［タイトル］	複製元の［ジョブ一覧］ウィンドウのウィンドウタイトルが表示されます。複製先の［ジョブ一覧］ウィンドウのタイトルバーに表示する名前（ウィンドウタイトル）を、最大 200 文字のテキストで入力します。 空白文字だけのウィンドウタイトルは指定できません。ウィンドウタイトルの先頭および末尾にある、全角および半角の空白文字は、［ジョブ一覧］ウィンドウを追加する際に削除されます。ウィンドウタイトルは、ほかの［ジョブ一覧］ウィンドウと重複しないように入力してください。
［OK］ボタン	指定した内容を有効にして、画面を閉じます。［タイトル］がタイトルバーに設定された［ジョブ一覧］ウィンドウが複製されます。
［キャンセル］ボタン	指定した内容を破棄して、画面を閉じます。

［ジョブ一覧］ウィンドウの削除

マネージャコンソールまたはマネージャクライアントで選択した［ジョブ一覧］ウィンドウを削除できます。

次の条件を満たす場合に、メニューバーから［表示］－［ジョブ一覧ウィンドウの削除］を選択したときの確認メッセージで［はい］ボタンをクリックすると、選択した［ジョブ一覧］ウィンドウが削除されます。

- ［ジョブ一覧］ウィンドウが 2 つ以上ある
- ［ジョブ一覧］ウィンドウを選択している

ジョブ一覧の表示項目の追加

印刷アプリケーションで登録される印刷ジョブの印刷ドキュメント名には、「ホスト ID」、「ジョブ通し番号」、「ページ数」、「帳票名」などの要素が区切り文字（_）で区切って設定されていることがあります。この印刷アプリケーションで設定された要素を印刷ジョブの印刷ドキュメント名から抽出して、マネージャコンソールまたはマネージャクライアントの［ジョブ一覧］ウィンドウの項目として表示できます。これによって、追加した表示項目で印刷ジョブを絞り込んで表示するなど、運用目的に合わせた印刷管理がしやすくなります。

［ジョブ一覧］ウィンドウに表示項目を追加する場合は、印刷ドキュメント名を区切り文字（_）で前から区切ったときの抽出位置と項目名の組み合わせを、マネージャの環境設定の［ジョブ一覧ウィンドウ共通設定］画面の［項目追加］タブで登録します。［ジョブ一覧］ウィンドウに追加できる項目数は、5 個（印刷ドキュメント名を区切り文字（_）で前から区切ったときの 5 番目まで）です。

［項目追加］タブで登録した項目は、すべてのマネージャコンソールおよびマネージャクライアントの［ジョブ一覧］ウィンドウに表示されます。これらの項目は、リストア時に選択するジョブの一覧にも表示でき、印刷ログにも出力されます。また、運用時には、ほかの表示項目と同様に、［項目追加］タブで登録した項目も［表示列の設定］画面で表示順序をカスタマイズしたり、［フィルタリング対象属性の設定］画面でフィルタリング条件を適用する項目として指定したりできます。

ジョブ一覧の表示項目のカスタマイズ

［ジョブ一覧］ウィンドウでは、どの項目を表示するか、どのような順序で項目を表示するかを、ログインユーザごとに［表示列の設定］画面でカスタマイズできます。

［表示列の設定］画面（［ジョブ一覧］タブ）を次の図に示します。ここで示す［表示列の設定］画面は、マネージャの環境設定で［ジョブ一覧］ウィンドウの追加項目として「ホスト ID」を指定している例です。

図 2-11 ［表示列の設定］画面（［ジョブ一覧］タブ）

［表示列の設定］画面の表示項目を次の表に示します。

表 2-10 ［表示列の設定］画面の表示項目

項目	内容
［対象ジョブ一覧］コンボボックス	編集対象の［ジョブ一覧］ウィンドウをドロップダウンリストから選択します。

項目	内容
	ドロップダウンリストには、「(すべてのジョブ一覧)」と、［ジョブ一覧］ウィンドウの一覧が表示されます。［ジョブ一覧］ウィンドウの名称は、大文字と小文字は区別されませんが、全角と半角は区別されて表示されます。ドロップダウンリストの内容は複数選択できます。 「(すべてのジョブ一覧)」をチェックすると、「(すべてのジョブ一覧)」以外もすべてチェックされます。「(すべてのジョブ一覧)」以外でどれか 1 つでもチェックを外すと、「(すべてのジョブ一覧)」のチェックも外されます。
［詳細］	［ジョブ一覧］ウィンドウに項目を表示するかどうかを指定します。また、［ジョブ一覧］ウィンドウの左から表示する項目の順序を［詳細］の上から順に指定します。 ［詳細］には、次の項目が順番に表示されます。 1. 製品の表示項目 2. 01-70 以降に追加された製品の表示項目（印刷受付日時、印刷回数、部数、コンピュータ名およびユーザ名） 3. ［ジョブ一覧ウィンドウ共通設定］画面の［項目追加］タブで追加した項目※ なお、次の場合は、項目名の重複チェックをしないため、両方の項目が表示されます。 • 製品の表示項目と［項目追加］タブで追加した項目が重複している場合 • ［項目追加］タブで追加した項目同士が重複している場合 ［ジョブ一覧］ウィンドウに表示する項目はチェックボックスをチェックし、表示しない項目はチェックボックスのチェックを外してください。ただし、項目のチェックをすべて外すことはできません。 ［ジョブ一覧］ウィンドウに表示する項目の並び順を変更する場合は、項目を選択して［上へ］ボタン、または［下へ］ボタンで移動してください。 表示項目については、「5.5.1　印刷ジョブの状態を確認する」を参照してください。
［上へ］ボタン	［詳細］で選択状態の項目の表示位置を上へ移動します。項目は複数選択できません。
［下へ］ボタン	［詳細］で選択状態の項目の表示位置を下へ移動します。項目は複数選択できません。
［OK］ボタン	指定した内容を有効にして、画面を閉じます。フィルタリングが適用されていた場合は、フィルタリングされた状態で印刷ジョブを表示します。
［キャンセル］ボタン	指定した内容を破棄して、画面を閉じます。

注※

［ジョブ一覧ウィンドウ共通設定］画面の［項目追加］タブで追加した項目は、「*<項目名>」の形式で表示されます。「*<項目名>」のデフォルト値は、チェックボックスをチェックした状態です。項目名が長いときは、［表示列の設定］画面に表示できる範囲まで表示されます。

ジョブ一覧のフィルタリング条件の設定

［ジョブ一覧］ウィンドウでは、フィルタリング条件を指定すると、印刷ジョブを絞り込んで表示できます。フィルタリング対象となった表示項目は、背景色が変わります。ジョブ一覧をフィルタリングして表示すると、操作対象の印刷ジョブを特定しやすくなります。

フィルタリング条件は［ジョブ一覧］ウィンドウのツールバーで指定します。また、フィルタリング条件を適用する表示項目を、［フィルタリング対象属性の設定］画面で指定できます。フィルタリング条件もフィルタリング条件を適用する表示項目も、ログインユーザごとに設定できます。

重要

フィルタリング条件と、 を使用した列のフィルタリングを同時に設定した場合、［ジョブ一覧］ウィンドウの印刷ジョブは、次の順序で絞り込まれ、すべての絞り込み条件を満たすものだけが表示されます。

1. で設定した列のフィルタリングによる絞り込み
2. フィルタリングコンボボックスの設定内容による絞り込み

［ジョブ一覧］ウィンドウのツールバーを次の図に示します。

図 2-12 ［ジョブ一覧］ウィンドウのツールバー

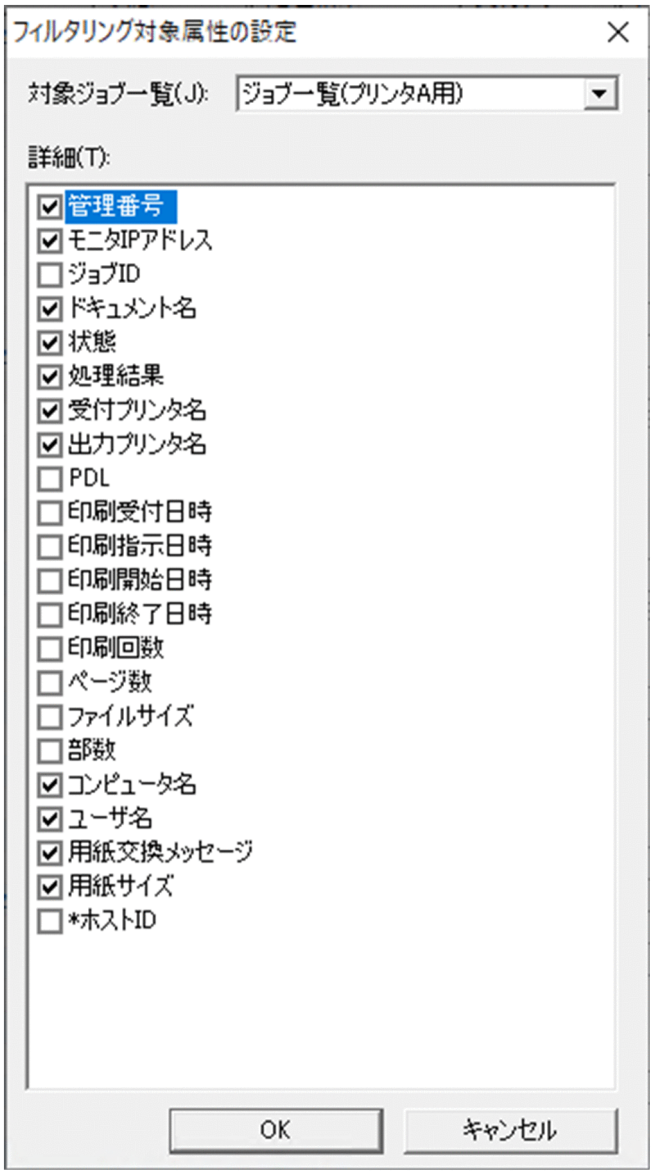
［ジョブ一覧］ウィンドウのツールバーの表示項目を次の表に示します。

表 2-11 ［ジョブ一覧］ウィンドウのツールバーの表示項目

項目	内容
	［ジョブ一覧］ウィンドウの自動更新を一時停止します。ボタンが非活性（ ）に変わり、マネージャまたはマネージャ Client がモニタから更新通知を受け取っても、［ジョブ一覧］ウィンドウの表示は更新されません。この設定は操作対象の［ジョブ一覧］ウィンドウにだけ適用されます。
	［ジョブ一覧］ウィンドウの自動更新を開始します。ボタンが非活性（ ）に変わり、マネージャまたはマネージャ Client がモニタから更新通知を受け取ったタイミングで、［ジョブ一覧］ウィンドウの表示が更新されます。この設定は操作対象の［ジョブ一覧］ウィンドウにだけ適用されます。
フィルタリングコンボボックス	印刷ジョブをフィルタリングして表示する条件を、最大 200 文字のテキストで入力します。複数の条件を指定する場合はテキストを半角の空白文字で区切ります。複数の条件を指定した場合、すべての条件を満たす（AND 検索された）印刷ジョブが表示されます。文字列の大文字と小文字は区別されませんが、全角と半角は区別されます。半角の空白文字を含むテキストを入力する場合は、ダブルクォーテーション（"）で囲んでください。 フィルタリング条件は、ログインユーザごとに 30 件まで履歴が表示されます。この設定は操作対象の［ジョブ一覧］ウィンドウにだけ適用されます。
［適用］ボタン	フィルタリングコンボボックスに指定した条件で絞り込んだ印刷ジョブを［ジョブ一覧］ウィンドウに表示します。フィルタリングコンボボックスに何も入力されていない場合は、［ジョブ一覧］ウィンドウにすべての印刷ジョブが表示されます。
［クリア］ボタン	フィルタリングコンボボックスのテキストが削除され、［ジョブ一覧］ウィンドウにすべての印刷ジョブが表示されます。

［フィルタリング対象属性の設定］画面を次の図に示します。ここで示す［フィルタリング対象属性の設定］画面は、マネージャの環境設定で［ジョブ一覧］ウィンドウの追加項目として「ホスト ID」を指定している例です。

図 2-13 ［フィルタリング対象属性の設定］画面



［フィルタリング対象属性の設定］画面の表示項目を次の表に示します。

表 2-12 ［フィルタリング対象属性の設定］画面の表示項目

項目	内容
［対象ジョブ一覧］コンボボックス	編集対象の［ジョブ一覧］ウィンドウをドロップダウンリストから選択します。 ドロップダウンリストには、「(すべてのジョブ一覧)」と、［ジョブ一覧］ウィンドウの一覧が表示されます。［ジョブ一覧］ウィンドウの名称は、大文字と小文字は区別されませんが、全角と半角は区別されて表示されます。ドロップダウンリストの内容は複数選択できます。

項目	内容
	「(すべてのジョブ一覧)」をチェックすると、「(すべてのジョブ一覧)」以外もすべてチェックされます。「(すべてのジョブ一覧)」以外でどれか 1 つでもチェックを外すと、「(すべてのジョブ一覧)」のチェックも外されます。
［詳細］	［ジョブ一覧］ウィンドウの表示項目をフィルタリング対象とするかどうかを指定します。 ［詳細］には、［表示列の設定］画面に指定した並び順で項目が表示されます。［表示列の設定］画面でチェックボックスのチェックを外した項目は、フィルタリング対象に指定できないため、表示されません。※ フィルタリング対象とする項目はチェックボックスをチェックし、対象としない項目はチェックボックスのチェックを外してください。すべての項目でチェックボックスのチェックを外した場合は、条件を指定してもフィルタリングされません。 表示項目については、「5.5.1　印刷ジョブの状態を確認する」を参照してください。
［OK］ボタン	指定した内容を有効にして、画面を閉じます。フィルタリングが適用されていた場合は、フィルタリングされた状態で印刷ジョブを表示します。
［キャンセル］ボタン	指定した内容を破棄して、画面を閉じます。

注※

［ジョブ一覧ウィンドウ共通設定］画面の［項目追加］タブで追加した項目は、「*<項目名>」の形式で表示されます。「*<項目名>」のデフォルト値は、チェックボックスのチェックを外した状態です。項目名が長いときは、［フィルタリング対象属性の設定］画面に表示できる範囲で表示されます。［フィルタリング対象属性の設定］画面で条件を指定したあと、［ジョブ一覧ウィンドウ共通設定］画面の［項目追加］タブで項目名を変更しても、指定したフィルタリング条件はそのまま引き継がれます。

ジョブ一覧の列のフィルタリング設定

［ジョブ一覧］ウィンドウでは、列タイトルに ▼ が付いている表示項目は列のフィルタリングを設定でき、列ごとに表示対象を絞り込めます。列のフィルタリングが設定できる表示項目は、［状態］、［受付プリンタ名］、［出力プリンタ名］、［コンピュータ名］および［ユーザ名］です。列のフィルタリングを設定すると、特定の出力先プリンタ（Windows プリンタ）の印刷ジョブだけを表示したり、ジョブ状態で絞り込んで特定の印刷ジョブだけを表示したりできます。プリンタ名の大文字と小文字は区別されませんが、全角と半角は区別されます。

例えば、システム運用者は、次のような運用ができます。

- ［状態］で「ジョブ登録中」「保留中」「印刷要求開始待ち」「印刷要求中」「印刷データ作成中」を選択して、出力先プリンタ（Windows プリンタ）に受け付けられた印刷ジョブだけを表示する
- ［受付プリンタ名］で表示したいプリンタだけをチェックして、ほかのプリンタのジョブを非表示にする
- ［ユーザ名］で特定のユーザだけをチェックして、該当するユーザが出力した印刷ジョブだけを表示する

▼ をクリックし、表示されるドロップダウンリストから表示対象を選択します。表示対象は複数選択できます。ドロップダウンリストで「(すべてを選択)」をチェックすると、すべての項目が表示対象となります。列のフィルタリング設定は、操作対象の［ジョブ一覧］ウィンドウにだけ適用されます。

メモ

［状態］で列のフィルタリングを設定する場合に「印刷処理済み」で絞り込むときは、［処理結果］を含む設定で絞り込めます。ドロップダウンリストには、「印刷処理済み」に関する項目として、「印刷処理済み（すべて）」と「印刷処理済み（＜［処理結果］の表示項目＞）」が表示されます。例えば、ドロップダウンリストで「印刷処理済み（印刷完了）」を選択した場合、［ジョブ一覧］ウィンドウには［状態］を「印刷処理済み」、［処理結果］を「印刷完了」で絞り込んだ結果が表示されます。処理結果に関係なく、印刷処理済みの印刷ジョブを絞り込む場合、ドロップダウンリストでは「印刷処理済み（すべて）」を選択してください。

重要

フィルタリング条件と、 を使用した列のフィルタリングを同時に設定した場合、［ジョブ一覧］ウィンドウの印刷ジョブは、次の順序で絞り込まれ、すべての絞り込み条件を満たすものだけが表示されます。

1. で設定した列のフィルタリングによる絞り込み
2. フィルタリングコンボボックスの設定内容による絞り込み

また、出力先プリンタを追加または削除した場合は、次のように動作します。

出力先プリンタを追加した場合

［受付プリンタ名］および［出力プリンタ名］で列のフィルタリングを設定しているかどうかによって、動作が異なります。

列のフィルタリングを設定している場合、追加した出力先プリンタは［ジョブ一覧］ウィンドウに表示されません。［ジョブ一覧］ウィンドウに表示したいときは、［受付プリンタ名］および［出力プリンタ名］のドロップダウンリストで追加したプリンタをチェックしてください。

列のフィルタリングを設定していない場合、すべての受付プリンタおよび出力プリンタが表示されているため、追加した出力先プリンタも［ジョブ一覧］ウィンドウに表示されます。

出力先プリンタを削除した場合

マネージャコンソールまたはマネージャクライアント起動時に、削除したプリンタを受付プリンタまたは出力プリンタとする印刷ジョブがあるどうかによって、動作が異なります。

印刷ジョブがある場合、削除したプリンタも列のフィルタリング設定対象として扱われ、［ジョブ一覧］ウィンドウに表示されます。

印刷ジョブがない場合、削除したプリンタは［受付プリンタ名］および［出力プリンタ名］のドロップダウンリストから削除され、［ジョブ一覧］ウィンドウには表示されません。なお、［受付プリンタ名］および［出力プリンタ名］のドロップダウンリストで削除したプリンタだけ選択されているときは、［受付プリンタ名］および［出力プリンタ名］で列のフィルタリングが解除され、削除したプリンタ以外が［ジョブ一覧］ウィンドウに表示されます。

ジョブ一覧のソート

［ジョブ一覧］ウィンドウでは、印刷ジョブの一覧を表示項目ごとに昇順または降順のどちらで並べて表示するかを、ログインユーザごとに変更できます。表示項目のヘッダーをクリックすると、昇順または降順が切り替えられ、ソートされた内容で［ジョブ一覧］ウィンドウが表示されます。文字列の大文字と小文字は区別されませんが、全角と半角は区別されます。比較結果が完全に一致する場合は、管理番号を基準にソートされます。ジョブ一覧のソートの設定は、操作対象の［ジョブ一覧］ウィンドウにだけ反映されます。

画面レイアウトの保存と復元

マネージャコンソールおよびマネージャクライアントでは、ウィンドウの表示位置や、表示項目の並び順などをカスタマイズした画面レイアウトを保存でき、運用中に変更しても保存済みの画面レイアウトに戻すことができます。

ただし、次に示す画面レイアウトの情報は、保存できません。

- 印刷ジョブの自動更新の状態（一時停止または開始）※
- ［プレビュー表示］画面の画面情報すべて

注※

画面レイアウトを復元すると、印刷ジョブの自動更新にはデフォルト（一時停止）が設定されます。

マネージャコンソールまたはマネージャクライアント起動時に、常に同じ画面レイアウトで表示するには、事前に画面のレイアウトを編集し、[常に保存時の画面レイアウトで起動する］をチェックします。チェックしない場合、編集した画面レイアウトは、マネージャコンソールまたはマネージャクライアント終了時に破棄されます。

印刷ジョブの自動更新の一時停止および再開

マネージャコンソールおよびマネージャクライアントは、定期的にモニタから印刷ジョブに関する更新通知を受け取って、[ジョブ一覧］ウィンドウの表示を更新します。この更新通知による［ジョブ一覧］ウィンドウの自動更新を一時停止したり、再開したりできます。システム運用者が印刷ジョブを操作する前に[ジョブ一覧］ウィンドウの自動更新を一時停止すると、間違った印刷ジョブを選択する誤操作を防ぐことができます。自動更新の一時停止および再開の設定は、ツールバーから操作した場合は操作対象の［ジョブ一覧］ウィンドウに、メニューバー（[表示］－［ジョブ一覧の自動更新を一時停止]）から操作した場合はアクティブな［ジョブ一覧］ウィンドウにだけ適用されます。

印刷ジョブの自動更新を一時停止すると、[ジョブ一覧］ウィンドウのステータスバーの右側には、自動更新を一時停止した日時と「更新停止」が表示されます。自動更新を一時停止した日時は、「YYYY/MM/DD hh:mm:ss 時点」の形式（YYYY/MM/DD hh:mm:ss は西暦年/月/日 時:分:秒を示す）で表示されます。

印刷ジョブの自動更新を一時停止した場合の、[ジョブ一覧］ウィンドウの表示例を次の図に示します。ここで示す［ジョブ一覧］ウィンドウは、マネージャコンソールの表示例です。

図 2-14 ［ジョブ一覧］ウィンドウの表示例（印刷ジョブの自動更新を一時停止した場合）

印刷ジョブの保留

マネージャでは、印刷前、および印刷後の印刷ジョブで、印刷を保留にできます。

印刷前の場合は、印刷ジョブを登録したあとに、出力先プリンタへ印刷を開始しないで保留にできます。モニタの場合は常に出力先プリンタへ印刷します。印刷前に印刷ジョブを保留にするかどうかは、マネージャの環境設定で指定できます。印刷を保留にした印刷ジョブは、マネージャコンソールまたはマネージャクライアントから出力先プリンタへ出力指示して印刷できます。

また、印刷後の場合は、印刷ジョブを選択して、ジョブ状態を「印刷処理済み」から「保留中」に変更できます。ジョブ状態を変更する印刷ジョブは、複数選択できます。「保留中」に変更した印刷ジョブは、マネージャコンソールまたはマネージャクライアントから出力先プリンタへ出力指示して再印刷できます。

印刷後の印刷ジョブの保存

マネージャでは、モニタから印刷完了通知を受け取ったあとも、印刷ジョブを削除しないで保存できます。印刷後に印刷ジョブを保存するかどうかは、マネージャの環境設定で指定できます。印刷後に保存した印刷ジョブは、マネージャコンソールまたはマネージャクライアントから再印刷できます。

また、保存した印刷ジョブは、印刷ジョブの自動削除設定で定期的に削除できます。

印刷ジョブの出力指示

マネージャコンソールまたはマネージャクライアントから印刷ジョブを選択して、出力先プリンタへの出力方法を指定した出力指示ができます。

全ページ印刷

選択した印刷ジョブの印刷データを、出力先プリンタへ全ページ印刷できます。

条件指定印刷

選択した印刷ジョブの印刷データを、ページ指定した範囲で出力先プリンタへ印刷できます。また、変更した出力先プリンタに、選択した印刷ジョブの印刷データを印刷できます。印刷条件は［条件指定印刷］画面または［条件指定印刷（複数ジョブ選択）］画面で指定します。印刷ジョブを 1 つ選択してい

る場合は［条件指定印刷］画面、複数選択している場合は［条件指定印刷（複数ジョブ選択）］画面が表示されます。

図 2-15　［条件指定印刷］画面

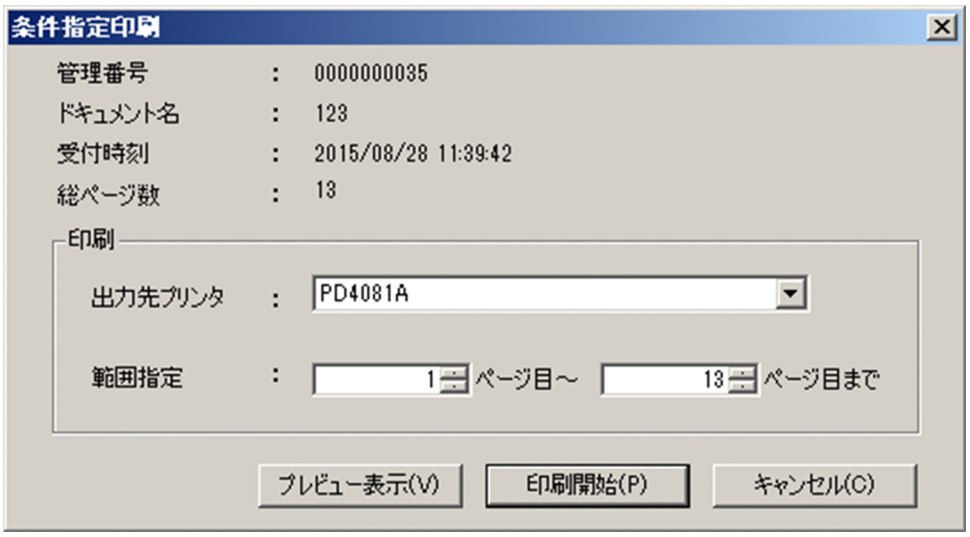
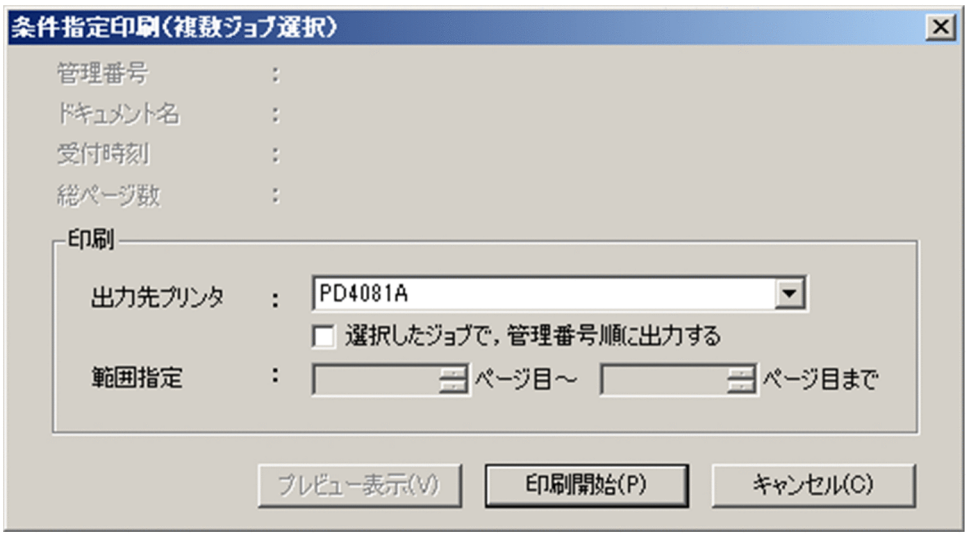


図 2-16　［条件指定印刷（複数ジョブ選択）］画面



［条件指定印刷］画面および［条件指定印刷（複数ジョブ選択）］画面の表示項目を次の表に示します。

表 2-13　［条件指定印刷］画面および［条件指定印刷（複数ジョブ選択）］画面の表示項目

項目	内容
［管理番号］	マネージャが印刷ジョブを管理するために割り当てた番号が表示されます。 ［条件指定印刷（複数ジョブ選択）］画面の場合は非活性で表示されます。
［ドキュメント名］	印刷ジョブに設定されているドキュメント名から取得した名称が表示されます。 ［条件指定印刷（複数ジョブ選択）］画面の場合は非活性で表示されます。
［受付時刻］	印刷ジョブを受け付けた時刻が表示されます。 ［条件指定印刷（複数ジョブ選択）］画面の場合は非活性で表示されます。
［総ページ数］	印刷ジョブのページ数が表示されます。ページ数を特定できない場合は「-」が表示されます。

項目	内容
	［条件指定印刷（複数ジョブ選択）］画面の場合は非活性で表示されます。
［出力先プリンタ］	印刷ジョブを出力する出力先プリンタをドロップダウンリストから選択します。 ドロップダウンリストには、マネージャが管理しているすべてのプリンタが表示されます。なお、印刷ジョブに設定されているプリンタと、プリンタドライバが異なるプリンタを選択した場合の印刷結果は保証しません。 指定したプリンタが、印刷ジョブの受け付け時に管理対象プリンタでなかった場合は、印刷完了後に印刷ジョブを保存します（印刷後の印刷ジョブの保存を有効として扱います）。
［選択したジョブで，管理番号順に出力する］チェックボックス	選択した印刷ジョブを管理番号順に出力するかどうかを指定します。印刷ジョブを古いほうから順番に出力する場合は、このチェックボックスをチェックしてください。 チェックボックスをチェックすると、選択した印刷ジョブをマネージャに登録された順序（管理番号の昇順）にソートして出力します。 チェックボックスのチェックを外すと、選択した印刷ジョブを［ジョブ一覧］ウィンドウの表示の上から順番に出力します。 を使用した列のフィルタリングやソートで、［ジョブ一覧］ウィンドウの表示がカスタマイズされている場合も、画面上の並びに従って出力します。 このチェックボックスは、［条件指定印刷（複数ジョブ選択）］画面にだけ表示されます。
［範囲指定］	印刷を開始するページと終了するページを数値で指定します。数値は、スピンボタンをクリックして指定することもできます。ページ数を特定できない場合は非活性（空欄）で表示されます。 ［条件指定印刷（複数ジョブ選択）］画面の場合は、ページを設定する数値欄が非活性（空欄）で表示されます。
［プレビュー表示］ボタン	印刷ジョブをプレビュー表示できます（印刷ジョブの［プレビュー表示］画面を表示します）。 ［条件指定印刷（複数ジョブ選択）］画面の場合は非活性で表示されます。
［印刷開始］ボタン	出力先プリンタへ開始ページから終了ページまでの印刷データの印刷を開始します。印刷が完了すると、画面を閉じます。
［キャンセル］ボタン	指定した内容を破棄して、画面を閉じます。
［閉じる］ボタン	指定した内容を破棄して、画面を閉じます。

印刷ジョブの印刷中止指示

出力先プリンタへの印刷データの出力が完了する前に、マネージャコンソールまたはマネージャクライアントから出力指示した印刷ジョブを選択して、印刷の取り消しを指示できます。

印刷ジョブの削除

マネージャコンソールまたはマネージャクライアントから印刷ジョブを選択して削除できます。マネージャによって、ジョブ保存先フォルダから選択した印刷ジョブの印刷データは削除され、選択した印刷ジョブが［ジョブ一覧］ウィンドウから削除されます。

印刷ジョブの自動削除

印刷済みのジョブを、ジョブ保存先フォルダから自動的に削除できます。ジョブ保存先フォルダから削除する印刷ジョブは、保存期間を指定することで、その期間が過ぎるまでは保存できます。また、サービス起動時に自動的に削除するか、条件を指定して定期的に削除するかを指定できます。

関連項目

- 5.5.1　印刷ジョブの状態を確認する
- 6.1.1　印刷ジョブのバックアップについて
- 6.1.2　印刷ジョブのリストアについて

2.5　プリンタの操作に関する機能について

プリンタマネージャでは、次の画面からプリンタを管理したり、操作したりできます。

- マネージャコンソール（[日立 プリンタマネージャ］画面）
- マネージャクライアント（[日立 プリンタマネージャ クライアント］画面）

出力先プリンタの一覧表示

マネージャが管理する出力先プリンタの情報をモニタから受け取って、マネージャコンソールまたはマネージャクライアントの［プリンター一覧］ウィンドウに表示できます。

- マネージャコンソールの場合

  ［プリンター一覧］ウィンドウには、マネージャの環境設定で登録した管理対象プリンタが表示されます。
- マネージャクライアントの場合

  ［プリンター一覧］ウィンドウには、マネージャ Client の環境設定で登録した管理対象プリンタが表示されます。ただし、管理対象プリンタがマネージャの環境設定で登録していないプリンタのときは、プリンタ監視ができないため、［プリンター一覧］ウィンドウに表示されません。

［プリンター一覧］ウィンドウを次の図に示します。

図 2-17　マネージャコンソールの［プリンター一覧］ウィンドウ

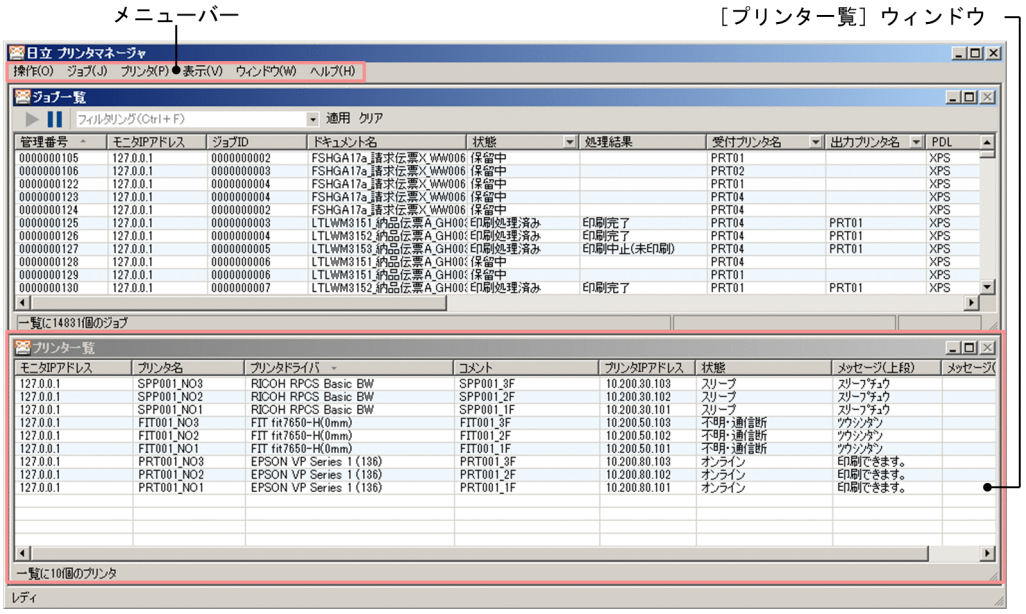
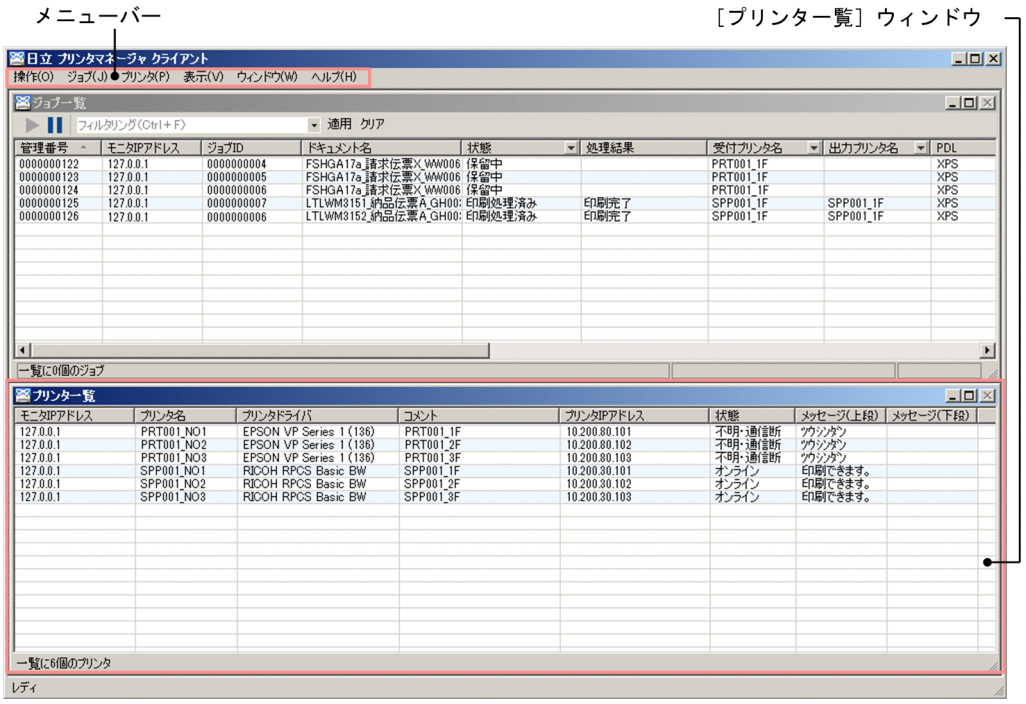


図 2-18　マネージャクライアントの［プリンター覧］ウィンドウ



マネージャコンソールまたはマネージャクライアントでは、メニューバーから次の操作ができます。

- ［操作］：マネージャに対する操作
- ［ジョブ］：印刷ジョブに対する操作
- ［プリンタ］：［プリンター覧］ウィンドウの出力先プリンタに対する操作
- ［表示］：［プリンター覧］ウィンドウの表示に対する操作
- ［ウィンドウ］：マネージャコンソールおよびマネージャクライアントの表示に対する操作
- ［ヘルプ］：ヘルプ・バージョン情報の表示に対する操作

［プリンター覧］ウィンドウ操作時に使用する、マネージャコンソールおよびマネージャクライアントのメニューバーの項目を次の表に示します。

表 2-14　マネージャコンソールおよびマネージャクライアントのメニューバーの項目（［プリンター覧］ウィンドウ操作時）

項目		内容
［操作］	［終了］	マネージャの場合は、マネージャコンソールを終了します。 マネージャ Client の場合は、マネージャクライアントを終了します。
［プリンタ］	［一時停止］	［プリンター覧］ウィンドウで選択したプリンタを一時停止、または再開します。メニューにチェックが付くとプリンタは一時停止され、チェックが外れるとプリンタは再開されます。プリンタを一時停止すると、［プリンター覧］ウィンドウの［状態］が「一時停止中」に遷移されます。

項目			内容
			[プリンター一覧] ウィンドウでプリンタを選択していない場合、このメニューは非活性となります。複数のプリンタを選択している場合、選択したすべてのプリンタ状態が一時停止中かそれ以外のどちらかのときだけ、メニューは活性となります。プリンタ状態に一時停止中とそれ以外が混在していると、メニューは非活性となります。
[表示]	[表示列の設定...]		[プリンター一覧] ウィンドウに表示する項目や、項目の並びを編集するための画面（[表示列の設定] 画面）を表示します。
	[フィルタリング対象属性の設定...]		印刷ジョブをフィルタリングして表示する場合に、そのフィルタリング条件を適用する表示項目を設定するための画面（[フィルタリング対象属性の設定] 画面）を表示します。
	[画面レイアウト]	[画面レイアウトを保存する]	現在表示中の画面レイアウト（ウィンドウの表示位置や、表示項目の並び順など）を保存します。保存した画面レイアウトの扱いは、[表示] － [画面レイアウト] － [常に保存時の画面レイアウトで起動する] を選択して、[常に保存時の画面レイアウトで起動する] をチェックしているかどうかによって異なります。 • [常に保存時の画面レイアウトで起動する] をチェックしている場合 保存した画面レイアウトは、マネージャコンソールまたはマネージャクライアントを終了したあとも保持されます。次回起動時には、保存した画面レイアウトで表示されます。 • [常に保存時の画面レイアウトで起動する] をチェックしていない場合 保存した画面レイアウトは、マネージャコンソールまたはマネージャクライアントの終了時に破棄されます。次回起動時には、前回終了した時点の画面レイアウトで表示されます。
		[保存時の画面レイアウトに戻す]	現在表示中の画面レイアウトを破棄して、[表示] － [画面レイアウト] － [画面レイアウトを保存する] で保存した画面レイアウトで表示します。 画面レイアウトを保存していない場合、このメニューは非活性となります。
		[常に保存時の画面レイアウトで起動する]	マネージャコンソールまたはマネージャクライアント起動時に、[表示] － [画面レイアウト] － [画面レイアウトを保存する] で保存した画面レイアウトで表示するかどうかを指定します。メニューにチェックが付くと保存済みの画面レイアウトで表示され、チェックが外れると前回終了時の画面レイアウトで表示されます。なお、一度も [画面レイアウトを保存する] を設定していない場合は、非活性となります。
	[ジョブ一覧ウィンドウの追加...]		新規に [ジョブ一覧] ウィンドウを追加するための画面（[ジョブ一覧ウィンドウの追加] 画面）を表示します。 マネージャコンソールまたはマネージャクライアントに表示できる [ジョブ一覧] ウィンドウの数は、最大 64 個です。64 個を超えると、[ジョブ一覧ウィンドウの追加] 画面は表示できません。

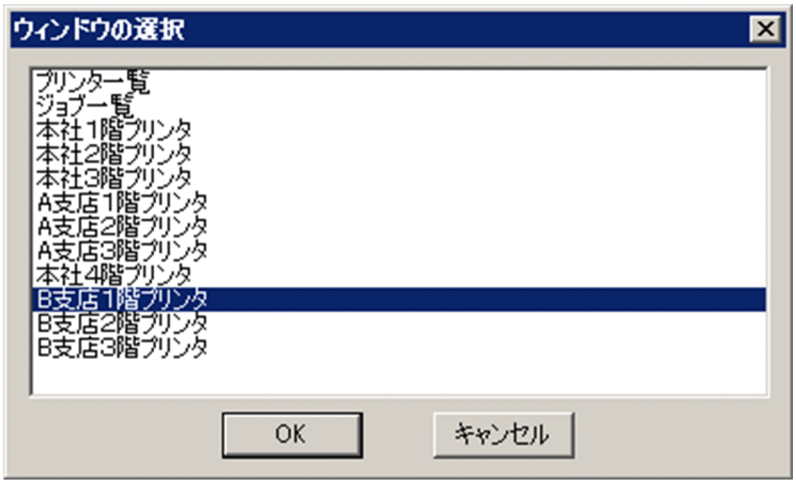
項目		内容
[ウィンドウ]	[ウィンドウの整列]	[ジョブ一覧] ウィンドウ、および [プリンター一覧] ウィンドウを上下に並べて表示します。[プリンター一覧] ウィンドウを最上段に、[ジョブ一覧] ウィンドウを下段に配置します。最小サイズ、および最大化サイズで表示されている場合は、最小化および最大化を解除したサイズで再配置されます。
	[プリンター一覧]	[プリンター一覧] ウィンドウをアクティブ状態にします。[プリンター一覧] ウィンドウは、[ウィンドウ] メニューの最上段に表示されます。最小サイズで表示されている場合は、最小化を解除したサイズでアクティブ状態にします。最大サイズで表示されている場合は、そのままのサイズで [プリンター一覧] ウィンドウに表示を切り替えます。
	<[ジョブ一覧] ウィンドウのウィンドウタイトル>	選択したウィンドウタイトルの [ジョブ一覧] ウィンドウをアクティブ状態にします。[ジョブ一覧] ウィンドウは、[ウィンドウ] メニューの下段に表示されます。最小サイズで表示されている場合は、最小化を解除したサイズでアクティブ状態にします。最大サイズで表示されている場合は、そのままのサイズで [ジョブ一覧] ウィンドウに表示を切り替えます。
	[その他のウィンドウ...]	アクティブ状態にする [プリンター一覧] ウィンドウ、または [ジョブ一覧] ウィンドウを選択するための画面 ([ウィンドウの選択] 画面※) を表示します。このメニューは、登録されている [プリンター一覧] ウィンドウ、および [ジョブ一覧] ウィンドウの合計が 10 個以上の場合に表示されます。
[ヘルプ]	[バージョン情報]	バージョン情報を表示します。

注※

[ウィンドウの選択] 画面は、メニューバーの [ウィンドウ] メニューから [その他のウィンドウ...] を選択すると表示されます。[その他のウィンドウ...] は、登録されている [プリンター一覧] ウィンドウ、および [ジョブ一覧] ウィンドウの合計が 10 個以上の場合に表示されます。

[ウィンドウの選択] 画面を次の図に示します。

図 2-19 [ウィンドウの選択] 画面



［ウィンドウの選択］画面には、［プリンター一覧］ウィンドウが最上段に、［ジョブ一覧］ウィンドウのウィンドウタイトルが下段にランダムで表示されます。［ウィンドウの選択］画面の［ジョブ一覧］ウィンドウの並びは、［ウィンドウの整列］で表示されるウィンドウの並びと異なることがあります。

マネージャコンソールおよびマネージャクライアントは、定期的にモニタからプリンタの状態（以降、プリンタ状態といいます）に関する更新通知を受け取って、［プリンター一覧］ウィンドウを更新します。システム運用者は、この情報を基に、プリンタの状態を確認したり、印刷ジョブを出力するプリンタを切り替えたりする運用ができます。

プリンタ状態の意味を次の表に示します。

表 2-15　プリンタ状態の意味

プリンタ状態	意味
不明・通信断	プリンタとの通信ができない状態です。ネットワークが解決されていない状態でもこの状態になります。 疎通確認済みのプリンタであれば、プリンタの電源が OFF になっている状態、またはプリンタの電源を ON にしたあとの起動中にプリンタが重度の障害に陥っている状態です。 必要に応じて、プリンタおよびネットワークの状態を確認してください。
ウォームアップ中	プリンタが印刷の準備をしている状態です。 プリンタの電源を ON にした場合、および印刷ジョブを受信してスリープ状態から復帰している場合もこの状態になることがあります。
オンライン	プリンタが印刷ジョブを受信できる状態です。
オンライン（警告）	プリンタが印刷ジョブを受信できる状態ですが、何らかの警告が発生している状態です。 トナー残量が少なくなっていたり、一部のトレーに用紙がなくなっていたりする状態でもこの状態になります。 警告の内容については、プリンタのパネル、またはプリンタのドキュメントを確認してください。
印刷中	プリンタで印刷中の状態です。
印刷中（警告）	プリンタで印刷ジョブを印刷中ですが、何らかの警告が発生している状態です。 トナー残量が少なくなっていたり、一部のトレーに用紙がなくなっていたりする状態でもこの状態になります。 警告の内容については、プリンタのパネル、またはプリンタのドキュメントを確認してください。
エラー	プリンタで印刷を続行できないエラーが発生しているときにこの状態になります。 すべてのトレーに用紙がない状態、トナー切れ、用紙ジャム、ドアオープンなどの要因が考えられます。 エラーの内容については、プリンタのパネル、またはプリンタのドキュメントを確認してください。 なお、この状態は、必ずしもリアルタイムに検知できるわけではありません。
スリープ中	プリンタが省エネモードなどになっている状態です。 スリープモードからの回復動作は、プリンタによって詳細仕様が異なるため、プリンタのドキュメントを参照してください。

プリンタ状態	意味
一時停止中	プリンタが一時停止している状態です。 一時停止中のプリンタに対して印刷ジョブを出力指示すると、その印刷ジョブの［状態］は「印刷データ送信待ち」に遷移します。その印刷ジョブに対する印刷データの送信は、プリンタを再開すると開始されます。

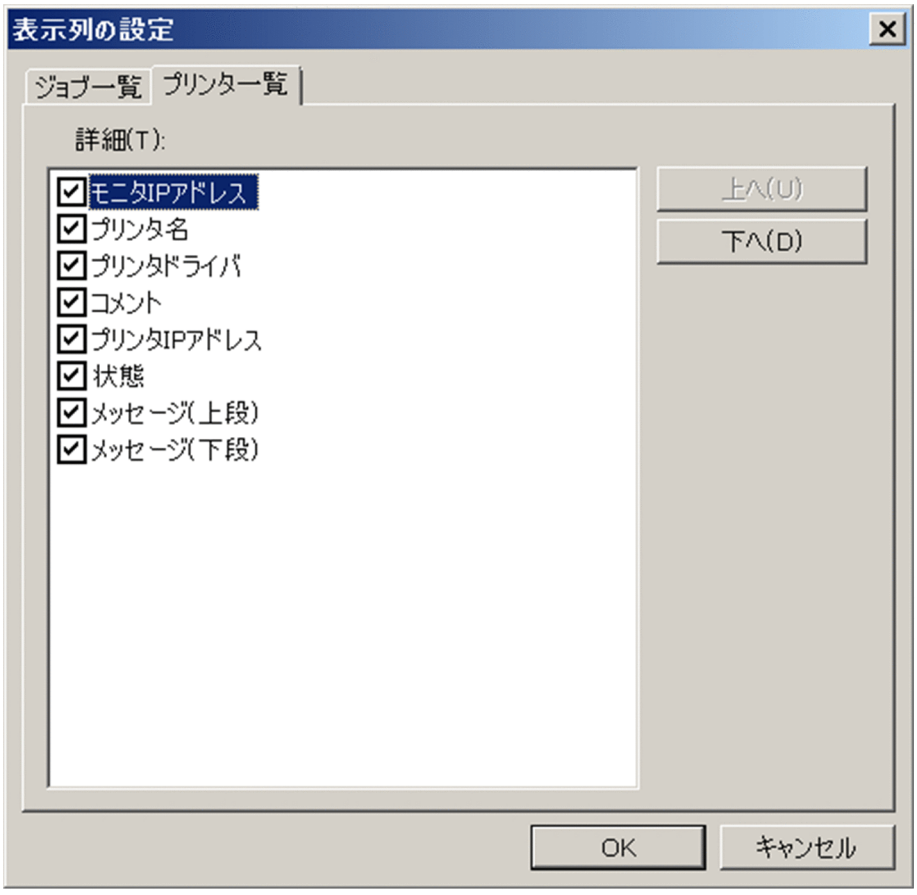
［プリンター覧］ウィンドウでは、運用に合わせて表示項目をカスタマイズしたり、表示内容をソートしたりして、画面の表示をカスタマイズできます。カスタマイズした画面レイアウトを保存しておくと、マネージャコンソールまたはマネージャクライアント起動時に［プリンター覧］ウィンドウを保存済みのレイアウトで表示したり、編集後に保存済みのレイアウトに戻したりする運用もできます。

プリンター覧の表示項目のカスタマイズ

［プリンター覧］ウィンドウでは、どの項目を表示するか、どのような順序で項目を表示するかを、ログインユーザごとに［表示列の設定］画面でカスタマイズできます。

［表示列の設定］画面（［プリンター覧］タブ）を次の図に示します。

図 2-20　［表示列の設定］画面（［プリンター覧］タブ）



［表示列の設定］画面の表示項目を次の表に示します。

表 2-16 ［表示列の設定］画面の表示項目

項目	内容
［詳細］	［プリンター覧］ウィンドウに項目を表示するかどうかを指定します。また、［プリンター覧］ウィンドウの左から表示する項目の順序を［詳細］の上から順に指定します。 ［プリンター覧］ウィンドウに表示する項目はチェックボックスをチェックし、表示しない項目はチェックボックスのチェックを外してください。ただし、項目のチェックをすべて外すことはできません。
［上へ］ボタン	［詳細］で選択状態の項目の表示位置を上へ移動します。項目は複数選択できません。
［下へ］ボタン	［詳細］で選択状態の項目の表示位置を下へ移動します。項目は複数選択できません。
［OK］ボタン	指定した内容を有効にして、画面を閉じます。
［キャンセル］ボタン	指定した内容を破棄して、画面を閉じます。

プリンター覧のソート

［プリンター覧］ウィンドウでは、プリンタの一覧を表示項目ごとに昇順または降順のどちらで並べて表示するかを、ログインユーザごとに変更できます。表示項目のヘッダーをクリックすると、昇順または降順が切り替えられ、ソートされた内容で［プリンター覧］ウィンドウが表示されます。文字列の大文字と小文字は区別されませんが、全角と半角は区別されます。

画面レイアウトの保存と復元

マネージャコンソールおよびマネージャクライアントでは、ウィンドウの表示位置や、表示項目の並び順などをカスタマイズした画面レイアウトを保存でき、運用中に変更しても保存済みの画面レイアウトに戻すことができます。

ただし、次に示す画面レイアウトの情報は、保存できません。

- ［プレビュー表示］画面の画面情報すべて

マネージャコンソールまたはマネージャクライアント起動時に、常に同じ画面レイアウトで表示するには、事前に画面のレイアウトを編集し、［常に保存時の画面レイアウトで起動する］をチェックします。チェックしない場合、編集した画面レイアウトは、マネージャコンソールまたはマネージャクライアント終了時に破棄されます。

出力先プリンタの切り替え

マネージャコンソールまたはマネージャクライアントから印刷ジョブを出力指示する際に、出力先プリンタを印刷ジョブに設定されているプリンタから変更できます。モニタは、出力先プリンタが変更された印刷ジョブの出力指示を受け取ると、出力先プリンタを切り替えて印刷データを送信します。

- マネージャの場合

  切り替え先に指定できる出力先プリンタは、マネージャの環境設定で登録した管理対象プリンタです。用紙交換通知や障害通知が発生したときは、マネージャコンソールに［用紙交換通知］画面や［障害通

知］画面を表示します。ただし、印刷ジョブに設定されているプリンタと、プリンタドライバが異なるプリンタへ出力した場合の印刷結果は保証しません。

- マネージャ Client の場合

  切り替え先に指定できる出力先プリンタは、マネージャ Client の環境設定で登録した管理対象プリンタです。用紙交換通知や障害通知が発生したときは、マネージャコンソールとマネージャクライアントに［用紙交換通知］画面や［障害通知］画面を表示します。ただし、印刷ジョブに設定されているプリンタと、プリンタドライバが異なるプリンタへ出力した場合の印刷結果は保証しません。

マネージャの場合、切り替え先に指定できる出力先プリンタは、マネージャの環境設定で登録した管理対象プリンタです。マネージャ Client の場合、切り替え先に指定できる出力先プリンタは、マネージャ Client の環境設定で登録した管理対象プリンタです。ただし、印刷ジョブに設定されているプリンタと、プリンタドライバが異なるプリンタへ出力した場合の印刷結果は保証しません。

なお、指定したプリンタが、印刷ジョブの受け付け時に管理対象プリンタでなかった場合は、印刷後に印刷ジョブを保存する設定をしていなくても、印刷完了後に印刷ジョブを保存します（印刷後の印刷ジョブの保存を有効として扱います）。

出力先プリンタによる印刷の一時停止および再開

マネージャコンソールまたはマネージャクライアントから出力先プリンタへの印刷を一時停止したり、再開したりできます。印刷を一時停止および再開するプリンタは複数選択できます。マネージャの場合はマネージャの環境設定で登録した管理対象プリンタ、マネージャ Client の場合はマネージャ Client の環境設定で登録した管理対象プリンタが対象となります。次の条件を満たす場合は、選択した出力先プリンタによる印刷を一時停止できます。

- 選択した出力先プリンタの印刷ジョブの状態が、次のどれにも該当しない

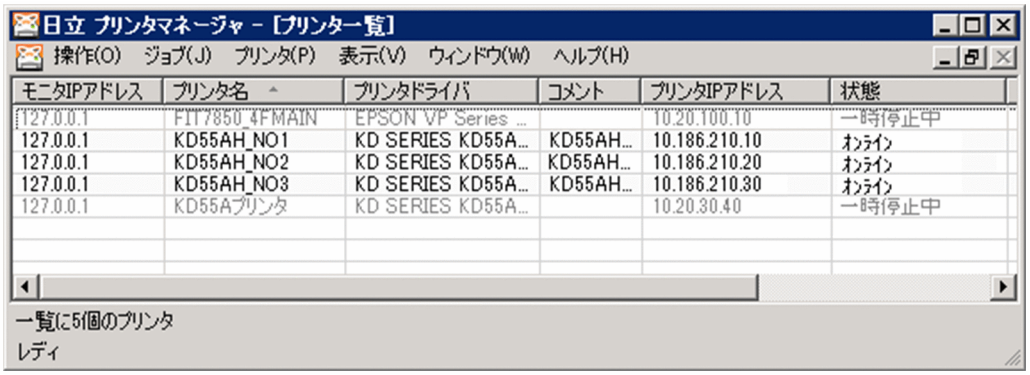
  「印刷データ送信開始」、「印刷待ち」、「印刷中」、「用紙交換待ち」、「障害通知」、「印刷中止中」または「テスト印刷中」

- 選択した出力先プリンタの状態が一時停止中以外である

プリンタへの印刷を一時停止すると、［プリンタ一覧］ウィンドウの［状態］が「一時停止中」に遷移されます。一時停止中のプリンタへ印刷ジョブを出力指示すると、その印刷ジョブの［状態］は「印刷データ送信待ち」に遷移します。印刷データ送信待ちとなった印刷ジョブの印刷データは、プリンタへの印刷を再開すると送信が開始されます。印刷データの送信開始時には、［用紙交換通知］画面が表示されることがあります。

出力先プリンタによる印刷を一時停止した場合の、［プリンタ一覧］ウィンドウの表示例を次の図に示します。ここで示す［プリンタ一覧］ウィンドウは、マネージャコンソールの表示例です。表示例では、2 台の出力先プリンタへの印刷を一時停止しています。

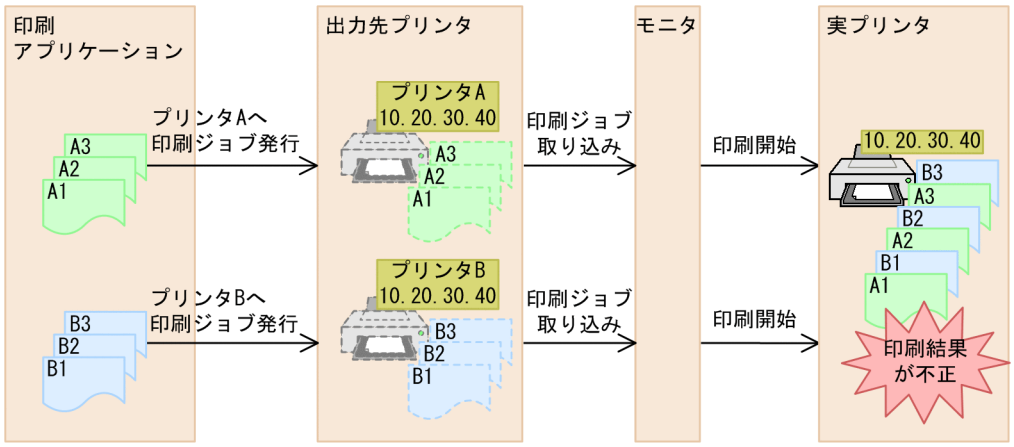
図 2-21　［プリンター覧］ウィンドウの表示例（出力先プリンタによる印刷を一時停止した場合）



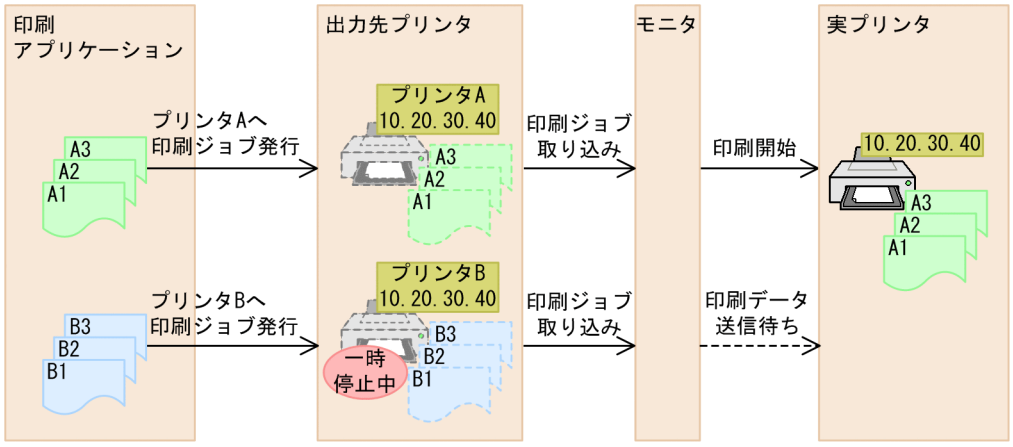
重要

複数の出力先プリンタ（Windows プリンタ）が 1 台の実プリンタに対応づけられている場合、複数の出力先プリンタへ同時に印刷ジョブが発行されると、印刷ジョブが順不同で印刷され、印刷結果は不正となります。この場合、片方の出力先プリンタを一時停止することで、正しい順序で印刷できます。

■プリンタの印刷を一時停止していない場合



■プリンタBの印刷を一時停止している場合



（凡例）
：印刷ジョブを示します。

2.6　プリンタマネージャが出力するログの種類について

プリンタマネージャが出力するログの種類と製品ごとの出力有無を次の表に示します。

表 2-17　ログの種類と製品ごとの出力有無

ログ名称	内容	製品ごとのログの出力有無			
		モニタ	マネージャ	モニタ Client	マネージャ Client
システム稼働ログ	プリンタマネージャの起動から終了までに起きたさまざまな事象をログとしてファイルに記録します。このログを参照することで、プリンタマネージャの稼働状況を把握することができます。	○	○	○	○
印刷ログ	プリンタマネージャが管理するプリンタに出力された印刷ジョブが印刷されるまでの状態遷移をログとしてファイルに記録します。	○	○	×	×
イベントログ	プリンタマネージャのサービスの起動、および終了を Windows イベントログに出力します。	○	○	×	×
	プリンタマネージャでログファイルに出力できなかった場合のエラー情報を、Windows イベントログに出力します。	○	○	○	○
	モニタの環境設定の設定内容に従って、プリンタマネージャの印刷出力時の印刷エラーや、プリンタの障害回復を Windows イベントログに出力します。また、特定のプリンタのプリンタ状態も出力できます。	○	×	×	×

（凡例）

○：出力します。

×：出力しません。

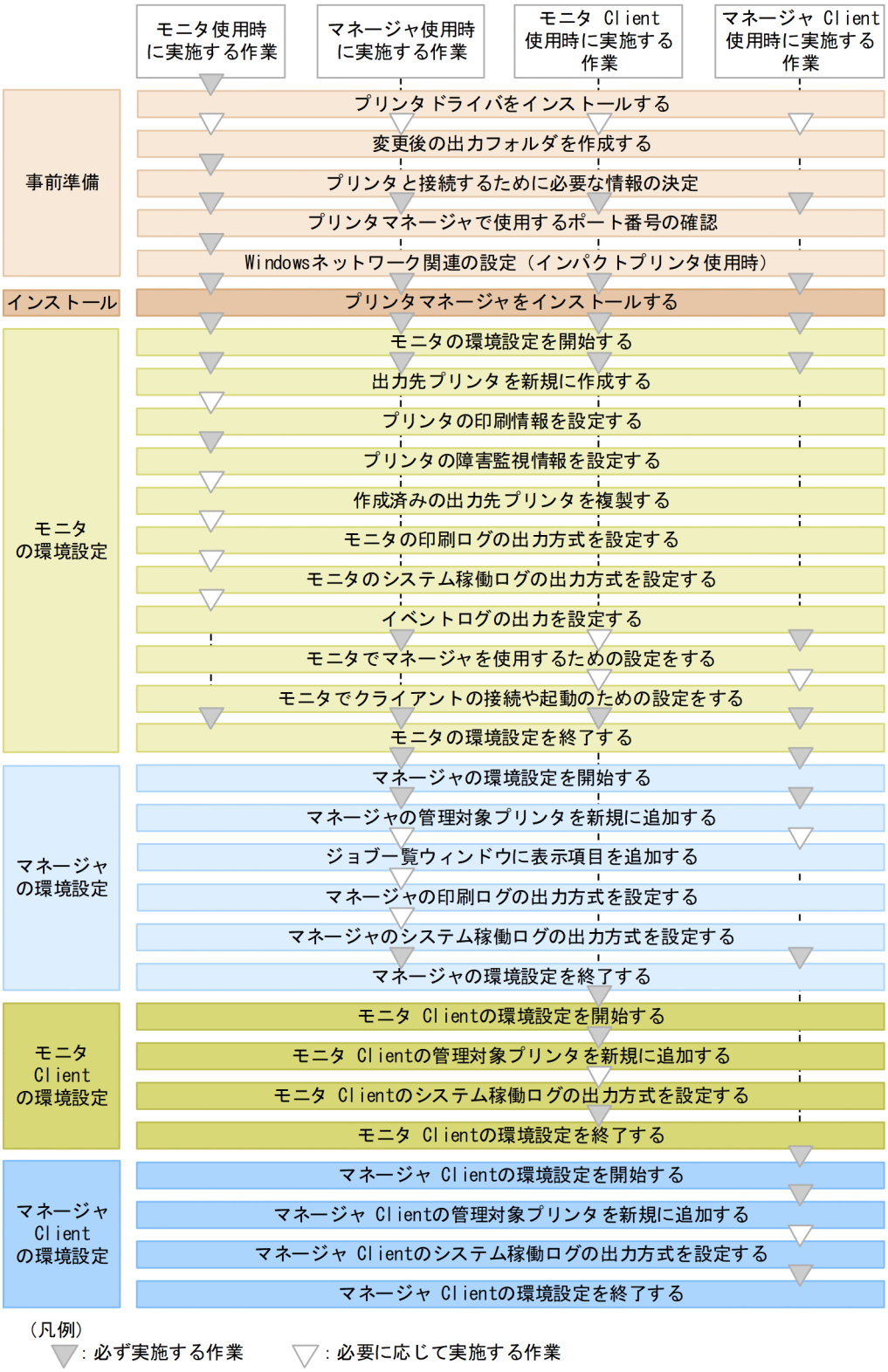
3 プリンタマネージャを使用した印刷環境の構築

プリンタマネージャを使用した印刷環境を構築する手順について説明します。必要な製品をインストールし、印刷制御を監視および管理するプリンタを指定し、環境設定します。また、各製品が運用中に出力するログの取得に関する設定についても説明します。

3.1　印刷環境を構築する作業の流れ

プリンタマネージャを使用した印刷環境の構築作業の流れを、製品ごとに次の図に示します。システム構成に合わせて、使用する製品の作業を実施してください。

なお、マネージャおよびモニタ Client 使用時に実施する作業は、「モニタ使用時に実施する作業」をすべて完了させてから開始してください。マネージャ Client 使用時に実施する作業は、「モニタ使用時に実施する作業」および「マネージャ使用時に実施する作業」をすべて完了させてから開始してください。


モニタ使用時に実施する作業
マネージャ使用時に実施する作業
モニタ Client使用時に実施する作業
マネージャ Client使用時に実施する作業
事前準備
プリンタ ドライバをインストールする
変更後の出力フォルダを作成する
プリンタと接続するために必要な情報の決定
プリンタマネージャで使用するポート番号の確認
Windowsネットワーク関連の設定（インパクトプリンタ使用時）
インストール
プリンタマネージャをインストールする
モニタの環境設定
モニタの環境設定を開始する
出力先プリンタを新規に作成する
プリンタの印刷情報を設定する
プリンタの障害監視情報を設定する
作成済みの出力先プリンタを複製する
モニタの印刷ログの出力方式を設定する
モニタのシステム稼働ログの出力方式を設定する
イベントログの出力を設定する
モニタでマネージャを使用するための設定をする
モニタでクライアントの接続や起動のための設定をする
モニタの環境設定を終了する
マネージャの環境設定
マネージャの環境設定を開始する
マネージャの管理対象プリンタを新規に追加する
ジョブ一覧ウィンドウに表示項目を追加する
マネージャの印刷ログの出力方式を設定する
マネージャのシステム稼働ログの出力方式を設定する
マネージャの環境設定を終了する
モニタ Clientの環境設定
モニタ Clientの環境設定を開始する
モニタ Clientの管理対象プリンタを新規に追加する
モニタ Clientのシステム稼働ログの出力方式を設定する
モニタ Clientの環境設定を終了する
マネージャ Clientの環境設定
マネージャ Clientの環境設定を開始する
マネージャ Clientの管理対象プリンタを新規に追加する
マネージャ Clientのシステム稼働ログの出力方式を設定する
マネージャ Clientの環境設定を終了する
（凡例）
：必ず実施する作業
：必要に応じて実施する作業

3.2 プリンタと接続するための環境の準備

3.2.1 プリンタドライバをインストールする

背景

プリンタマネージャからプリンタへ印刷データを出力するためには、出力先プリンタのプリンタドライバが必要です。システム構成に従って、モニタを配置するプリンタサーバマシンに、出力先プリンタのプリンタドライバをインストールします。

操作手順

1. モニタを配置するプリンタサーバマシンに出力先プリンタのプリンタドライバをインストールします。
   プリンタドライバは標準設定でインストールします。プリンタドライバのインストール時に必要な設定作業はありません。
   プリンタドライバのインストール方法については、対象プリンタのドキュメントを参照してください。

3.2.2 変更後の出力フォルダを作成する

背景

プリンタマネージャでは、次の出力フォルダを環境設定でデフォルトから変更できます。出力フォルダを変更する場合は、各製品の環境設定を起動する前に、変更後の出力フォルダを作成しておく必要があります。

- ログの出力フォルダ
- プリンタ情報ファイルの出力フォルダ

操作手順

1. ログの出力フォルダをデフォルトから変更する場合は、変更後のログの出力フォルダを作成します。
   変更後のログの出力フォルダの絶対パスは、240 字以内になるように作成してください。
   デフォルトのログの出力フォルダを次の表に示します。

製品名	デフォルトのログ出力先フォルダ
モニタ	%ALLUSERSPROFILE%¥HITACHI¥PrinterMonitor¥Log
マネージャ	%ALLUSERSPROFILE%¥HITACHI¥PrinterManager¥Log
モニタ Client	%AppData%¥HITACHI¥PrinterMonitorCL¥Log
マネージャ Client	%AppData%¥HITACHI¥PrinterManagerCL¥Log

重要

- 各製品のログの出力フォルダに同じパスを指定すると、ログファイルが重複し、モニタサービス、マネージャサービス、モニタクライアント、およびマネージャクライアントの起動に失敗します。ログの出力フォルダをデフォルトから変更する場合はパスが重複しないように注意してください。
- 指定するフォルダが存在しない場合、またはアクセスできない場合は、サービス起動ができません。また、サービス起動中にフォルダ名を変更するなどした場合、モニタの動作が保障できませんので注意してください。

2. プリンタ情報ファイルの出力フォルダをデフォルトから変更する場合は、変更後のフォルダを作成します。

   プリンタ情報ファイルのデフォルトの出力フォルダは、「%ALLUSERSPROFILE%¥Hitachi¥PrinterMonitor¥Export」です。

3.2.3 プリンタと接続するために必要な情報の決定

モニタは、直接プリンタを監視するため、プリンタ情報をあらかじめ決定しておく必要があります。キュー名やコミュニティ名を各プリンタの標準値から変更する場合には、それぞれ設定する必要があります。

IP アドレス

モニタの出力先プリンタとして登録できるプリンタは、LAN に直接接続されていて、かつ IP アドレス（IPv4）を固定とする必要があります。プリンタの IP アドレスを事前に決定しておいてください。

プリンタ名称

印刷データの送信先となるプリンタの名称を決定します。決定したプリンタ名称は、モニタの環境設定で出力先プリンタ名として設定します。モニタの環境設定では、指定した出力先プリンタ名で Windows プリンタを作成します。印刷アプリケーションでは、この Windows プリンタに対して印刷を実行します。

プリンタ監視方式

プリンタマネージャでは、印刷データの送信先となるプリンタの MIB 情報を取得して、プリンタの障害を監視します。プリンタマネージャで使用する監視方式を次に示します。

- 標準 MIB：RFC に規定されている MIB 情報を使用して、プリンタの障害を監視します。インパクトプリンタおよびページプリンタを監視する場合に使用できます。
- 拡張 MIB：ベンダで拡張した MIB 情報を使用して、プリンタの障害を監視します。拡張 MIB を使用すると、ジョブ単位で印刷データを送信している場合にプリンタで障害が発生したときも、障害発生ページを特定できるようになります。インパクトプリンタを監視する場合に使用できます。

プリンタごとの指定値については、取扱説明書を参照してください。

キュー名

印刷データの送信先となるプリンタの LAN アダプタのプリントキュー名と、モニタの設定値を合わせる必要があります。LPR 印刷時に使用するプリンタ接続名（プリントキュー名）は、利用するプリンタによって異なります。各プリンタで使用するプリントキュー名を確認の上、設定してください。

コミュニティ名

問い合わせ先となるプリンタの LAN アダプタの SNMP 認証コミュニティ名と、モニタの設定値を合わせる必要があります。SNMP 認証コミュニティ名を変更する場合は、LAN アダプタのドキュメントを参照してください。

3.2.4　プリンタマネージャで使用するポート番号の確認

製品間の通信で使用するポート番号

プリンタマネージャの製品間で使用するポート番号を次の表に示します。

項番	ポート番号	内容
1	25400	モニタとモニタクライアントとの通信、およびモニタとマネージャとの通信で使用するポートです。ポート番号を変更する場合は、SERVICES ファイルに変更後のポート番号を指定します。
2	25401	マネージャを配置したサーバの接続待ちポートです。マネージャと、マネージャコンソールまたはマネージャクライアントとの通信で使用します。ポート番号を変更する場合は、SERVICES ファイルに変更後のポート番号を指定します。

ファイアウォールに指定するポート番号

ファイアウォールを使用してプリンタマネージャに接続する場合は、各製品で使用するポート番号を指定してください。なお、製品間の通信で使用するポート番号を変更した場合は、ファイアウォールに指定するポート番号もあわせて変更してください。

- モニタで使用するポート番号：25400
- マネージャで使用するポート番号：25401
- モニタ Client で使用するポート番号：25400
- マネージャ Client で使用するポート番号：25401

SERVICES ファイルの格納場所と設定項目

製品間の通信で使用するポート番号を変更する場合は、SERVICES ファイルに変更後のポート番号を指定します。SERVICES ファイルの格納場所と設定内容を次に示します。

SERVICES ファイルの格納場所

```
%SystemRoot%¥system32¥drivers¥etc¥SERVICES
```

SERVICES ファイルの設定項目

ポートの設定個所	設定項目	設定例
モニタとモニタクライアントとの通信	• サービス名：prt_monitor_srv • ポート番号：任意の番号 • プロトコル名：tcp	ポート番号を「20000」に変更する場合 `prt_monitor_srv 20000/tcp`
マネージャと、マネージャコンソールまたはマネージャクライアントとの通信	• サービス名：prt_manager_srv • ポート番号：任意の番号 • プロトコル名：tcp	ポート番号を「20001」に変更する場合 `prt_manager_srv 20001/tcp`

注

ポート番号を変更する場合は、SERVICES ファイルに指定したレコードが最終行であっても、必ず改行してください。

3.2.5 Windows ネットワーク関連の設定（インパクトプリンタ使用時）

モニタは、インパクトプリンタからの「SNMP Trap」を受信するため、新規に UDP の 162 番ポートを使用して UDP パケットを待ち受けます。このため、ほかのアプリケーションやサービスが、UDP の 162 番ポートを待ち受けに使用している場合、モニタサービスの起動に失敗します。

この場合、モニタを配置するプリンタサーバマシンで、次のことを確認してください。

- UDP の 162 番ポートを使用しているアプリケーションがないか

  UDP の 162 番ポートがほかのアプリケーションで使用されているかどうかは、コマンドプロンプトで「netstat -a」コマンドを実行して確認します。このコマンドを実行すると、モニタを配置するプリンタサーバマシンで使用中のすべてのポートが確認できます。UDP の 162 番ポートがほかのアプリケーションで使用されている場合は、ポートの設定を見直してください。

- Windows の簡易ネットワーク管理プロトコル（SNMP）機能が無効になっているか、または SNMP Trap サービスに自動起動が設定されていないか

  Windows の機能およびサービスの設定方法については、Windows のドキュメントを参照してください。

- Windows ファイアウォールが有効な場合、UDP の 162 番ポートの受信許可が設定されているか

  UDP ポートの受信許可の設定方法については、Windows のドキュメントを参照してください。

3.3 プリンタマネージャのインストールとアンインストール

3.3.1 プリンタマネージャのインストールについて

製品インストール時の注意

プリンタマネージャには複数の製品があるため、製品インストール時には次の点に注意してください。

- マネージャをインストールする場合は、先にモニタをインストールしてください。
- モニタ Client を利用する場合は、先にモニタをインストールしてください。
- マネージャ Client を利用する場合は、先にモニタおよびマネージャをインストールしてください。
- 拡張オプションをインストールする場合は、先にモニタをインストールしてください。

デフォルトのインストールフォルダ

製品ごとに、デフォルトのインストールフォルダを次に示します。

製品名	デフォルトのインストールフォルダ
モニタ	• 32 ビット環境の場合 %PROGRAMFILES%¥HITACHI¥PrinterMonitor • 64 ビット環境の場合 %PROGRAMFILES(x86)%¥HITACHI¥PrinterMonitor
マネージャ	• 32 ビット環境の場合 %PROGRAMFILES%¥HITACHI¥PrinterManager • 64 ビット環境の場合 %PROGRAMFILES(x86)%¥HITACHI¥PrinterManager
モニタ Client	• 32 ビット環境の場合 %PROGRAMFILES%¥HITACHI¥PrinterMonitorCL • 64 ビット環境の場合 %PROGRAMFILES(x86)%¥HITACHI¥PrinterMonitorCL
マネージャ Client	• 32 ビット環境の場合 %PROGRAMFILES%¥HITACHI¥PrinterManagerCL • 64 ビット環境の場合 %PROGRAMFILES(x86)%¥HITACHI¥PrinterManagerCL

注

拡張オプションは、モニタのインストールフォルダ下にインストールされます。

3.3.2　プリンタマネージャをインストールする

背景

プリンタマネージャは、プリンタと接続するための環境の準備が完了しているマシンに、製品の提供媒体からインストーラを利用してインストールします。

前提条件

- 製品をインストールするユーザが管理者権限を持っている

操作手順

1. インストール対象の製品名を選択した状態で、［インストール実行］ボタンをクリックします。
   - モニタの製品名
     日立 プリンタステータスモニタ
   - マネージャの製品名
     日立 プリンタマネージャ
   - モニタ Client の製品名
     日立 プリンタステータスモニタ Client
   - マネージャ Client の製品名
     日立 プリンタマネージャ Client
   - 拡張オプションの製品名
     日立 プリンタステータスモニタ 拡張オプション

   インストールの準備が完了すると、［<製品名>用の InstallShield ウィザードへようこそ］画面が表示されます。

   > **メモ**
   >
   > 拡張オプションの場合、手順 2.～手順 4.の操作は不要です。手順 5.から実施してください。

2. ［次へ >］ボタンをクリックします。
   ［ユーザ情報］画面が表示されます。

3. ［ユーザ名］テキストボックス、および［所属］テキストボックスを入力して、［次へ >］ボタンをクリックします。
   ［インストール先のフォルダ］画面が表示されます。

4. インストール先のフォルダを変更する場合は、［変更...］ボタンをクリックしてインストール先のフォルダを変更します。

5. [次へ >] ボタンをクリックします。
   [プログラムをインストールする準備ができました] 画面が表示されます。

6. [インストール] ボタンをクリックします。
   インストールの実行中を示すメッセージが表示され、インストールが完了すると、[InstallShield ウィザードを完了しました] 画面が表示されます。

7. [完了] ボタンをクリックします。
   インストールを終了します。

3.3.3 プリンタマネージャをアンインストールする

背景

プリンタマネージャのアンインストールは、OS の機能を利用してアンインストールします。

前提条件

- 製品をアンインストールするユーザが管理者権限を持っている
- アンインストールする製品のサービスが停止している
- モニタの場合、マネージャ機能を使用しているときは、マネージャのサービスが停止している

操作手順

1. Windows のスタートメニューから、[コントロールパネル] − [プログラムと機能] を選択します。
   [プログラムのアンインストールまたは変更] 画面が表示されます。

2. アンインストールする製品のプログラム名を選択して右クリックし、コンテキストメニューから [アンインストールと変更] を選択します。
   - モニタのプログラム名
     日立 プリンタステータスモニタ※1
   - マネージャのプログラム名
     日立 プリンタマネージャ
   - モニタ Client のプログラム名
     日立 プリンタステータスモニタ Client※2
   - マネージャ Client のプログラム名
     日立 プリンタマネージャ Client※2
   - 拡張オプションのプログラム名※1
     日立 プリンタステータスモニタ 拡張オプション

注※1

「日立 プリンタステータスモニタ」と「日立 プリンタステータスモニタ 拡張オプション」の両方をアンインストールする場合は、「日立 プリンタステータスモニタ 拡張オプション」、「日立 プリンタステータスモニタ」の順にアンインストールしてください。

注※2

同じマシンに、「日立 プリンタステータスモニタ Client」と「日立 プリンタマネージャ Client」の両方をインストールしている場合は、どちらか一方の製品だけをアンインストールできません。必ず、両方の製品をアンインストールしてください。どちらか一方の製品だけにしたいときは、両方の製品をアンインストールしたあとに、使用する製品だけを再インストールしてください。

アンインストールを確認する画面が表示されます。

3. [はい] ボタンをクリックします。

アンインストールを実行します。アンインストールが完了すると、[プログラムのアンインストールまたは変更] 画面が表示されます。

> **メモ**
>
> アンインストールを中止する場合は、[いいえ] ボタンをクリックしてください。アンインストールを実行しないで画面を閉じます。

関連項目

- 4.2.2 モニタサービスを停止する
- 4.4.3 モニタ Client のモニタクライアントを停止する
- 5.2.5 マネージャサービスを停止する
- 5.3.3 マネージャ Client のマネージャクライアントを停止する

3.4　モニタの環境設定

3.4.1　モニタの環境設定について

モニタによる印刷業務を運用する上で必要な情報は、モニタの環境設定を使用して指定します。

モニタの環境設定には、次の設定項目があります。

- 出力先プリンタ設定

  印刷アプリケーションから印刷データを出力する実プリンタ（出力先プリンタ）をモニタ上で管理するために、モニタは Windows プリンタを作成します。作成した Windows プリンタに対して、運用に合わせたテスト印刷時の印刷情報や、用紙交換通知や障害通知の動作を設定できます。

  また、マネージャ、モニタ Client およびマネージャ Client で環境設定する際に使用する、出力先プリンタの情報も出力できます。

  プリンタマネージャでは、運用中に出力先プリンタの設定を変更できます。これによって、出力先プリンタで障害が発生した場合に、モニタサービスを起動したまま、出力先プリンタを追加、または複製して入れ替えたり、出力先プリンタの設定内容を変更したりする運用ができます。ただし、運用中に出力先プリンタは削除できません。出力先プリンタを削除する場合は、必ず、モニタサービスを停止してください。

- ログ設定

  モニタが出力する印刷履歴を示す印刷ログ、およびモニタの起動、停止などの稼働状況や障害回復などのプリンタ情報を示すシステム稼働ログについて、出力フォルダやログファイルの保存方法を設定できます。

- マネージャ設定

  モニタとマネージャを連携するために、マネージャの使用有無や印刷ジョブの保存先（ジョブ保存先フォルダ）を設定できます。マネージャ設定をする場合は、あらかじめマネージャをインストールしておく必要があります。

  なお、運用開始後にジョブ保存先フォルダを変更する場合は、バックアップおよびリストアを使用して、印刷ジョブを変更後のジョブ保存先フォルダへ移行してください。

- クライアント設定

  モニタからの通信切断時にモニタクライアントから自動再接続するかどうかや、監視サーバ上のクライアントを複数のログインユーザで起動するかどうかを設定できます。

  クライアント設定をする場合は、あらかじめモニタ Client やマネージャ Client をインストールしておく必要があります。監視サーバを複数のログインユーザで起動する場合は、拡張オプションもインストールしておく必要があります。

3.4.2　モニタの環境設定を開始する

背景

モニタによる印刷業務を運用する上で必要な情報を指定するために、モニタの環境設定を開始します。

前提条件

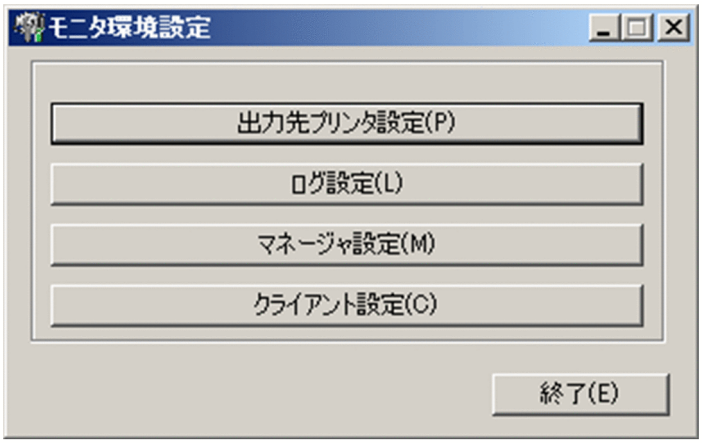
- 製品のインストールが完了している
- モニタの環境設定を実行するユーザが管理者権限を持っている

> **重要**
>
> モニタの環境設定情報は、次のタイミングで読み込まれます。
>
> - モニタサービス起動時
> - 出力先プリンタ設定の動的変更時※
>
> 注※
>
> ［出力先プリンタ設定］画面で［サービス起動中に設定変更を反映する］チェックボックスをチェックして、出力先プリンタを追加または複製した場合、もしくは出力先プリンタの設定を変更した場合に、環境設定情報が読み込まれます。

操作手順

1. Windows のスタートメニューから、［すべてのプログラム］－［日立 プリンタステータスモニタ］－［環境設定］を選択します。

   ［モニタ環境設定］画面が表示されます。



   ［モニタ環境設定］画面の設定項目を次に示します。

項目	内容
［出力先プリンタ設定］ボタン	［出力先プリンタ設定］画面が表示されます。実際に印刷するプリンタ（出力先プリンタ）を設定する場合に使用します。 ［出力先プリンタ設定］画面では、出力先プリンタを新規に作成したり、プリンタの印刷情報や障害の監視方法を設定したりできます。また、モニタで監視する出力先プリンタの一覧も出力できます。
［ログ設定］ボタン	［ログ設定］画面が表示されます。モニタが出力するログの環境を設定する場合に使用します。 ［ログ設定］画面では、モニタの印刷ログ、システム稼働ログ、およびシステムログの出力先フォルダやログファイルの保存方法を設定できます。
［マネージャ設定］ボタン	［マネージャ設定］画面が表示されます。印刷アプリケーションから Windows プリンタに出力された印刷データを、印刷ジョブとしてジョブ保存先フォルダに格納し、マネージャで管理する場合に使用します。 ［マネージャ設定］画面では、マネージャ機能の使用有無、およびジョブの保存先を設定できます。
［クライアント設定］ボタン	［クライアント設定］画面が表示されます。次の場合に使用します。 • モニタからの通信切断時にモニタクライアントからモニタへの自動再接続を設定する場合 • 監視サーバ上のクライアントを複数のログインユーザで起動する場合 ［クライアント設定］画面では、モニタクライアントの自動再接続の使用有無、監視サーバ上のクライアントの複数のログインユーザによる起動有無を設定できます。
［終了］ボタン	［モニタ環境設定］画面を閉じます。モニタの環境設定を終了する場合に使用します。

3.4.3　出力先プリンタを新規に作成する

背景

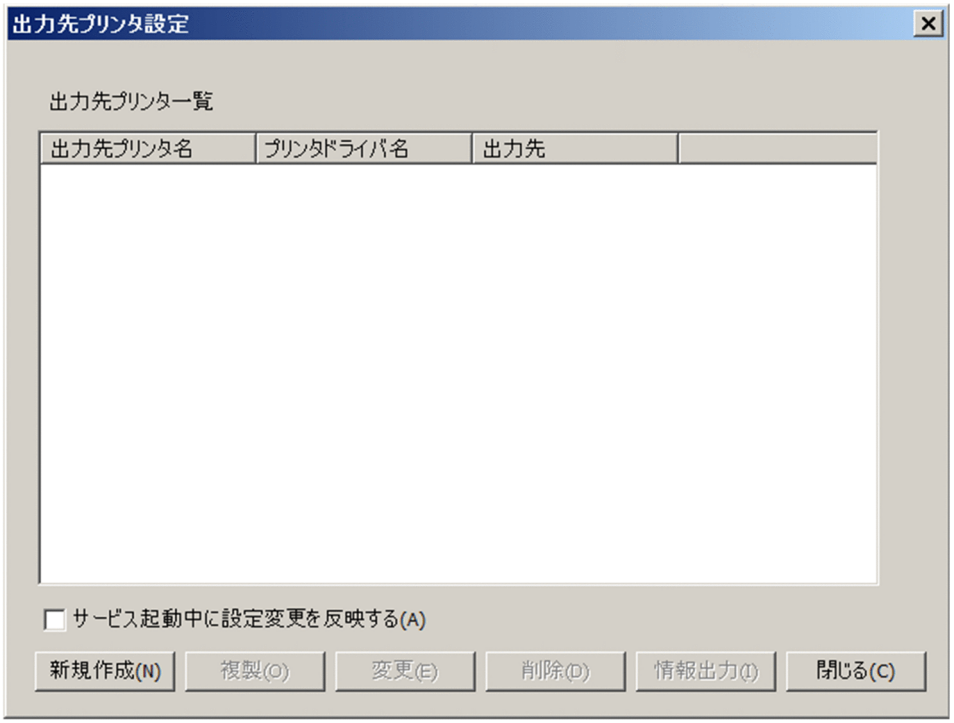
印刷アプリケーションの指示に従って印刷データを出力して、障害や用紙交換をユーザに通知する対象となるプリンタ（出力先プリンタ）を新規に作成します。ここで作成したプリンタがモニタの監視対象となります。出力先プリンタ情報は 64 件まで作成できますが、1 つのプリンタサーバで同時に稼働できるプリンタ数の目安は 16 台です。

前提条件

- ［モニタ環境設定］画面が起動している
- モニタの環境設定を実行するユーザが管理者権限を持っている

操作手順

1. **［モニタ環境設定］画面で［出力先プリンタ設定］ボタンをクリックします。**
   ［出力先プリンタ設定］画面が表示されます。



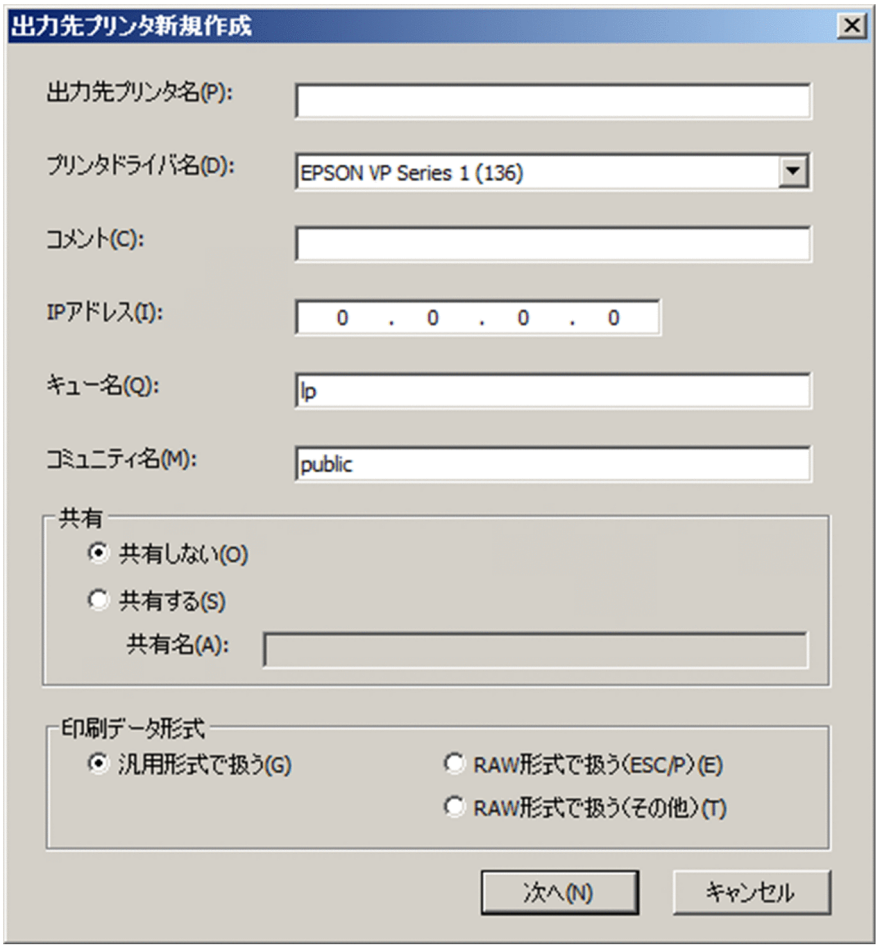
設定項目	内容
[出力先プリンター覧]	作成済みの出力先プリンタ情報が一覧表示されます。インストール直後は何も表示されません。 • [出力先プリンタ名] 出力先プリンタの名称が表示されます。 • [プリンタドライバ名] 出力先プリンタの印刷データを生成するプリンタドライバ名が表示されます。 • [出力先] 出力先プリンタの IP アドレスが表示されます。 出力先プリンタの情報を変更または削除する場合、出力先プリンタは複数選択できません。
[サービス起動中に設定変更を反映する] チェックボックス	変更したモニタの環境設定を、起動中のモニタサービスに反映するかどうかを指定します。対象となる環境設定は、出力先プリンタの新規作成および複製、ならびにプリンタ情報、印刷情報および障害監視情報の変更です。 なお、次の場合、このチェックボックスは非活性となります。 • [マネージャ設定] 画面で [マネージャ機能を使用する] チェックボックスをチェックしている場合 • モニタサービス起動中にチェックボックスのチェックを外して設定を反映したあと、モニタサービスを再起動していない場合 チェックボックスをチェックすると、変更後の設定が環境設定ファイルに加え、起動中のモニタサービスにも反映されます。モニタでは、反映された設定で運用が続行されます。 チェックボックスのチェックを外すと、変更後の設定は、環境設定ファイルには反映されますが、モニタサービスには反映されません。また、次回以降、チェックボックスは非活性となり、モニタサービスは動的変更できなくなります。この場合は、モニタサービスを再起動すると、変更後の設定がモニタサービスに反映され、チェックボックスは活性化します。

2. 起動中のモニタサービスに、新規作成した出力先プリンタの情報を反映する場合は、［サービス起動中に設定変更を反映する］チェックボックスをチェックします。

> **重要**
>
> ［サービス起動中に設定変更を反映する］チェックボックスのチェックを外して出力先プリンタの情報を変更すると、以降、チェックボックスは非活性となり、出力先プリンタの情報を動的変更できなくなります。この場合、モニタサービスを再起動すると、［サービス起動中に設定変更を反映する］チェックボックスは活性となり、運用中の設定変更も反映されます。

3. ［新規作成］ボタンをクリックします。

［出力先プリンタ新規作成］画面が表示されます。



4. 出力先プリンタ名とプリンタ情報を設定して、［次へ］ボタンをクリックします。

［出力先プリンタ新規作成］画面の設定項目を次に示します。

設定項目	内容
［出力先プリンタ名］	印刷業務で使用するプリンタを任意の名称で指定します。印刷データ形式に［汎用形式で扱う］を選択した場合は 200 文字以内、それ以外の場合は 220 文字以内で指定します。ただ

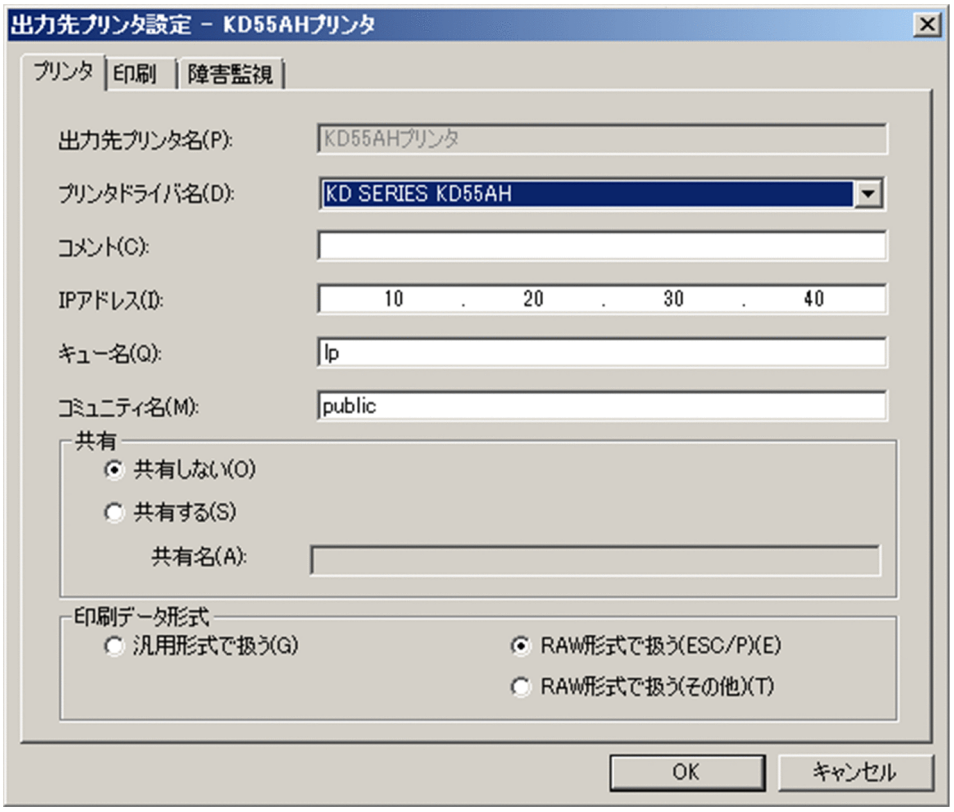
設定項目	内容
	し、"¥"および",（コンマ）"は使用できません。出力先プリンタ名は、あらかじめ決定した情報を基に指定してください。
[プリンタドライバ名]	出力先プリンタに対するプリンタドライバ名をドロップダウンリストから選択します。ドロップダウンリストには、マシンにインストールされているプリンタに対するプリンタドライバ名が表示されます。
[コメント]	出力先プリンタに対するコメントを 255 文字以内で指定します。
[IP アドレス]	出力先プリンタの IP アドレスを指定します。「0.0.0.0」は、未入力として扱われます。IP アドレスはあらかじめ決定した情報を基に指定してください。
[キュー名]	出力先プリンタの LAN アダプタに設定されているプリントキュー名を 1～32 文字で指定します。キュー名はあらかじめ決定した情報を基に必ず指定してください。プリンタごとの指定値については、取扱説明書を参照してください。
[コミュニティ名]	出力先プリンタの LAN アダプタに設定されている SNMP 認証コミュニティ名を 1～32 文字で指定します。コミュニティ名はあらかじめ決定した情報を基に必ず指定してください。プリンタごとの指定値については、取扱説明書を参照してください。
[共有]	出力先プリンタをほかのマシンと共有する共有プリンタとして使用するかどうかを選択します。 • [共有しない] ラジオボタン 出力先プリンタをほかのマシンと共有しない場合に選択します。 • [共有する] ラジオボタン 出力先プリンタをほかのマシンと共有する場合に選択します。
[共有名]	[共有] で [共有する] ラジオボタンを選択した場合に、共有名を 1～80 文字で指定します。"¥"、",（コンマ）" および"/（スラント）"は使用できません。 [共有名] を指定する場合は、既存のプリンタのプリンタ名、および共有名と異なる名称を必ず指定してください。同じ名称を指定した場合は、既存のプリンタと区別ができなくなり、印刷業務が正常に実行できなくなります。
[印刷データ形式]	印刷アプリケーションで設定する印刷モード（GDI、ESC/P）によって、モニタが扱う印刷データ形式を選択します。選択した印刷データ形式によって、障害時に使用できるリカバリ制御方式が異なります。 • 汎用形式で扱う XPS プリンタドライバ形式（XPS 形式）の印刷データを出力する場合に選択します。 XPS プリンタドライバ形式（XPS 形式）の印刷データを利用している場合は、ジョブ単位、またはページ単位のどちらでもリカバリ制御ができます。 • RAW 形式で扱う（ESC/P） ESC/P 形式の印刷データを出力する場合に選択します。 ジョブ単位、またはページ単位のどちらでもリカバリ制御ができますが、ページ単位でリカバリ制御する場合は、ページ末尾に改ページ（0C）コードが必要です。 • RAW 形式で扱う（その他） XPS 形式でも ESC/P 形式でもない形式の印刷データを出力する場合に選択します。 ジョブ単位でリカバリ制御はできますが、ページ単位でリカバリ制御はできません。 なお、この印刷データ形式を選択した場合、印刷はできますが、プレビュー表示はできません。

メモ

設定項目の指定誤りを示すメッセージが表示された場合は、メッセージに従って指定値を見直してください。

［サービス起動中に設定変更を反映する］チェックボックスの設定に関するメッセージが表示された場合、出力先プリンタの情報を動的変更しないときは［はい］ボタンを、動的変更するときは［いいえ］ボタンをクリックしてください。［いいえ］ボタンをクリックすると、変更後の設定は破棄され、［出力先プリンタ設定］画面が表示されます。

［出力先プリンタ新規作成］画面が閉じられ、［出力先プリンタ設定 － <新規作成する出力先プリンタ名>］画面の［プリンタ］タブが表示されます。



5. 出力先プリンタ情報を確認して、［OK］ボタンをクリックします。

［出力先プリンタ設定 － <新規作成する出力先プリンタ名>］画面が閉じられ、［出力先プリンタ設定］画面が表示されます。

指定した出力先プリンタ名で Windows プリンタが新規に作成されます。

手順 2.で［サービス起動中に設定変更を反映する］チェックボックスをチェックしている場合は、環境設定ファイルおよび Windows プリンタに加え、起動中のモニタサービスにも反映されます。チェックしていない場合、チェックボックスは非活性で表示され、環境設定ファイルおよび Windows プリンタにだけ反映され、起動中のモニタサービスには反映されません。

> **メモ**
>
> ［プリンタ］タブでは、画面で活性化しているプリンタ情報は変更できます。
>
> また、出力先プリンタの印刷情報および障害監視情報を設定できます。設定する場合は、［出力先プリンタ設定 － <新規作成する出力先プリンタ名>］画面の［印刷］タブで印刷情報を、［障害監視］タブで監視方式や障害監視情報を設定してください。

6. **作成した出力先プリンタが［出力先プリンター覧］に表示されていることを確認して、［閉じる］ボタンをクリックします。**

［出力先プリンタ設定］画面が閉じられ、［モニタ環境設定］画面が表示されます。

関連項目

- 3.2.3　プリンタと接続するために必要な情報の決定
- 3.4.4　プリンタの印刷情報を設定する
- 3.4.5　プリンタの障害監視情報を設定する
- 4.6.1　モニタの出力先プリンタ情報を編集する

3.4.4　プリンタの印刷情報を設定する

背景

出力先プリンタの印刷情報（テスト印刷時の印字動作）を設定します。

［出力先プリンタ設定］画面で［サービス起動中に設定変更を反映する］チェックボックスをチェックしている場合は、起動中のモニタサービスにも設定した印刷情報が反映されます。

> **メモ**
>
> 出力先プリンタの新規追加時に［出力先プリンタ設定 － <新規作成する出力先プリンタ名>］画面で［印刷］タブへ切り替えた場合は、手順 1.～手順 3.の操作は不要です。手順 4.から実施してください。

前提条件

- ［モニタ環境設定］画面が起動している
- モニタの環境設定を実行するユーザが管理者権限を持っている
- 出力先プリンタのプリンタ情報が設定済みである
- モニタサービス起動中に設定変更を反映する場合は、出力先プリンタに印刷ジョブが残っていない

操作手順

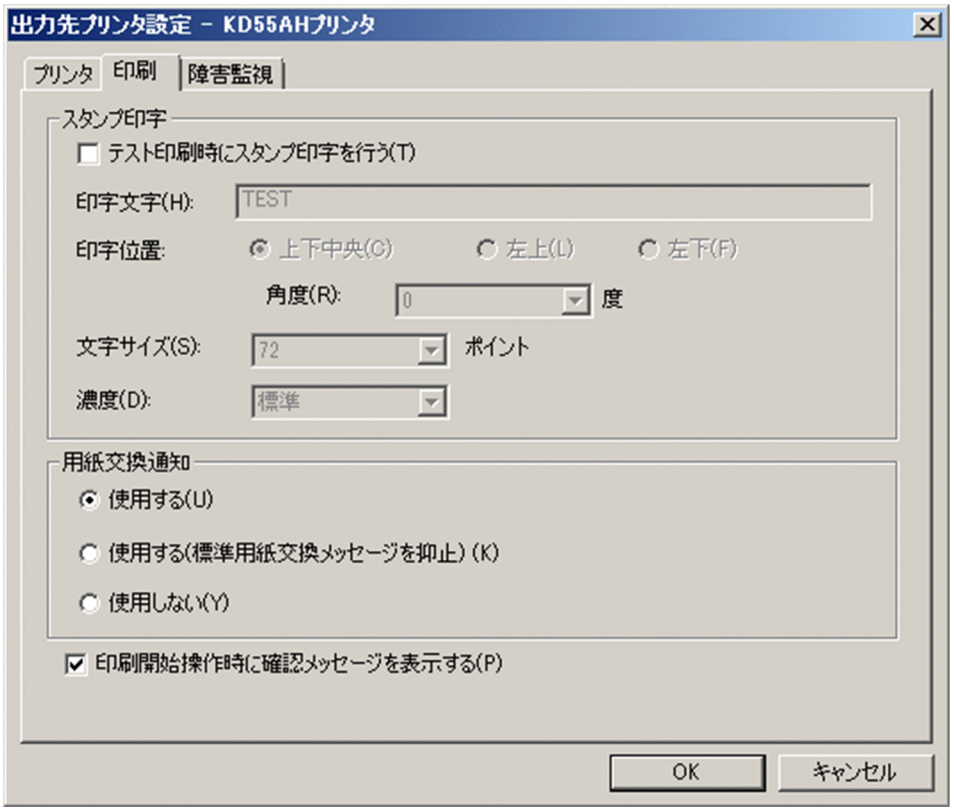
1. [モニタ環境設定] 画面で [出力先プリンタ設定] ボタンをクリックします。
   [出力先プリンタ設定] 画面が表示されます。

2. 起動中のモニタサービスに、更新した印刷情報を反映する場合は、[サービス起動中に設定変更を反映する] チェックボックスをチェックします。

> **重要**
>
> [サービス起動中に設定変更を反映する] チェックボックスのチェックを外して出力先プリンタの情報を変更すると、以降、チェックボックスは非活性となり、出力先プリンタの情報を動的変更できなくなります。この場合、モニタサービスを再起動すると、[サービス起動中に設定変更を反映する] チェックボックスは活性となり、運用中の設定変更も反映されます。

3. [出力先プリンター覧] から印刷情報を設定する出力先プリンタを選択して、[変更] ボタンをクリックします。
   [出力先プリンタ設定 － <選択した出力先プリンタ名>] 画面の [プリンタ] タブが表示されます。

4. [印刷] タブをクリックします。
   [出力先プリンタ設定 － <選択した出力先プリンタ名>] 画面の [印刷] タブが表示されます。



5. 印刷動作に関する情報を設定して、[OK] ボタンをクリックします。

- テスト印刷時の印字動作
- [用紙交換通知] 画面の表示動作
- 印刷を開始するボタン操作に対する動作

[印刷] タブの設定項目を次に示します。

設定項目	内容
[スタンプ印字]	テスト印刷時にスタンプ印字するかどうかを指定します。スタンプ印字する場合は、[テスト印刷時にスタンプ印字を行う] チェックボックスをチェックします。 • [テスト印刷時にスタンプ印字を行う] チェックボックス テスト印刷時にスタンプ印字する場合にチェックします。
[印字文字]	スタンプ印字する文字列を 1～40 文字で指定します。スタンプ印字する場合は必ず指定してください。
[印字位置]	スタンプ印字する位置を選択します。 • [上下中央] ラジオボタン ESC/P 形式の場合は、印字領域の左中央に [印字文字] で指定した文字の左中央を重ねて、スタンプ印字します。ESC/P 形式以外の場合は、印字領域の中央に [印字文字] で指定した文字の中央を重ねて、スタンプ印字します。 • [左上] ラジオボタン 印字領域の左上に [印字文字] で指定した文字の左上を重ねて、スタンプ印字します。 • [左下] ラジオボタン 印字領域の左下に [印字文字] で指定した文字の左下を重ねて、スタンプ印字します。
[角度]	[印字位置] に [上下中央] ラジオボタンを選択した場合に、スタンプ印字する文字列の角度をドロップダウンリストから選択します。選択できる角度は、0 度、30 度、45 度、60 度、90 度です。角度が 0 度の場合は水平（横表示）となり、90 度の場合は文字列を左回転した直角となります。
[文字サイズ]	スタンプ印字の文字サイズをドロップダウンリストから選択します（単位：ポイント）。選択できる文字サイズは、10、12、16、20、24、28、36、48、72、100、128、192、256 です。
[濃度]	スタンプ印字の濃さをドロップダウンリストから選択します。選択できる濃度は、標準、濃い、薄いです。 なお、透明を濃度 0%、不透明（塗りつぶし）を濃度 100%とした場合、濃度の値は、標準が 50%、濃いが 75%、薄いが 25%となります。
[用紙交換通知]	[用紙交換通知] 画面の表示契機を選択します。 • [使用する] ラジオボタン 印刷アプリケーションで用紙交換メッセージが指定されているかどうかに関係なく、[用紙交換通知] 画面はすべて表示します。 • [使用する（標準用紙交換メッセージを抑止）] ラジオボタン 印刷アプリケーションで標準用紙交換メッセージが指定されている場合は、[用紙交換通知] 画面を表示しません。用紙交換メッセージが指定されている場合は、[用紙交換通知] 画面を表示します。 • [使用しない] ラジオボタン

設定項目	内容
	印刷アプリケーションで用紙交換メッセージが指定されているかどうかに関係なく、[用紙交換通知] 画面をすべて表示しません。
[印刷開始操作時に確認メッセージを表示する] チェックボックス	次のボタンを操作した時に表示される確認メッセージを、表示するかどうかを指定します。印刷開始を確認するメッセージの表示を抑止したい場合は、チェックを外してください。 • [用紙交換通知] 画面の [テスト印刷] ボタン、[印刷開始] ボタン • [障害通知] 画面の [テスト印刷] ボタン、[印刷開始] ボタン

メモ

設定項目の指定誤りを示すメッセージが表示された場合は、メッセージに従って指定値を見直してください。

[サービス起動中に設定変更を反映する] チェックボックスの設定に関するメッセージが表示された場合、出力先プリンタの情報を動的変更しないときは [はい] ボタンを、動的変更するときは [いいえ] ボタンをクリックしてください。[いいえ] ボタンをクリックすると、変更後の設定は破棄され、[出力先プリンタ設定] 画面が表示されます。

[出力先プリンタ設定 − <選択した出力先プリンタ名>] 画面が閉じられ、[出力先プリンタ設定] 画面が表示されます。

手順 2.で [サービス起動中に設定変更を反映する] チェックボックスをチェックしている場合は、環境設定ファイルおよび Windows プリンタに加え、起動中のモニタサービスにも反映されます。チェックしていない場合、チェックボックスは非活性で表示され、環境設定ファイルおよび Windows プリンタにだけ反映され、起動中のモニタサービスには反映されません。

6. [閉じる] ボタンをクリックします。

[出力先プリンタ設定] 画面が閉じられ、[モニタ環境設定] 画面が表示されます。

関連項目

- 1.4　プリンタマネージャのサポート範囲
- 2.1　用紙交換通知について
- 2.2　障害通知について

3.4.5　プリンタの障害監視情報を設定する

背景

出力先プリンタの障害監視情報（プリンタ状態の監視方式、およびプリンタエラー発生時のリカバリ方法）を設定します。

［出力先プリンタ設定］画面で［サービス起動中に設定変更を反映する］チェックボックスをチェックしている場合は、起動中のモニタサービスにも設定した障害監視情報が反映されます。

メモ

出力先プリンタの新規追加時に［出力先プリンタ設定 － <新規作成する出力先プリンタ名>］画面で［障害監視］タブへ切り替えた場合は、手順 1.～手順 3.の操作は不要です。手順 4.から実施してください。

前提条件

- ［モニタ環境設定］画面が起動している
- モニタの環境設定を実行するユーザが管理者権限を持っている
- 出力先プリンタのプリンタ情報が設定済みである
- モニタサービス起動中に設定変更を反映する場合は、出力先プリンタに印刷ジョブが残っていない

操作手順

1. **［モニタ環境設定］画面で［出力先プリンタ設定］ボタンをクリックします。**
   ［出力先プリンタ設定］画面が表示されます。

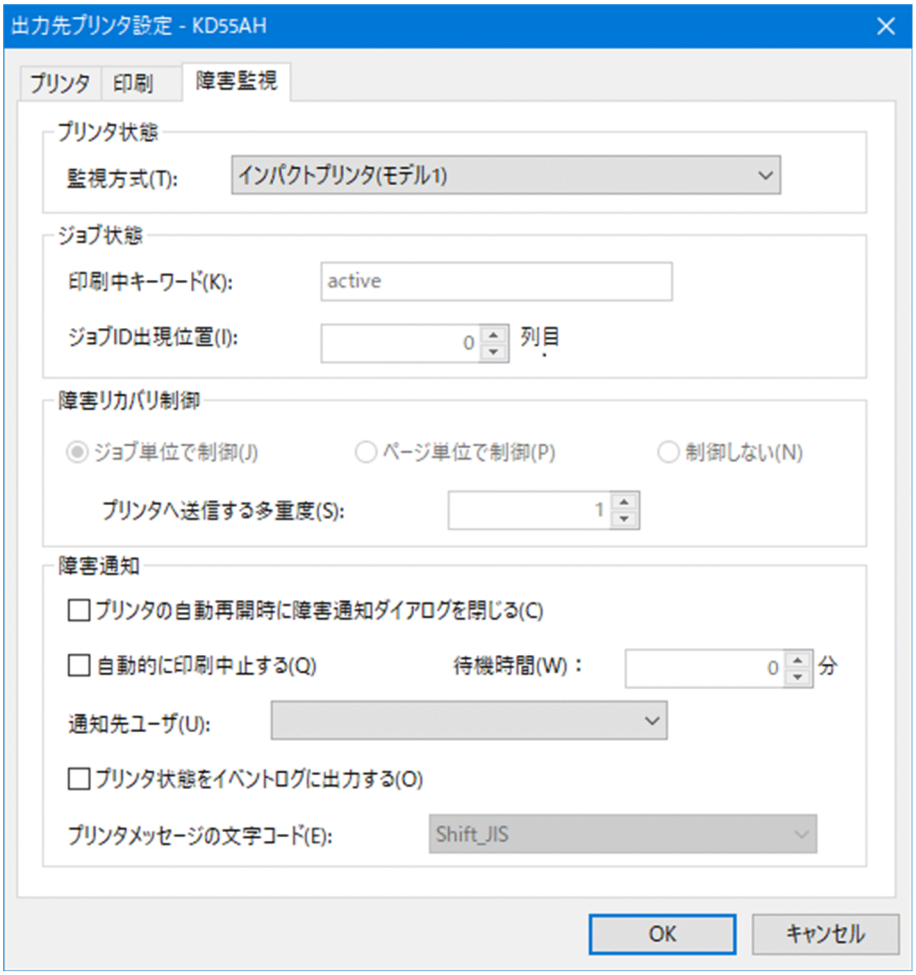
2. **起動中のモニタサービスに、更新した障害監視情報を反映する場合は、［サービス起動中に設定変更を反映する］チェックボックスをチェックします。**

   重要

   ［サービス起動中に設定変更を反映する］チェックボックスのチェックを外して出力先プリンタの情報を変更すると、以降、チェックボックスは非活性となり、出力先プリンタの情報を動的変更できなくなります。この場合、モニタサービスを再起動すると、［サービス起動中に設定変更を反映する］チェックボックスは活性となり、運用中の設定変更も反映されます。

3. **［出力先プリンター一覧］から障害監視情報を設定する出力先プリンタを選択して、［変更］ボタンをクリックします。**
   ［出力先プリンタ設定 － <選択した出力先プリンタ名>］画面の［プリンタ］タブが表示されます。

4. **［障害監視］タブをクリックします。**
   ［出力先プリンタ設定 － <選択した出力先プリンタ名>］画面の［障害監視］タブが表示されます。
   ここで示す［障害監視］タブは、［監視方式］に［インパクトプリンタ（モデル 1)］を選択した場合の表示例です。



5. 出力先プリンタに対するプリンタ状態の監視方式を選択し、必要に応じて障害監視情報を変更します。

   監視方式を選択すると、[障害監視] タブの設定項目には、出力先プリンタに対して最適な障害監視情報が適用されます。

   [障害監視] タブの設定項目を次に示します。

設定項目	内容
[監視方式]	出力先プリンタに対する監視方式をドロップダウンリストから選択します。選択した監視方式ごとに、最適な障害監視の設定が適用されます。プリンタごとの指定値については、取扱説明書を参照してください。 • インパクトプリンタ（モデル 1） インパクトプリンタを拡張 MIB で障害監視する場合に選択します。 • インパクトプリンタ（モデル 2） インパクトプリンタを標準 MIB で障害監視する場合に選択します。対象となるプリンタのジョブを利用して監視します。 • インパクトプリンタ（モデル 3） インパクトプリンタを標準 MIB で障害監視する場合に選択します。 • インパクトプリンタ（モデル 4） インパクトプリンタを標準 MIB で障害監視する場合に選択します。対象となるプリンタの印刷完了タイミングを取得して監視します。 • ページプリンタ（モデル 1）

設定項目	内容
	ページプリンタを標準 MIB で障害監視する場合に選択します。 01-40 より前に作成した出力先プリンタの設定情報で「ページプリンタ」を選択した場合は、この設定に引き継がれます。 • ページプリンタ（モデル 2） ページプリンタを標準 MIB で障害監視する場合に選択します。 • ページプリンタ（モデル 3） XPS 対応ドライバを指定している場合に選択します。 • インパクトプリンタ（モデル 5）※1 インパクトプリンタを標準 MIB で障害監視する場合に選択します。特定のプリンタの印刷完了タイミングを取得して監視します。 • 空白 01-30 より前に作成した出力先プリンタの設定情報をそのまま保存する場合に選択します。新規作成する出力先プリンタの場合、この設定は選択できません。
[印刷中キーワード]	印刷ジョブが印刷中かどうかをモニタが判定するために使用するキーワード文字列を、32 文字以内の英数字で指定します。ただし、サロゲート文字、IVS フォント、および全角文字は使用できません。プリンタごとの指定値については、取扱説明書を参照してください。 LPQ の応答文字列に［印刷中キーワード］がある場合、モニタは、その印刷ジョブが印刷中であると判断します。
[ジョブ ID 出現位置]	モニタがプリンタ内のジョブ ID を LPQ の応答文字列から判断するために、応答文字列の何列目にジョブ ID があるかを指定します。プリンタ内のジョブ ID は、印刷ジョブの状態監視、およびキャンセルで使用されます。プリンタごとの指定値については、取扱説明書を参照してください。 0 を指定した場合、モニタは、プリンタ内でジョブ ID が管理されていないと見なして動作します。
[障害リカバリ制御]	Windows スプールから取り出した印刷データを、プリンタへ送信する単位、およびプリンタの状態（印刷完了、および障害）を監視する方式を選択します。 • [ジョブ単位で制御] ラジオボタン Windows スプールから取り出した印刷データを、印刷ジョブ単位にプリンタへ送信します。 送信した印刷ジョブごとに、プリンタの状態（印刷完了、および障害発生）を検知します。障害発生時には、標準 MIB を使用している場合は［障害通知］画面にエラー発生ページは表示されませんが、拡張 MIB を使用している場合は、[障害通知] 画面にエラー発生ページが表示されます。 障害発生時は、[障害通知] 画面で印刷ページを指定して、指定したページから再印刷します。または、[障害通知] 画面で印刷ページが表示されない場合は、[印刷開始] ボタンで印刷ジョブの先頭から再印刷します。 • [ページ単位で制御] ラジオボタン Windows スプールから取り出した印刷データを、印刷ジョブのページ単位に分割してプリンタへ送信します。 送信したページごとに、プリンタの状態（印刷完了、および障害発生）を検知します。障害発生時には、[障害通知] 画面に送信したページ番号がエラー発生ページとして表示されます。 障害発生時は、[障害通知] 画面で印刷ページを指定して、指定したページから再印刷します。または、[障害通知] 画面で印刷ページが表示されない場合は、[印刷開始] ボタンで印刷ジョブの先頭から再印刷します。

設定項目	内容
	• ［制御しない］ラジオボタン Windows スプールから取り出した印刷データを、プリンタへ送信します。 モニタでは、プリンタに印刷ジョブをすべて送信したら印刷完了と判断します。また、プリンタの状態（印刷完了、および障害発生）を監視しないため、印刷時に障害が発生してもリカバリできません。
［プリンタへ送信する多重度］	同期印刷の場合に、プリンタからの印刷完了を待たないで、次の印刷データをプリンタへ送信する数（多重度）を 1～80 の範囲で指定します。多重度が、プリンタで受け付けられる上限数を超えている場合は、上限数で同期印刷されます。 次の条件を満たすプリンタの場合は、性能を考慮して多重度を設定してください。それ以外のプリンタの場合は、「1」を設定してください。 • シリアルプリンタでない • プリンタ送信後に、プリンタ内で印刷順序が変わらない
［プリンタの自動再開時に障害通知ダイアログを閉じる］チェックボックス	モニタの障害検知※2 によるプリンタエラーを回復したあと、自動的に［障害通知］画面を閉じて、印刷を再開するかどうかを指定します。 障害回復後に、プリンタへ送信済みの印刷ジョブを自動的に再開するかどうかは、プリンタの設定によって異なります。チェックを外すと、自動再開するプリンタの場合は、印刷ジョブが障害発生時までで中止され、自動再開しないプリンタの場合は、［障害通知］画面で［印刷中止］ボタン以外が無効となり、印刷ジョブが再印刷できなくなります。このため、このチェックボックスは、プリンタの設定に従って指定してください。
［自動的に印刷中止する］チェックボックス	印刷ジョブで印刷エラーが発生した場合に、印刷ジョブを自動的にキャンセルして、出力先プリンタへの印刷処理を中止するかどうかを指定します。 このチェックボックスをチェックすると、印刷エラーが発生した印刷ジョブは、［待機時間］に指定した時間が経過したあと自動的にキャンセルされ、出力先プリンタへの印刷処理は取り消されます。
［待機時間］	［自動的に印刷中止する］チェックボックスをチェックした場合に、印刷ジョブで印刷エラーが発生してから、出力先プリンタへの印刷処理を自動的に中止するまでの待ち時間を、0～1440 分で指定します。 0 を指定した場合は、印刷エラーが発生すると、出力先プリンタへの印刷処理を即時に中止します。
［通知先ユーザ］	モニタで、障害の通知先ユーザをプリンタごとに指定できます。障害監視の対象プリンタに対して、特定のユーザで監視する場合に利用します。ただし、次の場合、［通知先ユーザ］は利用できません。 • ［マネージャ設定］画面で［マネージャ機能を使用する］チェックボックスをチェックしている場合 • ［クライアント設定］画面で［複数のログインユーザでモニタ/マネージャクライアントを起動する］チェックボックスをチェックしている場合 選択できる通知先ユーザは、未選択（ユーザの指定なし）、またはモニタ環境下で設定されているログインユーザをロップダウンリストから選択します。ドロップダウンリストには、マシンに設定されているユーザ名が表示されます。 モニタの障害検知によるプリンタエラーは、通知先ユーザでログインしたマシンに表示します。通知先ユーザの指定がない場合は、ログインするユーザを特定しません。 なお、モニタの障害検知によるプリンタエラーは、現在ログオン中のユーザ、または最初にログオンしたユーザに対して表示します。このため通知先ユーザを指定していても、他の

設定項目	内容
	ユーザがログインしている場合は、プリンタエラーが表示されない場合があります。この場合は、他のユーザがログアウトした時点で、プリンタエラーが表示されます。
[プリンタ状態をイベントログに出力する] チェックボックス	プリンタ状態を Windows イベントログに出力するかどうかを指定します。 このチェックボックスをチェックすると、プリンタ状態として、「不明・通信断」、「ウォームアップ中」、「オンライン」、「オンライン（警告）」、「印刷中」、「印刷中（警告）」、「エラー」、または「スリープ中」が、Windows イベントログに出力されます。プリンタ状態の意味は、[プリンター覧] ウィンドウの [状態] に表示される項目と同じです。
[プリンタメッセージの文字コード]	モニタが出力先プリンタの OCP メッセージをどの文字コードとして扱うかを、ドロップダウンリストから選択します。 • Shift_JIS 文字コードがシフト JIS の OCP メッセージを返すプリンタの場合に選択します。[障害通知] 画面に表示されるメッセージが文字化けするときは、ほかの値を選択してください。 なお、OCP メッセージが出力先プリンタから取得できない場合は、[その他] を選択したときと同じ動作となります。 • UTF-8 文字コードが UTF-8 の OCP メッセージを返すプリンタの場合に選択します。 なお、OCP メッセージが出力先プリンタから取得できない場合は、[その他] を選択したときと同じ動作となります。 • その他 OCP メッセージを出力先プリンタから取得しない場合に選択します。モニタが標準 MIB のプリンタステータス状態などから生成する、OCP メッセージが表示されます。

注※1

拡張オプションをインストールしている場合に表示されます。拡張オプションを利用して追加した特定のプリンタの場合も、ほかのプリンタと同様に、モニタからログを出力します。

拡張オプションをアンインストールすると、インパクトプリンタ（モデル 5）を設定しているプリンタの [監視方式] は空欄で表示されます。この場合、[監視方式] を変更して保存したときのモニタの動作は保障できませんので注意してください。

注※2

ネットワーク系の障害が発生した場合（プリンタ状態に「不明・通信断」、および [障害通知] 画面で「ツウシンダン」と表示された場合）は、プリンタの印刷状況やエラー状態が取得できなくなるため、プリンタの自動再開に対応する設定が有効でも、自動的に印刷は再開されません。この場合は、印刷済みのページ数を確認の上、[範囲指定] に開始ページと終了ページを設定し、再印刷してください。

6. 障害監視情報を確認して、[OK] ボタンをクリックします。

メモ

設定項目の指定誤りを示すメッセージが表示された場合は、メッセージに従って指定値を見直してください。

［サービス起動中に設定変更を反映する］チェックボックスの設定に関するメッセージが表示された場合、出力先プリンタの情報を動的変更しないときは［はい］ボタンを、動的変更するときは［いいえ］ボタンをクリックしてください。［いいえ］ボタンをクリックすると、変更後の設定は破棄され、［出力先プリンタ設定］画面が表示されます。

［出力先プリンタ設定 － <選択した出力先プリンタ名>］画面が閉じられ、［出力先プリンタ設定］画面が表示されます。

手順 2.で［サービス起動中に設定変更を反映する］チェックボックスをチェックしている場合は、環境設定ファイルおよび Windows プリンタに加え、起動中のモニタサービスにも反映されます。チェックしていない場合、チェックボックスは非活性で表示され、環境設定ファイルおよび Windows プリンタにだけ反映され、起動中のモニタサービスには反映されません。

7. ［閉じる］ボタンをクリックします。

［出力先プリンタ設定］画面が閉じられ、［モニタ環境設定］画面が表示されます。

関連項目

- 1.4　プリンタマネージャのサポート範囲
- 2.2　障害通知について
- 付録 B　監視方式ごとの設定値
- 付録 C　障害通知画面に表示される OCP メッセージ

3.4.6　作成済みの出力先プリンタを複製する

背景

作成済みの出力先プリンタのプリンタ情報、印刷情報、および障害監視情報を複製して、新規に出力先プリンタを作成できます。複製先の出力先プリンタもモニタの監視対象となります。出力先プリンタ情報は 64 件まで作成できますが、1 つのプリンタサーバで同時に稼働できるプリンタ数の目安は 16 台です。

［出力先プリンタ設定］画面で［サービス起動中に設定変更を反映する］チェックボックスをチェックしている場合は、起動中のモニタサービスにも複製先の出力先プリンタの情報が反映されます。

出力先プリンタ複製時に共通項目となるプリンタ情報、印刷情報、および障害監視情報を次の表に示します。

表 3-1　出力先プリンタ複製時に共通項目となるプリンタ情報、印刷情報、および障害監視情報

［出力先プリンタ設定］画面のタブ名	出力先プリンタ複製時の共通項目
［プリンタ］タブ	［コミュニティ名］
［印刷］タブ	［用紙交換通知］
	［印刷開始操作時に確認メッセージを表示する］チェックボックス

［出力先プリンタ設定］画面のタブ名	出力先プリンタ複製時の共通項目
［障害監視］タブ	［監視方式］
	［印刷中キーワード］
	［ジョブ ID 出現位置］
	［障害リカバリ制御］
	［プリンタへ送信する多重度］
	［プリンタの自動再開時に障害通知ダイアログを閉じる］チェックボックス
	［自動的に印刷中止する］チェックボックス
	［待機時間］
	［通知先ユーザ］
	［プリンタ状態をイベントログに出力する］チェックボックス
	［プリンタメッセージの文字コード］

前提条件

- ［モニタ環境設定］画面が起動している
- 作成済みの出力先プリンタ情報が 1 件以上、64 件未満である
- モニタの環境設定を実行するユーザが管理者権限を持っている
- モニタサービス起動中に設定変更を反映する場合は、出力先プリンタに印刷ジョブが残っていない

操作手順

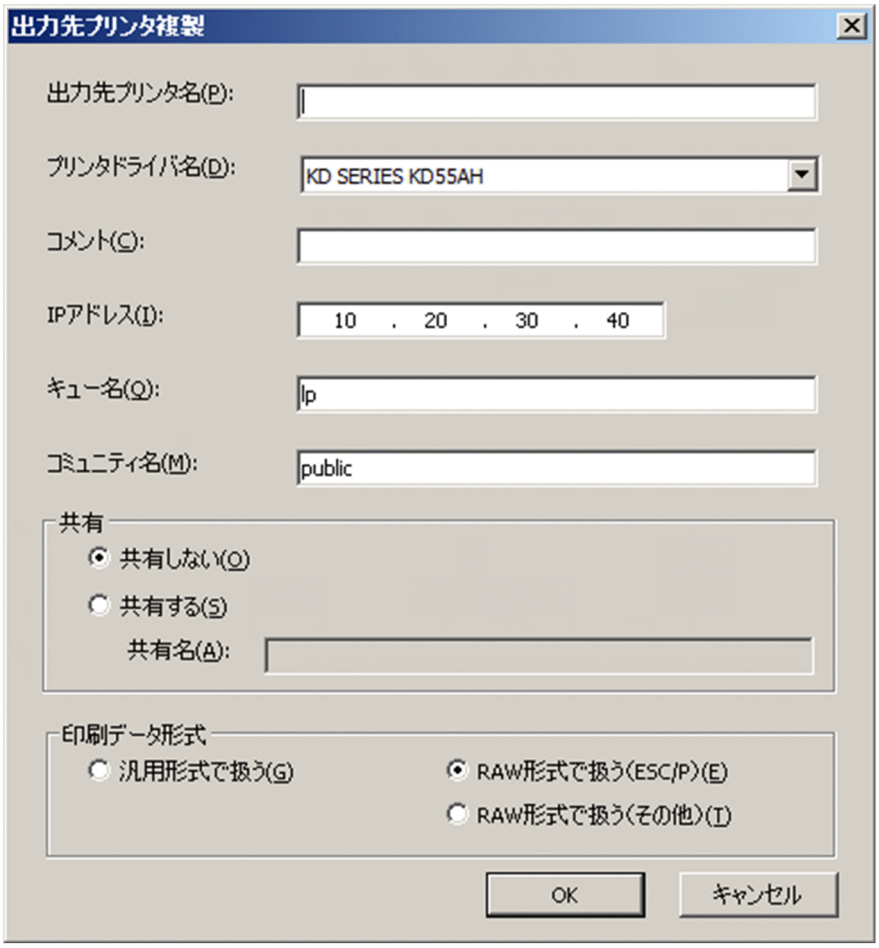
1. ［モニタ環境設定］画面で［出力先プリンタ設定］ボタンをクリックします。
   ［出力先プリンタ設定］画面が表示されます。

2. 起動中のモニタサービスに、複製した出力先プリンタの情報を反映する場合は、［サービス起動中に設定変更を反映する］チェックボックスをチェックします。

   重要

   ［サービス起動中に設定変更を反映する］チェックボックスのチェックを外して出力先プリンタの情報を変更すると、以降、チェックボックスは非活性となり、出力先プリンタの情報を動的変更できなくなります。この場合、モニタサービスを再起動すると、［サービス起動中に設定変更を反映する］チェックボックスは活性となり、運用中の設定変更も反映されます。

3. ［出力先プリンター覧］から情報を複製する出力先プリンタを選択して、［複製］ボタンをクリックします。
   ［出力先プリンタ複製］画面が表示されます。



4. 複製先の出力先プリンタ名を設定し、必要に応じてプリンタ情報を変更します。

［出力先プリンタ複製］画面の設定項目を次に示します。

設定項目	内容
［出力先プリンタ名］	複製先の出力先プリンタを任意の名称で指定します。印刷データ形式に［汎用形式で扱う］を選択した場合は 200 文字以内、それ以外の場合は 220 文字以内で指定します。ただし、"¥"および",（コンマ）"は使用できません。出力先プリンタ名は、あらかじめ決定した情報を基に指定してください。
［プリンタドライバ名］	複製元の出力先プリンタのプリンタドライバ名が表示されます。複製先の出力先プリンタで変更する場合は、出力先プリンタに対するプリンタドライバ名をドロップダウンリストから選択します。ドロップダウンリストには、マシンにインストールされているプリンタに対するプリンタドライバ名が表示されます。
［コメント］	複製元の出力先プリンタのコメントが表示されます。複製先の出力先プリンタで変更する場合は、出力先プリンタに対するコメントを 255 文字以内で指定します。
［IP アドレス］	複製元の出力先プリンタの IP アドレスが表示されます。複製先の出力先プリンタで変更する場合は、出力先プリンタの IP アドレスを指定します。「0.0.0.0」は、未入力として扱われます。IP アドレスはあらかじめ決定した情報を基に指定してください。
［キュー名］	複製元の出力先プリンタのキュー名が表示されます。複製先の出力先プリンタで変更する場合は、出力先プリンタの LAN アダプタに設定されているプリントキュー名を 1～32 文字で指定します。キュー名はあらかじめ決定した情報を基に必ず指定してください。プリンタごとの指定値については、取扱説明書を参照してください。

設定項目	内容
[コミュニティ名]	複製元の出力先プリンタのコミュニティ名が表示されます。複製先の出力先プリンタで変更する場合は、出力先プリンタの LAN アダプタに設定されている SNMP 認証コミュニティ名を 1～32 文字で指定します。コミュニティ名はあらかじめ決定した情報を基に必ず指定してください。プリンタごとの指定値については、取扱説明書を参照してください。
[共有]	複製元の出力先プリンタの共有設定が表示されます。複製先の出力先プリンタで変更する場合は、出力先プリンタをほかのマシンと共有する共有プリンタとして使用するかどうかを選択します。 • [共有しない] ラジオボタン 出力先プリンタをほかのマシンと共有しない場合に選択します。 • [共有する] ラジオボタン 出力先プリンタをほかのマシンと共有する場合に選択します。
[共有名]	複製元の出力先プリンタで [共有] に [共有する] ラジオボタンを選択している場合は、共有名が表示されます。複製先の出力先プリンタで共有設定を変更した場合に、[共有] で [共有する] ラジオボタンを選択したときは、共有名を 1～80 文字で指定します。"¥"、",（コンマ）" および"/（スラント）"は使用できません。 [共有名] を指定する場合は、既存のプリンタのプリンタ名、および共有名と異なる名称を必ず指定してください。同じ名称を指定した場合は、既存のプリンタと区別ができなくなり、印刷業務が正常に実行できなくなります。
[印刷データ形式]	複製元の出力先プリンタの印刷データ形式が表示されます。複製先の出力先プリンタで変更する場合は、印刷アプリケーションで設定する印刷モード（GDI、ESC/P）によって、モニタが扱う印刷データ形式を選択します。選択した印刷データ形式によって、障害時に使用できるリカバリ制御方式が異なります。 • 汎用形式で扱う XPS プリンタドライバ形式（XPS 形式）の印刷データを出力する場合に選択します。印刷データの出力およびプレビュー表示ができます。 XPS プリンタドライバ形式（XPS 形式）の印刷データを利用している場合は、ジョブ単位、またはページ単位のどちらでもリカバリ制御ができます。 • RAW 形式で扱う（ESC/P） ESC/P 形式の印刷データを出力する場合に選択します。 ジョブ単位、またはページ単位のどちらでもリカバリ制御ができますが、ページ単位でリカバリ制御する場合は、ページ末尾に改ページ（0C）コードが必要です。 • RAW 形式で扱う（その他） XPS 形式でも ESC/P 形式でもない形式の印刷データを出力する場合に選択します。 ジョブ単位でリカバリ制御はできますが、ページ単位でリカバリ制御はできません。 なお、この印刷データ形式を選択した場合、印刷はできますが、プレビュー表示はできません。

5. 複製先の出力先プリンタ情報を確認して、[OK] ボタンをクリックします。

メモ

設定項目の指定誤りを示すメッセージが表示された場合は、メッセージに従って指定値を見直してください。

［サービス起動中に設定変更を反映する］チェックボックスの設定に関するメッセージが表示された場合、複製した出力先プリンタの情報を動的変更しないときは［はい］ボタンを、動的変更するときは［いいえ］ボタンをクリックしてください。［いいえ］ボタンをクリックすると、変更後の設定は破棄され、［出力先プリンタ設定］画面が表示されます。

また、複製先の出力先プリンタ情報が次の条件を満たす場合は、共通項目の上書きを確認するメッセージが表示されます。共通項目を上書きするときは［はい］ボタンをクリックしてください。上書きしないときは［いいえ］ボタンをクリックしてから、再度、IP アドレスが同じ出力先プリンタの設定を確認してください。

- ほかの出力先プリンタと IP アドレスが重複している
- ほかの出力先プリンタとコミュニティ名が異なっている

［出力先プリンタ複製］画面が閉じられ、［出力先プリンタ設定］画面が表示されます。

指定した出力先プリンタ名で Windows プリンタが新規に作成されます。

手順 2.で［サービス起動中に設定変更を反映する］チェックボックスをチェックしている場合は、環境設定ファイルおよび Windows プリンタに加え、起動中のモニタサービスにも反映されます。チェックしていない場合、チェックボックスは非活性で表示され、環境設定ファイルおよび Windows プリンタにだけ反映され、起動中のモニタサービスには反映されません。

6. **作成した複製先の出力先プリンタが［出力先プリンター覧］に表示されていることを確認します。**

   複製先の出力先プリンタの印刷情報および障害監視情報も変更できます。変更する場合は、［出力先プリンタ設定 － <選択した出力先プリンタ名>］画面の［印刷］タブで印刷情報を、［障害監視］タブで監視方式や障害監視情報を変更してください。

7. **［閉じる］ボタンをクリックします。**

   ［出力先プリンタ設定］画面が閉じられ、［モニタ環境設定］画面が表示されます。

関連項目

- 3.2.3　プリンタと接続するために必要な情報の決定
- 3.4.4　プリンタの印刷情報を設定する
- 3.4.5　プリンタの障害監視情報を設定する

3.4.7　モニタの印刷ログの出力方式を設定する

背景

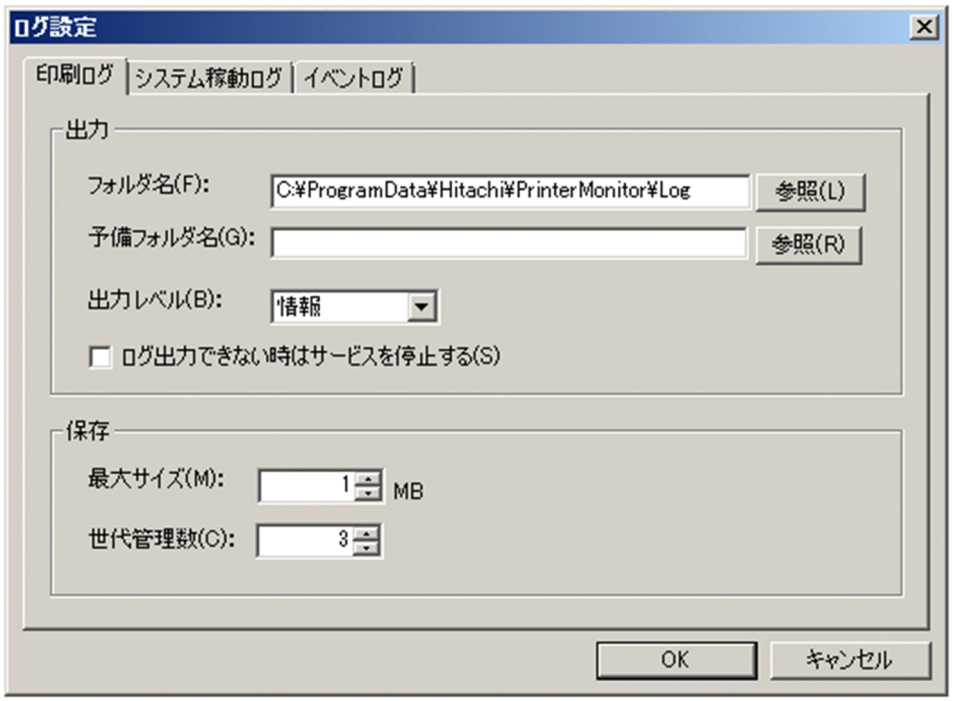
モニタが出力する印刷ログの出力フォルダ、ログファイルの最大サイズや世代管理数を設定します。

前提条件

- ［モニタ環境設定］画面が起動している
- モニタの環境設定を実行するユーザが管理者権限を持っている

操作手順

1. ［モニタ環境設定］画面で［ログ設定］ボタンをクリックします。
   ［ログ設定］画面の［印刷ログ］タブが表示されます。



2. 印刷ログの出力に関する設定、およびログファイルの保存方法を設定して、［OK］ボタンをクリックします。
   ［印刷ログ］タブの設定項目を次に示します。

項目	内容
［フォルダ名］	印刷ログが出力されるフォルダを 240 文字以内の絶対パスで指定します。 フォルダ名は、［参照］ボタンをクリックして［フォルダの選択］画面から選択することもできます。ただし、フォルダ名には、?、*、"、>、<、¦、サロゲート文字、および IVS フォントは使用できません。 デフォルト値は、「%ALLUSERSPROFILE%¥HITACHI¥PrinterMonitor¥Log」です。 なお、ログの出力フォルダをデフォルトから変更する場合は、ログの出力フォルダがほかの製品と同じパスにならないように注意してください。同じパスを指定した場合は、ログファイルが重複して、モニタサービスの起動に失敗します。
［予備フォルダ名］	［フォルダ名］で指定したログフォルダへのログ出力時に、ディスク容量不足やほかのアプリケーションによるファイルロックなどが原因で、ログ出力を失敗することがあります。この場合に、代わりにログを出力するフォルダ（予備フォルダ）を 240 文字以内の絶対パスで指定します。デフォルト値は設定されていません。

項目	内容
	予備フォルダ名は、[参照] ボタンをクリックして［フォルダの選択］画面から選択することもできます。ただし、予備フォルダ名には、?、*、"、>、<、¦、サロゲート文字、および IVS フォントは使用できません。
［出力レベル］	印刷ログを出力するレベルをドロップダウンリストから選択します。選択できる出力レベルは、情報、警告、エラーです。 出力レベルは、情報、警告、エラーの順に重要度が高くなり、選択した出力レベルより重要度の高いメッセージをログファイルへ出力します。
［ログ出力できない時はサービスを停止する］チェックボックス	何らかの理由によって、［フォルダ名］および［予備フォルダ］に指定したどちらのフォルダにもログが出力できなくなった場合に、モニタサービスを停止するかどうかを指定します。 ログ出力できない場合にモニタサービスを停止するときはチェックしてください。
［最大サイズ］	印刷ログの 1 ファイルの最大サイズを 1～100 の範囲で指定します（単位：MB）。 ログファイルが最大サイズに達した場合は、世代管理数に従ってログファイルを新規に作成して出力先を切り替えます。ログファイルの世代管理数が指定値を超えた場合は、1 世代目のログファイルに出力先を切り替えて上書きします。
［世代管理数］	印刷ログのログファイルの世代管理数を 3～10 の範囲で指定します。

メモ

設定項目の指定誤りを示すメッセージが表示された場合は、メッセージに従って指定値を見直してください。

［ログ設定］画面が閉じられ、［モニタ環境設定］画面が表示されます。

関連項目

- 3.2.2　変更後の出力フォルダを作成する

3.4.8　モニタのシステム稼働ログの出力方式を設定する

背景

モニタが出力するシステム稼働ログの出力フォルダ、ログファイルの最大サイズや世代管理数を設定します。

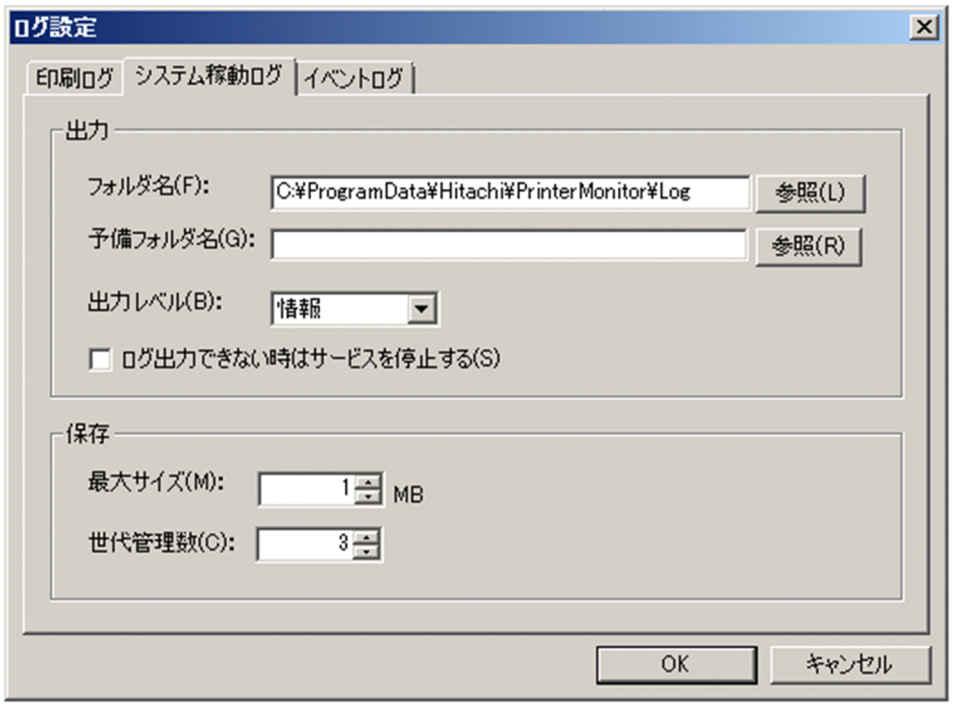
前提条件

- ［モニタ環境設定］画面が起動している
- モニタの環境設定を実行するユーザが管理者権限を持っている

操作手順

1. [モニタ環境設定] 画面で [ログ設定] ボタンをクリックします。
   [ログ設定] 画面の [印刷ログ] タブが表示されます。

2. [システム稼動ログ] タブをクリックします。
   [ログ設定] 画面の [システム稼動ログ] タブが表示されます。



3. システム稼働ログの出力に関する設定、およびログファイルの保存方法を設定して、[OK] ボタンをクリックします。
   [システム稼動ログ] タブの設定項目を次に示します。

項目	内容
[フォルダ名]	システム稼働ログが出力されるフォルダを 240 文字以内の絶対パスで指定します。 フォルダ名は、[参照] ボタンをクリックして [フォルダの選択] 画面から選択することもできます。ただし、フォルダ名には、?、*、"、>、<、¦、サロゲート文字、および IVS フォントは使用できません。 デフォルト値は、「%ALLUSERSPROFILE%¥HITACHI¥PrinterMonitor¥Log」です。 なお、ログの出力フォルダをデフォルトから変更する場合は、ログの出力フォルダがほかの製品と同じパスにならないように注意してください。同じパスを指定した場合は、ログファイルが重複して、モニタサービスの起動に失敗します。
[予備フォルダ名]	[フォルダ名] で指定したログフォルダへのログ出力時に、ディスク容量不足やほかのアプリケーションによるファイルロックなどが原因で、ログ出力を失敗することがあります。この場合に、代わりにログを出力するフォルダ（予備フォルダ）を 240 文字以内の絶対パスで指定します。デフォルト値は設定されていません。

項目	内容
	予備フォルダ名は、[参照] ボタンをクリックして［フォルダの選択］画面から選択することもできます。ただし、予備フォルダ名には、?、*、"、>、<、¦、サロゲート文字、および IVS フォントは使用できません。
［出力レベル］	システム稼働ログを出力するレベルをドロップダウンリストから選択します。選択できる出力レベルは、情報、警告、エラーです。 出力レベルは、情報、警告、エラーの順に重要度が高くなり、選択した出力レベルより重要度の高いメッセージをログファイルへ出力します。
［ログ出力できない時はサービスを停止する］チェックボックス	何らかの理由によって、［フォルダ名］および［予備フォルダ］に指定したどちらのフォルダにもログが出力できなくなった場合に、モニタサービスを停止するかどうかを指定します。 ログ出力できない場合にモニタサービスを停止するときは、このチェックボックスをチェックしてください。
［最大サイズ］	システム稼働ログの 1 ファイルの最大サイズを 1～100 の範囲で指定します（単位：MB）。 ログファイルが最大サイズに達した場合は、世代管理数に従ってログファイルを新規に作成して出力先を切り替えます。ログファイルの世代管理数が指定値を超えた場合は、1 世代目のログファイルに出力先を切り替えて上書きします。
［世代管理数］	システム稼働ログのログファイルの世代管理数を 3～10 の範囲で指定します。

メモ

設定項目の指定誤りを示すメッセージが表示された場合は、メッセージに従って指定値を見直してください。

［ログ設定］画面が閉じられ、［モニタ環境設定］画面が表示されます。

関連項目

- 3.2.2　変更後の出力フォルダを作成する

3.4.9　イベントログの出力を設定する

背景

モニタが出力するイベントログの内容を設定します。なお、イベントログにプリンタのプリンタ状態を出力するかどうかは、［出力先プリンタ設定］画面の［障害監視］タブで設定してください。

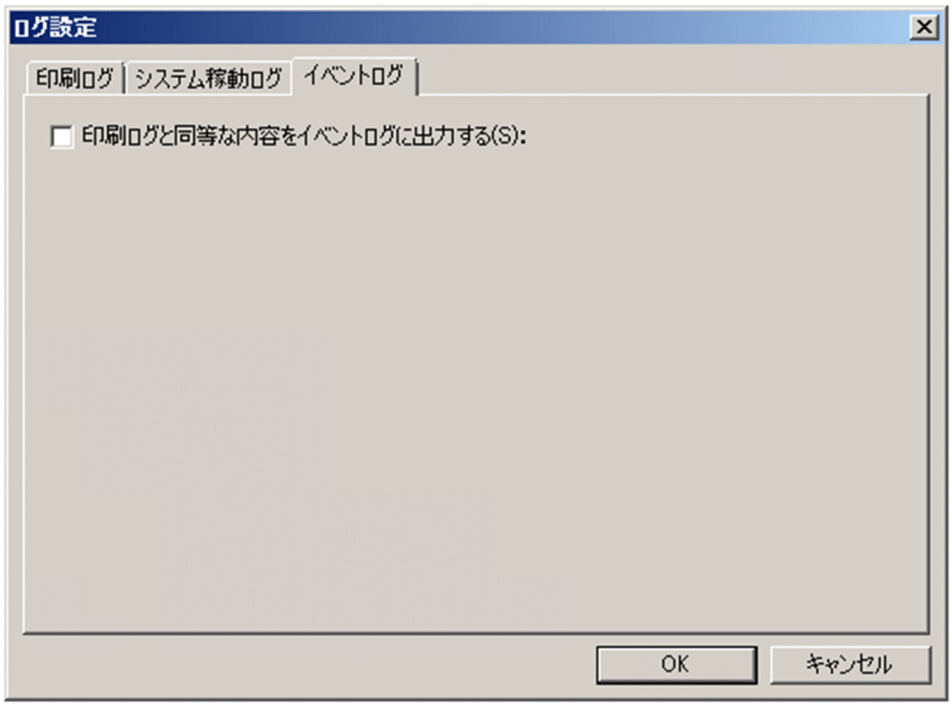
前提条件

- ［モニタ環境設定］画面が起動している
- モニタの環境設定を実行するユーザが管理者権限を持っている

操作手順

1. [モニタ環境設定] 画面で［ログ設定］ボタンをクリックします。
   ［ログ設定］画面の［印刷ログ］タブが表示されます。

2. [イベントログ] タブをクリックします。
   ［ログ設定］画面の［イベントログ］タブが表示されます。



3. イベントログの出力に関する設定をして、[OK] ボタンをクリックします。
   ［イベントログ］タブの設定項目を次に示します。

項目	内容
［印刷ログと同等な内容をイベントログに出力する］チェックボックス	印刷ログと同じログを Windows イベントログに出力するかどうかを指定します。 Windows イベントログに、サービスの開始、終了、および印刷ログに出力できない情報に加え、次のログを出力するときは、このチェックボックスをチェックしてください。 • 印刷完了 該当する印刷ジョブの印刷が完了したことを Windows イベントログに出力します。 • 印刷エラー プリンタ障害が発生したことを Windows イベントログに出力します。 • 印刷中止中 印刷を中止していることを Windows イベントログに出力します。 • 障害回復 印刷エラーとなったプリンタの障害が取り除かれ、プリンタが回復したことを Windows イベントログに出力します。

［ログ設定］画面が閉じられ、［モニタ環境設定］画面が表示されます。

関連項目

- 3.4.5　プリンタの障害監視情報を設定する
- 8.1.4　イベントログに出力されるログレベルと対処

3.4.10　モニタでマネージャを使用するための設定をする

背景

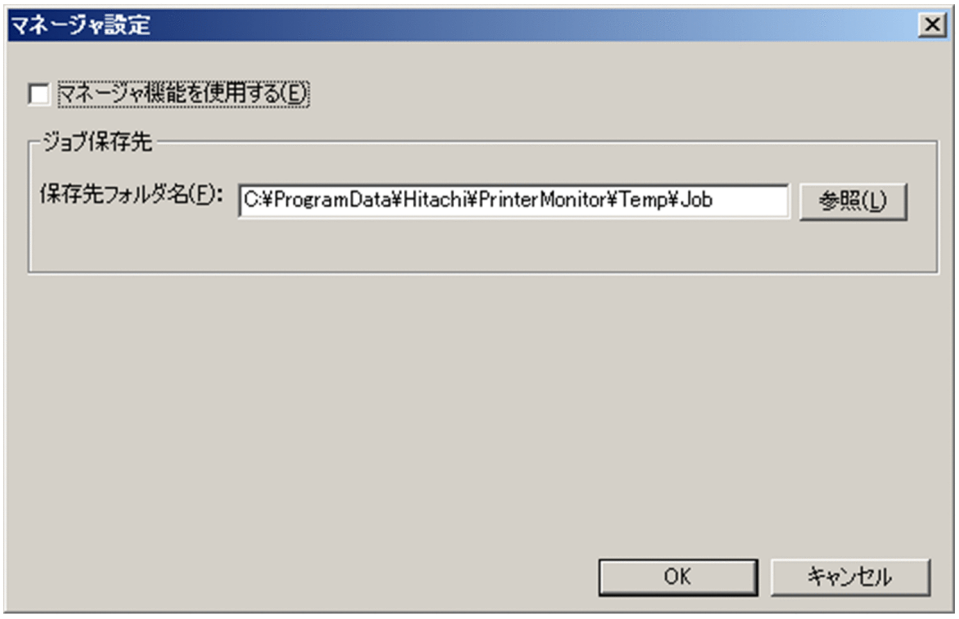
印刷アプリケーションから Windows プリンタに出力された印刷データを、印刷ジョブとしてマネージャで管理するための設定をします。

前提条件

- マネージャのインストールが完了している
- ［モニタ環境設定］画面が起動している
- モニタの環境設定を実行するユーザが管理者権限を持っている

操作手順

1. ［モニタ環境設定］画面で［マネージャ設定］ボタンをクリックします。
   ［マネージャ設定］画面が表示されます。



2. マネージャ機能の使用有無、およびジョブの保存先を設定して、［OK］ボタンをクリックします。
   ［マネージャ設定］画面の設定項目を次に示します。

設定項目	内容
[マネージャ機能を使用する] チェックボックス	印刷データをモニタではなく、マネージャの機能を使用して管理するかどうかを指定します。 マネージャを使用して印刷ジョブを管理する場合は、このチェックボックスをチェックしてください。 チェックボックスをチェックすると、印刷データは、[保存先フォルダ] へ保存され、印刷ジョブとしてマネージャで管理されます。 チェックボックスのチェックを外すと、印刷データは、出力先プリンタへ出力されます。 なお、チェックボックスをチェックした場合は、マネージャの環境設定で、モニタの環境設定で作成した出力先プリンタすべてを管理対象プリンタとして登録してください。管理対象プリンタとして登録しないと、印刷ジョブとして [保存先フォルダ] へ保存されてもマネージャで管理されないため、印刷データは出力されません。この場合、印刷ジョブは、「ジョブを印刷前に保留状態にする」、および「ジョブを印刷後に保存する」が設定されているものとして扱われます。また、チェックボックスをチェックしたモニタでは機能が抑止されるため、モニタコンソールは利用できません。
[保存先フォルダ名]	印刷データが印刷ジョブとして格納されるフォルダを 228 文字以内の絶対パスで指定します。 フォルダ名は、[参照] ボタンをクリックして [フォルダの選択] 画面から選択することもできます。ただし、フォルダ名には、?、*、"、>、<、¦、サロゲート文字、および IVS フォントは使用できません。 デフォルト値は、「%ALLUSERSPROFILE%¥HITACHI¥PrinterMonitor¥Temp¥Job」です。 なお、ジョブ保存先フォルダを変更する場合は、バックアップおよびリストアを使用して、変更前のフォルダに保存された印刷ジョブを、変更後のフォルダへ移行してください。

重要

保存先フォルダ名を変更する場合は、次の手順で印刷ジョブを移行してください。

1. マネージャコンソールまたはマネージャクライアントの [ジョブ一覧] ウィンドウで不要な印刷ジョブを削除します。
2. マネージャのバックアップで必要な印刷ジョブを退避します。
3. [マネージャ設定] 画面で保存先フォルダ名を変更します。
4. マネージャのリストアで、手順 2 でバックアップした印刷ジョブを手順 3 で変更した保存先フォルダに復元します。

印刷ジョブをコピーなどして保存先フォルダに移行した場合に、マネージャサービスを起動すると、印刷ジョブは不正なジョブ情報ファイルとして、保存先フォルダ下に作成された退避先フォルダへ移動されます。退避先フォルダの印刷ジョブは、[プリンタ共通設定] 画面の「印刷済みジョブの自動削除」の対象となりません。

メモ

設定項目の指定誤りを示すメッセージが表示された場合は、メッセージに従って指定値を見直してください。

[マネージャ設定] 画面が閉じられ、[モニタ環境設定] 画面が表示されます。

3.4.11　モニタでクライアントの接続や起動のための設定をする

背景

モニタサービスからの終了通知受信や通信切断時に、モニタクライアントを停止しないで、モニタクライアントからモニタへ自動的に再接続するための設定をします。また、監視サーバ上のクライアントを複数のログインユーザで起動するための設定をします。

前提条件

- 設定対象のモニタ Client およびマネージャ Client※のインストールが完了している
- ［モニタ環境設定］画面が起動している
- モニタの環境設定を実行するユーザが管理者権限を持っている
- 拡張オプションのインストールが完了している※

注※

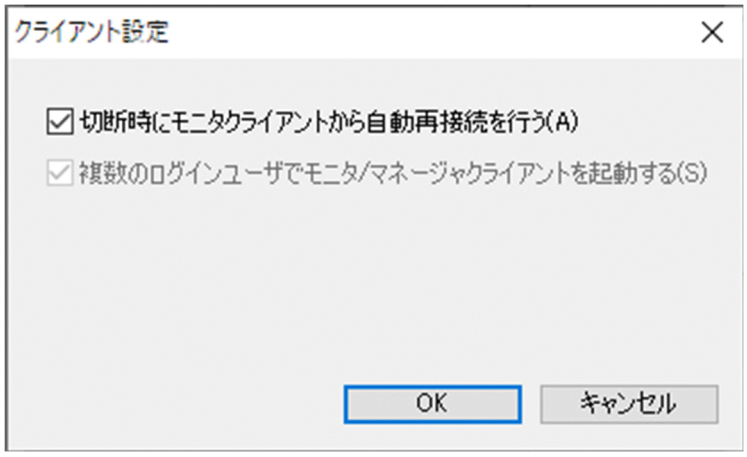
［複数のログインユーザでモニタ/マネージャクライアントを起動する］チェックボックスを設定する場合に必要です。

操作手順

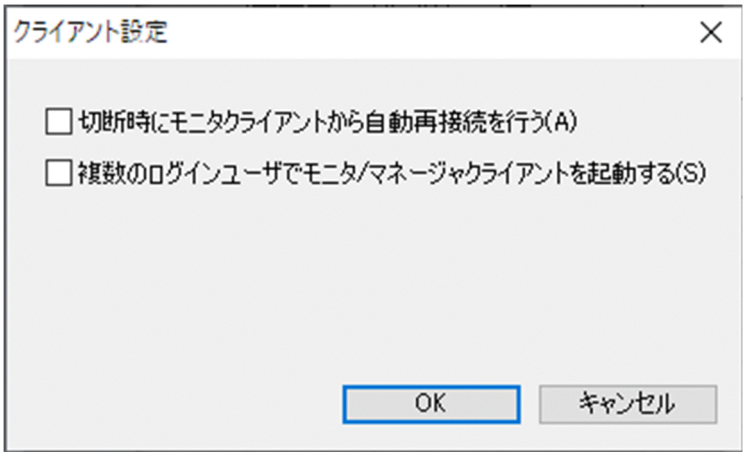
1. ［モニタ環境設定］画面で［クライアント設定］ボタンをクリックします。

   ［クライアント設定］画面が表示されます。

   拡張オプションをインストールしていない場合



拡張オプションをインストールしている場合



2. モニタクライアントから自動再接続する設定や、複数のログインユーザで監視サーバ上のクライアントを起動する設定をして、[OK] ボタンをクリックします。

[クライアント設定] 画面の設定項目を次に示します。

設定項目	内容
[切断時にモニタクライアントから自動再接続を行う] チェックボックス	モニタサービスからの終了通知受信や通信切断時に、モニタクライアントからモニタへ自動的に再接続するかどうかを指定します。モニタサービスからの終了通知受信や通信切断時に、モニタクライアントを停止しない場合はこのチェックボックスをチェックしてください。 チェックボックスをチェックすると、モニタサービスからの終了通知受信や通信切断時に、モニタクライアントは停止しないで、モニタとの通信が確立するまで再接続処理を繰り返します。モニタクライアントのアイコンは、接続中（ ）から切断中（ ）に表示が変わります。チェックボックスのチェックを外すと、モニタサービスからの終了通知受信や通信切断時に、モニタクライアントは停止します。
[複数のログインユーザでモニタ/マネージャクライアントを起動する] チェックボックス	複数のログインユーザで、監視サーバ上のモニタクライアントおよびマネージャクライアントを同時に起動するかどうかを指定します。このチェックボックスは、拡張オプションをインストールしている場合に設定できます。拡張オプションをインストールしていない場合、このチェックボックスは非活性となります。監視サーバを複数のログインユーザで利用する場合は、このチェックボックスをチェックしてください。 マネージャ Client を複数のログインユーザで利用する場合も、モニタの環境設定でマネージャ機能を使用する設定が有効になっていることが前提となります。 チェックボックスをチェックすると、監査サーバへリモートデスクトップ接続でログイン、および監視サーバマシンに直接ログインして、モニタクライアントおよびマネージャクライアントを複数のログインユーザで同時に起動できます。この場合、モニタコンソールは利用できません。 チェックボックスのチェックを外すと、モニタクライアントおよびマネージャクライアントは、複数のログインユーザで同時起動できません。

メモ

設定項目の指定誤りを示すメッセージが表示された場合は、メッセージに従って指定値を見直してください。

[クライアント設定] 画面が閉じられ、[モニタ環境設定] 画面が表示されます。

関連項目

- 1.2.5　拡張オプションとは
- 4.4.1　モニタ Client の開始と停止の流れ
- 4.4.2　モニタ Client のモニタクライアントを起動する
- 4.4.3　モニタ Client のモニタクライアントを停止する

3.4.12　モニタの環境設定を終了する

背景

モニタによる印刷業務を運用する上で必要な設定が完了したら、モニタの環境設定を終了します。

前提条件

- ［モニタ環境設定］画面が起動している
- モニタの環境設定を実行するユーザが管理者権限を持っている

操作手順

1. **［モニタ環境設定］画面で［終了］ボタンをクリックします。**
   ［モニタ環境設定］画面が閉じられます。

> **メモ**
>
> モニタの環境設定は、［モニタ環境設定］画面の右上の［×］ボタンをクリックしたり、［Alt］＋［F4］キーを押したりするなどの方法でも終了できます。

3.5　マネージャの環境設定

3.5.1　マネージャの環境設定について

マネージャによるプリンタおよび印刷ジョブの管理を運用する上で必要な情報は、マネージャの環境設定を使用して指定します。

マネージャの環境設定では、次の設定項目があります。

- 管理設定

  マネージャで用紙交換通知や障害通知、印刷ジョブを管理するプリンタ（管理対象プリンタ）を登録したり、削除したりできます。また、管理対象プリンタごとに印刷ジョブの印刷前後の動作を設定できます。

  マネージャの環境設定後、モニタはマネージャの起動状態に関係なく、マネージャで管理する印刷データを Windows プリンタのスプールフォルダからマネージャで管理するフォルダ（ジョブ保存先フォルダ）へ移動します。
- ジョブ一覧ウィンドウ共通設定

  マネージャコンソールおよびマネージャクライアントの［ジョブ一覧］ウィンドウに表示する項目を追加できます。また、［ジョブのリストア］画面に追加項目を表示する設定もできます。
- ログ設定

  マネージャが出力するマネージャの起動、停止などの稼働状況を示すシステム稼働ログについて、出力フォルダやログファイルの保存方法を設定できます。

3.5.2　マネージャの環境設定を開始する

背景

マネージャによるプリンタおよび印刷ジョブの管理を運用する上で必要な情報を指定するために、マネージャの環境設定を開始します。

前提条件

- 製品のインストールが完了している
- モニタの環境設定が完了している
- マネージャの環境設定を実行するユーザが管理者権限を持っている

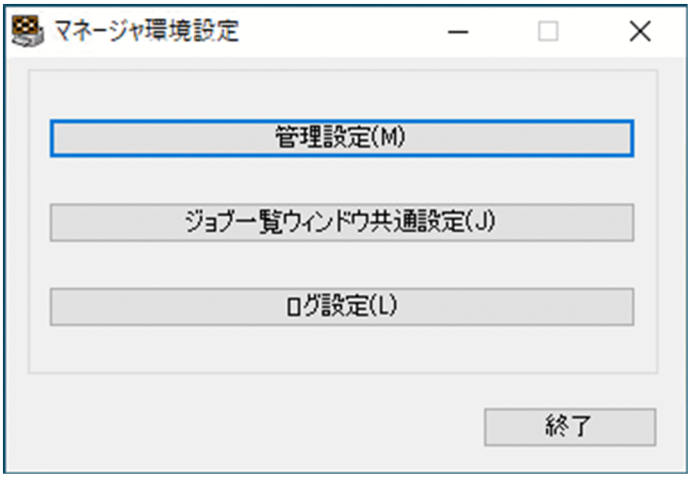
重要

マネージャの環境設定情報は、マネージャサービス起動時に読み込まれます。マネージャの環境設定情報を変更した場合はマネージャサービスの起動後に反映されます。

操作手順

1. Windows のスタートメニューから、[すべてのプログラム] − [日立 プリンタマネージャ] − [環境設定] を選択します。

   [マネージャ環境設定] 画面が表示されます。



メモ

[マネージャ環境設定] 画面が表示されない場合は、エクスプローラを使用して、マネージャのインストールフォルダの「PrMgrConf.exe」をダブルクリックしてください。

[マネージャ環境設定] 画面の設定項目を次に示します。

項目	内容
[管理設定] ボタン	[管理設定] 画面が表示されます。マネージャで用紙交換通知や障害通知、印刷ジョブを管理するプリンタ（管理対象プリンタ）を設定する場合に使用します。 [管理設定] 画面では、管理対象プリンタを登録したり、印刷前後のジョブの扱いを設定したりできます。
[ジョブ一覧ウィンドウ共通設定] ボタン	[ジョブ一覧ウィンドウ共通設定] 画面が表示されます。[ジョブ一覧] ウィンドウの表示項目を追加する場合に使用します。 [ジョブ一覧ウィンドウ共通設定] 画面の設定は、すべてのマネージャコンソールおよびマネージャクライアントの [ジョブ一覧] ウィンドウが対象となります。
[ログ設定] ボタン	[ログ設定] 画面が表示されます。マネージャが出力するログの環境を設定する場合に使用します。 [ログ設定] 画面では、マネージャのシステム稼働ログの出力先フォルダやログファイルの保存方法を設定できます。
[終了] ボタン	[マネージャ環境設定] 画面を閉じます。マネージャの環境設定を終了する場合に使用します。

3.5.3　マネージャの管理対象プリンタを新規に追加する

背景

マネージャで用紙交換通知や障害通知、印刷ジョブを管理する出力先プリンタ（管理対象プリンタ）を登録します。

管理対象プリンタは、モニタが監視する出力先プリンタの情報（プリンタ情報ファイル）を取得し、その情報を基に登録できます。

前提条件

- モニタ、およびマネージャの環境設定を実行するユーザが管理者権限を持っている

操作手順

1. Windows のスタートメニューから、[すべてのプログラム] − [日立 プリンタステータスモニタ] − [環境設定] を選択して、モニタの環境設定を開始します。
   [モニタ環境設定] 画面が表示されます。

2. [出力先プリンタ設定] ボタンをクリックします。
   [出力先プリンタ設定] 画面が表示されます。

3. [情報出力] ボタンをクリックします。
   [フォルダの選択] 画面が表示されます。

4. プリンタ情報ファイルの出力フォルダを選択して、[OK] ボタンをクリックします。
   プリンタ情報ファイルのデフォルトの出力フォルダは、「%ALLUSERSPROFILE%¥Hitachi¥PrinterMonitor¥Export」です。
   モニタの環境設定を開始する前に、デフォルトから変更するための出力フォルダを作成している場合は、変更後の出力フォルダを選択してください。
   選択したフォルダにプリンタ情報ファイルが出力され、[出力先プリンタ設定] 画面が表示されます。
   プリンタ情報ファイルのファイル名は、「ExportPrinter_<モニタの IP アドレス（10 進数）>.csv」です。

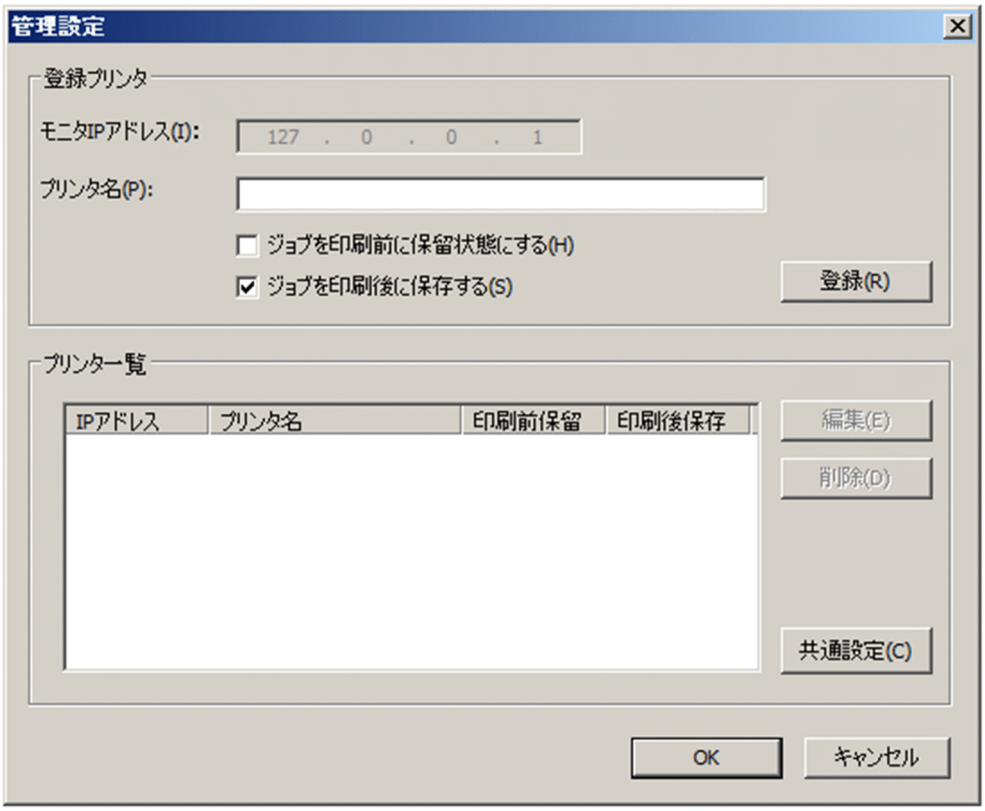
5. [閉じる] ボタンをクリックします。
   [出力先プリンタ設定] 画面が閉じられ、[モニタ環境設定] 画面が表示されます。

6. [終了] ボタンをクリックします。
   [モニタ環境設定] 画面が閉じられます。

7. Windows のスタートメニューから、[すべてのプログラム] − [日立 プリンタマネージャ] − [環境設定] を選択します。
   [マネージャ環境設定] 画面が表示されます。

8. [管理設定] ボタンをクリックします。

[管理設定] 画面が表示されます。



9. 管理対象プリンタ名とプリンタ情報を設定して、[OK] ボタンをクリックします。

[管理設定] 画面の設定項目を次に示します。

設定項目	内容
[モニタ IP アドレス]	登録する管理対象プリンタ（出力先プリンタ）を監視しているモニタが動作するマシンの IP アドレスが表示されます。ループバックアドレス（127.0.0.1）が表示されます。
[プリンタ名]	登録する管理対象プリンタ（出力先プリンタ）を指定します。管理対象プリンタは、プリンタ情報ファイル（ExportPrinter_<モニタの IP アドレス（10 進数）>.csv）を参照して、モニタの環境設定で指定した出力先プリンタ名で指定します。 プリンタ情報ファイルには、モニタ IP アドレス、プリンタ名、プリンタドライバ名、プリンタ IP アドレス、プリンタコメントがコンマ（,）区切りで出力されます。 なお、管理対象プリンタに登録されないと、出力先プリンタの用紙交換や障害は通知されません。
[ジョブを印刷前に保留状態にする] チェックボックス	印刷前に、管理対象プリンタへ出力指示された印刷ジョブを保留状態にするかどうかを指定します。マネージャが印刷ジョブを登録したあと、印刷を開始しないようにする場合は、このチェックボックスをチェックしてください。なお、印刷を保留にした印刷ジョブは、マネージャコンソールまたはマネージャクライアントから出力指示して印刷できます。
[ジョブを印刷後に保存する] チェックボックス	印刷が完了した印刷ジョブを保存しておくかどうかを指定します。印刷完了後の印刷ジョブを削除しないで保存する場合は、このチェックボックスをチェックしてください。
[登録] ボタン	[モニタ IP アドレス]、[プリンタ名]、[ジョブを印刷前に保留状態にする] チェックボックス、および [ジョブを印刷後に保存する] チェックボックスに設定した内容を反映して、マ

設定項目	内容
	ネージャで管理するプリンタを登録します。登録されたプリンタは、[プリンター一覧]の最後に追加されます。管理対象プリンタ情報は 64 件まで登録できますが、1 つのプリンタサーバで同時に稼働できるプリンタ数の目安は 16 台です。 なお、[モニタ IP アドレス]、および［プリンタ名］が未入力の場合や、すでに登録されている管理対象プリンタと［プリンタ名］が同じ場合、管理対象プリンタ情報は登録できません。
[プリンター一覧]	登録済みの管理対象プリンタ情報が一覧表示されます。 • [IP アドレス] プリンタを監視しているモニタの IP アドレスが表示されます。 • [プリンタ名] 管理対象プリンタの名称が表示されます。 • [印刷前保留] プリンタの印刷前保留設定の状態が表示されます。印刷前保留をする場合は○、しない場合は×が表示されます。 • [印刷後保存] プリンタの印刷後保存設定の状態が表示されます。印刷後保存をする場合は○、しない場合は×が表示されます。
[共通設定]	[プリンタ共通設定]画面が表示されます。 プリンタの管理設定を共通設定にする場合に使用します。

[管理設定]画面が閉じられ、[マネージャ環境設定]画面が表示されます。

3.5.4　ジョブ一覧ウィンドウに表示項目を追加する

背景

マネージャおよびマネージャクライアントの［ジョブ一覧］ウィンドウの表示項目に、印刷アプリケーションで登録される印刷ジョブの印刷ドキュメント名から抽出した項目を追加します。追加した項目は、印刷ジョブのリストア時に指定する［リストアするジョブの選択］の一覧にも表示できます。また、追加した項目を［ジョブ一覧］ウィンドウの表示項目から削除する場合は、[追加項目一覧]で項目名の設定を解除します。

ジョブ一覧の表示項目の追加および削除は、すべてのマネージャコンソールおよびマネージャクライアントの［ジョブ一覧］ウィンドウで共通の設定です。

[ジョブ一覧]ウィンドウへの表示項目の追加および削除は、次のタイミングで更新されます。

- マネージャサービスを再起動したあとに、マネージャコンソールを再起動した時
- 接続先のマネージャサービスを再起動したあとに、マネージャクライアントを再起動した時

前提条件

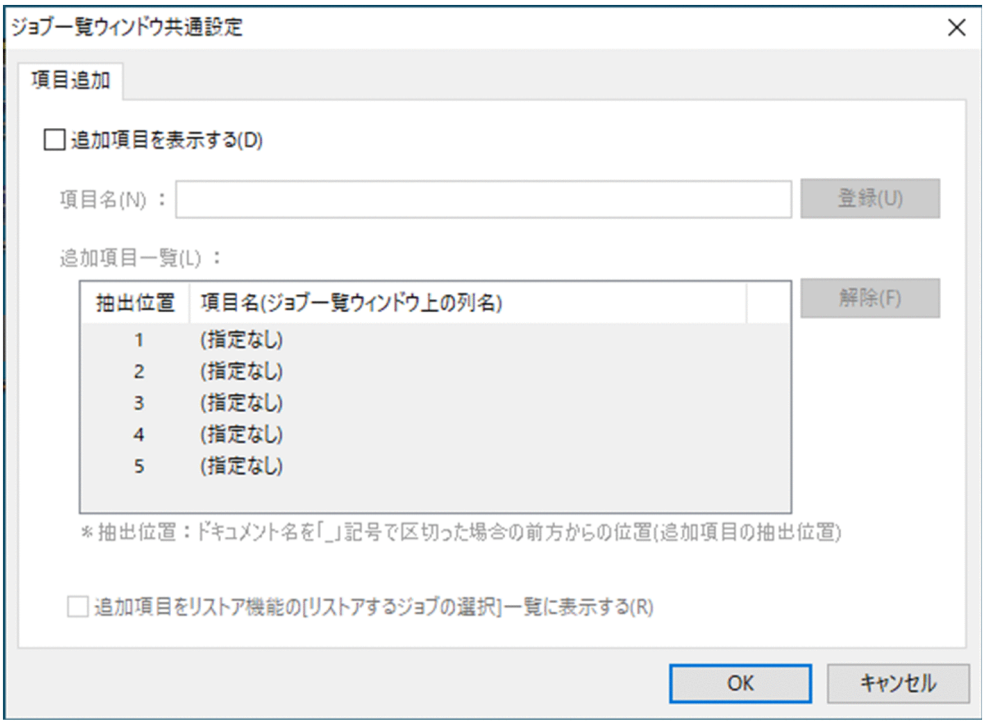
- ［マネージャ環境設定］画面が起動している
- マネージャの環境設定を実行するユーザが管理者権限を持っている

操作手順

1. ［マネージャ環境設定］画面で［ジョブ一覧ウィンドウ共通設定］ボタンをクリックします。

   これ以降の手順では、印刷アプリケーションから印刷ジョブの印刷ドキュメント名に「<ホスト ID >_<ジョブ通し番号>_<ジョブ名>」が登録される場合に、［ジョブ一覧］ウィンドウに「ホスト ID」を表示するときを例に説明します。

   ［ジョブ一覧ウィンドウ共通設定］画面の［項目追加］タブが表示されます。



2. ［追加項目を表示する］チェックボックスをチェックし、抽出位置を選択して項目名を指定し、［登録］ボタンをクリックします。

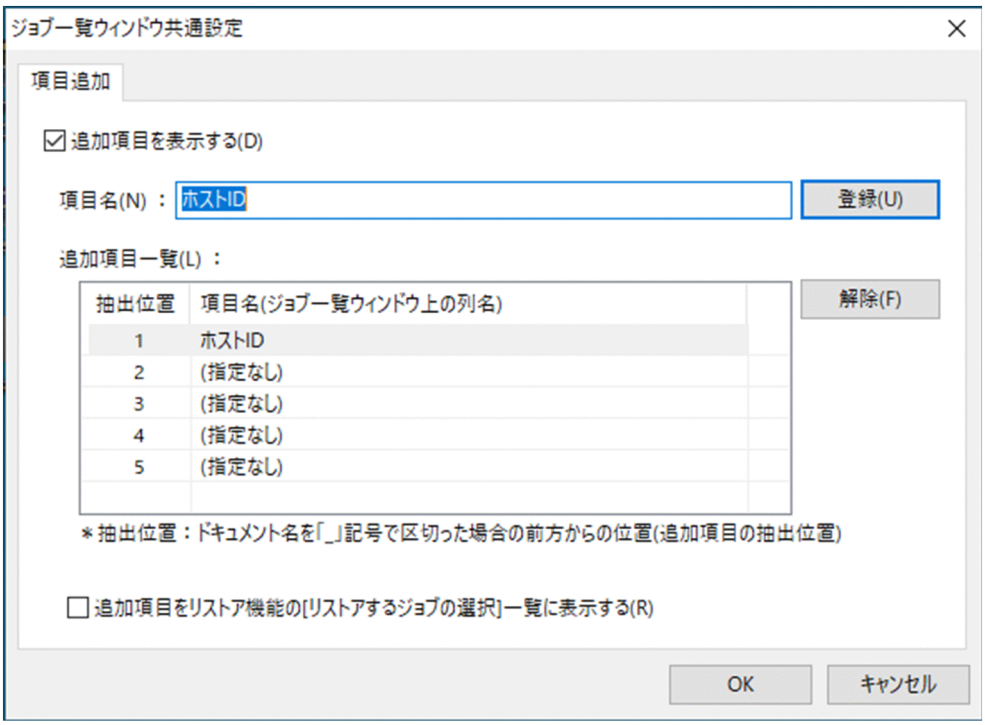
   画面に次の内容を指定します。

   - ［追加項目一覧］：［抽出位置］が 1 の行を選択する
   - ［項目名］：「ホスト ID」を指定する

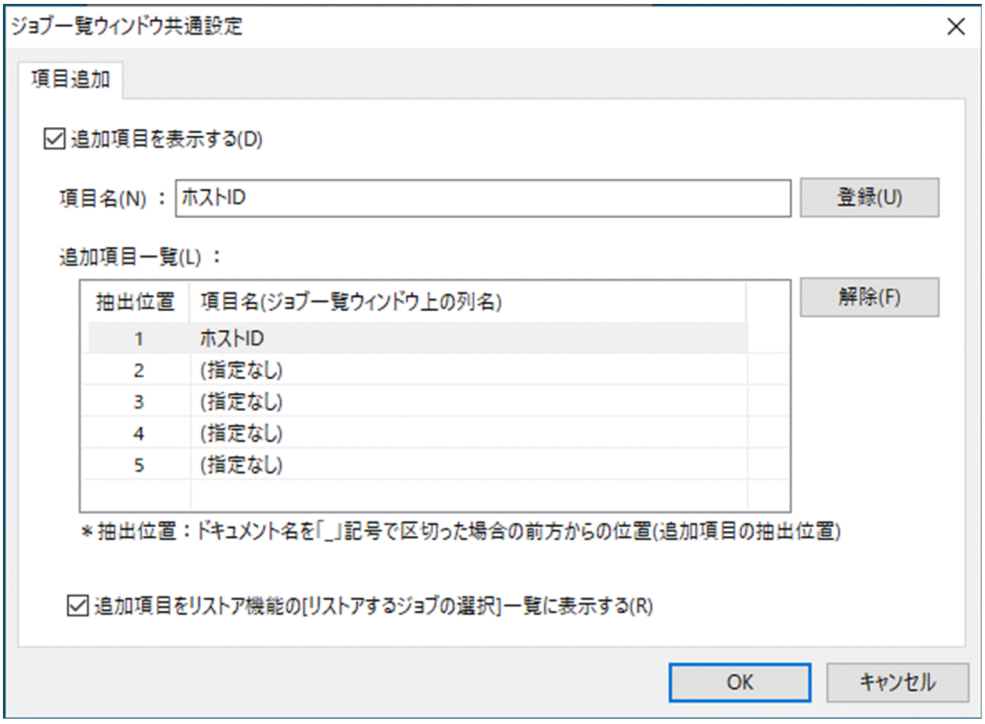
   > **メモ**
   >
   > 設定項目の指定誤りを示すメッセージが表示された場合は、メッセージに従って指定値を見直してください。

   ［項目追加］タブの設定項目を次に示します。

項目	内容
[追加項目を表示する] チェックボックス	印刷アプリケーションで登録される印刷ジョブの印刷ドキュメント名から抽出した要素を、[ジョブ一覧] ウィンドウに追加項目として表示するかどうかを指定します。この項目は、すべてのマネージャコンソールおよびマネージャクライアントの [ジョブ一覧] ウィンドウで共通の設定です。 チェックボックスをチェックすると、[追加項目一覧] に項目名を登録した項目が [ジョブ一覧] ウィンドウに表示されます。チェックボックスのチェックを外すと、[追加項目一覧] に項目名を登録しても [ジョブ一覧] ウィンドウには表示されません。
[項目名]	[追加項目一覧] で選択した [抽出位置] の要素に対する名称を 200 文字以内で指定します。前または後ろに空白がある場合は、そのまま項目名として登録されます。
[追加項目一覧]	印刷アプリケーションで登録される印刷ジョブの印刷ドキュメント名を、区切り文字 (_) で前から区切ったときの抽出位置 (1～5) と項目名の組み合わせが一覧で表示されます。項目名には、「(指定なし)」、または [項目名] で登録した名称が表示されます。[ジョブ一覧] ウィンドウには、[追加項目一覧] の [項目名 (ジョブ一覧上の列名)] に登録した名称で項目が追加されます。 [ジョブ一覧] ウィンドウに表示項目を追加する場合は、追加したい抽出位置の行を選択して [項目名] で名称を指定し、[登録] ボタンをクリックします。[ジョブ一覧] ウィンドウの表示項目から削除する場合は、登録を解除したい抽出位置の行を選択して [解除] ボタンをクリックします。 [項目名 (ジョブ一覧上の列名)] に同じ名称を指定した場合、[ジョブ一覧] ウィンドウには同じ名称が重複して表示されます。
[追加項目をリストア機能の [リストアするジョブの選択] 一覧に表示する] チェックボックス	印刷アプリケーションで登録される印刷ジョブの印刷ドキュメント名から抽出した要素を、[ジョブのリストア] 画面の [リストアするジョブの選択] の一覧に追加項目として表示するかどうかを指定します。 チェックボックスをチェックすると、[追加項目一覧] に項目名を登録した項目が [リストアするジョブの選択] の一覧に表示されます。チェックボックスのチェックを外すと、[追加項目一覧] に項目名を登録しても [リストアするジョブの選択] の一覧には表示されません。
[登録] ボタン	[追加項目一覧] で選択した抽出位置に [項目名] で指定した名称を登録します。
[解除] ボタン	[追加項目一覧] で選択した抽出位置から項目名の設定を解除して、「(指定なし)」を表示します。
[OK] ボタン	指定した内容を有効にして、画面を閉じます。
[キャンセル] ボタン	指定した内容を破棄して、画面を閉じます。



3. 追加した表示項目を［ジョブのリストア］画面の［リストアするジョブの選択］の一覧に表示する場合は、［追加項目をリストア機能の［リストアするジョブの選択］一覧に表示する］チェックボックスをチェックします。



4. [OK] ボタンをクリックします。

［ジョブ一覧ウィンドウ共通設定］画面が閉じられ、［マネージャ環境設定］画面が表示されます。

3.5.5　マネージャの印刷ログの出力方式を設定する

背景

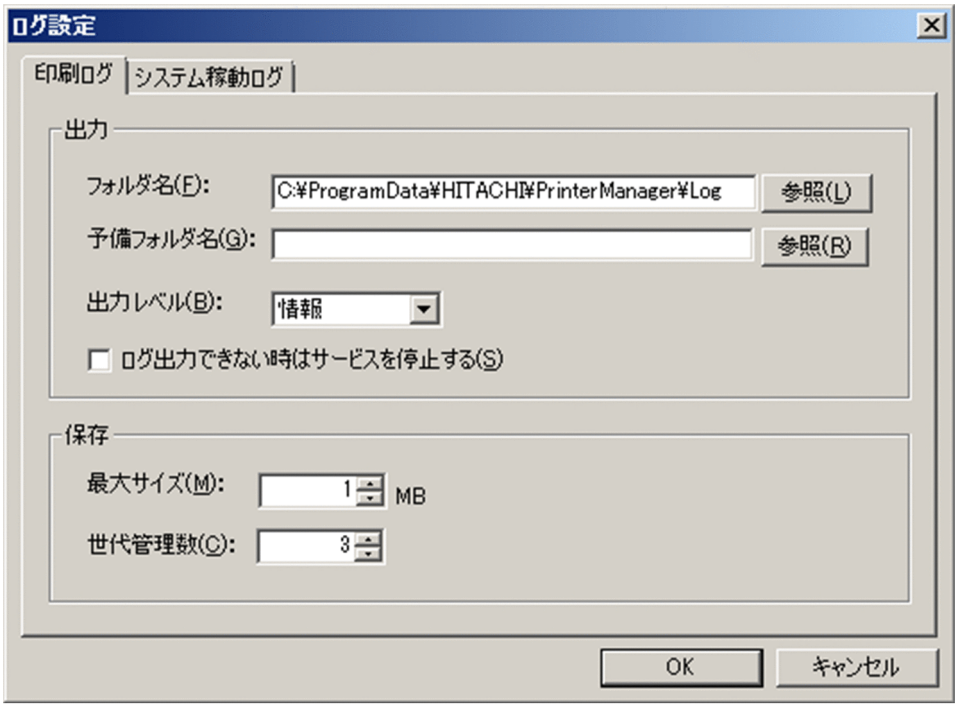
マネージャが出力する印刷ログの出力フォルダ、ログファイルの最大サイズや世代管理数を設定します。

前提条件

- ［マネージャ環境設定］画面が起動している
- マネージャの環境設定を実行するユーザが管理者権限を持っている

操作手順

1. ［マネージャ環境設定］画面で［ログ設定］ボタンをクリックします。
   ［ログ設定］画面の［印刷ログ］タブが表示されます。



2. 印刷ログの出力に関する設定、およびログファイルの保存方法を設定して、［OK］ボタンをクリックします。
   ［印刷ログ］タブの設定項目を次に示します。

項目	内容
［フォルダ名］	印刷ログが出力されるフォルダを 240 文字以内の絶対パスで指定します。 フォルダ名は、［参照］ボタンをクリックして［フォルダの選択］画面から選択することもできます。 デフォルト値は、「%ALLUSERSPROFILE%¥HITACHI¥PrinterManager¥Log」です。

項目	内容
	なお、ログの出力フォルダをデフォルトから変更する場合は、ログの出力フォルダがほかの製品と同じパスにならないように注意してください。同じパスを指定した場合は、ログファイルが重複して、マネージャサービスの起動に失敗します。
［予備フォルダ名］	［フォルダ名］で指定したログフォルダへのログ出力時に、ディスク容量不足やほかのアプリケーションによるファイルロックなどが原因で、ログ出力を失敗することがあります。この場合に、代わりにログを出力するフォルダ（予備フォルダ）を 240 文字以内の絶対パスで指定します。デフォルト値は設定されていません。 予備フォルダ名は、［参照］ボタンをクリックして［フォルダの選択］画面から選択することもできます。
［出力レベル］	印刷ログを出力するレベルをドロップダウンリストから選択します。選択できる出力レベルは、情報、警告、エラーです。 出力レベルは、情報、警告、エラーの順に重要度が高くなり、選択した出力レベルより重要度の高いメッセージをログファイルへ出力します。
［ログ出力できない時はサービスを停止する］チェックボックス	何らかの理由によって、［フォルダ名］および［予備フォルダ］に指定したどちらのフォルダにもログが出力できなくなった場合に、マネージャサービスを停止するかどうかを指定します。 ログ出力できない場合にマネージャサービスを停止するときはチェックしてください。
［最大サイズ］	印刷ログの 1 ファイルの最大サイズを 1～100 の範囲で指定します（単位：MB）。 ログファイルが最大サイズに達した場合は、世代管理数に従ってログファイルを新規に作成して出力先を切り替えます。ログファイルの世代管理数が指定値を超えた場合は、1 世代目のログファイルに出力先を切り替えて上書きします。
［世代管理数］	印刷ログのログファイルの世代管理数を 3～10 の範囲で指定します。

メモ

設定項目の指定誤りを示すメッセージが表示された場合は、メッセージに従って指定値を見直してください。

［ログ設定］画面が閉じられ、［マネージャ環境設定］画面が表示されます。

関連項目

- 3.2.2　変更後の出力フォルダを作成する

3.5.6　マネージャのシステム稼働ログの出力方式を設定する

背景

マネージャが出力するシステム稼働ログの出力フォルダ、ログファイルの最大サイズや世代管理数を設定します。

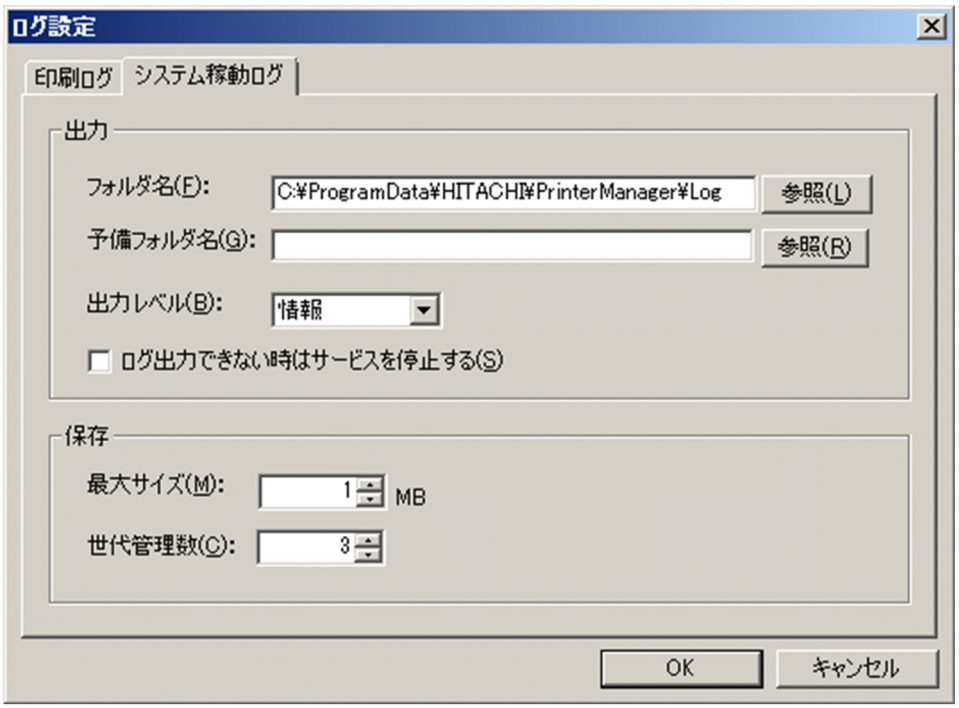
前提条件

- ［マネージャ環境設定］画面が起動している
- マネージャの環境設定を実行するユーザが管理者権限を持っている

操作手順

1. ［マネージャ環境設定］画面で［ログ設定］ボタンをクリックします。
   ［ログ設定］画面の［印刷ログ］タブが表示されます。

2. ［システム稼動ログ］タブをクリックします。
   ［ログ設定］画面の［システム稼動ログ］タブが表示されます。



3. システム稼働ログの出力に関する設定、およびログファイルの保存方法を設定して、［OK］ボタンをクリックします。
   ［システム稼動ログ］タブの設定項目を次に示します。

項目	内容
［フォルダ名］	システム稼働ログが出力されるフォルダを 240 文字以内の絶対パスで指定します。 フォルダ名は、［参照］ボタンをクリックして［フォルダの選択］画面から選択することもできます。ただし、フォルダ名には、?、*、"、>、<、¦、サロゲート文字、および IVS フォントは使用できません。 デフォルト値は、「%ALLUSERSPROFILE%¥HITACHI¥PrinterManager¥Log」です。 なお、ログの出力フォルダをデフォルトから変更する場合は、ログの出力フォルダがほかの製品と同じパスにならないように注意してください。同じパスを指定した場合は、ログファイルが重複して、マネージャサービスの起動に失敗します。

項目	内容
[予備フォルダ名]	[フォルダ名]で指定したログフォルダへのログ出力時に、ディスク容量不足やほかのアプリケーションによるファイルロックなどが原因で、ログ出力を失敗することがあります。この場合に、代わりにログを出力するフォルダ（予備フォルダ）を 240 文字以内の絶対パスで指定します。デフォルト値は設定されていません。 予備フォルダ名は、[参照]ボタンをクリックして[フォルダの選択]画面から選択することもできます。ただし、フォルダ名には、?、*、"、>、<、¦、サロゲート文字、および IVS フォントは使用できません。
[出力レベル]	システム稼働ログを出力するレベルをドロップダウンリストから選択します。選択できる出力レベルは、情報、警告、エラーです。 出力レベルは、情報、警告、エラーの順に重要度が高くなり、選択した出力レベルより重要度の高いメッセージをログファイルへ出力します。
[ログ出力できない時はサービスを停止する]チェックボックス	何らかの理由によって、[フォルダ名]および[予備フォルダ]に指定したどちらのフォルダにもログが出力できなくなった場合に、マネージャサービスを停止するかどうかを指定します。 ログ出力できない場合にマネージャサービスを停止するときは、このチェックボックスをチェックしてください。
[最大サイズ]	システム稼働ログの 1 ファイルの最大サイズを 1～100 の範囲で指定します（単位：MB）。 ログファイルが最大サイズに達した場合は、世代管理数に従ってログファイルを新規に作成して出力先を切り替えます。ログファイルの世代管理数が指定値を超えた場合は、1 世代目のログファイルに出力先を切り替えて上書きします。
[世代管理数]	システム稼働ログのログファイルの世代管理数を 3～10 の範囲で指定します。

[ログ設定]画面が閉じられ、[マネージャ環境設定]画面が表示されます。

関連項目

- 3.2.2　変更後の出力フォルダを作成する

3.5.7　マネージャの環境設定を終了する

背景

マネージャによるプリンタおよび印刷ジョブの管理を運用する上で必要な設定が完了したら、マネージャの環境設定を終了します。

前提条件

- [マネージャ環境設定]画面が起動している
- マネージャの環境設定を実行するユーザが管理者権限を持っている

操作手順

1. [マネージャ環境設定] 画面で［終了］ボタンをクリックします。

［マネージャ環境設定］画面が閉じられます。

> **メモ**
>
> マネージャの環境設定は、［マネージャ環境設定］画面の右上の［×］ボタンをクリックしたり、［Alt］＋［F4］キーを押したりするなどの方法でも終了できます。

3.6 モニタ Client の環境設定

3.6.1 モニタ Client の環境設定について

モニタ Client によるプリンタの管理を運用する上で必要な情報は、モニタ Client の環境設定を使用して指定します。

モニタ Client の環境設定では、次の設定項目があります。

- 管理設定

  モニタ Client で用紙交換通知や障害通知を管理するプリンタ（管理対象プリンタ）を登録したり、削除したりできます。また、管理対象プリンタをクライアントマシンにログインするユーザごとに設定するか、またはログインするすべてのユーザで共通の設定とするかを選択できます。
- ログ設定

  モニタ Client が出力するモニタクライアントの起動、終了などの稼働状況を示すシステム稼働ログについて、出力フォルダやログファイルの保存方法を設定できます。

3.6.2 モニタ Client の環境設定を開始する

背景

モニタ Client によるプリンタの管理を運用する上で必要な情報を指定するために、モニタ Client の環境設定を開始します。

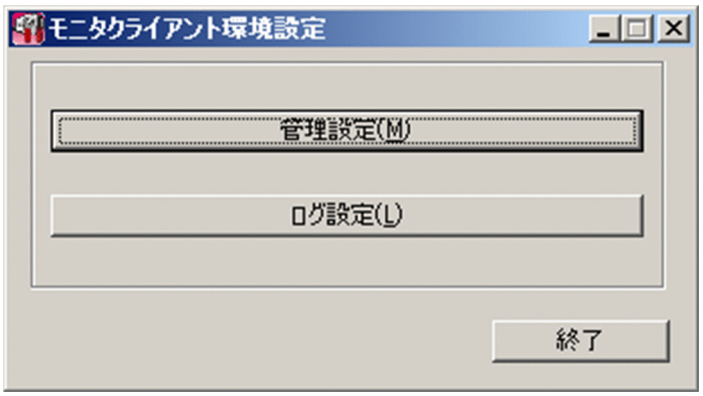
前提条件

- 製品のインストールが完了している
- モニタの環境設定が完了している
- モニタ Client の環境設定を実行するユーザが管理者権限を持っている

> **重要**
>
> モニタ Client の環境設定情報は、モニタクライアント起動時に読み込まれます。このため、モニタクライアント運用中に、環境設定情報を変更した場合の動作は保証しません。環境設定情報を変更する前に、必ず、モニタクライアントを終了してください。

操作手順

1. Windows のスタートメニューから、[すべてのプログラム] − [日立 プリンタステータスモニタ Client] − [環境設定] を選択します。
   [モニタクライアント環境設定] 画面が表示されます。



> **メモ**
>
> [モニタクライアント環境設定] 画面が表示されない場合は、エクスプローラを使用して、モニタ Client のインストールフォルダの「PrMonClConf.exe」をダブルクリックしてください。

[モニタクライアント環境設定] 画面の設定項目を次に示します。

項目	内容
[管理設定] ボタン	[管理設定] 画面が表示されます。モニタ Client で用紙交換通知や障害通知を管理するプリンタ（管理対象プリンタ）を設定する場合に使用します。 [管理設定] 画面では、管理対象プリンタを登録できます。また、管理対象プリンタを、すべてのログインユーザで共通の設定にするか、ログインユーザごとに設定するかを指定できます。
[ログ設定] ボタン	[ログ設定] 画面が表示されます。モニタ Client が出力するログの環境を設定する場合に使用します。 [ログ設定] 画面では、モニタ Client のシステム稼働ログの出力先フォルダやログファイルの保存方法を設定できます。
[終了] ボタン	[モニタクライアント環境設定] 画面を閉じます。モニタクライアントの環境設定を終了する場合に使用します。

3.6.3 モニタ Client の管理対象プリンタを新規に追加する

背景

モニタ Client で用紙交換通知や障害通知を管理するプリンタ（管理対象プリンタ）を登録します。

管理対象プリンタは、モニタが監視する出力先プリンタの情報（プリンタ情報ファイル）を取得し、その情報を基に登録できます。

前提条件

- モニタの環境設定を実行するユーザが管理者権限を持っている
- モニタ Client の環境設定を実行するユーザが管理者権限を持っている

操作手順

1. Windows のスタートメニューから、[すべてのプログラム] − [日立 プリンタステータスモニタ] − [環境設定] を選択して、モニタの環境設定を開始します。
   [モニタ環境設定] 画面が表示されます。

2. [出力先プリンタ設定] ボタンをクリックします。
   [出力先プリンタ設定] 画面が表示されます。

3. [情報出力] ボタンをクリックします。
   [フォルダの選択] 画面が表示されます。

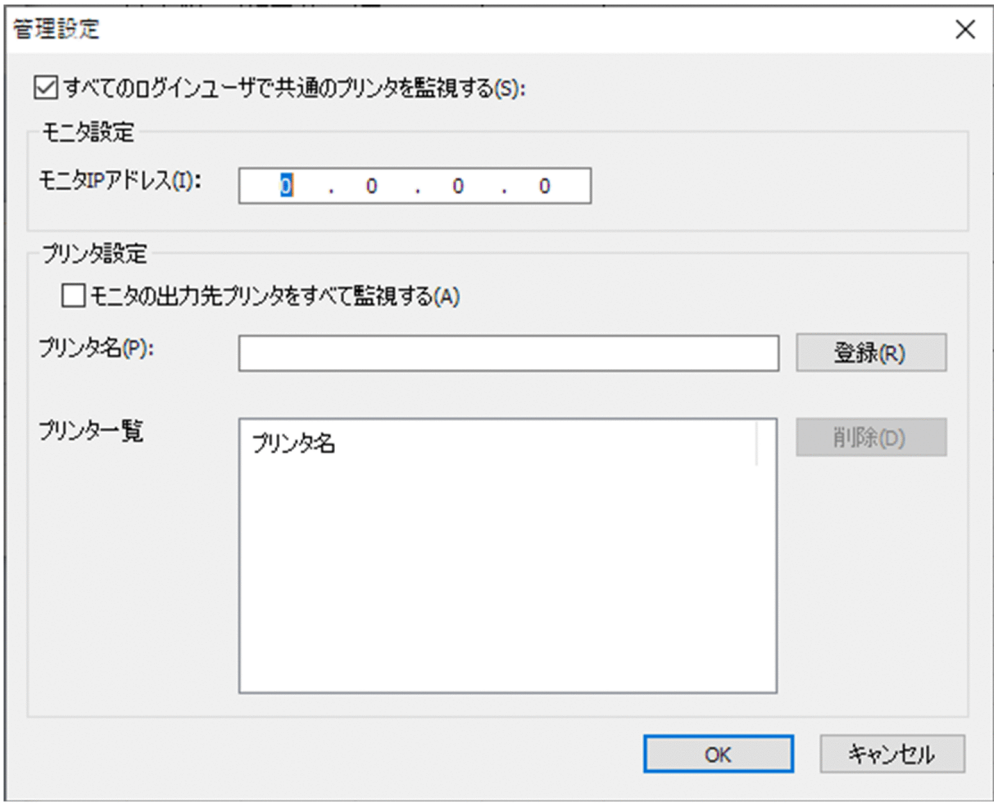
4. プリンタ情報ファイルの出力フォルダを選択して、[OK] ボタンをクリックします。
   プリンタ情報ファイルのデフォルトの出力フォルダは、「%ALLUSERSPROFILE%¥Hitachi¥PrinterMonitor¥Export」です。
   モニタの環境設定を開始する前に、デフォルトから変更するための出力フォルダを作成している場合は、変更後の出力フォルダを選択してください。
   選択したフォルダにプリンタ情報ファイルが出力され、[出力先プリンタ設定] 画面が表示されます。
   プリンタ情報ファイルのファイル名は、「ExportPrinter_<モニタの IP アドレス（10 進数）>.csv」です。

5. [閉じる] ボタンをクリックします。
   [出力先プリンタ設定] 画面が閉じられ、[モニタ環境設定] 画面が表示されます。

6. [終了] ボタンをクリックします。
   [モニタ環境設定] 画面が閉じられます。

7. Windows のスタートメニューから、[すべてのプログラム] − [日立 プリンタステータスモニタ Client] − [環境設定] を選択します。
   [モニタクライアント環境設定] 画面が表示されます。

8. [管理設定] ボタンをクリックします。
   [管理設定] 画面が表示されます。



9. 管理対象プリンタ名とプリンタ情報を設定して、[OK] ボタンをクリックします。

[管理設定] 画面の設定項目を次に示します。

設定項目	内容
[すべてのログインユーザで共通のプリンタを監視する] チェックボックス	すべてのログインユーザで共通のプリンタを監視するか、ログインユーザごとに設定したプリンタを監視するかを指定します。 すべてのログインユーザで共通のプリンタを監視する場合は、このチェックボックスをチェックしてください。この場合、ユーザ共通の環境設定ファイルを読み込んで、モニタクライアントを起動します。 ログインユーザごとに設定したプリンタを監視する場合は、このチェックボックスのチェックを外してください。この場合、ユーザごとの環境設定ファイルを読み込んで、モニタクライアントを起動します。 デフォルト値は、チェックボックスをチェックした状態（すべてのログインユーザで共通のプリンタを監視する）です。
[モニタ IP アドレス]	登録する管理対象プリンタを監視しているモニタが、動作するマシンの IP アドレスを指定します。「0.0.0.0」は、未入力として扱われます。
[モニタの出力先プリンタをすべて監視する] チェックボックス	モニタの環境設定で、[出力先プリンタ設定] 画面の [出力先プリンター覧] に表示されているすべてのプリンタを、モニタクライアントで監視するかどうかを指定します。モニタの環境設定で登録したすべての出力先プリンタを、モニタクライアントで監視する場合は、このチェックボックスをチェックしてください。 チェックボックスをチェックすると、[プリンター覧] は指定された内容のまま非活性となりますが、モニタの環境設定で登録したすべての出力先プリンタがモニタ Client の管理対象プリンタとなります。この場合、モニタの環境設定で出力先プリンタの情報を変更したときは、モニタクライアントに変更した内容が反映されます。反映タイミングは、モニタの環境設定で [サービス起動中に設定変更を反映する] チェックボックスをチェックして変更し

設定項目	内容
	ているかどうかで異なります。チェックしているときは起動中のモニタクライアントにも反映され、チェックしていないときは次回モニタクライアント起動時に反映されます。 チェックボックスのチェックを外すと、[プリンター一覧]は活性となり、モニタ Client の環境設定で登録したプリンタが管理対象プリンタとなります。 デフォルト値は、チェックボックスのチェックを外した状態（[プリンター一覧]に登録したプリンタを監視する）です。
[プリンタ名]	登録する管理対象プリンタを指定します。管理対象プリンタは、プリンタ情報ファイル（ExportPrinter_<モニタの IP アドレス（10 進数）>.csv）を参照して、モニタの環境設定で指定した出力先プリンタ名で指定します。 ただし、[マネージャ設定]画面で［マネージャ機能を使用する］チェックボックスをチェックしている場合は、マネージャの［管理設定］画面で指定した出力先プリンタ名で指定します。 プリンタ情報ファイルには、モニタ IP アドレス、プリンタ名、プリンタドライバ名、プリンタ IP アドレス、プリンタコメントがコンマ（,）区切りで出力されます。
[登録]ボタン	[プリンタ名]に設定した内容を反映して、モニタ Client で管理するプリンタを登録します。登録されたプリンタは、[プリンター一覧]の最後に追加されます。管理対象プリンタ情報は、すべてのクライアントマシンで合わせて 64 件まで登録できます。
[プリンター一覧]	登録済みの管理対象プリンタ情報が一覧表示されます。 • [プリンタ名] 管理対象プリンタの名称が表示されます。

[管理設定]画面が閉じられ、[モニタクライアント環境設定]画面が表示されます。

3.6.4　モニタ Client のシステム稼働ログの出力方式を設定する

背景

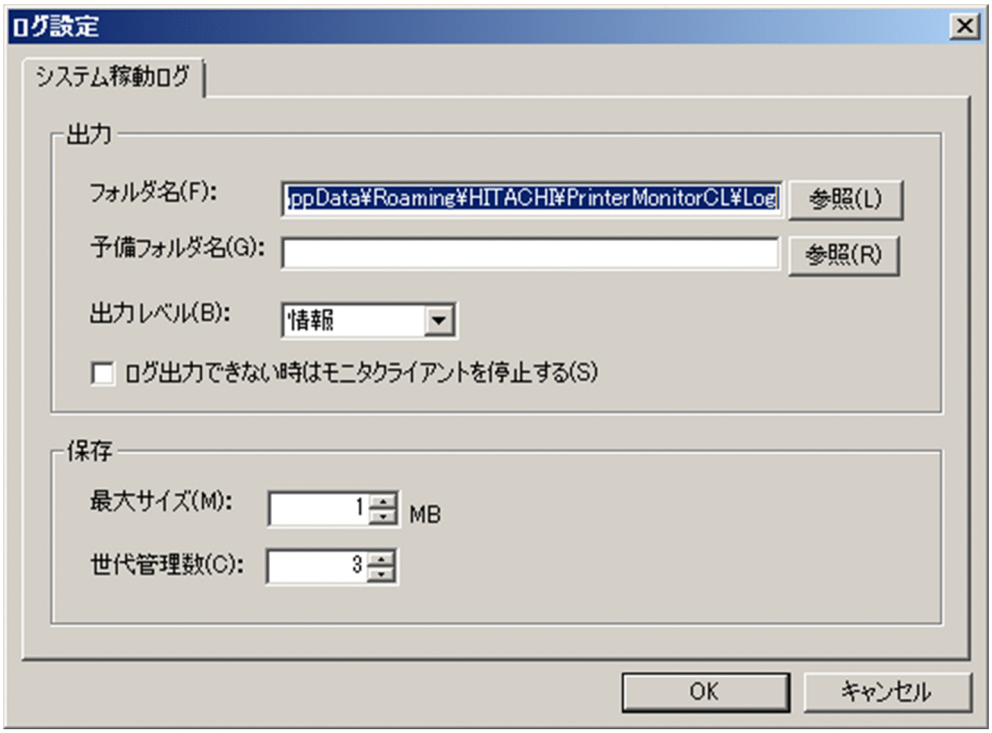
モニタ Client が出力するシステム稼働ログの出力フォルダ、ログファイルの最大サイズや世代管理数を設定します。

前提条件

• [モニタクライアント環境設定]画面が起動している

操作手順

1. [モニタクライアント環境設定]画面で［ログ設定］ボタンをクリックします。
   ［ログ設定］画面の［システム稼動ログ］タブが表示されます。



2. システム稼働ログの出力に関する設定、およびログファイルの保存方法を設定して、[OK] ボタンをクリックします。

[システム稼動ログ] タブの設定項目を次に示します。

項目	内容
[フォルダ名]	システム稼働ログが出力されるフォルダを 240 文字以内の絶対パスで指定します。 フォルダ名は、[参照] ボタンをクリックして [フォルダの選択] 画面から選択することもできます。ただし、フォルダ名には、?、*、"、>、<、¦、サロゲート文字、および IVS フォントは使用できません。 デフォルト値は、「%AppData%¥HITACHI¥PrinterMonitorCL¥Log」です。 なお、ログの出力フォルダをデフォルトから変更する場合は、ログの出力フォルダがほかの製品と同じパスにならないように注意してください。同じパスを指定した場合は、ログファイルが重複して、モニタクライアントの起動に失敗します。
[予備フォルダ名]	[フォルダ名] で指定したログフォルダへのログ出力時に、ディスク容量不足やほかのアプリケーションによるファイルロックなどが原因で、ログ出力を失敗することがあります。この場合に、代わりにログを出力するフォルダ（予備フォルダ）を 240 文字以内の絶対パスで指定します。デフォルト値は設定されていません。 予備フォルダ名は、[参照] ボタンをクリックして [フォルダの選択] 画面から選択することもできます。ただし、フォルダ名には、?、*、"、>、<、¦、サロゲート文字、および IVS フォントは使用できません。
[出力レベル]	システム稼働ログを出力するレベルをドロップダウンリストから選択します。選択できる出力レベルは、情報、警告、エラーです。 出力レベルは、情報、警告、エラーの順に重要度が高くなり、選択した出力レベルより重要度の高いメッセージをログファイルへ出力します。

項目	内容
［ログ出力できない時はモニタクライアントを停止する］チェックボックス	何らかの理由によって、［フォルダ名］および［予備フォルダ］に指定したどちらのフォルダにもログが出力できなくなった場合に、モニタクライアントを終了するかどうかを指定します。 ログ出力できない場合にモニタクライアントを終了するときは、このチェックボックスをチェックしてください。
［最大サイズ］	システム稼働ログの 1 ファイルの最大サイズを 1～100 の範囲で指定します（単位：MB）。 ログファイルが最大サイズに達した場合は、世代管理数に従ってログファイルを新規に作成して出力先を切り替えます。ログファイルの世代管理数が指定値を超えた場合は、1 世代目のログファイルに出力先を切り替えて上書きします。
［世代管理数］	システム稼働ログのログファイルの世代管理数を 3～10 の範囲で指定します。

［ログ設定］画面が閉じられ、［モニタクライアント環境設定］画面が表示されます。

関連項目

- 3.2.2　変更後の出力フォルダを作成する

3.6.5　モニタ Client の環境設定を終了する

背景

モニタ Client によるプリンタの管理を運用する上で必要な設定が完了したら、モニタ Client の環境設定を終了します。

前提条件

- ［モニタクライアント環境設定］画面が起動している

操作手順

1. **［モニタクライアント環境設定］画面で［終了］ボタンをクリックします。**
   ［モニタクライアント環境設定］画面が閉じられます。

> **メモ**
>
> モニタ Client の環境設定は、［モニタクライアント環境設定］画面の右上の［×］ボタンをクリックしたり、［Alt］＋［F4］キーを押したりするなどの方法でも終了できます。

3.7 マネージャ Client の環境設定

3.7.1 マネージャ Client の環境設定について

マネージャ Client によるプリンタの管理を運用する上で必要な情報は、マネージャ Client の環境設定を使用して指定します。

マネージャ Client の環境設定では、次の設定項目があります。

- 管理設定

  マネージャ Client で用紙交換通知や障害通知、印刷ジョブを管理するプリンタ（管理対象プリンタ）を登録したり、削除したりできます。また、管理対象プリンタをクライアントマシンにログインするユーザごとに設定するか、またはログインするすべてのユーザで共通の設定とするかを選択できます。
- ログ設定

  マネージャ Client が出力するモニタクライアントの起動、終了などの稼働状況を示すシステム稼働ログについて、出力フォルダやログファイルの保存方法を設定できます。

3.7.2 マネージャ Client の環境設定を開始する

背景

マネージャ Client によるプリンタおよび印刷ジョブの管理を運用する上で必要な情報を指定するために、マネージャ Client の環境設定を開始します。

前提条件

- 製品のインストールが完了している
- モニタの環境設定が完了している
- マネージャの環境設定が完了している
- マネージャ Client の環境設定を実行するユーザが管理者権限を持っている

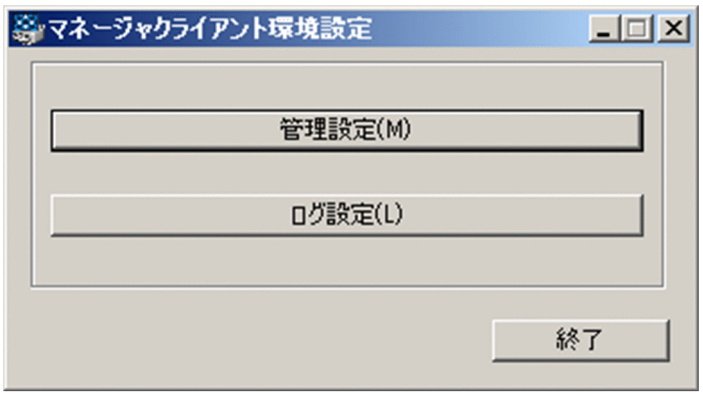
重要

マネージャ Client の環境設定情報は、マネージャクライアント起動時に読み込まれます。このため、マネージャクライアント運用中に、環境設定情報を変更した場合の動作は保証しません。環境設定情報を変更する前に、必ず、マネージャクライアントを終了してください。

操作手順

1. Windows のスタートメニューから、[すべてのプログラム] − [日立 プリンタマネージャ Client] − [環境設定] を選択します。

   [マネージャクライアント環境設定] 画面が表示されます。



> **メモ**
>
> [マネージャクライアント環境設定] 画面が表示されない場合は、エクスプローラを使用して、マネージャ Client のインストールフォルダの「PrMgrClConf.exe」をダブルクリックしてください。

[マネージャクライアント環境設定] 画面の設定項目を次に示します。

項目	内容
[管理設定] ボタン	[管理設定] 画面が表示されます。マネージャ Client で用紙交換通知や障害通知、印刷ジョブを管理するプリンタ（管理対象プリンタ）を設定する場合に使用します。 [管理設定] 画面では、管理対象プリンタを登録できます。また、管理対象プリンタを、すべてのログインユーザで共通の設定にするか、ログインユーザごとに設定するかを指定できます。
[ログ設定] ボタン	[ログ設定] 画面が表示されます。マネージャ Client が出力するログの環境を設定する場合に使用します。 [ログ設定] 画面では、マネージャ Client のシステム稼働ログの出力先フォルダやログファイルの保存方法を設定できます。
[終了] ボタン	[マネージャクライアント環境設定] 画面を閉じます。マネージャクライアントの環境設定を終了する場合に使用します。

3.7.3 マネージャ Client の管理対象プリンタを新規に追加する

背景

マネージャ Client で用紙交換通知や障害通知、印刷ジョブを管理する出力先プリンタ（管理対象プリンタ）を登録します。

管理対象プリンタは、モニタが監視する出力先プリンタの情報（プリンタ情報ファイル）を取得し、その情報を基に登録できます。

前提条件

- モニタの環境設定を実行するユーザが管理者権限を持っている
- マネージャ Client の環境設定を実行するユーザが管理者権限を持っている

操作手順

1. Windows のスタートメニューから、[すべてのプログラム] − [日立 プリンタステータスモニタ] − [環境設定] を選択して、モニタの環境設定を開始します。
   [モニタ環境設定] 画面が表示されます。

2. [出力先プリンタ設定] ボタンをクリックします。
   [出力先プリンタ設定] 画面が表示されます。

3. [情報出力] ボタンをクリックします。
   [フォルダの選択] 画面が表示されます。

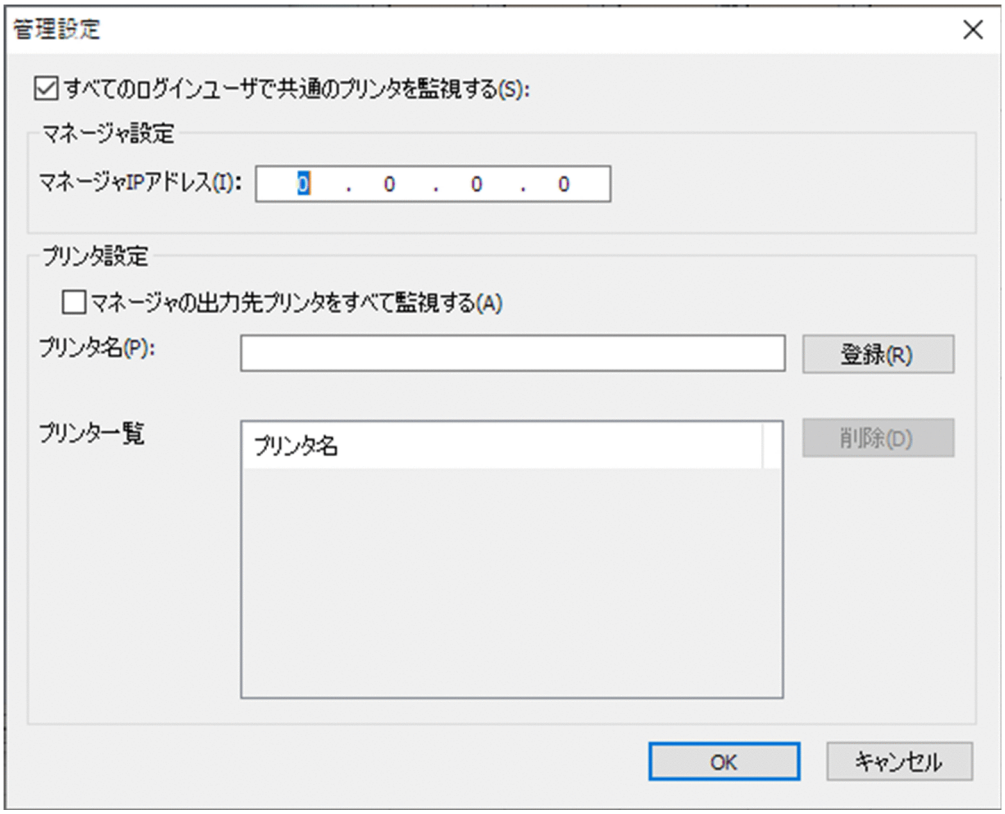
4. プリンタ情報ファイルの出力フォルダを選択して、[OK] ボタンをクリックします。
   プリンタ情報ファイルのデフォルトの出力フォルダは、「%ALLUSERSPROFILE%¥Hitachi¥PrinterMonitor¥Export」です。
   モニタの環境設定を開始する前に、デフォルトから変更するための出力フォルダを作成している場合は、変更後の出力フォルダを選択してください。
   選択したフォルダにプリンタ情報ファイルが出力され、[出力先プリンタ設定] 画面が表示されます。
   プリンタ情報ファイルのファイル名は、「ExportPrinter_<モニタの IP アドレス（10 進数）>.csv」です。

5. [閉じる] ボタンをクリックします。
   [出力先プリンタ設定] 画面が閉じられ、[モニタ環境設定] 画面が表示されます。

6. [終了] ボタンをクリックします。
   [モニタ環境設定] 画面が閉じられます。

7. Windows のスタートメニューから、[すべてのプログラム] − [日立 プリンタマネージャ Client] − [環境設定] を選択します。
   [マネージャクライアント環境設定] 画面が表示されます。

8. [管理設定] ボタンをクリックします。
   [管理設定] 画面が表示されます。



9. 管理対象プリンタ名とプリンタ情報を設定して、[OK] ボタンをクリックします。

[管理設定] 画面の設定項目を次に示します。

設定項目	内容
[すべてのログインユーザで共通のプリンタを監視する] チェックボックス	すべてのログインユーザで共通のプリンタを監視するか、ログインユーザごとに設定したプリンタを監視するかを指定します。 すべてのログインユーザで共通のプリンタを監視する場合は、このチェックボックスをチェックしてください。この場合、ユーザ共通の環境設定ファイルを読み込んで、マネージャクライアントを起動します。 ログインユーザごとに設定したプリンタを監視する場合は、このチェックボックスのチェックを外してください。この場合、ユーザごとの環境設定ファイルを読み込んで、マネージャクライアントを起動します。 デフォルト値は、チェックボックスをチェックした状態（すべてのログインユーザで共通のプリンタを監視する）です。
[マネージャ IP アドレス]	登録する管理対象プリンタを監視しているマネージャが、動作するマシンの IP アドレスを指定します。「0.0.0.0」は、未入力として扱われます。
[マネージャの出力先プリンタをすべて監視する] チェックボックス	マネージャの環境設定で、[管理設定] 画面の [プリンター一覧] に登録されているすべての管理対象プリンタ（出力先プリンタ）を、マネージャクライアントで監視するかどうかを指定します。マネージャの環境設定で登録したすべての管理対象プリンタを、マネージャクライアントで監視する場合は、このチェックボックスをチェックしてください。 チェックボックスをチェックすると、[プリンター一覧] は非活性となり、マネージャの環境設定で登録したすべての管理対象プリンタがマネージャ Client の管理対象プリンタとなります。この場合、マネージャの環境設定で管理対象プリンタの情報を変更したときは、次回マネージャクライアント起動時に変更した内容が反映されます。

設定項目	内容
	チェックボックスのチェックを外すと、[プリンター一覧] は活性となり、[プリンター一覧] に登録した出力先プリンタがマネージャ Client の管理対象プリンタとなります。 デフォルト値は、チェックボックスのチェックを外した状態（[プリンター一覧] に登録したプリンタを監視する）です。
[プリンタ名]	登録する管理対象プリンタ（出力先プリンタ）を指定します。管理対象プリンタは、プリンタ情報ファイル（ExportPrinter_<モニタの IP アドレス（10 進数）>.csv）を参照して、マネージャの環境設定で指定した管理対象プリンタ名で指定します。 プリンタ情報ファイルには、モニタ IP アドレス、プリンタ名、プリンタドライバ名、プリンタ IP アドレス、プリンタコメントがコンマ（,）区切りで出力されます。
[登録] ボタン	[プリンタ名] に設定した内容を反映して、マネージャ Client で管理するプリンタを登録します。登録されたプリンタは、[プリンター一覧] の最後に追加されます。管理対象プリンタ情報は、すべてのクライアントマシンで合わせて 64 件まで登録できます。
[プリンター一覧]	登録済みの管理対象プリンタ情報が一覧表示されます。 • [プリンタ名] 管理対象プリンタの名称が表示されます。

[管理設定] 画面が閉じられ、[マネージャクライアント環境設定] 画面が表示されます。

3.7.4 マネージャ Client のシステム稼働ログの出力方式を設定する

背景

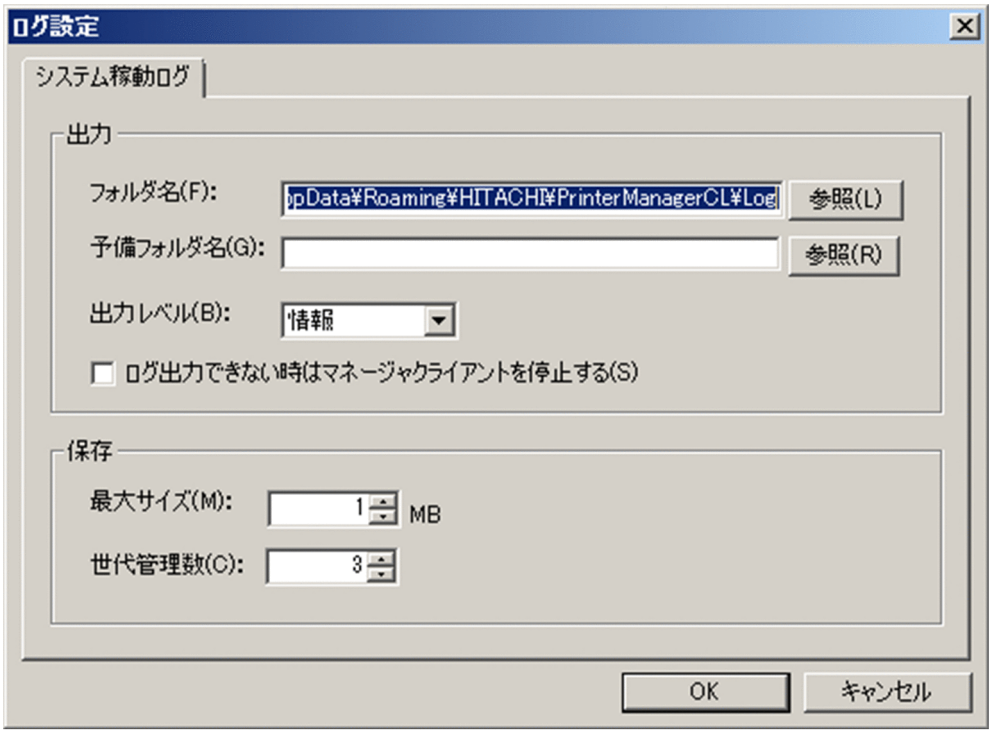
マネージャ Client が出力するシステム稼働ログの出力フォルダ、ログファイルの最大サイズや世代管理数を設定します。

前提条件

• [マネージャクライアント環境設定] 画面が起動している

操作手順

1. [マネージャクライアント環境設定] 画面で [ログ設定] ボタンをクリックします。
   [ログ設定] 画面の [システム稼動ログ] タブが表示されます。



2. システム稼働ログの出力に関する設定、およびログファイルの保存方法を設定して、[OK] ボタンをクリックします。

[システム稼動ログ] タブの設定項目を次に示します。

項目	内容
[フォルダ名]	システム稼働ログが出力されるフォルダを 240 文字以内の絶対パスで指定します。 フォルダ名は、[参照] ボタンをクリックして [フォルダの選択] 画面から選択することもできます。ただし、フォルダ名には、?、*、"、>、<、¦、サロゲート文字、および IVS フォントは使用できません。 デフォルト値は、「%AppData%¥HITACHI¥PrinterManagerCL¥Log」です。 なお、ログの出力フォルダをデフォルトから変更する場合は、ログの出力フォルダがほかの製品と同じパスにならないように注意してください。同じパスを指定した場合は、ログファイルが重複して、マネージャクライアントの起動に失敗します。
[予備フォルダ名]	[フォルダ名] で指定したログフォルダへのログ出力時に、ディスク容量不足やほかのアプリケーションによるファイルロックなどが原因で、ログ出力を失敗することがあります。この場合に、代わりにログを出力するフォルダ（予備フォルダ）を 240 文字以内の絶対パスで指定します。デフォルト値は設定されていません。 予備フォルダ名は、[参照] ボタンをクリックして [フォルダの選択] 画面から選択することもできます。ただし、フォルダ名には、?、*、"、>、<、¦、サロゲート文字、および IVS フォントは使用できません。
[出力レベル]	システム稼働ログを出力するレベルをドロップダウンリストから選択します。選択できる出力レベルは、情報、警告、エラーです。 出力レベルは、情報、警告、エラーの順に重要度が高くなり、選択した出力レベルより重要度の高いメッセージをログファイルへ出力します。

項目	内容
［ログ出力できない時はマネージャクライアントを停止する］チェックボックス	何らかの理由によって、［フォルダ名］および［予備フォルダ］に指定したどちらのフォルダにもログが出力できなくなった場合に、マネージャクライアントを終了するかどうかを指定します。 ログ出力できない場合にマネージャクライアントを終了するときは、このチェックボックスをチェックしてください。
［最大サイズ］	システム稼働ログの 1 ファイルの最大サイズを 1～100 の範囲で指定します（単位：MB）。 ログファイルが最大サイズに達した場合は、世代管理数に従ってログファイルを新規に作成して出力先を切り替えます。ログファイルの世代管理数が指定値を超えた場合は、1 世代目のログファイルに出力先を切り替えて上書きします。
［世代管理数］	システム稼働ログのログファイルの世代管理数を 3～10 の範囲で指定します。

［ログ設定］画面が閉じられ、［マネージャクライアント環境設定］画面が表示されます。

関連項目

- 3.2.2　変更後の出力フォルダを作成する

3.7.5　マネージャ Client の環境設定を終了する

背景

マネージャ Client によるプリンタおよび印刷ジョブの管理を運用する上で必要な設定が完了したら、マネージャ Client の環境設定を終了します。

前提条件

- ［マネージャクライアント環境設定］画面が起動している

操作手順

1. **［マネージャクライアント環境設定］画面で［終了］ボタンをクリックします。**
   ［マネージャクライアント環境設定］画面が閉じられます。

> **メモ**
>
> マネージャ Client の環境設定は、［マネージャクライアント環境設定］画面の右上の［×］ボタンをクリックしたり、［Alt］＋［F4］キーを押したりするなどの方法でも終了できます。

4 モニタおよびモニタ Client を使用した印刷環境の運用

モニタおよびモニタ Client を使用した印刷環境の運用開始後に実施する作業について説明します。モニタおよびモニタ Client の開始、停止に加え、用紙交換通知後、および障害通知後のリカバリ操作について説明します。

4.1　モニタの運用を開始するための準備

モニタの運用を開始する前に、他製品からモニタを使用するためのインタフェースを設定する必要があります。

例えば、実際に印刷データを出力する印刷アプリケーションでは、モニタで作成した Windows プリンタの設定や、モニタの用紙交換通知を使用するための用紙交換メッセージの設定が必要になります。

関連項目

- 7.1　XMAP3 からプリンタマネージャを使用するための設定
- 7.2　PDE からプリンタマネージャを使用するための設定
- 7.3　EUR からプリンタマネージャを使用するための設定
- 7.4　CommuniNet からプリンタマネージャを使用するための設定

4.2 モニタの開始と停止

4.2.1 モニタサービスを開始する

背景

モニタをインストールすると、Windows のサービスにモニタサービス（日立 プリンタステータスモニタ）が登録されます。モニタの環境設定および運用を開始する前に、モニタサービスを開始します。モニタサービスの表示名は「日立 プリンタステータスモニタ」、サービス名は「PrMonSvc」です。

操作手順

1. Windows のスタートメニューから、[コントロールパネル] − [管理ツール] − [サービス] を選択します。

   Windows の［サービス］画面が表示されます。

   メモ

   コマンドでモニタサービスを開始する場合は、コマンドプロンプトで次のコマンドを入力します。

   ```
   net start PrMonSvc
   ```

2. 「日立 プリンタステータスモニタ」を選択して右クリックし、コンテキストメニューから［開始］を選択します。

   「日立 プリンタステータスモニタ」の［状態］が［開始］に変更されます。

3. マシン起動時にモニタが自動で開始するように設定する場合は、Windows の［サービス］画面で次の作業を実施します。

   a. 「日立 プリンタステータスモニタ」を選択して右クリックし、コンテキストメニューから［プロパティ］を選択します。

      ［日立 プリンタステータスモニタのプロパティ］画面が表示されます。

   b. [全般] タブで［スタートアップの種類］のドロップダウンリストから、[自動（遅延開始)] を選択します。

   c. [OK] ボタンをクリックします。

   メモ

   モニタサービスは、Print Spooler サービスが動作していることが前提となるため、［スタートアップの種類］は［自動（遅延開始)］にします。

なお、マネージャを使用する場合は、マネージャサービス起動時に、モニタサービスから自動的に起動されるため、[スタートアップの種類] は [手動] のままとしてください。この場合、手順 3.の操作は不要です。

4. [ファイル] − [終了] を選択します。
   Windows の [サービス] 画面が閉じられます。

4.2.2 モニタサービスを停止する

背景

モニタの環境設定および運用を終了する場合は、モニタサービス（日立 プリンタステータスモニタ）を停止します。

操作手順

1. Windows のスタートメニューから、[コントロールパネル] − [管理ツール] − [サービス] を選択します。
   Windows の [サービス] 画面が表示されます。

メモ

コマンドでモニタサービスを停止する場合は、コマンドプロンプトで次のコマンドを入力します。

```
net stop PrMonSvc
```

2. 「日立 プリンタステータスモニタ」を選択して右クリックし、コンテキストメニューから [停止] を選択します。
   「日立 プリンタステータスモニタ」の [状態] が [停止] に変更されます。

3. [ファイル] − [終了] を選択します。
   Windows の [サービス] 画面が閉じられます。

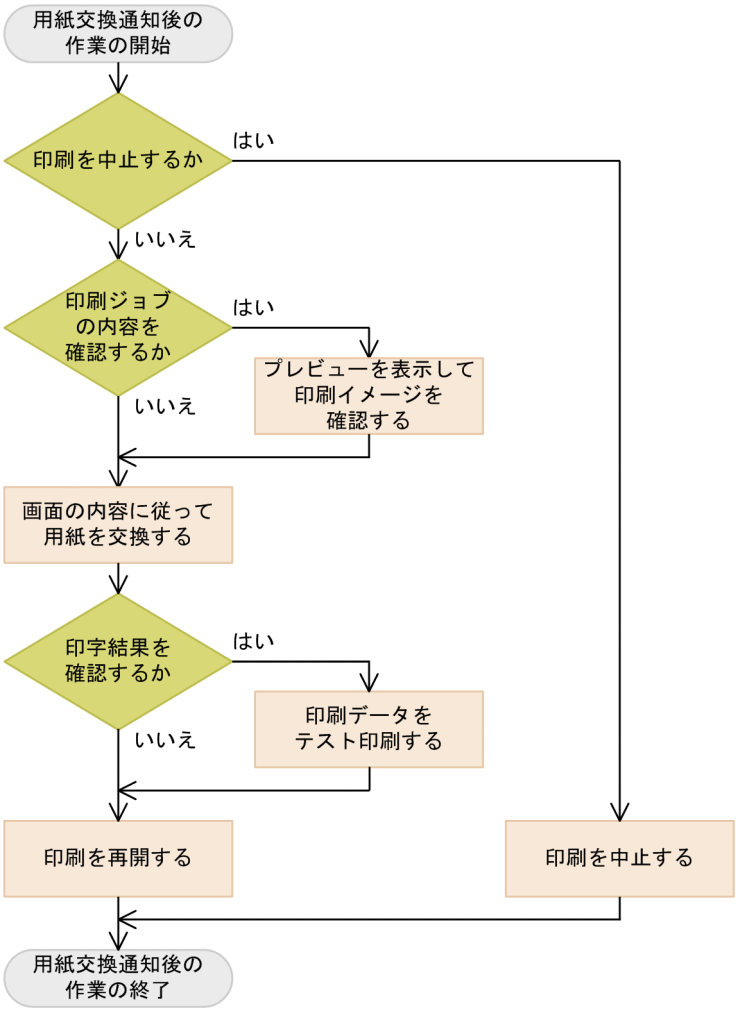
4.3　用紙交換と障害のリカバリ

4.3.1　用紙交換通知または障害通知後の運用の流れ

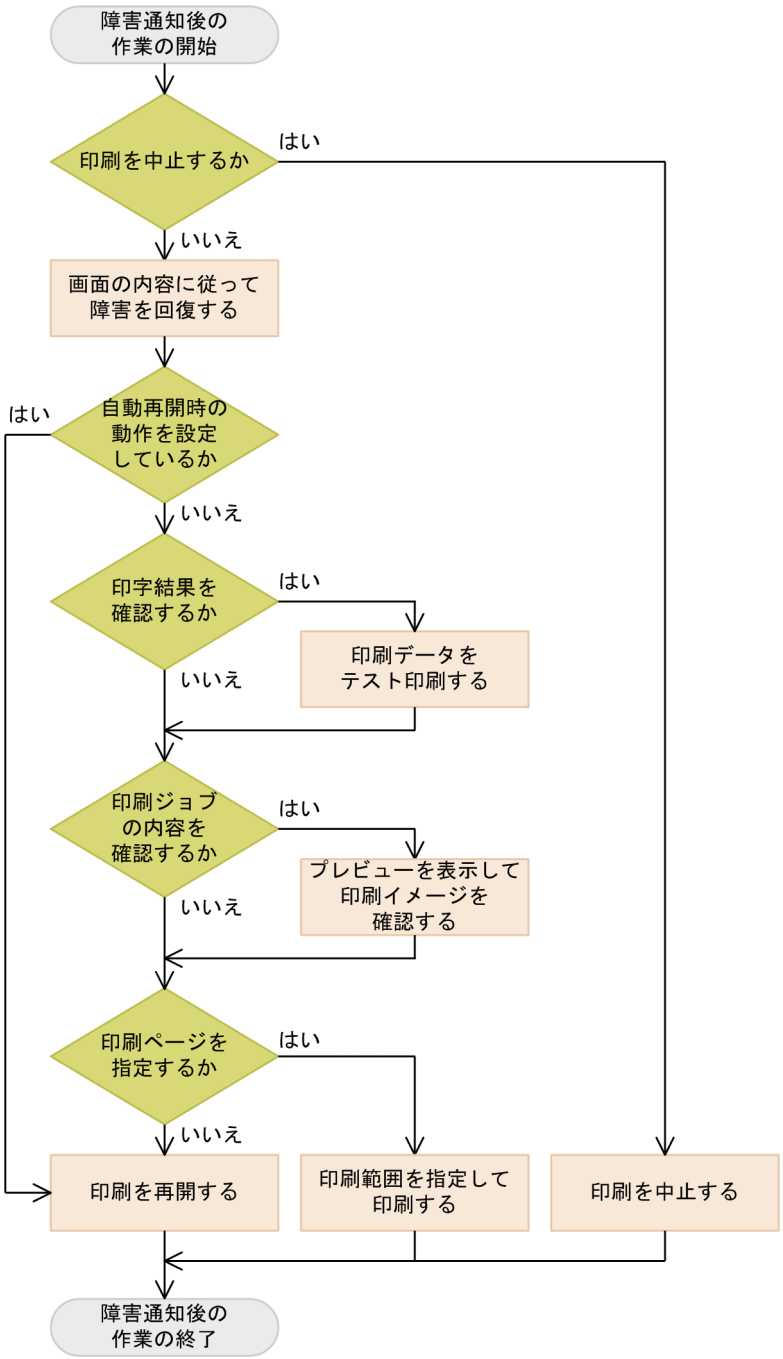
［用紙交換通知］画面、または［障害通知］画面が表示されたあとに実施する作業の流れを次に示します。

各画面は、モニタコンソールに表示されます。

［用紙交換通知］画面が表示されたあとに実施する作業の流れ



［障害通知］画面が表示されたあとに実施する作業の流れ



関連項目

- 4.3.2　印刷範囲を指定して印刷する
- 4.3.3　プレビューを表示して印刷イメージを確認する
- 4.3.4　印刷データをテスト印刷する
- 4.3.5　印刷を再開する
- 4.3.6　印刷を中止する

4.3.2　印刷範囲を指定して印刷する

背景

次の作業が完了したあと、印刷ジョブの印刷範囲をページ指定して印刷します。ページごとの印刷イメージは、[プレビュー表示] ボタンでプレビューを表示すると確認できます。

- プリンタエラーに関する OCP メッセージに従ってプリンタの障害を回復する

前提条件

- [障害通知] 画面のメッセージに対する処置が完了している

操作手順

1. [障害通知] 画面で、[再印刷] の [範囲指定] に開始ページと終了ページを入力します。

> **メモ**
>
> ページの指定誤りを示すメッセージが表示された場合は、メッセージに従って指定値を見直してください。

2. [印刷開始] ボタンをクリックします。
   印刷の開始を確認するメッセージが表示されます。

3. [はい] ボタンをクリックします。
   印刷ジョブに対するドキュメントが、指定した開始ページと終了ページの範囲で印刷されます。

> **メモ**
>
> 印刷を途中で中止する場合は、[印刷中止] ボタンをクリックしてください。

4.3.3　プレビューを表示して印刷イメージを確認する

背景

次の作業が完了したあと、印刷を再開する前に、印刷ジョブの印刷イメージを確認するために印刷ページをプレビュー表示します。

- [用紙交換通知] 画面の場合
  用紙交換メッセージに従ってプリンタの用紙サイズを確認し、必要に応じて用紙を交換する
- [障害通知] 画面の場合
  プリンタエラーに関する OCP メッセージに従ってプリンタの障害を回復する

前提条件

- ［用紙交換通知］画面のメッセージに対する処置が完了している
- ［障害通知］画面のメッセージに対する処置が完了している
- マネージャコンソールまたはマネージャクライアントが起動している

操作手順

1. **［用紙交換通知］画面または［用紙交換通知］画面で［プレビュー表示］ボタンをクリックします。**

   ［プレビュー表示］画面に印刷ページが表示されます。なお、プレビューに時間が掛かる場合は、プレビューが完了するまで表示データを取得中であることを示すメッセージが表示されます。

2. **［ページ］を入力、またはテキストボックスの横にある矢印（ または ）をクリックして、各ページの印刷イメージを確認します。**

   先頭ページへ移動する場合は ボタンを、最終ページへ移動する場合は をクリックしてください。また、ページをキーボード操作で指定する場合は、［Home］キー、［End］キー、［Page Up］キー、および［Page Down］キーを使用してください。

   ページを 25%～500%の範囲で拡大または縮小して確認できます。ページを拡大または縮小するときは、コンボボックスのドロップダウンリストから選択、またはコンボボックスに直接入力するか、もしくはコンボボックスの横にある ボタンまたは ボタンをクリックしてください。倍率をキーボード操作で指定する場合、拡大するときは［Ctrl］＋［+］キー、縮小するときは［Ctrl］＋［−］キーを使用してください。

3. **特定の文字列があるページをプレビュー表示するときは、検索テキストボックスに検索文字列を入力し、 ボタンまたは ボタンをクリックします。**

   検索を開始する位置またはページから先頭ページまで検索する場合は ボタンを、最終ページまで検索する場合は ボタンまたは［Enter］キーをクリックしてください。

   検索文字列が印刷データにあると、検索文字列のあるページに移動し、検索文字列が選択状態で表示されます。

   メモ

   検索時の注意事項を次に示します。

   - 複数行にわたる文字列は検索できません。
   - イメージデータで埋め込まれた文字列は検索できません。
   - 汎用形式の印刷データの場合、大文字と小文字は区別しません。半角と全角は区別します。
   - ESC/P 形式の印刷データの場合、大文字と小文字、半角と全角ともに区別しません。また、プリンタドライバ経由で出力する文字列は検索できません。
   - 空白文字は、検索文字列の一部として扱われます。
   - 特殊文字は検索できないことがあります。または、半角空白として検索されることがあります。
   - 印刷データによっては、プレビュー表示のページ内で検索が前後することがあります。
   - ページの表示領域外にある文字列は検索されますが、選択状態では表示されません。
   - 検索方向によっては、選択状態の文字列が再検索されて、再度、選択状態で表示されることがあります。

4. **確認が完了したら、［閉じる］ボタンをクリックします。**

   ［プレビュー表示］画面が閉じられます。

4.3.4　印刷データをテスト印刷する

背景

次の作業が完了したあと、印刷を再開する前に、プリンタで印刷結果を確認するために印刷範囲を指定してテスト印刷します。

- ［用紙交換通知］画面の場合

  用紙交換メッセージに従ってプリンタの用紙サイズを確認し、必要に応じて用紙を交換する
- ［障害通知］画面の場合

  プリンタエラーに関する OCP メッセージに従ってプリンタの障害を回復する

前提条件

- ［用紙交換通知］画面のメッセージに対する処置が完了している
- ［障害通知］画面のメッセージに対する処置が完了している

操作手順

1. **［用紙交換通知］画面または［障害通知］画面で、［テスト印刷］の［範囲指定］に開始ページと終了ページを入力します。**
2. **［テスト印刷］ボタンをクリックします。**
   テスト印刷の開始を確認するメッセージ（［テスト印刷確認］画面）が表示されます。
3. **［OK］ボタンをクリックします。**
   印刷ジョブに対するドキュメントが、指定した開始ページと終了ページの範囲でテスト印刷されます。モニタの環境設定で、テスト印刷時にスタンプ印字を行う設定を有効にしている場合、スタンプが指定内容に従ってドキュメントに印字されます。
   テスト印刷が完了すると、テスト印刷の完了を示すメッセージ（［テスト印刷完了通知］画面）が表示されます。

   > **メモ**
   >
   > テスト印刷を途中で中止する場合は［中止］ボタンをクリックし、テスト印刷の中止を確認するメッセージ（［テスト印刷中止確認］画面）が表示されたら、［はい］ボタンをクリックしてください。

4. **［OK］ボタンをクリックします。**
5. **プリンタで印刷結果を確認します。**

4.3.5　印刷を再開する

背景

次の作業が完了したあと、用紙交換通知が発生した印刷ジョブ、または障害通知が発生したページから印刷を再開します。

- ［用紙交換通知］画面の場合
  用紙交換メッセージに従ってプリンタの用紙サイズを確認し、必要に応じて用紙を交換する
- ［障害通知］画面の場合
  プリンタエラーに関する OCP メッセージに従ってプリンタの障害を回復する

前提条件

- ［用紙交換通知］画面のメッセージに対する処置が完了している
- ［障害通知］画面のメッセージに対する処置が完了している

操作手順

1. **［用紙交換通知］画面または［障害通知］画面で、［印刷開始］ボタンをクリックします。**
   印刷の開始を確認するメッセージ（［印刷確認］画面）が表示されます。

2. **［はい］ボタンをクリックします。**
   用紙交換通知が発生した印刷ジョブの先頭ページ、または障害通知が発生したページから印刷が再開され、［用紙交換通知］画面または［障害通知］画面が閉じられます。

> **メモ**
>
> 印刷を途中で中止する場合は［印刷中止］ボタンをクリックし、印刷の中止を確認するメッセージ（［印刷中止確認］画面）が表示されたら、［はい］ボタンをクリックしてください。

4.3.6　印刷を中止する

背景

用紙交換またはプリンタエラーが発生した印刷ジョブの印刷を中止します。モニタまたはモニタクライアントの場合は、印刷を中止したあと印刷ジョブは削除されます。マネージャコンソールまたはマネージャクライアントの場合は、印刷を中止しても印刷ジョブは削除されません。

操作手順

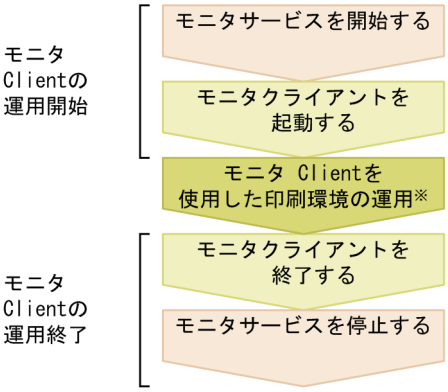
1. **［用紙交換通知］画面または［障害通知］画面で、［印刷中止］ボタンをクリックします。**
   印刷の中止を確認するメッセージ（［印刷中止確認］画面）が表示されます。

2. **［はい］ボタンをクリックします。**
   印刷ジョブに対するドキュメントの印刷が中断され、［用紙交換通知］画面または［障害通知］画面が閉じられます。

4.4　モニタ Client の開始と停止

4.4.1　モニタ Client の開始と停止の流れ

モニタ Client の開始と停止の流れを次の図に示します。



注※　モニタクライアントからモニタへの自動再接続を設定していない場合は、
運用中に次のどちらかの条件を満たすと、モニタクライアントは停止します。
・モニタサービスから終了通知を受信した
・モニタサービスからの通信が切断された

4.4.2　モニタ Client のモニタクライアントを起動する

背景

管理対象プリンタに対する用紙交換通知、障害通知をモニタから受け取るために、モニタクライアントを起動します。起動後、モニタクライアントのアイコンがタスクバーの通知領域（タスクトレイ）に常駐します。

また、モニタの環境設定で、あらかじめモニタクライアントからモニタへの自動再接続を設定しておくと、次の場合もモニタクライアントは停止しないで、モニタとの通信が確立するまで再接続処理を繰り返します。モニタクライアントのアイコンには、自動再接続処理中を示す切断中（ ）が表示されます。

- モニタサービスから終了通知を受信した場合
- モニタサービスからの通信が切断された場合

モニタへの自動再接続を設定しておくと、通信障害以外に、次のような場合にモニタサービスとの通信が切断されても、モニタクライアントを再起動する手間を省けます。

- モニタの環境設定の設定変更時に、モニタサービスを再起動した場合
- システムのメンテナンス時に、OS およびモニタサービスを再起動した場合

重要

モニタへの自動再接続を設定した場合、モニタクライアントの切断時に、[用紙交換通知] 画面や [障害通知] 画面などが表示されていると、これらの画面は自動的に閉じられます。

前提条件

- モニタ Client の環境設定が完了している
- モニタサービスが起動している

操作手順

1. Windows のスタートメニューから、[すべてのプログラム] − [日立 プリンタステータスモニタ Client] − [モニタクライアント] を選択します。

   モニタクライアントが起動中であることを示すメッセージが表示されます。

   メモ

   モニタクライアントが起動中であることを示すメッセージが表示されない場合は、エクスプローラを使用して、モニタ Client のインストールフォルダの「PrMonClCons.exe」をダブルクリックしてください。

   なお、モニタクライアントは、同一ユーザによる複数起動はできません。

   起動が完了すると、タスクトレイにモニタクライアントのアイコン（ ）が表示され、常駐します。

関連項目

- 3.4.11　モニタでクライアントの接続や起動のための設定をする

4.4.3　モニタ Client のモニタクライアントを停止する

背景

管理対象プリンタに対する用紙交換通知、障害通知の管理を終了する場合、モニタクライアントを停止します。

モニタクライアントからモニタへの自動再接続を設定していない場合は、次のどちらかの条件を満たすと、モニタクライアントは停止します。

- モニタサービスから終了通知を受信した
- モニタサービスからの通信が切断された

操作手順

1. タスクバーの通知領域（タスクトレイ）にあるモニタクライアントのアイコン（接続中（ ）または切断中（ ））を右クリックし、コンテキストメニューから［終了］を選択します。

   モニタクライアントの終了を確認するメッセージが表示されます。

2. ［はい］ボタンをクリックします。

   モニタクライアントのアイコンがタスクトレイから削除されます。

> **メモ**
>
> モニタ Client を配置したマシンで次のメッセージが表示された場合、［OK］ボタンをクリックしてモニタクライアントを停止してください。
>
> - モニタサービスから終了通知を受信してモニタクライアントを終了することを示すメッセージ
> - モニタサービスとの通信が切断されてモニタクライアントを終了することを示すメッセージ

関連項目

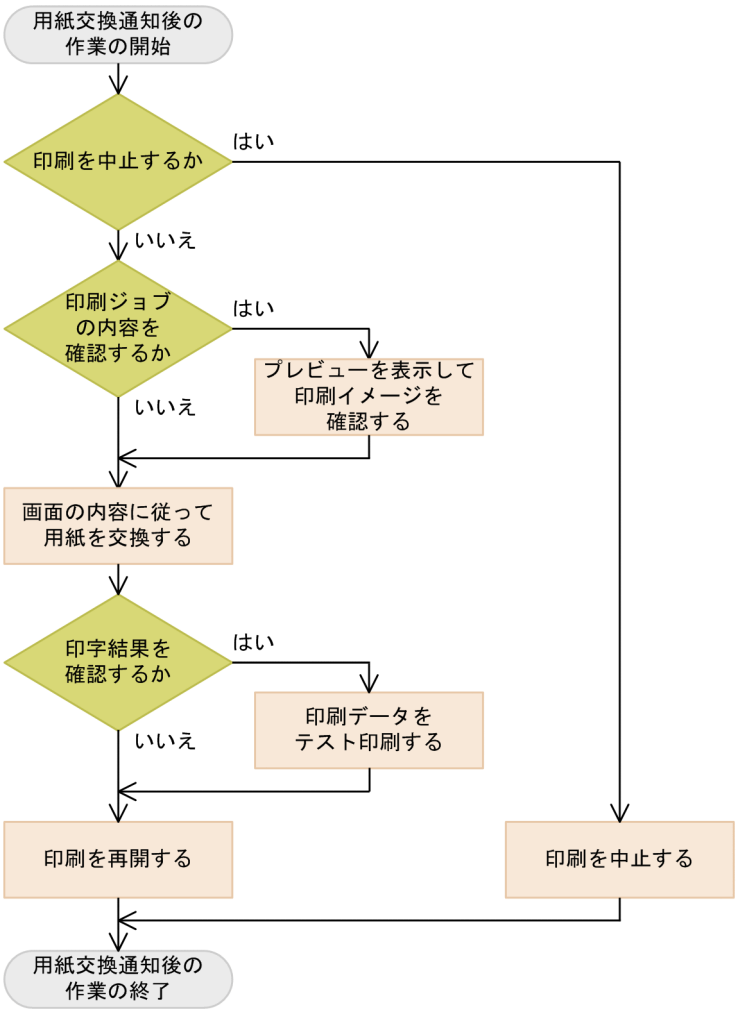
- 3.4.11　モニタでクライアントの接続や起動のための設定をする

4.5　モニタ Client を使用した用紙交換通知または障害通知後の運用の流れ

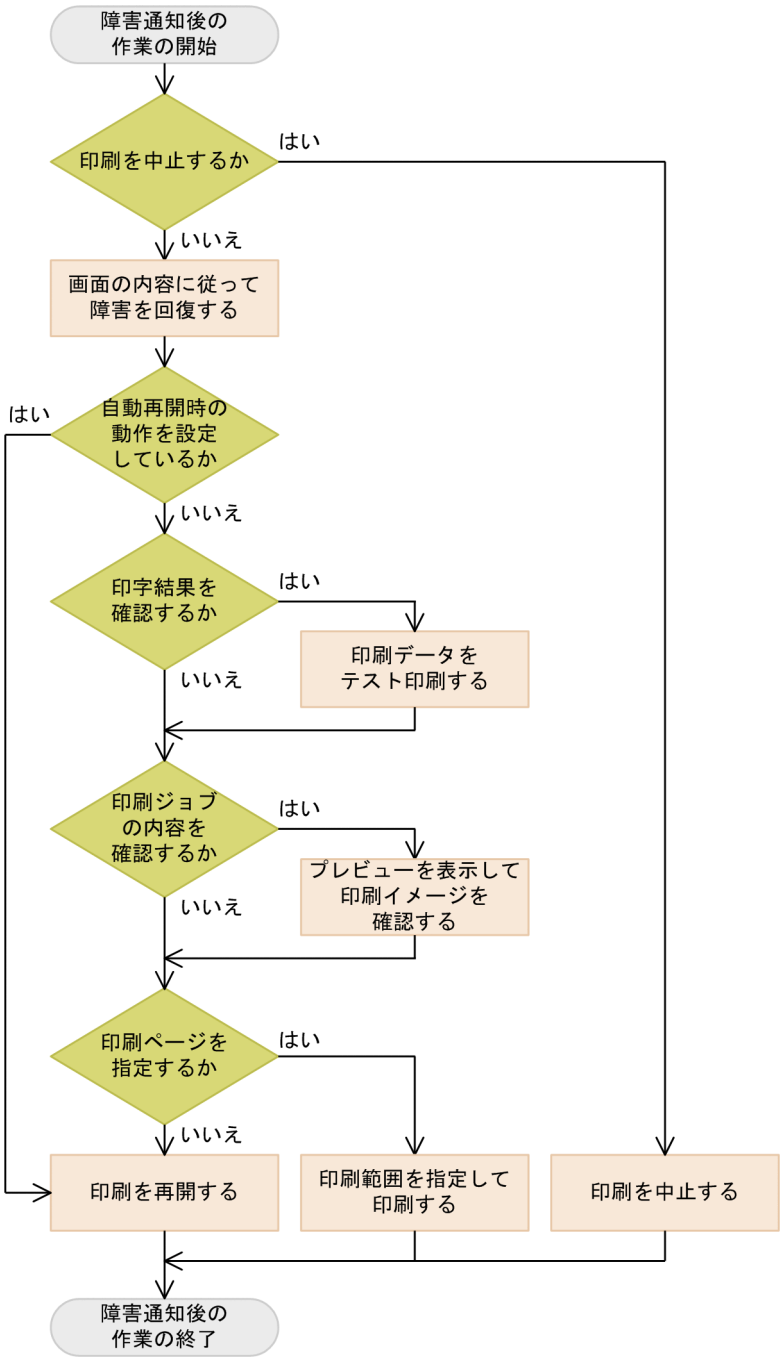
［用紙交換通知］画面、または［障害通知］画面が表示されたあとに実施する作業の流れを次に示します。

各画面は、用紙交換または障害が発生したプリンタを管理しているモニタクライアントに表示されます。

［用紙交換通知］画面が表示されたあとに実施する作業の流れ



［障害通知］画面が表示されたあとに実施する作業の流れ



関連項目

- 4.3.2　印刷範囲を指定して印刷する
- 4.3.3　プレビューを表示して印刷イメージを確認する
- 4.3.4　印刷データをテスト印刷する
- 4.3.5　印刷を再開する
- 4.3.6　印刷を中止する

4.6　モニタおよびモニタ Client のプリンタの管理

4.6.1　モニタの出力先プリンタ情報を編集する

背景

出力先プリンタのプリンタ情報を変更します。必要に応じて、出力先プリンタの印刷情報、障害監視情報も変更します。

[出力先プリンタ設定] 画面で［サービス起動中に設定変更を反映する］チェックボックスをチェックしている場合は、起動中のモニタサービスにも設定したプリンタ情報、印刷情報、および障害監視情報が反映されます。

前提条件

- ［モニタ環境設定］画面が起動している
- モニタの環境設定を実行するユーザが管理者権限を持っている
- 出力先プリンタが作成済みである
- プリンタドライバ名、またはコメントを変更する場合は、出力先プリンタ、および RAW 変換用プリンタ（##PRMON_<プリンタ名>）に印刷ジョブが残っていない
- モニタサービス起動中に設定変更を反映する場合は、出力先プリンタに印刷ジョブが残っていない

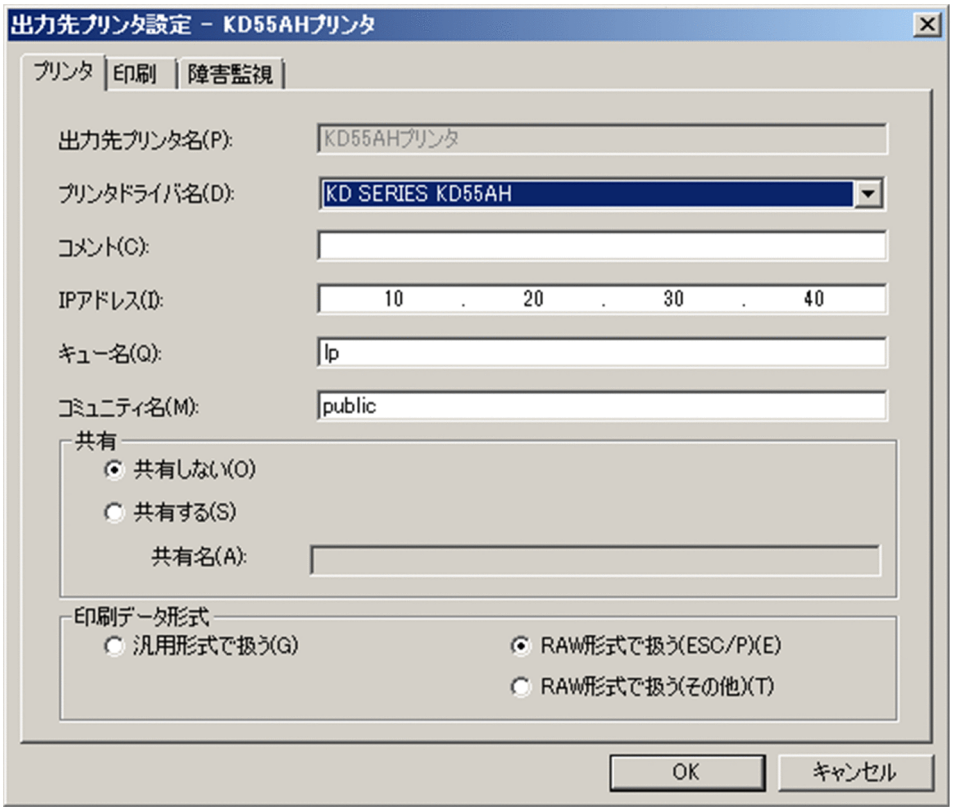
操作手順

1. **［モニタ環境設定］画面で［出力先プリンタ設定］ボタンをクリックします。**
   ［出力先プリンタ設定］画面が表示されます。

2. **起動中のモニタサービスに、更新したプリンタ情報を反映する場合は、［サービス起動中に設定変更を反映する］チェックボックスをチェックします。**

   > **重要**
   >
   > ［サービス起動中に設定変更を反映する］チェックボックスのチェックを外して出力先プリンタの情報を変更すると、以降、チェックボックスは非活性となり、出力先プリンタの情報を動的変更できなくなります。この場合、モニタサービスを再起動すると、［サービス起動中に設定変更を反映する］チェックボックスは活性となり、運用中の設定変更も反映されます。

3. **［出力先プリンター覧］からプリンタ情報を変更する出力先プリンタを選択して、［変更］ボタンをクリックします。**
   ［出力先プリンタ設定 － <選択した出力先プリンタ名>］画面の［プリンタ］タブが表示されます。



4. 出力先プリンタのプリンタ情報を変更します。

［プリンタ］タブの設定項目を次に示します。

設定項目	内容
［出力先プリンタ名］	出力先プリンタ名が表示されます。出力先プリンタ名は、変更できません。
［プリンタドライバ名］	出力先プリンタに対するプリンタドライバ名をドロップダウンリストから選択します。ドロップダウンリストには、マシンにインストールされているプリンタに対するプリンタドライバ名が表示されます。監視方式で使用できる組み合わせのプリンタドライバを選択してください。
［コメント］	出力先プリンタに対するコメントを 255 文字以内で指定します。
［IP アドレス］	出力先プリンタの IP アドレスを指定します。「0.0.0.0」は、未入力として扱われます。
［キュー名］	出力先プリンタの LAN アダプタに設定されているプリントキュー名を 1～32 文字で指定します。
［コミュニティ名］	出力先プリンタの LAN アダプタに設定されている SNMP 認証コミュニティ名を 1～32 文字で指定します。
［共有］	出力先プリンタをほかのマシンと共有する共有プリンタとして使用するかどうかを選択します。 • ［共有しない］ラジオボタン 出力先プリンタをほかのマシンと共有しない場合に選択します。 • ［共有する］ラジオボタン 出力先プリンタをほかのマシンと共有する場合に選択します。

設定項目	内容
[共有名]	[共有設定] で [共有する] ラジオボタンを選択した場合に、共有名を 1～80 文字で指定します。"¥"、",（コンマ）" および"/（スラント）"は使用できません。 [共有名] を指定する場合は、既存のプリンタのプリンタ名、および共有名と異なる名称を必ず指定してください。同じ名称を指定した場合は、既存のプリンタと区別ができなくなり、印刷業務が正常に実行できなくなります。
[印刷データ形式]	モニタが内部で扱う印刷データ形式を選択します。 • 汎用形式で扱う モニタは、XPS 形式の印刷データに対応します。 • RAW 形式で扱う（ESC/P） モニタは、ESC/P 形式の印刷データに対応します。 • RAW 形式で扱う（その他） モニタは、XPS 形式でも ESC/P 形式でもない形式の印刷データに対応します。 なお、モニタは、選択した [印刷データ形式] に合わせて、「印刷データを汎用形式から RAW 形式へ変換するための Windows プリンタ」を追加または削除します。また、これに合わせて、モニタは、出力先プリンタの内部設定情報を変更するために「出力先プリンタ用の Windows プリンタ」も再作成します。再作成時には、蓄積する印刷ジョブも削除されます。 印刷ジョブを消失しないように、次の手順で印刷ジョブが残っていないことを確認してから、[印刷データ形式] を変更してください。 1. 印刷アプリケーションからモニタへの印刷処理をすべて停止します。 2. モニタの環境設定で作成した出力先プリンタに、ドキュメント（印刷ジョブ）がないことを確認します。 3. モニタが対象とする実プリンタで、モニタから印刷されていないことを確認します。 4. モニタサービスを停止します。

5. 出力先プリンタの印刷情報を編集する場合は [印刷] タブをクリックして、テスト印刷時の印字動作を変更します。

6. 出力先プリンタの障害監視情報を編集する場合は [障害監視] タブをクリックして、プリンタ状態の監視方式や、プリンタ状態のイベントログへの出力有無を変更します。

7. 変更後の出力先プリンタ情報を確認して、[OK] ボタンをクリックします。

メモ

設定項目の指定誤りを示すメッセージが表示された場合は、メッセージに従って指定値を見直してください。

[サービス起動中に設定変更を反映する] チェックボックスの設定に関するメッセージが表示された場合、出力先プリンタの情報を動的変更しないときは [はい] ボタンを、動的変更するときは [いいえ] ボタンをクリックしてください。[いいえ] ボタンをクリックすると、変更後の設定は破棄され、[出力先プリンタ設定] 画面が表示されます。

また、複製した出力先プリンタ情報を変更した場合、IP アドレスが同じ出力先プリンタに対して共通項目の上書きを確認するメッセージが表示されます。共通項目を上書きするときは［はい］ボタンをクリックしてください。上書きしないときは［いいえ］ボタンをクリックしてから、再度、IP アドレスが同じ出力先プリンタの設定を確認してください。共通項目については、「表 3-1　出力先プリンタ複製時に共通項目となるプリンタ情報、印刷情報、および障害監視情報」を参照してください。

［出力先プリンタ設定 － <出力先プリンタ名>］画面が閉じられ、［出力先プリンタ設定］画面が表示されます。

手順 2.で［サービス起動中に設定変更を反映する］チェックボックスをチェックしている場合は、環境設定ファイルおよび Windows プリンタに加え、起動中のモニタサービスにも反映されます。チェックしていない場合、チェックボックスは非活性で表示され、環境設定ファイルおよび Windows プリンタにだけ反映され、起動中のモニタサービスには反映されません。

8. ［閉じる］ボタンをクリックします。

［出力先プリンタ設定］画面が閉じられ、［モニタ環境設定］画面が表示されます。

関連項目

- 3.4.4　プリンタの印刷情報を設定する
- 3.4.5　プリンタの障害監視情報を設定する
- 3.4.6　作成済みの出力先プリンタを複製する

4.6.2　モニタの出力先プリンタを削除する

背景

モニタが印刷状態や障害を監視対象とする出力先プリンタを削除します。

前提条件

- モニタサービスが停止している
- モニタの環境設定を実行するユーザが管理者権限を持っている
- 出力先プリンタが作成済みである
- 出力先プリンタに印刷ジョブが残っていない

重要

- 削除対象のプリンタの［印刷ジョブ一覧］に印刷ジョブが残っている場合、［印刷ジョブ一覧］ダイアログのファイルメニューから［すべてのドキュメントを取り消す］を指定するな

どして印刷ジョブを削除、またはキャンセルしてください。[印刷ジョブ一覧] ダイアログに表示されている印刷ジョブのアイコンを直接手動で削除した場合、出力先プリンタを削除できません。印刷ジョブを直接手動で削除する場合、Windows スプールフォルダ下にあるファイルを削除してください。

操作手順

1. Windows のスタートメニューから、[すべてのプログラム] − [日立 プリンタステータスモニタ] − [環境設定] を選択します。
   [モニタ環境設定] 画面が表示されます。

2. [出力先プリンタ設定] ボタンをクリックします。
   [出力先プリンタ設定] 画面が表示されます。

   重要

   モニタサービスが起動していると、[出力先プリンタ設定] 画面の [削除] ボタンは非活性で表示されます。出力先プリンタを削除する場合は、モニタサービスが停止していることを確認してから、モニタの環境設定を開始してください。

3. [出力先プリンター覧] から削除する出力先プリンタを選択して、[削除] ボタンをクリックします。
   出力先プリンタの削除を確認するメッセージが表示されます。

   重要

   [削除] ボタンをクリックした時に、モニタサービスが起動していると、モニタの環境設定がエラーとなって削除処理を中止します。出力先プリンタを削除する時は、モニタサービスを起動しないでください。

4. [はい] ボタンをクリックします。
   [出力先プリンタ設定] 画面が表示されます。
   出力先プリンタ名に対応する Windows プリンタが削除されます。

5. 削除した出力先プリンタが [出力先プリンター覧] に表示されていないことを確認して、[閉じる] ボタンをクリックします。
   [出力先プリンタ設定] 画面が閉じられ、[モニタ環境設定] 画面が表示されます。

関連項目

- 4.6.3　モニタ Client の管理対象プリンタを削除する
- 5.7.2　マネージャの管理対象プリンタを削除する
- 5.7.3　マネージャ Client の管理対象プリンタを削除する

4.6.3　モニタ Client の管理対象プリンタを削除する

背景

モニタ Client で用紙交換通知や障害通知を管理する管理対象プリンタを削除します。

前提条件

- ［モニタクライアント環境設定］画面が起動している
- 管理対象プリンタが登録済みである

操作手順

1. **［モニタクライアント環境設定］画面で［管理設定］ボタンをクリックします。**
   ［管理設定］画面が表示されます。
2. **［プリンター覧］から削除する管理対象プリンタを選択して、［削除］ボタンをクリックします。**
   管理対象プリンタの削除を確認するメッセージが表示されます。
3. **［はい］ボタンをクリックします。**
   ［管理設定］画面が表示されます。
4. **削除した管理対象プリンタが［プリンター覧］に表示されていないことを確認して、［OK］ボタンをクリックします。**
   ［管理設定］画面が閉じられ、［モニタクライアント環境設定］画面が表示されます。

4.7　モニタおよびモニタ Client の運用時の注意事項

モニタおよびモニタ Client 共通の運用時の注意事項

モニタおよびモニタ Client 共通で運用時に注意することを次に示します。

- ［障害通知］画面の状態表示
  - プリンタエラーが表示された場合、プリンタエラーの詳細は、プリンタのパネルで確認してください。
  - ［障害通知］画面で表示されるエラー発生個所は、実際のエラー発生個所と異なる場合があります。エラー発生個所を特定する場合は、［障害通知］画面で表示されるエラー発生個所を目安として、実際の印刷結果を確認してください。
  - モニタでは、エラー発生後も定期的にプリンタの状態を取得して、プリンタの OCP パネルに表示されている内容を［障害通知］画面に表示します。そのため、エラー状態でもプリンタの OCP パネルの表示に従い、「ショリチュウ」などのメッセージに変わる場合があります。なお、OCP パネルに発生しているエラー内容を表示しないプリンタについては、［障害通知］画面では現在のプリンタ状態を表示します。
- テスト印刷での文字位置指定

  スタンプ印字の横方向の文字位置は、印字文字指定でスペース文字を使用して調整してください。
- Windows の LPR コマンドでの大容量印刷ジョブの実行

  Windows の LPR コマンドでの大容量印刷ジョブを複数実行する場合、直前の印刷ジョブが印刷中になったあとで、次の印刷ジョブを実行してください。直前の印刷ジョブが印刷中になる前に連続して実行すると、コマンドプロンプトで「Error　：　Print server did not accept request. Job Aborted.」というメッセージが表示されることがあります。メッセージが表示された場合は、直前の印刷ジョブが印刷中になったあとで、再度 LPR コマンドを実行してください。
- lpr コマンド、および lp コマンドを使用する印刷
  - 印刷ジョブの存在するフォルダでコマンドを実行してください。パス名を指定して印刷ジョブを送信すると、モニタ上ではパス名がジョブ名に含まれます。
  - 印刷ジョブのファイル名の文字数は半角文字で 126 文字以内にしてください。126 文字より多い文字数で印刷した場合、モニタ上では超えた分の文字が欠けて表示されます。
- モニタサービス起動時のログファイルの参照

  モニタサービスを起動するとき、またはモニタサービスが動作しているときに、<ログ出力先フォルダ>内のログファイルを参照しないでください。ログファイルを参照していることで、モニタサービスが起動しなかったり、不正に終了したりするおそれがあります。ログファイルを参照する場合は、別の場所にコピーしてから参照してください。
- 用紙なし発生時の再印刷

  プリンタによっては、印刷中にジョブ状態が用紙なしになった場合、TOF または用紙下端まで印刷しないで、ページの途中で用紙なしになります。印刷データによっては、空白の改行や改ページの印刷中に用紙なしになり、見かけの印刷結果は完成することがあります。この場合、再印刷は不要となるた

め、[障害通知] 画面で印刷中止と再印刷のどちらを選択するかは、実際の印刷結果を確認してから決定してください。

- 用紙ジャムが発生した場合の操作

  プリンタによっては、用紙ジャムが発生すると、プリンタが認識している TOF 位置と実際の用紙の TOF 位置がずれることがあります。用紙ジャムを修復して、用紙を正しい位置にセットしたら、準備完（オンライン）状態にする前に、プリンタパネルのエンタースイッチをブザーが鳴動するまで 3 秒以上押して、TOF 位置を設定し直してください。

- 障害通知からの範囲指定印刷

  [障害通知] 画面から範囲指定印刷を実施して正常終了すると、モニタでは印刷ジョブの正常終了として処理され、印刷ジョブが削除されます。範囲指定印刷でリカバリをする場合は、印刷結果を確認してから範囲指定印刷を実施してください。

- プレビューできないデータ

  プレビューの対象となるのは、サポートしている ESC/P コマンド、およびすべての XPS データです。サポート範囲外の ESC/P コマンドが含まれる印刷ジョブは正しくプレビューできません。

- ページ単位でのリカバリができない場合の対処

  印刷ジョブ内のページ区切りに改ページコードがない場合、ページ単位でのリカバリはできません。この場合、ジョブ単位でリカバリしてください。

- 印刷アプリケーションでの印刷設定

  印刷アプリケーションで、印刷ページに部数、N アップ（ページ集約機能）を設定しないでください。実際の印刷枚数とモニタでカウントする部数が異なるおそれがあります。

- 両面印刷ジョブに対してページ範囲指定印刷をする場合のページ数補正

  印刷アプリケーションで指定する両面印刷ジョブでページ範囲指定をした場合、印刷結果が紙面の表裏で 1 枚になるようにページ数が補正されます。開始ページに偶数ページを指定した場合でも表面から印刷されます。終了ページに奇数ページを指定した場合でも裏面まで印刷されます。

  詳しい補正方法は次の表のとおりです。

印刷種別	ユーザ指定		印刷結果	
	開始ページ	終了ページ	開始ページ	終了ページ
テスト印刷	奇数	奇数	<指定値>	<指定値>+1
		偶数	<指定値>	<指定値>
	偶数	奇数	<指定値>-1	<指定値>+1
		偶数	<指定値>-1	<指定値>
再印刷または印刷	奇数	奇数	<指定値>	<指定値>+1
		偶数	<指定値>	<指定値>
	偶数	奇数	<指定値>-1	<指定値>+1
		偶数	<指定値>-1	<指定値>

- テスト印刷時の印刷データのファイルサイズ

  テスト印刷時にスタンプ印字を行う設定としている場合、スタンプ印字文字のフォントとして固定フォント（MS ゴシック）が印刷データに埋め込まれます。フォントの埋め込みによってプリンタに送信する印刷データが大きくなるおそれがあるため、テスト印刷時のページ数、テスト印刷対象となるジョブの 1 ページ当たりの容量を考慮して、モニタが稼働しているマシンとプリンタ間のネットワーク帯域を設計してください。

  > **メモ**
  >
  > MS ゴシックフォントのフォント情報ファイル（msgothic.ttc）のファイルサイズは 8MB 程度です。

- 印刷中にサービス再起動した場合の動作

  モニタサービスとして受け付けたジョブの出力処理（印刷データの受付から実プリンタでの印刷）中に、モニタサービスを停止した場合、次回モニタサービス起動時に［障害通知］画面が表示されます。［障害通知］画面では、出力処理中であったジョブのうち、モニタサービスとしての受付時間が古いジョブから 1 つずつ表示され、［障害通知］画面で［印刷開始］ボタンをクリックするまで、出力処理中だったジョブに対して操作が要求されます。［印刷開始］ボタンをクリックした場合、出力処理中だったジョブに出力処理が実行されます。プリンタへ送信する多重度数を最大として出力処理しているジョブがある場合、最大でそのジョブの数分の障害通知が表示されます。運用中にモニタサービスを停止する場合は、上位アプリケーションからモニタサービスへのジョブ出力を停止して、プリンタへの出力が完了させておいてください。

- モニタサービス動的変更時のモニタ Client の動作

  モニタ Client で管理対象プリンタに登録しているプリンタが、［出力先プリンタ設定］画面で［サービス起動中に設定変更を反映する］チェックボックスをチェックして、モニタサービスに出力先プリンタとして追加されると、追加された時点からモニタ Client の監視対象となります。

モニタ運用時の注意事項

モニタ固有で運用時に注意することを次に示します。

- サロゲートペアや IVS を含む文字列は環境設定でプリンタ名などに入力しないでください。プリンタ名などに指定した場合、正しく障害が検知できなくなります。
- モニタで作成するプリンタは、環境設定で変更・削除をするようにしてください。また、プリンタのプロパティ情報を変更しないでください。
- モニタを使用して運用を開始する前に、Windows プリンタからテスト印刷するなど、プリンタ接続状態を確認してください。
- モニタでは 64 台までプリンタを設定できますが、1 つのプリンタサーバで同時に稼働するプリンタは、16 台を目安に運用することをお勧めします。
- モニタ 01-30 より前に作成した出力先プリンタの環境設定を変更する場合、［出力先プリンタ設定］画面の［障害監視］タブで［監視方式］に空白が表示されることがあります。この場合、プリンタ監視に

関する設定を変更しないときは、[監視方式] に空白を設定したまま保存してください。[監視方式] に空白以外を選択して保存すると、プリンタ監視に関する設定内容が変わることがあります。

- モニタ 01-30 より前に作成した出力先プリンタで、LPQ を使用したプリンタ監視（障害キーワードによる障害の切り分け）を設定していた場合、プリンタ監視に関する設定は変更できません。変更するには、モニタの環境設定で出力先プリンタに該当するモデルを［監視方式］に指定してください。
- プリンタドライバ名、またはコメントを変更する場合、次のどちらかのプリンタに印刷ジョブが残っていると、処理はキャンセルされ、設定変更した情報は反映されません。印刷ジョブが残っていないことを確認してから、再度、設定情報を変更してください。
  - 出力先プリンタ
  - RAW 変換用プリンタ（##PRMON_<プリンタ名>）
- [出力先プリンタ設定］画面で［サービス起動中に設定変更を反映する］チェックボックスをチェックしている場合でも、[出力先プリンタ設定 － <選択した出力先プリンタ名>］画面、または［出力先プリンタ複製］画面で［OK］ボタンをクリックした時点で、次のどちらかの条件を満たしていると、設定変更した出力先プリンタの情報は、モニタサービスに反映されません。設定変更した出力先プリンタの情報を反映する場合は、モニタサービスを再起動してください。
  - モニタサービスが起動していない
  - ［マネージャ設定］画面で［マネージャ機能を使用する］チェックボックスをチェックしている

  また、設定変更した出力先プリンタに印刷ジョブが残っている場合や、出力先プリンタの設定変更処理でエラーが発生した場合も、設定変更した出力先プリンタの情報は、モニタサービスに反映されません。出力されるメッセージに従って、対処してください。
- [出力先プリンタ設定］画面で［サービス起動中に設定変更を反映する］チェックボックスは、モニタサービス起動中にチェックボックスのチェックを外して設定を反映すると、それ以降は非活性となります。この場合は、この場合は、モニタサービスを再起動してください。

5 マネージャおよびマネージャ Client を使用した印刷環境の運用

マネージャおよびマネージャ Client を使用した印刷環境の運用開始後に実施する作業について説明します。マネージャおよびマネージャ Client の開始、停止に加え、印刷ジョブに関する操作、用紙交換通知後、および障害通知後のリカバリ操作について説明します。また、運用時に使用する画面の表示をカスタマイズする方法についても説明します。

5.1　マネージャの運用を開始するための準備

マネージャの運用を開始する前に、他製品からマネージャを使用するためのインタフェースを設定する必要があります。

例えば、マネージャがモニタから用紙交換通知や障害通知を受け取るために、実際に印刷データを出力する印刷アプリケーションでは、モニタで作成した Windows プリンタの設定や、モニタの用紙交換通知を使用するための用紙交換メッセージの設定が必要になります。

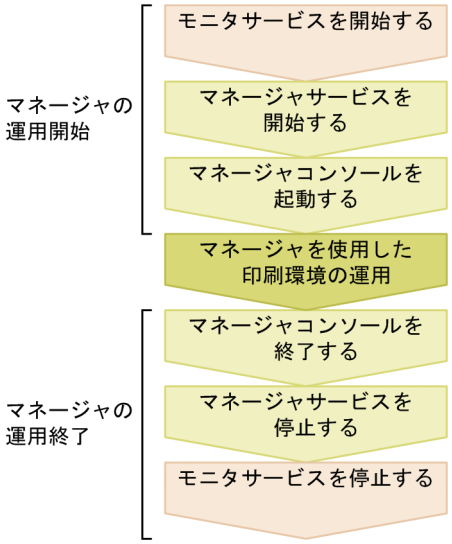
関連項目

- 7.1　XMAP3 からプリンタマネージャを使用するための設定
- 7.2　PDE からプリンタマネージャを使用するための設定
- 7.3　EUR からプリンタマネージャを使用するための設定
- 7.4　CommuniNet からプリンタマネージャを使用するための設定

5.2　マネージャの開始と停止

5.2.1　マネージャの開始と停止の流れ

マネージャの開始と停止の流れを次の図に示します。



5.2.2　マネージャサービスを開始する

背景

マネージャをインストールすると、Windows のサービスにマネージャサービス（日立 プリンタマネージャ）が登録されます。マネージャの環境設定および運用を開始する前に、マネージャサービスを開始します。マネージャサービスの表示名は「日立 プリンタマネージャ」、サービス名は「PrMgrSvc」です。

前提条件

- モニタサービスが起動している

操作手順

1. Windows のスタートメニューから、[コントロールパネル] − [管理ツール] − [サービス] を選択します。
   Windows の［サービス］画面が表示されます。

メモ

コマンドでマネージャサービスを開始する場合は、コマンドプロンプトで次のコマンドを入力します。

```
net start PrMgrSvc
```

2. 「日立 プリンタマネージャ」を選択して右クリックし、コンテキストメニューから［開始］を選択します。

「日立 プリンタマネージャ」の［状態］が［開始］に変更されます。

3. マシン起動時にマネージャが自動で開始するように設定する場合は、Windows の［サービス］画面で次の作業を実施します。

a. 「日立 プリンタマネージャ」を選択して右クリックし、コンテキストメニューから［プロパティ］を選択します。

［日立 プリンタマネージャのプロパティ］画面が表示されます。

b. ［全般］タブで［スタートアップの種類］のドロップダウンリストから、［自動（遅延開始）］を選択します。

c. ［OK］ボタンをクリックします。

メモ

マネージャサービスは、Print Spooler サービスが動作していることが前提となるため、［スタートアップの種類］は［自動（遅延開始）］にします。

なお、マネージャサービス起動時、モニタサービスが未起動の場合は、自動的にモニタサービスから起動します。

4. ［ファイル］－［終了］を選択します。

Windows の［サービス］画面が閉じられます。

5.2.3 マネージャのマネージャコンソールを起動する

背景

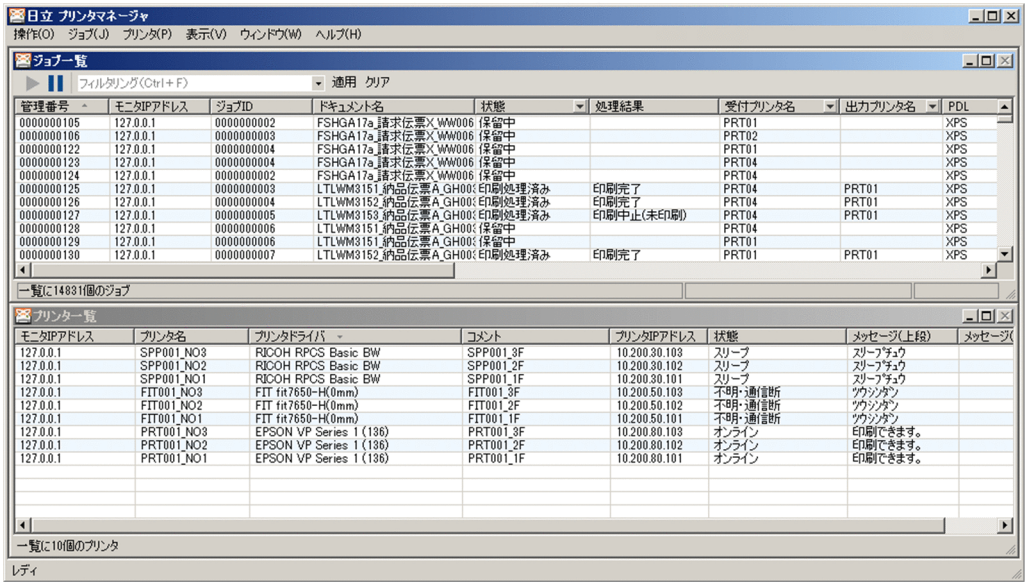
マネージャを配置したマシンで、プリンタの管理や、管理対象プリンタに対する印刷ジョブの出力指示を操作するために、マネージャコンソールを起動します。起動後、［日立 プリンタマネージャ］画面が表示されます。

前提条件

- モニタサービスが起動している
- マネージャサービスが起動している
- マネージャの環境設定が完了している

操作手順

1. Windows のスタートメニューから、[すべてのプログラム] − [日立 プリンタマネージャ] − [マネージャコンソール] を選択します。
   マネージャサービスに接続し、起動中、および情報取得中であることを示すメッセージが表示されます。
   起動が完了すると、[日立 プリンタマネージャ] 画面が表示されます。



5.2.4　マネージャのマネージャコンソールを終了する

背景

マネージャを配置したマシンで、プリンタの管理や、管理対象プリンタに対する印刷ジョブの出力指示を終了する場合、マネージャコンソールを終了します。また、マネージャサービスから終了通知を受信した場合や、マネージャサービスからの通信が切断された場合も、マネージャコンソールは終了します。

操作手順

1. マネージャコンソールのメニューバーから［操作］ − ［終了］を選択します。
   マネージャコンソールの終了を確認するメッセージが表示されます。

2. [はい] ボタンをクリックします。

メモ

マネージャを配置したマシンで次のメッセージが表示された場合、[OK] ボタンをクリックしてマネージャコンソールを終了してください。

- マネージャサービスから終了通知を受信してマネージャコンソールを終了することを示すメッセージ
- マネージャサービスとの通信が切断されてマネージャコンソールを終了することを示すメッセージ

重要

マネージャコンソールを終了しても、マネージャサービスおよびモニタサービスは停止しません。マネージャサービスでは、モニタサービスからの印刷ジョブの更新通知を受け付けていますが、[障害通知] 画面は表示されないため、プリンタへの印刷が停止することがあります。

5.2.5 マネージャサービスを停止する

背景

マネージャの環境設定および運用を終了する場合は、マネージャサービス（日立 プリンタマネージャ）を停止します。マネージャサービスを停止すると、モニタサービスとの通信が切断されます。

前提条件

- マネージャコンソールが停止している

操作手順

1. Windows のスタートメニューから、[コントロールパネル] − [管理ツール] − [サービス] を選択します。

   Windows の [サービス] 画面が表示されます。

メモ

コマンドでマネージャサービスを停止する場合は、コマンドプロンプトで次のコマンドを入力します。

```
net stop PrMgrSvc
```

2. 「日立 プリンタマネージャ」を選択して右クリックし、コンテキストメニューから［停止］を選択します。

「日立 プリンタマネージャ」の［状態］が［停止］に変更されます。

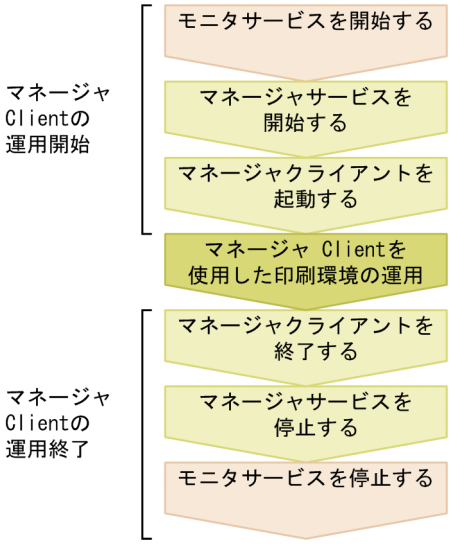
3. ［ファイル］－［終了］を選択します。

Windows の［サービス］画面が閉じられます。

5.3　マネージャ Client の開始と停止

5.3.1　マネージャ Client の開始と停止の流れ

マネージャ Client の開始と停止の流れを次の図に示します。



5.3.2　マネージャ Client のマネージャクライアントを起動する

背景

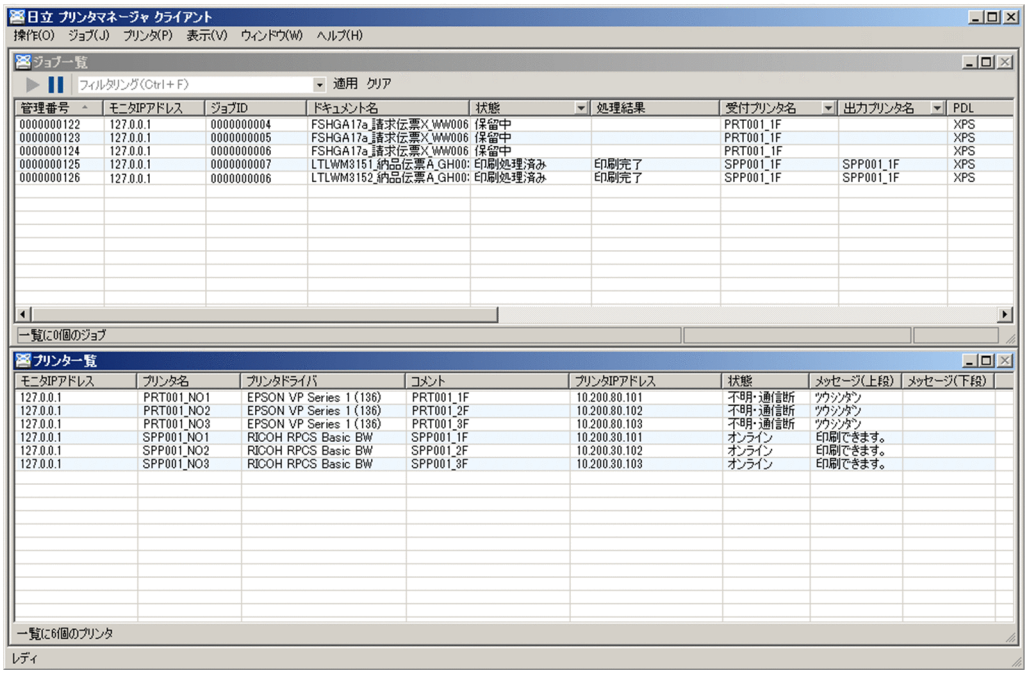
プリンタの管理や、管理対象プリンタに対する印刷ジョブの出力指示を 操作するために、マネージャクライアントを起動します。起動後、[日立 プリンタマネージャ クライアント] 画面が表示されます。

前提条件

- モニタサービスが起動している
- マネージャサービスが起動している
- マネージャ Client の環境設定が完了している

操作手順

1. Windows のスタートメニューから、[すべてのプログラム] − [日立 プリンタマネージャ Client] − [マネージャクライアント] を選択します。
   マネージャサービスに接続し、起動中、および情報取得中であることを示すメッセージが表示されます。
   起動が完了すると、[日立 プリンタマネージャ クライアント] 画面が表示されます。



メモ

マネージャクライアントが起動中であることを示すメッセージが表示されない場合は、エクスプローラを使用して、マネージャ Client のインストールフォルダの「PrMngClCons.exe」をダブルクリックしてください。

なお、マネージャクライアントは、同一ユーザによる複数起動はできません。

5.3.3 マネージャ Client のマネージャクライアントを停止する

背景

プリンタの管理や、管理対象プリンタに対する印刷ジョブの出力指示を終了する場合、マネージャクライアントを停止します。また、マネージャサービスから終了通知を受信した場合や、マネージャサービスからの通信が切断された場合も、マネージャクライアントは終了します。

操作手順

1. マネージャクライアントのメニューバーから［操作］－［終了］を選択します。
   マネージャクライアントの終了を確認するメッセージが表示されます。

2. [はい] ボタンをクリックします。

メモ

マネージャ Client を配置したマシンで次のメッセージが表示された場合、[OK] ボタンをクリックしてマネージャクライアントを停止してください。

- マネージャサービスから終了通知を受信してマネージャクライアントを終了することを示すメッセージ
- マネージャサービスとの通信が切断されてマネージャクライアントを終了することを示すメッセージ

重要

マネージャクライアントを終了しても、マネージャサービスおよびモニタサービスは停止しません。マネージャサービスでは、モニタサービスからの印刷ジョブの更新通知を受け付けていますが、[障害通知] 画面は表示されないため、プリンタへの印刷が停止することがあります。

5.4　ウィンドウのカスタマイズ

5.4.1　新規にジョブ一覧ウィンドウを追加する

背景

マネージャコンソールおよびマネージャクライアントのウィンドウで、[ジョブ一覧] ウィンドウを新規に追加します。新規に追加する場合は、[ジョブ一覧ウィンドウの追加] 画面でウィンドウタイトルを指定します。

マネージャコンソールまたはマネージャクライアントに表示できる [ジョブ一覧] ウィンドウの数は、最大 64 個です。

前提条件

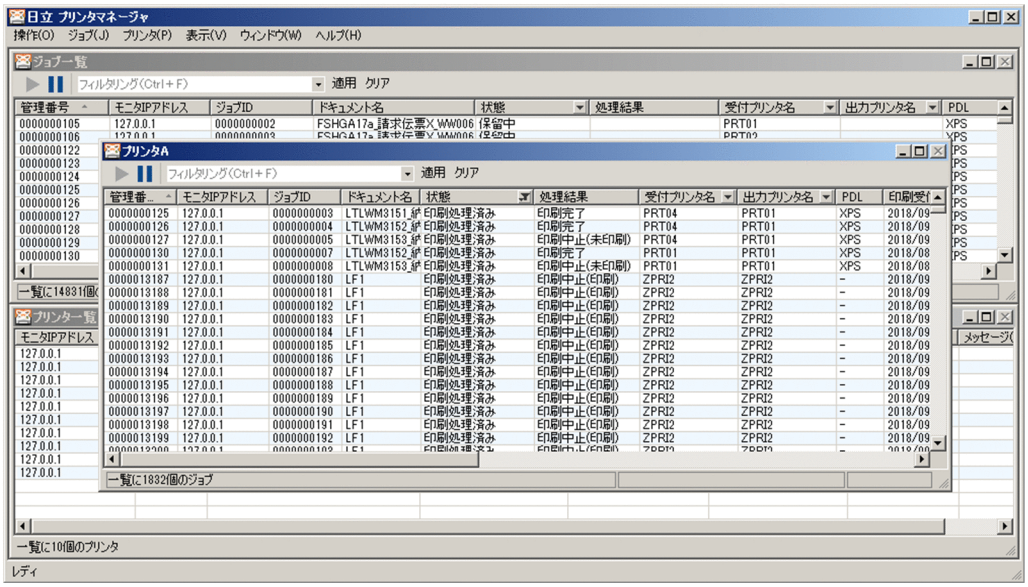
- マネージャコンソールまたはマネージャクライアントが起動している

操作手順

1. マネージャコンソールまたはマネージャクライアントで、メニューバーから [表示] − [ジョブ一覧ウィンドウの追加...] を選択します。
   [ジョブ一覧ウィンドウの追加] 画面が表示されます。

2. 追加する [ジョブ一覧] ウィンドウのタイトルバーに表示する名前を [タイトル] に指定します。
   ウィンドウタイトルは、[ジョブ一覧] ウィンドウごとに重複しないように指定してください。指定できる文字数は 1～200 文字です。ウィンドウタイトルの先頭および末尾にある、全角および半角の空白文字は、[ジョブ一覧] ウィンドウを追加する際に削除されます。

3. [OK] ボタンをクリックします。
   [ジョブ一覧] ウィンドウが、指定したウィンドウタイトルで、マネージャコンソールまたはマネージャクライアントの最前面に表示されます。
   ここで示す表示例は、マネージャコンソールでタイトルに「プリンタ A」を指定した [ジョブ一覧] ウィンドウを追加した例です。



なお、［ジョブ一覧］ウィンドウおよび［プリンター一覧］ウィンドウが最大化されている場合、それぞれのウィンドウの最大化は解除されます。

メモ

追加する［ジョブ一覧］ウィンドウは、次に示す設定で作成されます。運用に合わせて表示項目や表示内容を編集してください。

- ［表示列の設定］画面の［詳細］では、すべてのチェックボックスがチェックされている
- ［フィルタリング対象属性の設定］画面の［詳細］では、すべてのチェックボックスでチェックが外れている
- ［状態］、［受付プリンタ名］、［出力プリンタ名］、［コンピュータ名］および［ユーザ名］で列のフィルタリングが設定されていない
- ［管理番号］は昇順にソートされている
- ［ジョブ一覧］ウィンドウの自動更新は開始状態である

また、2つ以上の［ジョブ一覧］ウィンドウが表示されている場合、不要な［ジョブ一覧］ウィンドウを、メニューバーから［表示］－［ジョブ一覧ウィンドウの削除］を選択して削除できます。

関連項目

- 5.4.2　ウィンドウの表示項目をカスタマイズする
- 5.4.3　フィルタリング条件で印刷ジョブの一覧をフィルタリングする
- 5.4.4　印刷ジョブの表示項目に列のフィルタリングを設定する
- 5.4.5　印刷ジョブまたはプリンタの一覧を表示項目ごとにソートする
- 5.4.7　ジョブ一覧ウィンドウを削除する

5.4.2　ウィンドウの表示項目をカスタマイズする

背景

マネージャコンソールおよびマネージャクライアントのウィンドウを運用に合わせてカスタマイズします。［ジョブ一覧］ウィンドウおよび［プリンター一覧］ウィンドウでは、表示または非表示にする項目や、表示項目の並びを、ログインユーザごとに［表示列の設定］画面で編集できます。

［ジョブ一覧］ウィンドウの場合、この設定は、［対象ジョブ一覧］コンボボックスで選択したウィンドウに適用されます。

前提条件

- マネージャコンソールまたはマネージャクライアントが起動している

操作手順

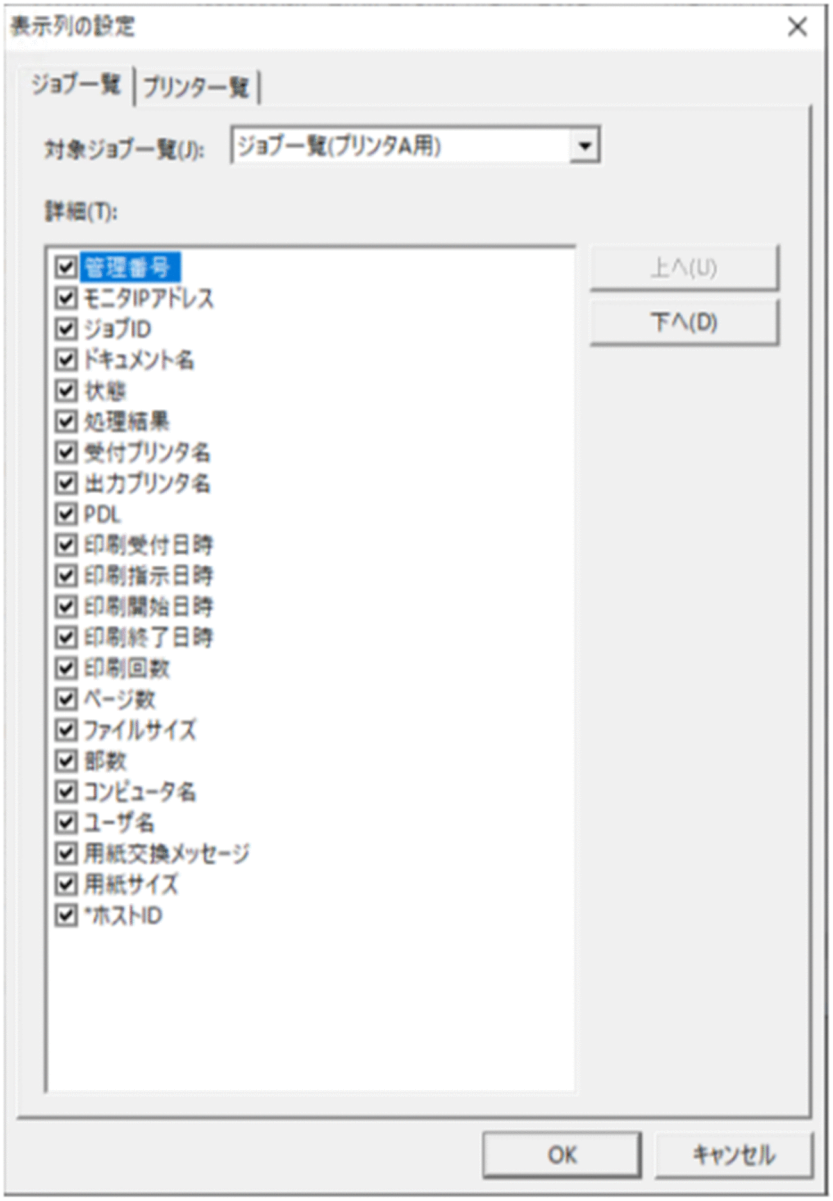
1. **マネージャコンソールまたはマネージャクライアントで、メニューバーから［表示］－［表示列の設定...］を選択します。**

   ［表示列の設定］画面が表示されます。

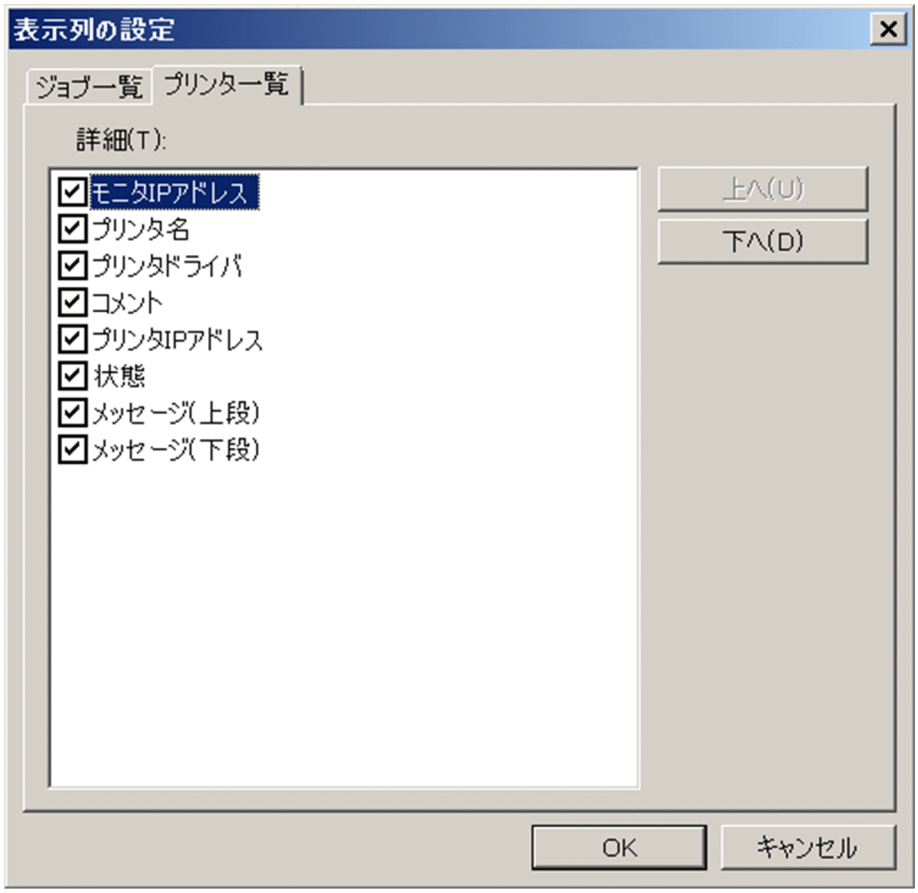
2. **カスタマイズしたいウィンドウのタブをクリックします。**

   ［ジョブ一覧］ウィンドウをカスタマイズする場合は［ジョブ一覧］タブ、［プリンター一覧］ウィンドウをカスタマイズする場合は［プリンター一覧］タブをクリックしてください。

［ジョブ一覧］ウィンドウをカスタマイズする場合（マネージャの環境設定で［ジョブ一覧］ウィンドウの追加項目として「ホスト ID」を指定している例）



［プリンター一覧］ウィンドウをカスタマイズする場合



3. ［ジョブ一覧］ウィンドウをカスタマイズする場合は、カスタマイズ対象の［ジョブ一覧］ウィンドウを次の手順で選択します。

   a. ［対象ジョブ一覧］コンボボックスをクリックします。

   b. ドロップダウンリストから表示項目をカスタマイズしたい［ジョブ一覧］ウィンドウを選択します。

      ドロップダウンリストには、「(すべてのジョブ一覧)」と、［ジョブ一覧］ウィンドウの一覧が表示されます。［ジョブ一覧］ウィンドウの名称は、大文字と小文字は区別されませんが、全角と半角は区別されて表示されます。ドロップダウンリストの内容は複数選択できます。

      「(すべてのジョブ一覧)」をチェックすると、「(すべてのジョブ一覧)」以外もすべてチェックされます。「(すべてのジョブ一覧)」以外でどれか 1 つでもチェックを外すと、「(すべてのジョブ一覧)」のチェックも外されます。

4. ［詳細］の項目をウィンドウに表示するかどうかを指定します。

   ウィンドウに表示する項目はチェックボックスをチェックし、表示しない項目はチェックボックスのチェックを外してください。

> **メモ**
>
> ［ジョブ一覧］ウィンドウの場合、チェックボックスのチェックの有無は、［対象ジョブ一覧］コンボボックスで選択した［ジョブ一覧］ウィンドウの設定に従って表示されます。た

だし、[対象ジョブ一覧]コンボボックスで「(すべてのジョブ一覧)」を選択した場合は、[詳細]のすべての項目がチェックされた状態で表示されます。

また、[ジョブ一覧]ウィンドウの場合、[ジョブ一覧ウィンドウ共通設定]画面の[項目追加]タブで追加した項目は、「*<項目名>」の形式で表示されます。

5. **ウィンドウの左から表示する項目の順序を、[上へ]ボタンまたは[下へ]ボタンをクリックして設定します。**

   [詳細]の上から順にウィンドウの左から項目が表示されます。項目を選択状態にしたまま、[上へ]ボタンまたは[下へ]ボタンをクリックして、ウィンドウに表示したい位置まで移動してください。

6. **[OK]ボタンをクリックします。**

   [対象ジョブ一覧]コンボボックスで選択した[ジョブ一覧]ウィンドウ、または[プリンター覧]ウィンドウに、カスタマイズ後の表示項目が反映されます。[対象ジョブ一覧]コンボボックスで「(すべてのジョブ一覧)」を選択した場合は、すべての[ジョブ一覧]ウィンドウに、カスタマイズ後の表示項目が反映されます。

   マネージャコンソールまたはマネージャクライアントで表示されているウィンドウには、カスタマイズ後の項目が表示されます。

> **メモ**
>
> [詳細]のすべての項目でチェックボックスのチェックが外れている場合、[OK]ボタンは非活性で表示されます。

関連項目

- 3.5.4　ジョブ一覧ウィンドウに表示項目を追加する

5.4.3　フィルタリング条件で印刷ジョブの一覧をフィルタリングする

背景

[ジョブ一覧]ウィンドウで操作する印刷ジョブを特定する場合に、フィルタリング条件を指定して、印刷ジョブの一覧を絞り込みます。また、フィルタリング条件を適用する表示項目を設定します。

この設定は、[対象ジョブ一覧]コンボボックスで選択したウィンドウに適用されます。

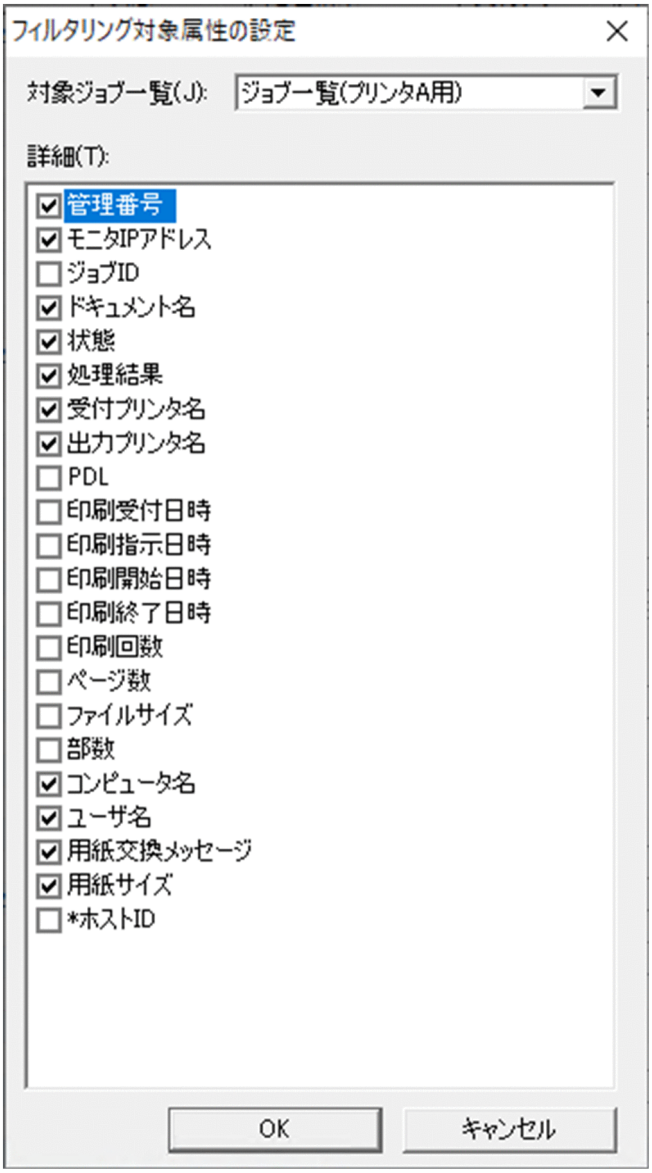
前提条件

- マネージャコンソールまたはマネージャクライアントが起動している

操作手順

1. マネージャコンソールまたはマネージャクライアントで、メニューバーから［表示］－［フィルタリング対象属性の設定...］を選択します。

   ［フィルタリング対象属性の設定］画面が表示されます。ここで示す［フィルタリング対象属性の設定］画面は、マネージャの環境設定で［ジョブ一覧］ウィンドウの追加項目として「ホスト ID」を指定している例です。



2. フィルタリング条件を設定する［ジョブ一覧］ウィンドウを次の手順で選択します。

   a. ［対象ジョブ一覧］コンボボックスをクリックします。

   b. ドロップダウンリストから表示項目をカスタマイズしたい［ジョブ一覧］ウィンドウを選択します。

      ドロップダウンリストには、「(すべてのジョブ一覧)」と、［ジョブ一覧］ウィンドウの一覧が表示されます。［ジョブ一覧］ウィンドウの名称は、大文字と小文字は区別されませんが、全角と半角は区別されて表示されます。ドロップダウンリストの内容は複数選択できます。

「(すべてのジョブ一覧)」をチェックすると、「(すべてのジョブ一覧)」以外もすべてチェックされます。「(すべてのジョブ一覧)」以外でどれか 1 つでもチェックを外すと、「(すべてのジョブ一覧)」のチェックも外されます。

3. [詳細] の項目にフィルタリング条件を適用するかどうかを指定します。

フィルタリング条件を適用する項目はチェックボックスをチェックし、表示しない項目はチェックボックスのチェックを外してください。

メモ

チェックボックスのチェックの有無は、[対象ジョブ一覧] コンボボックスで選択した [ジョブ一覧] ウィンドウの設定に従って表示されます。ただし、[対象ジョブ一覧] コンボボックスで「(すべてのジョブ一覧)」を選択した場合は、[詳細] の次に示す項目がチェックされた状態で表示されます。

- モニタ IP アドレス
- ドキュメント名
- 状態
- 処理結果
- 受付プリンタ名
- 出力プリンタ名
- コンピュータ名
- ユーザ名
- 用紙交換メッセージ
- 用紙サイズ

また、[ジョブ一覧ウィンドウ共通設定] 画面の [項目追加] タブで追加した項目は、「*<項目名>」の形式で表示されます。

4. [ジョブ一覧] ウィンドウのツールバーのフィルタリングコンボボックスに、テキストで条件を指定します。

条件は、最大 200 文字で、複数の条件を全角の空白文字で区切って指定できます。半角の空白文字を含むテキストを入力する場合は、ダブルクォーテーション (") で囲んでください。入力した条件は、30 件まで履歴が管理され、フィルタリングコンボボックスのリストからも選択できます。

5. [適用] ボタンをクリックします。

[対象ジョブ一覧] コンボボックスで選択した [ジョブ一覧] ウィンドウに、フィルタリング後の表示項目が反映されます。[対象ジョブ一覧] コンボボックスで「(すべてのジョブ一覧)」を選択した場合は、すべての [ジョブ一覧] ウィンドウに、フィルタリング後の表示項目が反映されます。

表示されている [ジョブ一覧] ウィンドウには、フィルタリングコンボボックスに指定した条件で絞り込まれた印刷ジョブが表示されます。フィルタリング対象となった表示項目は、背景色が変わります。

関連項目

- 3.5.4　ジョブ一覧ウィンドウに表示項目を追加する

5.4.4　印刷ジョブの表示項目に列のフィルタリングを設定する

背景

［ジョブ一覧］ウィンドウに表示するプリンタや印刷ジョブを特定する場合に、列のフィルタリングを設定して、列ごとに表示項目を絞り込みます。列のフィルタリングが設定できる表示項目は、［状態］、［受付プリンタ名］、［出力プリンタ名］、［コンピュータ名］および［ユーザ名］です。

この設定は、操作対象のウィンドウにだけ適用されます。操作対象のウィンドウは、［ウィンドウ］メニューまたは［ウィンドウの選択］画面で選択します。

前提条件

- マネージャコンソールまたはマネージャクライアントが起動している

操作手順

1. **［ウィンドウ］メニューまたは［ウィンドウの選択］画面で、操作対象の［ジョブ一覧］ウィンドウを選択します。**

2. **［ジョブ一覧］ウィンドウで、表示項目を絞り込みたい列タイトルの をクリックします。**

   列のフィルタリングが設定できる表示項目は、［状態］、［受付プリンタ名］、［出力プリンタ名］、［コンピュータ名］および［ユーザ名］です。

3. **ドロップダウンリストから表示対象を選択します。**

   表示対象は複数選択できます。ドロップダウンリストの内容を表示項目ごとに示します。

   - ［状態］

     「(すべてを選択)」と、ジョブ状態の一覧

     ジョブ状態が「印刷処理済み」の場合は「印刷処理済み（すべて)」と「印刷処理済み（<［処理結果］の表示項目>)」が表示されます。「印刷処理済み（すべて)」をチェックすると、「印刷処理済み（<［処理結果］の表示項目>)」はすべてチェックされます。「印刷処理済み（<［処理結果］の表示項目>)」でどれか 1 つでもチェックを外すと、「印刷処理済み（すべて)」のチェックも外されます。

   - ［受付プリンタ名］

     「(すべてを選択)」と、［ジョブ一覧］ウィンドウに表示されている印刷ジョブの受付プリンタの一覧

     受付プリンタの名称は、大文字と小文字は区別されませんが、全角と半角は区別されて表示されます。

   - ［出力プリンタ名］

「(すべてを選択)」と、[ジョブ一覧] ウィンドウに表示されている出力先プリンタの一覧
出力先プリンタの名称は、大文字と小文字は区別されませんが、全角と半角は区別されて表示されます。

- [コンピュータ名]
  「(すべてを選択)」と、[ジョブ一覧] ウィンドウに表示されているマシンの一覧
- [ユーザ名]
  「(すべてを選択)」と、[ジョブ一覧] ウィンドウに表示されているユーザの一覧

注

表示項目に空白の列がある場合、フィルタの一覧にも空白が表示されます。

「(すべてを選択)」をチェックすると、「(すべてを選択)」以外もすべてチェックされます。「(すべてを選択)」以外でどれか 1 つでもチェックを外すと、「(すべてを選択)」のチェックも外されます。

4. 選択した内容を確認して、[OK] ボタンをクリックします。
   選択した表示対象で絞り込まれた [ジョブ一覧] ウィンドウが表示されます。

> **メモ**
>
> フィルタの設定を中止する場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。選択した内容を破棄して [ジョブ一覧] ウィンドウに戻ります。

5.4.5 印刷ジョブまたはプリンタの一覧を表示項目ごとにソートする

背景

マネージャコンソールおよびマネージャクライアントのウィンドウで、表示項目ごとに昇順または降順を切り替えて、一覧の内容を並び変えて表示します。

この設定は、操作対象のウィンドウにだけ適用されます。操作対象のウィンドウは、[ウィンドウ] メニューまたは [ウィンドウの選択] 画面で選択します。

前提条件

- マネージャコンソールまたはマネージャクライアントが起動している

操作手順

1. [ウィンドウ] メニューまたは [ウィンドウの選択] 画面で、操作対象のウィンドウを選択します。
2. ウィンドウの表示項目のヘッダーをクリックします。
   表示項目の昇順または降順が切り替えられ、ソートされた内容でウィンドウが表示されます。

5.4.6　ジョブ一覧ウィンドウを複製する

背景

マネージャコンソールおよびマネージャクライアントのウィンドウで、選択した［ジョブ一覧］ウィンドウと同じ設定の［ジョブ一覧］ウィンドウを複製します。複製する場合は、［ジョブ一覧ウィンドウの複製］画面でウィンドウタイトルを指定します。

マネージャコンソールまたはマネージャクライアントに表示できる［ジョブ一覧］ウィンドウの数は、最大 64 個です。

前提条件

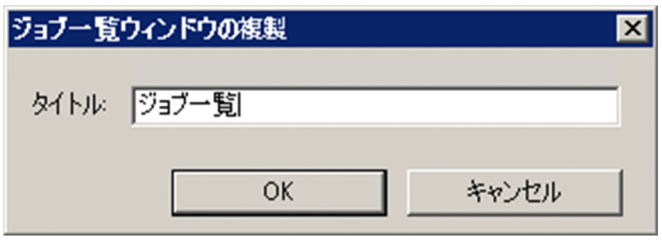
- マネージャコンソールまたはマネージャクライアントが起動している

操作手順

1. マネージャコンソールまたはマネージャクライアントで、複製元の［ジョブ一覧］ウィンドウを選択して、メニューバーから［表示］－［ジョブ一覧ウィンドウの複製...］を選択します。

   ［ジョブ一覧ウィンドウの複製］画面が表示されます。［タイトル］には複製元の［ジョブ一覧］ウィンドウのウィンドウタイトルが表示されます。

   ここで示す表示例は、複製元の［ジョブ一覧］ウィンドウのウィンドウタイトルが「ジョブ一覧」の例です。

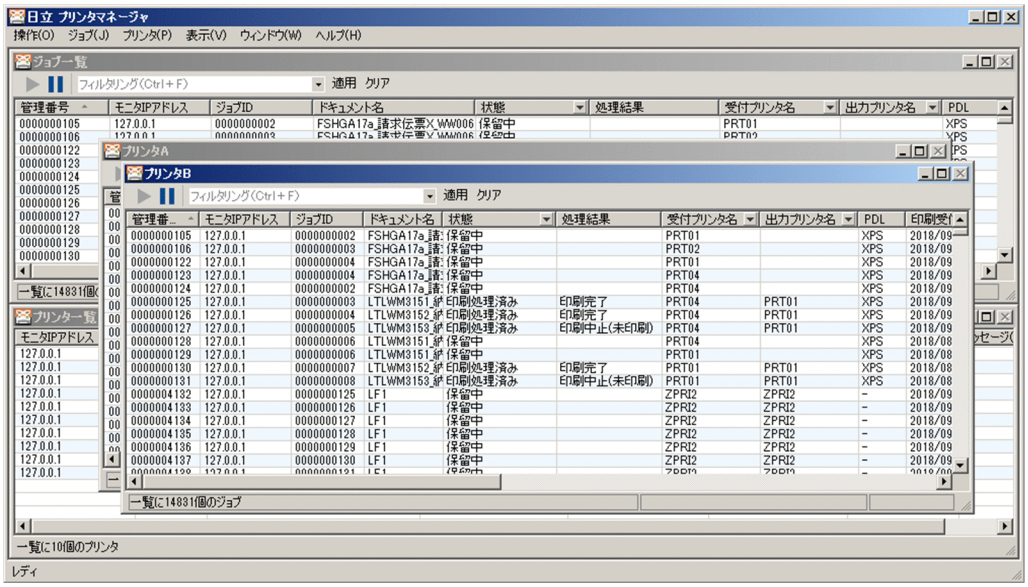
2. ［タイトル］を複製する［ジョブ一覧］ウィンドウのタイトルバーに表示する名前に変更します。

   ウィンドウタイトルは、［ジョブ一覧］ウィンドウごとに重複しないように指定してください。指定できる文字数は 1～200 文字です。ウィンドウタイトルの先頭および末尾にある、全角および半角の空白文字は、［ジョブ一覧］ウィンドウを追加する際に削除されます。

3. ［OK］ボタンをクリックします。

   ［ジョブ一覧］ウィンドウが、指定したウィンドウタイトル、かつ複製元と同じ設定で、マネージャコンソールまたはマネージャクライアントの最前面に表示されます。

   ここで示す表示例は、マネージャコンソールでタイトルに「プリンタ B」を指定した［ジョブ一覧］ウィンドウを追加した例です。



なお、［ジョブ一覧］ウィンドウおよび［プリンター一覧］ウィンドウが最大化されている場合、それぞれのウィンドウの最大化は解除されます。

> **メモ**
>
> 2 つ以上の［ジョブ一覧］ウィンドウが表示されている場合、不要な［ジョブ一覧］ウィンドウを、メニューバーから［表示］－［ジョブ一覧ウィンドウの削除］を選択して削除できます。

関連項目

- 5.4.7　ジョブ一覧ウィンドウを削除する

5.4.7　ジョブ一覧ウィンドウを削除する

背景

マネージャコンソールおよびマネージャクライアントのウィンドウで、選択した［ジョブ一覧］ウィンドウを削除します。2 つ以上の［ジョブ一覧］ウィンドウが表示されている場合にだけ、メニューバーから［表示］－［ジョブ一覧ウィンドウの削除］を選択して［ジョブ一覧］ウィンドウを削除できます。

前提条件

- マネージャコンソールまたはマネージャクライアントが起動している
- ［ジョブ一覧］ウィンドウが 2 つ以上表示されている

操作手順

1. マネージャコンソールまたはマネージャクライアントで、削除する［ジョブ一覧］ウィンドウを選択して、メニューバーから［表示］－［ジョブ一覧ウィンドウの削除］を選択します。
   ［ジョブ一覧］ウィンドウの削除を確認するメッセージが表示されます。

2. ［はい］ボタンをクリックします。
   選択した［ジョブ一覧］ウィンドウが削除され、マネージャコンソールまたはマネージャクライアントが表示されます。

5.4.8　ウィンドウの画面レイアウトを保存する

背景

現在表示中のマネージャコンソール、またはマネージャクライアントの画面レイアウト（ウィンドウの表示位置や、表示項目の並び順など）を保存します。保存した画面レイアウトの扱いは、［表示］－［画面レイアウト］－［常に保存時の画面レイアウトで起動する］を選択して、［常に保存時の画面レイアウトで起動する］をチェックしているかどうかによって異なります。

- ［常に保存時の画面レイアウトで起動する］をチェックしている場合
  保存した画面レイアウトは、マネージャコンソールまたはマネージャクライアントを終了したあとも保持され、次回起動時には、保存した画面レイアウトで表示されます。
- ［常に保存時の画面レイアウトで起動する］をチェックしていない場合
  保存した画面レイアウトは、マネージャコンソールまたはマネージャクライアントの終了時に破棄されます。

前提条件

- マネージャコンソールまたはマネージャクライアントが起動している

操作手順

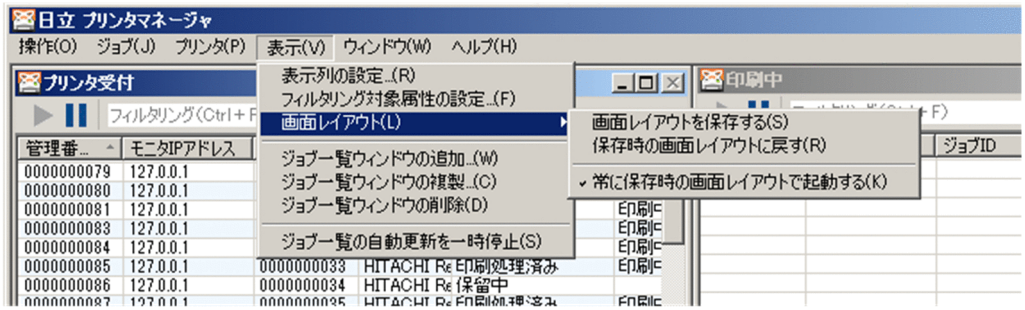
1. マネージャコンソールまたはマネージャクライアントで、メニューバーから［表示］－［画面レイアウト］－［画面レイアウトを保存する］を選択します。
   現在の画面レイアウトを保存する確認メッセージが表示されます。

2. ［はい］ボタンをクリックします。
   画面レイアウトが保存され、マネージャコンソールまたはマネージャクライアントが表示されます。

3. 起動時に保存した画面レイアウトで表示する場合は、マネージャコンソールまたはマネージャクライアントで、メニューバーから［表示］－［画面レイアウト］－［常に保存時の画面レイアウトで起動する］を選択します。

［常に保存時の画面レイアウトで起動する］にチェックが付けられ、マネージャコンソールまたはマネージャクライアントが表示されます。

ここで示す表示例は、マネージャコンソールで［常に保存時の画面レイアウトで起動する］を選択した例です。



メモ

マネージャコンソール、またはマネージャクライアント起動時の画面レイアウトは、［常に保存時の画面レイアウトで起動する］をチェックするかしないかによって異なります。

［常に保存時の画面レイアウトで起動する］をチェックしている場合

保存済みの画面レイアウトで起動します。

［常に保存時の画面レイアウトで起動する］をチェックしていない場合

前回終了した時点の画面レイアウトで起動します。

5.4.9 保存済みの画面レイアウトに戻す

背景

現在表示中のマネージャコンソール、またはマネージャクライアントのウィンドウの表示位置や、表示項目の並び順などを、保存済みの画面レイアウトに変更します。

前提条件

- マネージャコンソールまたはマネージャクライアントが起動している
- 保存済みの画面レイアウトがある

操作手順

1. マネージャコンソールまたはマネージャクライアントで、メニューバーから［表示］－［画面レイアウト］－［保存時の画面レイアウトに戻す］を選択します。

   > **メモ**
   >
   > 保存済みの画面レイアウトがない場合、［保存時の画面レイアウトに戻す］は非活性となります。

   保存時の画面レイアウトへ変更する確認メッセージが表示されます。

2. ［はい］ボタンをクリックします。

   保存済みの画面レイアウトに変更された、マネージャコンソールまたはマネージャクライアントが表示されます。

関連項目

- 5.4.8　ウィンドウの画面レイアウトを保存する

5.5　印刷ジョブの管理

5.5.1　印刷ジョブの状態を確認する

背景

マネージャが管理している管理対象プリンタに対する印刷ジョブの情報は、マネージャコンソールの［ジョブ一覧］ウィンドウで確認できます。マネージャ Client が管理している管理対象プリンタに対する印刷ジョブの情報は、マネージャクライアントの［ジョブ一覧］ウィンドウで確認できます。

［ジョブ一覧］ウィンドウの印刷ジョブの情報は、次のタイミングで更新されます。

- マネージャコンソールまたはマネージャクライアント起動時
- モニタからジョブ情報更新通知時

前提条件

- マネージャコンソールまたはマネージャクライアントが起動している

操作手順

1. ［ウィンドウ］メニューまたは［ウィンドウの選択］画面で、操作対象の［ジョブ一覧］ウィンドウを選択します。
2. ［ジョブ一覧］ウィンドウで、印刷ジョブの状態を確認します。
   ここで示す［ジョブ一覧］ウィンドウは、マネージャコンソールの表示例です。

［ジョブ一覧］ウィンドウの表示項目を次に示します。

項目	内容
［管理番号］	マネージャが印刷ジョブを管理するために割り当てた番号が表示されます。
［モニタ IP アドレス］	印刷アプリケーションから印刷ジョブを受け付けたモニタが稼働するマシンの IP アドレスが IPv4 形式で表示されます。
［ジョブ ID］	印刷アプリケーションから印刷ジョブを受け付けた Windows スプーラが割り当てる ID が表示されます。

項目	内容
[ドキュメント名]	印刷ジョブに設定されているドキュメント名から取得した名称が表示されます。
[状態]	モニタから通知される印刷ジョブの状態が表示されます。表示項目を次に示します。 • ジョブ登録中 • 保留中 • 印刷要求開始待ち • 印刷要求中 • 印刷データ作成中 • 印刷データ送信待ち • 用紙交換待ち • 印刷データ送信開始 • 印刷待ち • {印刷中 | 印刷中 <印刷の進捗率>%} • 印刷処理済み • 障害通知 • 印刷中止中 • テスト印刷中 • 削除処理中
[処理結果]	[状態] が「印刷処理済み」の場合に、印刷処理を完了した要因が表示されます。表示される要因とその意味を次に示します。 • 受付エラー モニタが印刷データファイルを受け付けたあとに実施するデータ解析、属性情報付与、およびフォルダ出力の処理でエラーが発生しています。 • 印刷中止（未印刷） モニタから実プリンタへ印刷データを送信する前に、印刷を中止しました。 または、モニタから実プリンタへ印刷データを送信する前に、マネージャサービス、もしくはモニタサービスを停止して再起動しました。 • 印刷中止（印刷） モニタから実プリンタへ印刷データを送信したあとに、印刷を中止しました。 または、モニタから実プリンタへ印刷データを送信したあとに、マネージャサービス、もしくはモニタサービスを停止して再起動しました。 なお、印刷データの送信直後に印刷を中止した場合など、実際に実プリンタで印刷が開始されていなくても、印刷中止（印刷）が表示されます。 • 印刷完了 実プリンタへの印刷処理が正常に完了しました。 • 異常終了（通信断） 実プリンタへの印刷処理中にモニタと実プリンタ間で通信が切断されました。 • 異常終了（内部処理エラー） 実プリンタへの印刷処理中に内部処理でメモリ不足、ディスク容量不足、ファイルアクセスエラーなどによってエラーが発生しました。
[受付プリンタ名]	印刷アプリケーションから印刷ジョブを受け付けた際に設定された Windows プリンタのプリンタ名が表示されます。

項目	内容
[出力プリンタ名]	マネージャから印刷ジョブを出力する出力先プリンタ名が表示されます。なお、マネージャの環境設定で印刷ジョブを保留状態にする設定を無効としている場合は、受付プリンタ名に指定されたプリンタで印刷データの出力が開始されたときに、受付プリンタ名が表示されます。 [全ページ印刷] の場合は印刷ジョブを受け付けたプリンタ、[条件指定印刷] の場合は [条件指定印刷] 画面または [条件指定印刷（複数ジョブ選択）] 画面で指定した出力先プリンタが表示されます。
[PDL]	印刷ジョブの印刷データ形式が表示されます。次のどれかが表示されます。 • ESC/P ESC/P 形式の印刷データの場合に表示されます。 • XPS XPS 形式の印刷データの場合に表示されます。 • － XPS 形式でも ESC/P 形式でもない形式の印刷データの場合に表示されます。
[印刷受付日時]	Windows プリンタから取り出した印刷ジョブをマネージャコンソールまたはマネージャクライアントに登録した日時が、「YYYY/MM/DD hh:mm:ss」の形式で表示されます。
[印刷指示日時]	マネージャがマネージャコンソールまたはマネージャクライアントから印刷ジョブの出力指示を受け付けた日時が、「YYYY/MM/DD hh:mm:ss」の形式で表示されます。
[印刷開始日時] ※1	実プリンタで印刷ジョブの印刷を開始した日時が、「YYYY/MM/DD hh:mm:ss」の形式で表示されます。
[印刷終了日時] ※1	実プリンタで印刷ジョブの印刷を終了した日時が、「YYYY/MM/DD hh:mm:ss」の形式で表示されます。 印刷しないで異常終了した場合も、印刷終了日時が表示されます。
[印刷回数]	印刷指示した回数が表示されます。印刷ジョブを登録時には「0」が表示され、印刷ジョブが印刷完了となった時点で 1 ずつ加算された値が表示されます。印刷を中止したり、保留にしたりした場合、印刷回数は加算されません。また、テスト印刷の回数も印刷回数に加算されません。 01-70 より前に登録された印刷ジョブの場合、01-70 以降にマネージャコンソールまたはマネージャクライアントで印刷指示した回数だけが表示されます。
[ページ数]	印刷ジョブのページ数が表示されます。ページ数が特定できる場合は解析したページ数、ページ数が特定できない場合は Windows スプールから取得したページ数、Windows スプールから取得できない場合は「-」が表示されます。
[ファイルサイズ]	印刷ジョブの印刷データファイルのサイズが、3 桁のコンマ（,）区切りで表示されます。単位はバイトです。
[部数]	印刷する部数が表示されます。部数の指定がない場合は「1」が表示されます。 01-70 より前に印刷指示された印刷ジョブの場合、空白が表示されます。
[コンピュータ名]	印刷ジョブを作成したユーザのマシン名が表示されます。 01-70 より前に印刷指示された印刷ジョブの場合、空白が表示されます。
[ユーザ名]	印刷ジョブを登録したユーザ名が表示されます。 01-70 より前に登録された印刷ジョブの場合、空白が表示されます。

項目	内容
[用紙交換メッセージ]	印刷ジョブに設定されている用紙交換メッセージが表示されます。
[用紙サイズ]	印刷ジョブに設定されている用紙サイズが表示されます。
[<項目名>] ※2	[ジョブ一覧ウィンドウ共通設定] 画面の [項目追加] タブで追加した項目の項目情報（印刷ジョブの印刷ドキュメント名から抽出した情報）が表示されます。

（凡例）

YYYY/MM/DD hh:mm:ss：西暦年/月/日 時:分:秒

注※1

印刷開始日時と印刷終了日時には、実プリンタから通知された情報が表示されます。印刷データと出力するプリンタのドライバが異なる（例えば、ESC/P 形式の帳票データをページプリンタに出力する）場合は、実プリンタから情報が通知されないことがあります。この場合、印刷開始日時と印刷終了日時には空白が表示されます。

注※2

[ジョブ一覧] ウィンドウに追加できる項目数は、5 個（印刷ドキュメント名を区切り文字（_）で前から区切ったときの 5 番目まで）です。

メモ

[ジョブ一覧] ウィンドウでは、表示項目の列を非表示にしたり、表示項目の並びを変更したりできます。また、操作対象の印刷ジョブは、フィルタリング条件を指定して画面に表示される印刷ジョブを絞り込んだり、表示項目の列ごとに昇順、降順を切り替えたりすると、特定しやすくなります。

3. **マネージャに登録されている印刷ジョブの数を確認する場合は、[ジョブ一覧] ウィンドウのステータスバーで確認します。**

ステータスバーには、「一覧に<数字>個のジョブ」の形式で印刷ジョブの数が表示されます。

関連項目

- 2.4　印刷ジョブの操作に関する機能について
- 3.5.4　ジョブ一覧ウィンドウに表示項目を追加する
- 5.4.2　ウィンドウの表示項目をカスタマイズする
- 5.4.3　フィルタリング条件で印刷ジョブの一覧をフィルタリングする
- 5.4.4　印刷ジョブの表示項目に列のフィルタリングを設定する
- 5.4.5　印刷ジョブまたはプリンタの一覧を表示項目ごとにソートする

5.5.2　プリンタの状態を確認する

背景

マネージャが管理している管理対象プリンタの情報は、マネージャコンソールの［プリンター覧］ウィンドウで確認できます。マネージャ Client が管理している管理対象プリンタの情報は、マネージャクライアントの［プリンター覧］ウィンドウで確認できます。なお、マネージャクライアントでは、マネージャの環境設定で登録した管理対象プリンタ（出力先プリンタ）のうち、マネージャ Client が監視対象としたプリンタの情報が表示されます。マネージャの環境設定で登録していない出力先プリンタは、［プリンター覧］ウィンドウに表示されません。

［プリンター覧］ウィンドウの管理対象プリンタの情報は、次のタイミングで更新されます。

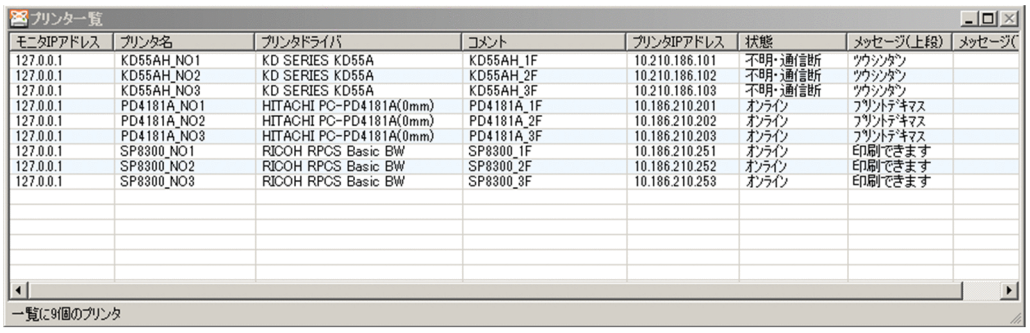
- マネージャコンソールまたはマネージャクライアント起動時
- モニタからプリンタ情報更新通知時

前提条件

- マネージャコンソールまたはマネージャクライアントが起動している

操作手順

1. ［ウィンドウ］メニューまたは［ウィンドウの選択］画面で、［プリンター覧］ウィンドウを選択します。
2. ［プリンター覧］ウィンドウで、プリンタの状態を確認します。
   ここで示す［プリンター覧］ウィンドウは、マネージャコンソールの表示例です。



［プリンター覧］ウィンドウの表示項目を次に示します。

項目	内容
［モニタ IP アドレス］	モニタが稼働するマシンの IP アドレスが IPv4 形式で表示されます。
［プリンタ名］	［管理設定］画面で指定した管理対象プリンタのプリンタ名が表示されます。
［プリンタドライバ］	管理対象プリンタのプリンタドライバ名が表示されます。
［コメント］	管理対象プリンタのコメントが表示されます。
［プリンタ IP アドレス］	管理対象プリンタの IP アドレスが表示されます。

項目	内容
[状態]	モニタから通知されるプリンタの状態が表示されます。表示項目を次に示します。 • 不明・通信断 • ウォームアップ中 • オンライン • オンライン（警告） • 印刷中 • 印刷中（警告） • エラー • スリープ中 • 一時停止中
[メッセージ（上段）]	モニタから通知される管理対象プリンタの OCP メッセージの上段が表示されます。メッセージがない場合は、空欄となります。
[メッセージ（下段）]	モニタから通知される管理対象プリンタの OCP メッセージの下段が表示されます。メッセージがない場合は、空欄となります。

メモ

[プリンター覧] ウィンドウでは、表示項目の列を非表示にしたり、表示項目の並びを変更したりできます。また、操作対象のプリンタは、表示項目の列ごとに昇順、降順を切り替えると特定しやすくなります。

3. **マネージャに登録されている管理対象プリンタの数を確認する場合は、[プリンター覧] ウィンドウのステータスバーで確認します。**

   ステータスバーには、「一覧に<数字>個のプリンタ」の形式で管理対象プリンタの数が表示されます。

関連項目

- 2.5　プリンタの操作に関する機能について
- 5.4.2　ウィンドウの表示項目をカスタマイズする
- 5.4.5　印刷ジョブまたはプリンタの一覧を表示項目ごとにソートする

5.5.3　プリンタによる印刷を一時停止する

背景

マネージャコンソールまたはマネージャクライアントの [プリンター覧] ウィンドウで、印刷を一時停止する出力先プリンタを選択し、一時停止指示をします。出力先プリンタは複数選択できます。

前提条件

- マネージャコンソールまたはマネージャクライアントが起動している
- 選択した出力先プリンタの印刷ジョブの状態が、次のどれにも該当しない
  「印刷データ送信開始」、「印刷待ち」、「印刷中」、「用紙交換待ち」、「障害通知」、「印刷中止中」または「テスト印刷中」
- 選択した出力先プリンタの状態が「一時停止中」以外である

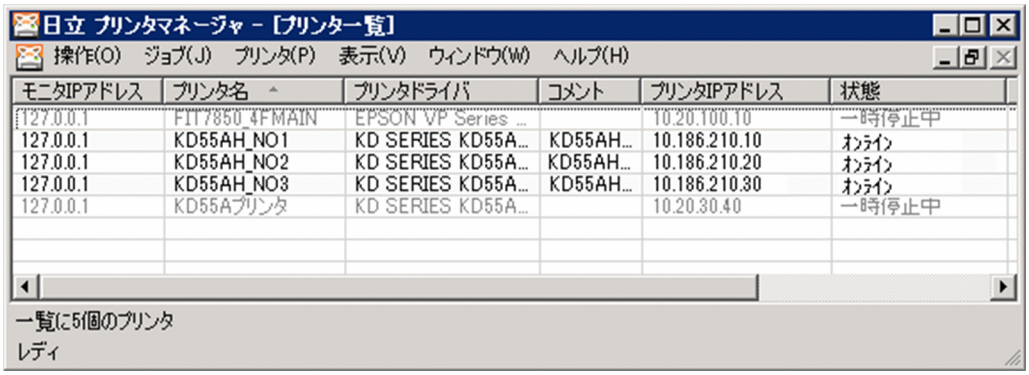
操作手順

1. [ウィンドウ] メニューまたは［ウィンドウの選択］画面で、［プリンター覧］ウィンドウを選択します。
2. [プリンター覧］ウィンドウで、印刷を一時停止する出力先プリンタを選択し、右クリックで［一時停止］を選択します。

> **メモ**
>
> 出力先プリンタを選択し、メニューバーから［プリンタ］－［一時停止］を選択しても同じ操作になります。

［一時停止］にチェックが付けられ、［プリンター覧］ウィンドウでプリンタの状態が「一時停止中」に遷移します。

ここで示す［プリンター覧］ウィンドウは、マネージャコンソールの表示例です。



5.5.4　プリンタによる印刷を再開する

背景

マネージャコンソールまたはマネージャクライアントの［プリンター覧］ウィンドウで、印刷を再開する出力先プリンタを選択し、再開指示をします。出力先プリンタは複数選択できます。

前提条件

- マネージャコンソールまたはマネージャクライアントが起動している

- 選択した出力先プリンタの状態が「一時停止中」である

操作手順

1. [ウィンドウ] メニューまたは［ウィンドウの選択］画面で、［プリンター覧］ウィンドウを選択します。
2. [プリンター覧］ウィンドウで、印刷を再開する出力先プリンタを選択し、右クリックで［一時停止］を選択します。

> **メモ**
>
> 出力先プリンタを選択し、メニューバーから［プリンタ］－［一時停止］を選択しても同じ操作になります。

［一時停止］のチェックが外されます。印刷を再開したプリンタに「印刷データ送信待ち」の印刷ジョブがあると、印刷データの送信が開始されます。

5.5.5　印刷ジョブを全ページ印刷する

背景

マネージャコンソールまたはマネージャクライアントの［ジョブ一覧］ウィンドウで、すべてのページを印刷する印刷ジョブを選択し、出力指示をします。印刷ジョブは複数選択できます。複数選択した場合は、［ジョブ一覧］ウィンドウへの登録順に印刷されます。［ジョブ一覧］ウィンドウで印刷ジョブを操作する前に、［ジョブ一覧］ウィンドウの自動更新を一時停止しておくことをお勧めします。

前提条件

- マネージャコンソールまたはマネージャクライアントが起動している

操作手順

1. [ウィンドウ] メニューまたは［ウィンドウの選択］画面で、操作対象の［ジョブ一覧］ウィンドウを選択します。
2. [ジョブ一覧］ウィンドウのツールバーの ❚❚ ボタンをクリックします。

［ジョブ一覧］ウィンドウの自動更新が一時停止され、ボタンの表示が ▶❚❚ に変わります。また、ステータスバーの右側には、自動更新を一時停止した日時と「更新停止」が表示されます。自動更新を一時停止した日時は、「YYYY/MM/DD hh:mm:ss 時点」の形式（YYYY/MM/DD hh:mm:ss は西暦年/月/日 時:分:秒を示す）で表示されます。

> **メモ**
>
> マネージャコンソールまたはマネージャクライアントのメニューバーから［表示］－［ジョブ一覧の自動更新を一時停止］を選択しても同じ操作になります。

3. ［ジョブ一覧］ウィンドウで、出力指示する印刷ジョブを選択し、右クリックで［出力指示］－［全ページ印刷］を選択します。

> **メモ**
>
> 印刷ジョブを選択し、メニューバーから［ジョブ］－［出力指示］－［全ページ印刷］を選択しても同じ操作になります。
>
> 状態が「保留中」または「印刷処理済み」の印刷ジョブは出力指示できますが、「印刷中」の印刷ジョブは出力指示できません。
>
> また、操作対象の印刷ジョブは、フィルタリング条件を指定して画面に表示される印刷ジョブを絞り込んだり、表示項目の列ごとに昇順、降順を切り替えたりすると、特定しやすくなります。

選択した印刷ジョブに対するドキュメントが、全ページ印刷されます。

4. ［ジョブ一覧］ウィンドウのツールバーの ▶ ボタンをクリックします。

［ジョブ一覧］ウィンドウの自動更新が開始され、ボタンの表示が に変わります。また、ステータスバーの右側から、自動更新を一時停止した日時と「更新停止」の表示が消えます。

> **メモ**
>
> マネージャコンソールまたはマネージャクライアントで、メニューバーから［表示］－［ジョブ一覧の自動更新を一時停止］を選択して、チェックを外しても同じ操作になります。

関連項目

- 5.4.2　ウィンドウの表示項目をカスタマイズする
- 5.4.3　フィルタリング条件で印刷ジョブの一覧をフィルタリングする
- 5.4.4　印刷ジョブの表示項目に列のフィルタリングを設定する
- 5.4.5　印刷ジョブまたはプリンタの一覧を表示項目ごとにソートする

5.5.6　印刷ジョブに印刷範囲を指定して印刷する

背景

マネージャコンソールまたはマネージャクライアントの［ジョブ一覧］ウィンドウで、印刷範囲をページ指定して印刷する印刷ジョブを選択し、出力指示をします。印刷ジョブは複数選択できません。［ジョブ一覧］ウィンドウで印刷ジョブを操作する前に、［ジョブ一覧］ウィンドウの自動更新を一時停止しておくことをお勧めします。

前提条件

- マネージャコンソールまたはマネージャクライアントが起動している

操作手順

1. ［ウィンドウ］メニューまたは［ウィンドウの選択］画面で、操作対象の［ジョブ一覧］ウィンドウを選択します。

2. ［ジョブ一覧］ウィンドウのツールバーの ⏸ ボタンをクリックします。

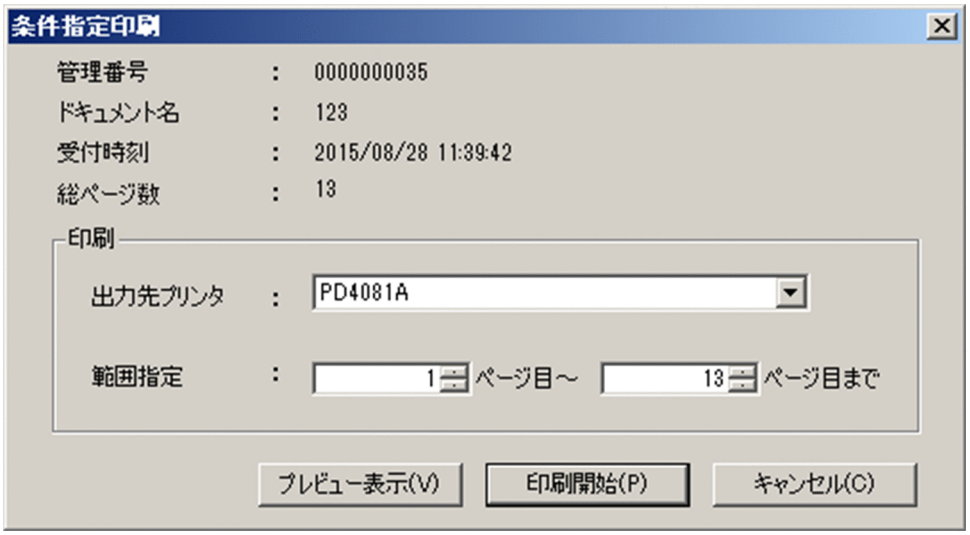
   ［ジョブ一覧］ウィンドウの自動更新が一時停止され、ボタンの表示が に変わります。また、ステータスバーの右側には、自動更新を一時停止した日時と「更新停止」が表示されます。自動更新を一時停止した日時は、「YYYY/MM/DD hh:mm:ss 時点」の形式（YYYY/MM/DD hh:mm:ss は西暦年/月/日 時:分:秒を示す）で表示されます。

   > **メモ**
   >
   > マネージャコンソールまたはマネージャクライアントのメニューバーから［表示］－［ジョブ一覧の自動更新を一時停止］を選択しても同じ操作になります。

3. ［ジョブ一覧］ウィンドウで、出力指示する印刷ジョブを選択し、右クリックで［出力指示］－［条件指定印刷］を選択します。

   > **メモ**
   >
   > 印刷ジョブを選択し、メニューバーから［ジョブ］－［出力指示］－［条件指定印刷］を選択しても同じ操作になります。
   >
   > 状態が「保留中」または「印刷処理済み」の印刷ジョブは出力指示できますが、「印刷中」の印刷ジョブは出力指示できません。
   >
   > また、操作対象の印刷ジョブは、フィルタリング条件を指定して画面に表示される印刷ジョブを絞り込んだり、表示項目の列ごとに昇順、降順を切り替えたりすると、特定しやすくなります。

   ［条件指定印刷］画面が表示されます。



4. [条件指定印刷] 画面で、[範囲指定] に開始ページと終了ページを入力します。

> **メモ**
>
> ページの指定誤りを示すメッセージが表示された場合は、メッセージに従って指定値を見直してください。
>
> 印刷イメージを確認する場合は、[プレビュー表示] ボタンをクリックし、[プレビュー表示] 画面で確認してください。[プレビュー表示] 画面でも、印刷範囲や出力先プリンタを指定して印刷できます。

5. [印刷開始] ボタンをクリックします。

印刷の開始を確認するメッセージが表示されます。

6. [はい] ボタンをクリックします。

選択した印刷ジョブに対するドキュメントが、指定した開始ページと終了ページの範囲で印刷されます。

7. [ジョブ一覧] ウィンドウのツールバーの ▶ ボタンをクリックします。

[ジョブ一覧] ウィンドウの自動更新が開始され、ボタンの表示が ▶⏸ に変わります。また、ステータスバーの右側から、自動更新を一時停止した日時と「更新停止」の表示が消えます。

> **メモ**
>
> マネージャコンソールまたはマネージャクライアントで、メニューバーから [表示] － [ジョブ一覧の自動更新を一時停止] を選択して、チェックを外しても同じ操作になります。

関連項目

- 5.4.2　ウィンドウの表示項目をカスタマイズする
- 5.4.3　フィルタリング条件で印刷ジョブの一覧をフィルタリングする

- 5.4.4　印刷ジョブの表示項目に列のフィルタリングを設定する
- 5.4.5　印刷ジョブまたはプリンタの一覧を表示項目ごとにソートする

5.5.7　印刷ジョブの出力先プリンタを変更する

背景

マネージャコンソールまたはマネージャクライアントの［ジョブ一覧］ウィンドウで、出力先プリンタを変更して印刷する印刷ジョブを選択し、出力指示をします。印刷ジョブは複数選択できます。複数選択した場合は、［ジョブ一覧］ウィンドウの表示順、または［ジョブ一覧］ウィンドウへの登録順に印刷されます。［ジョブ一覧］ウィンドウで印刷ジョブを操作する前に、［ジョブ一覧］ウィンドウの自動更新を一時停止しておくことをお勧めします。

前提条件

- マネージャコンソールまたはマネージャクライアントが起動している

操作手順

1. **［ウィンドウ］メニューまたは［ウィンドウの選択］画面で、操作対象の［ジョブ一覧］ウィンドウを選択します。**

2. **［ジョブ一覧］ウィンドウのツールバーの ⏸ ボタンをクリックします。**

   ［ジョブ一覧］ウィンドウの自動更新が一時停止され、ボタンの表示が ▶⏸ に変わります。また、ステータスバーの右側には、自動更新を一時停止した日時と「更新停止」が表示されます。自動更新を一時停止した日時は、「YYYY/MM/DD hh:mm:ss 時点」の形式（YYYY/MM/DD hh:mm:ss は西暦年/月/日 時:分:秒を示す）で表示されます。

   > **メモ**
   >
   > マネージャコンソールまたはマネージャクライアントのメニューバーから［表示］－［ジョブ一覧の自動更新を一時停止］を選択しても同じ操作になります。

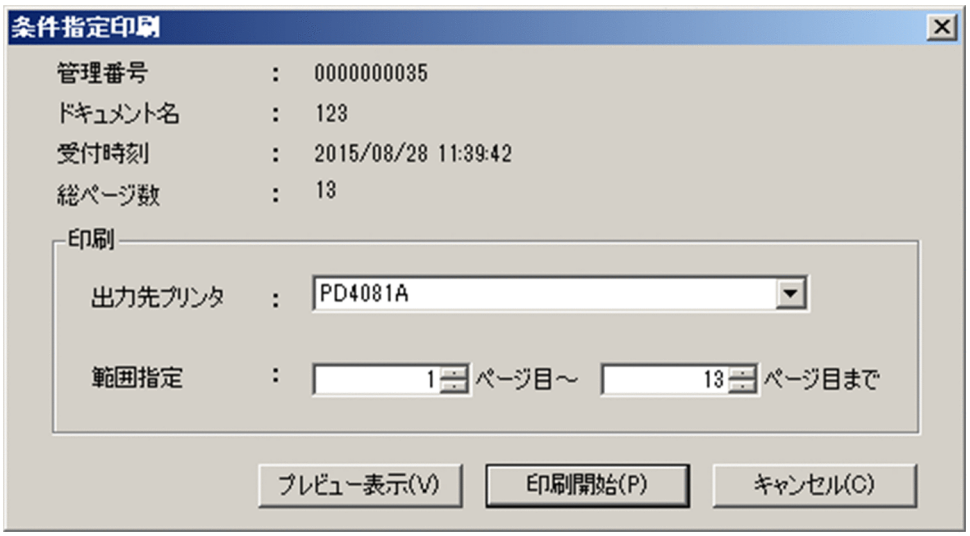
3. **［ジョブ一覧］ウィンドウで、出力指示する印刷ジョブを選択し、右クリックで［出力指示］－［条件指定印刷］を選択します。**

   > **メモ**
   >
   > 印刷ジョブを選択し、メニューバーから［ジョブ］－［出力指示］－［条件指定印刷］を選択しても同じ操作になります。

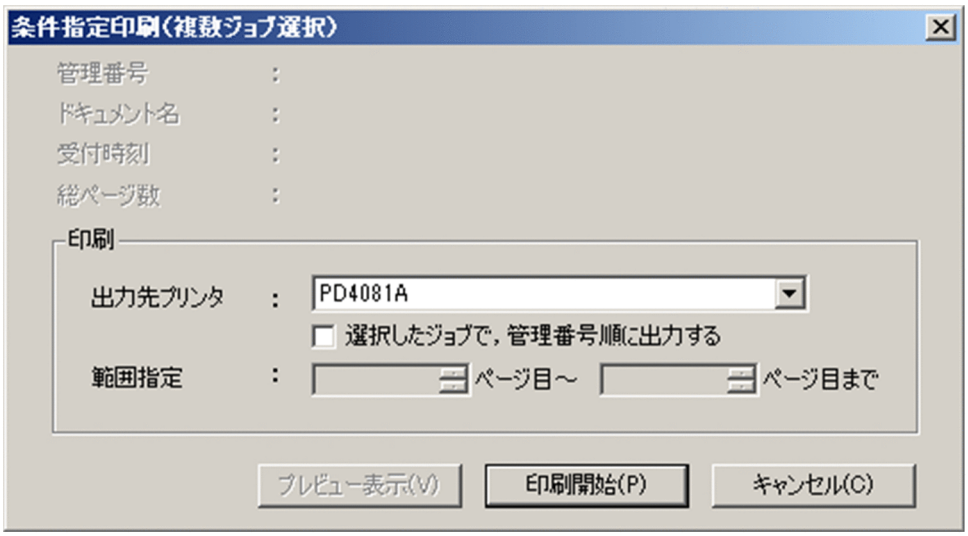
状態が「保留中」または「印刷処理済み」の印刷ジョブは出力指示できますが、「印刷中」の印刷ジョブは出力指示できません。

また、操作対象の印刷ジョブは、フィルタリング条件を指定して画面に表示される印刷ジョブを絞り込んだり、表示項目の列ごとに昇順、降順を切り替えたりすると、特定しやすくなります。

印刷ジョブを 1 つ選択した場合は［条件指定印刷］画面が表示されます。



印刷ジョブを複数選択した場合は［条件指定印刷（複数ジョブ選択)］画面が表示されます。



4. **［条件指定印刷］画面または［条件指定印刷（複数ジョブ選択)］画面で、［出力先プリンタ］に変更したいプリンタをドロップダウンリストから選択します。**

ドロップダウンリストには、マネージャで管理しているプリンタが表示されます。

> **メモ**
>
> 選択したプリンタが、印刷ジョブを受け付けた際にマネージャの管理対象外であった場合、印刷後に印刷ジョブはジョブ保存先フォルダへ保存されます。
>
> 印刷ジョブを 1 つ選択した場合に印刷イメージを確認するときは、[プレビュー表示] ボタンをクリックし、[プレビュー表示] 画面で確認してください。[プレビュー表示] 画面でも、印刷範囲や出力先プリンタを指定して印刷できます。印刷ジョブを複数選択した場合、[プレビュー表示] ボタンは非活性となり、印刷イメージは確認できません。

5. **印刷ジョブを複数選択した場合は、印刷ジョブの出力順序を選択します。**

   印刷ジョブを古いほうから順番（管理番号順）に出力する場合は、[選択したジョブで，管理番号順に出力する] チェックボックスをチェックします。[ジョブ一覧] ウィンドウの表示の上から順番に出力する場合は、[選択したジョブで，管理番号順に出力する] チェックボックスのチェックを外します。

6. **[印刷開始] ボタンをクリックします。**

   印刷の開始を確認するメッセージが表示されます。

> **メモ**
>
> 印刷ジョブに設定されたプリンタと、プリンタドライバが異なるプリンタに切り替えていることを示すメッセージが表示された場合は、プリンタの設定を見直してください。プリンタドライバが異なるプリンタへ出力した場合の印刷結果は保証しません。

7. **[はい] ボタンをクリックします。**

   印刷ジョブを 1 つ選択した場合は、選択した印刷ジョブに対するドキュメントが、指定した出力先プリンタに開始ページと終了ページの範囲で印刷されます。印刷ジョブを複数選択した場合は、選択した印刷ジョブに対するドキュメントが、指定した出力先プリンタに選択した出力順序で印刷されます。

8. **[ジョブ一覧] ウィンドウのツールバーの ▶ ボタンをクリックします。**

   [ジョブ一覧] ウィンドウの自動更新が開始され、ボタンの表示が に変わります。また、ステータスバーの右側から、自動更新を一時停止した日時と「更新停止」の表示が消えます。

> **メモ**
>
> マネージャコンソールまたはマネージャクライアントで、メニューバーから［表示］－［ジョブ一覧の自動更新を一時停止］を選択して、チェックを外しても同じ操作になります。

関連項目

- 5.4.2　ウィンドウの表示項目をカスタマイズする
- 5.4.3　フィルタリング条件で印刷ジョブの一覧をフィルタリングする
- 5.4.4　印刷ジョブの表示項目に列のフィルタリングを設定する

- 5.4.5　印刷ジョブまたはプリンタの一覧を表示項目ごとにソートする

5.5.8　印刷ジョブをプレビュー表示して印刷する

背景

マネージャコンソールまたはマネージャクライアントの［ジョブ一覧］ウィンドウで、印刷イメージを確認する印刷ジョブを選択し、印刷ページをプレビュー表示します。また、プレビュー表示した印刷ジョブの印刷範囲をページ指定して印刷します。印刷ジョブは複数選択できません。［ジョブ一覧］ウィンドウで印刷ジョブを操作する前に、［ジョブ一覧］ウィンドウの自動更新を一時停止しておくことをお勧めします。

前提条件

- マネージャコンソールまたはマネージャクライアントが起動している

操作手順

1. **［ウィンドウ］メニューまたは［ウィンドウの選択］画面で、操作対象の［ジョブ一覧］ウィンドウを選択します。**

2. **［ジョブ一覧］ウィンドウのツールバーの ⏸ ボタンをクリックします。**

   ［ジョブ一覧］ウィンドウの自動更新が一時停止され、ボタンの表示が ▶⏸ に変わります。また、ステータスバーの右側には、自動更新を一時停止した日時と「更新停止」が表示されます。自動更新を一時停止した日時は、「YYYY/MM/DD hh:mm:ss 時点」の形式（YYYY/MM/DD hh:mm:ss は西暦年/月/日 時:分:秒を示す）で表示されます。

   > **メモ**
   >
   > マネージャコンソールまたはマネージャクライアントのメニューバーから［表示］－［ジョブ一覧の自動更新を一時停止］を選択しても同じ操作になります。

3. **［ジョブ一覧］ウィンドウで、プレビュー表示する印刷ジョブを選択し、右クリックで［プレビュー表示］を選択します。**

   > **メモ**
   >
   > 印刷ジョブを選択し、メニューバーから［ジョブ］－［プレビュー表示］を選択しても同じ操作になります。

   ［プレビュー表示］画面に印刷ページが表示されます。なお、プレビューに時間が掛かる場合は、プレビューが完了するまで表示データを取得中であることを示すメッセージが表示されます。

   ここで示す［プレビュー表示］画面は、マネージャコンソールの表示例です。

4. [ページ] を入力、またはテキストボックスの横にある矢印（ または ）をクリックして、各ページの印刷イメージを確認します。

   先頭ページへ移動する場合は ボタンを、最終ページへ移動する場合は をクリックしてください。また、ページをキーボード操作で指定する場合は、[Home] キー、[End] キー、[Page Up] キー、および [Page Down] キーを使用してください。

   ページを 25%～500%の範囲で拡大または縮小して確認できます。ページを拡大または縮小するときは、コンボボックスのドロップダウンリストから選択、またはコンボボックスに直接入力するか、もしくはコンボボックスの横にある ボタンまたは ボタンをクリックしてください。倍率をキーボード操作で指定する場合、拡大するときは [Ctrl] ＋ [＋] キー、縮小するときは [Ctrl] ＋ [－] キーを使用してください。

5. 特定の文字列があるページをプレビュー表示するときは、検索テキストボックスに検索文字列を入力し、 ボタンまたは ボタンをクリックします。

   検索を開始する位置またはページから先頭ページまで検索する場合は ボタンを、最終ページまで検索する場合は ボタンまたは [Enter] キーをクリックしてください。

   検索文字列が印刷データにあると、検索文字列のあるページに移動し、検索文字列が選択状態で表示されます。

> **メモ**
>
> 検索時の注意事項を次に示します。
>
> - 複数行にわたる文字列は検索できません。

- イメージデータで埋め込まれた文字列は検索できません。
- 汎用形式の印刷データの場合、大文字と小文字は区別しません。半角と全角は区別します。
- ESC/P 形式の印刷データの場合、大文字と小文字、半角と全角ともに区別しません。また、プリンタドライバ経由で出力する文字列は検索できません。
- 空白文字は、検索文字列の一部として扱われます。
- 特殊文字は検索できないことがあります。または、半角空白として検索されることがあります。
- 印刷データによっては、プレビュー表示のページ内で検索が前後することがあります。
- ページの表示領域外にある文字列は検索されますが、選択状態では表示されません。
- 検索方向によっては、選択状態の文字列が再検索されて、再度、選択状態で表示されることがあります。

6. **印刷する場合は、[範囲指定] に開始ページと終了ページを入力し、[出力先プリンタ] に変更したいプリンタをドロップダウンリストから選択して、[印刷] ボタンをクリックします。**

   選択した印刷ジョブに対するドキュメントが、指定した開始ページと終了ページの範囲で印刷されます。[プレビュー表示] 画面が閉じられ、[ジョブ一覧] ウィンドウに戻ります。

> **メモ**
>
> [出力先プリンタ] のドロップダウンリストには、マネージャで管理しているプリンタが表示されます。選択したプリンタが、印刷ジョブを受け付けた際にマネージャの管理対象外であった場合、印刷後に印刷ジョブはジョブ保存先フォルダへ保存されます。
>
> ページの指定誤りを示すメッセージが表示された場合は、メッセージに従って指定値を見直してください。

7. **印刷しない場合は、[閉じる] ボタンをクリックします。**

   [プレビュー表示] 画面が閉じられ、[ジョブ一覧] ウィンドウに戻ります。

8. **[ジョブ一覧] ウィンドウのツールバーの ▶ ボタンをクリックします。**

   [ジョブ一覧] ウィンドウの自動更新が開始され、ボタンの表示が ▶❚❚ に変わります。また、ステータスバーの右側から、自動更新を一時停止した日時と「更新停止」の表示が消えます。

> **メモ**
>
> マネージャコンソールまたはマネージャクライアントで、メニューバーから [表示] − [ジョブ一覧の自動更新を一時停止] を選択して、チェックを外しても同じ操作になります。

5.5.9　印刷ジョブの印刷を中止する

背景

マネージャコンソールまたはマネージャクライアントの［ジョブ一覧］ウィンドウで、印刷を中止する印刷ジョブを選択し、印刷中止指示をします。印刷ジョブは複数選択できます。［ジョブ一覧］ウィンドウで印刷ジョブを操作する前に、［ジョブ一覧］ウィンドウの自動更新を一時停止しておくことをお勧めします。

前提条件

- マネージャコンソールまたはマネージャクライアントが起動している

操作手順

1. **［ウィンドウ］メニューまたは［ウィンドウの選択］画面で、操作対象の［ジョブ一覧］ウィンドウを選択します。**

2. **［ジョブ一覧］ウィンドウのツールバーの ⏸ ボタンをクリックします。**

   ［ジョブ一覧］ウィンドウの自動更新が一時停止され、ボタンの表示が ▶⏸ に変わります。また、ステータスバーの右側には、自動更新を一時停止した日時と「更新停止」が表示されます。自動更新を一時停止した日時は、「YYYY/MM/DD hh:mm:ss 時点」の形式（YYYY/MM/DD hh:mm:ss は西暦年/月/日 時:分:秒を示す）で表示されます。

   > **メモ**
   >
   > マネージャコンソールまたはマネージャクライアントのメニューバーから［表示］－［ジョブ一覧の自動更新を一時停止］を選択しても同じ操作になります。

3. **［ジョブ一覧］ウィンドウで、印刷を中止する印刷ジョブを選択し、右クリックで［印刷中止］を選択します。**

   > **メモ**
   >
   > 印刷ジョブを選択し、メニューバーから［ジョブ］－［印刷中止］を選択しても同じ操作になります。
   >
   > 状態が「印刷要求中」、「印刷データ作成中」、「印刷データ送信待ち」、「印刷データ送信開始」、「印刷待ち」または「印刷中」の印刷ジョブは印刷を中止できます。印刷を中止できる印刷ジョブが選択されていないことを示すメッセージが表示された場合は、印刷ジョブの状態を確認してください。
   >
   > また、操作対象の印刷ジョブは、フィルタリング条件を指定して画面に表示される印刷ジョブを絞り込んだり、表示項目の列ごとに昇順、降順を切り替えたりすると、特定しやすくなります。

印刷の中止を確認するメッセージが表示されます。

4. [はい] ボタンをクリックします。
   選択した印刷ジョブに対するドキュメントの印刷が中断されます。

5. [ジョブ一覧] ウィンドウのツールバーの ボタンをクリックします。
   [ジョブ一覧] ウィンドウの自動更新が開始され、ボタンの表示が に変わります。また、ステータスバーの右側から、自動更新を一時停止した日時と「更新停止」の表示が消えます。

> **メモ**
>
> マネージャコンソールまたはマネージャクライアントで、メニューバーから [表示] − [ジョブ一覧の自動更新を一時停止] を選択して、チェックを外しても同じ操作になります。

関連項目

- 5.4.2 ウィンドウの表示項目をカスタマイズする
- 5.4.3 フィルタリング条件で印刷ジョブの一覧をフィルタリングする
- 5.4.4 印刷ジョブの表示項目に列のフィルタリングを設定する
- 5.4.5 印刷ジョブまたはプリンタの一覧を表示項目ごとにソートする

5.5.10 印刷処理済みの印刷ジョブを保留中にする

背景

マネージャコンソールまたはマネージャクライアントの [ジョブ一覧] ウィンドウで、状態を「印刷処理済み」から「保留中」に変更する印刷ジョブを選択し、保留中にする指示をします。印刷ジョブは複数選択できます。状態を「保留中」に変更すると、いったん印刷が完了した印刷ジョブを再印刷する運用ができます。[ジョブ一覧] ウィンドウで印刷ジョブを操作する前に、[ジョブ一覧] ウィンドウの自動更新を一時停止しておくことをお勧めします。

前提条件

- マネージャコンソールまたはマネージャクライアントが起動している

操作手順

1. [ウィンドウ] メニューまたは [ウィンドウの選択] 画面で、操作対象の [ジョブ一覧] ウィンドウを選択します。

2. [ジョブ一覧] ウィンドウのツールバーの ボタンをクリックします。

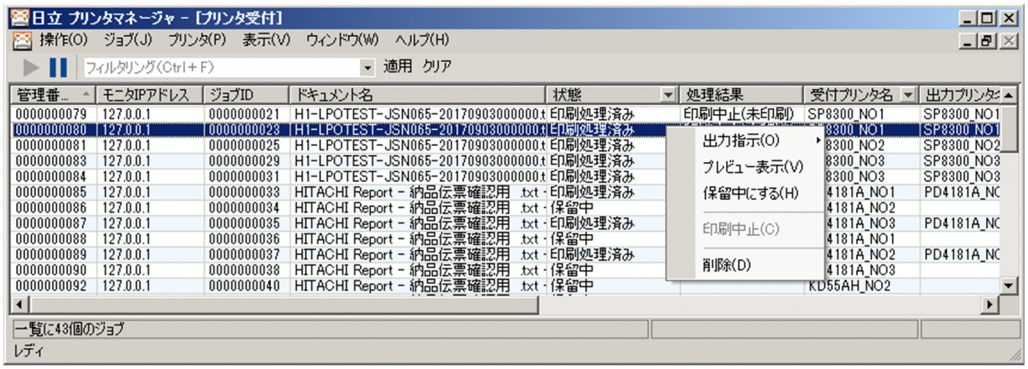
[ジョブ一覧] ウィンドウの自動更新が一時停止され、ボタンの表示が に変わります。また、ステータスバーの右側には、自動更新を一時停止した日時と「更新停止」が表示されます。自動更新を一時停止した日時は、「YYYY/MM/DD hh:mm:ss 時点」の形式（YYYY/MM/DD hh:mm:ss は西暦年/月/日 時:分:秒を示す）で表示されます。

> **メモ**
>
> マネージャコンソールまたはマネージャクライアントのメニューバーから［表示］－［ジョブ一覧の自動更新を一時停止］を選択しても同じ操作になります。

3. [ジョブ一覧] ウィンドウで、状態を「保留中」にする印刷ジョブを選択し、右クリックで［保留中にする］を選択します。

> **メモ**
>
> 印刷ジョブを選択し、メニューバーから［ジョブ］－［保留中にする］を選択しても同じ操作になります。
>
> 状態が「印刷処理済み」の印刷ジョブは保留中にできますが、ほかの状態の印刷ジョブは保留中に変更できません。複数のジョブを選択している場合、保留中にできない印刷ジョブが含まれていると、［保留中にする］は非活性で表示され、選択できません。この場合は、選択した印刷ジョブの状態を確認してください。
>
> また、操作対象の印刷ジョブは、フィルタリング条件を指定して画面に表示される印刷ジョブを絞り込んだり、表示項目の列ごとに昇順、降順を切り替えたりすると、特定しやすくなります。

ここで示す［ジョブ一覧］ウィンドウは、マネージャコンソールの表示例です。

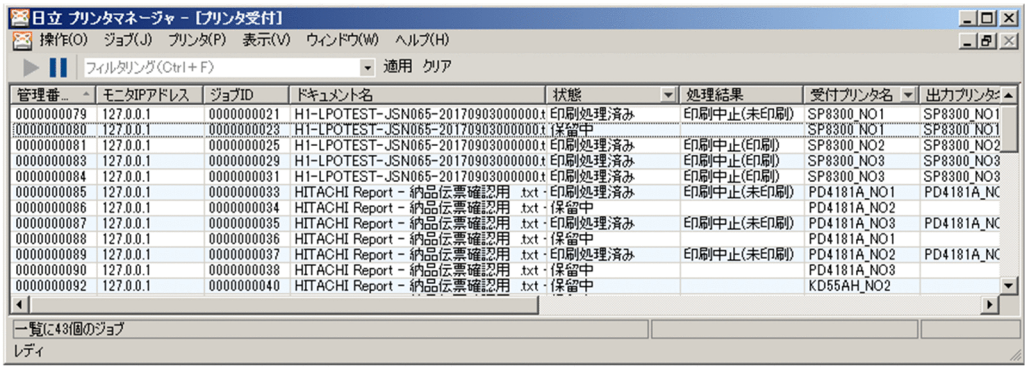


状態を保留中へ変更する確認メッセージが表示されます。

4. [はい] ボタンをクリックします。

[ジョブ一覧] ウィンドウで選択した印刷ジョブの状態が「保留中」に遷移し、処理結果には空白が表示されます。

ここで示す［ジョブ一覧］ウィンドウは、マネージャコンソールの表示例です。



5. ［ジョブ一覧］ウィンドウのツールバーの ▶ ボタンをクリックします。

［ジョブ一覧］ウィンドウの自動更新が開始され、ボタンの表示が ▶ ⏸ に変わります。また、ステータスバーの右側から、自動更新を一時停止した日時と「更新停止」の表示が消えます。

> **メモ**
>
> マネージャコンソールまたはマネージャクライアントで、メニューバーから［表示］－［ジョブ一覧の自動更新を一時停止］を選択して、チェックを外しても同じ操作になります。

関連項目

- 5.4.2　ウィンドウの表示項目をカスタマイズする
- 5.4.3　フィルタリング条件で印刷ジョブの一覧をフィルタリングする
- 5.4.4　印刷ジョブの表示項目に列のフィルタリングを設定する
- 5.4.5　印刷ジョブまたはプリンタの一覧を表示項目ごとにソートする

5.5.11　印刷ジョブを削除する

背景

マネージャコンソールまたはマネージャクライアントの［ジョブ一覧］ウィンドウで、削除する印刷ジョブを選択し、削除指示をします。印刷ジョブは複数選択できます。［ジョブ一覧］ウィンドウで印刷ジョブを操作する前に、［ジョブ一覧］ウィンドウの自動更新を一時停止しておくことをお勧めします。

前提条件

- マネージャコンソールまたはマネージャクライアントが起動している

操作手順

1. [ウィンドウ] メニューまたは［ウィンドウの選択］画面で、操作対象の［ジョブ一覧］ウィンドウを選択します。

2. [ジョブ一覧] ウィンドウのツールバーの ボタンをクリックします。

   ［ジョブ一覧］ウィンドウの自動更新が一時停止され、ボタンの表示が に変わります。また、ステータスバーの右側には、自動更新を一時停止した日時と「更新停止」が表示されます。自動更新を一時停止した日時は、「YYYY/MM/DD hh:mm:ss 時点」の形式（YYYY/MM/DD hh:mm:ss は西暦年/月/日 時:分:秒を示す）で表示されます。

   > **メモ**
   >
   > マネージャコンソールまたはマネージャクライアントのメニューバーから［表示］－［ジョブ一覧の自動更新を一時停止］を選択しても同じ操作になります。

3. [ジョブ一覧] ウィンドウで、削除する印刷ジョブを選択し、右クリックで［削除］を選択します。

   > **メモ**
   >
   > 印刷ジョブを選択し、メニューバーから［ジョブ］－［削除］を選択しても同じ操作になります。
   >
   > 状態が「保留中」または「印刷処理済み」の印刷ジョブは削除できますが、「出力処理中」の印刷ジョブは削除できません。削除できる印刷ジョブが選択されていないことを示すメッセージが表示された場合は、印刷ジョブの状態を確認してください。
   >
   > また、操作対象の印刷ジョブは、フィルタリング条件を指定して画面に表示される印刷ジョブを絞り込んだり、表示項目の列ごとに昇順、降順を切り替えたりすると、特定しやすくなります。

   印刷ジョブの削除を確認するメッセージが表示されます。

4. [はい] ボタンをクリックします。

   選択した印刷ジョブが削除されます。

5. [ジョブ一覧] ウィンドウのツールバーの ボタンをクリックします。

   ［ジョブ一覧］ウィンドウの自動更新が開始され、ボタンの表示が に変わります。また、ステータスバーの右側から、自動更新を一時停止した日時と「更新停止」の表示が消えます。

   > **メモ**
   >
   > マネージャコンソールまたはマネージャクライアントで、メニューバーから［表示］－［ジョブ一覧の自動更新を一時停止］を選択して、チェックを外しても同じ操作になります。

関連項目

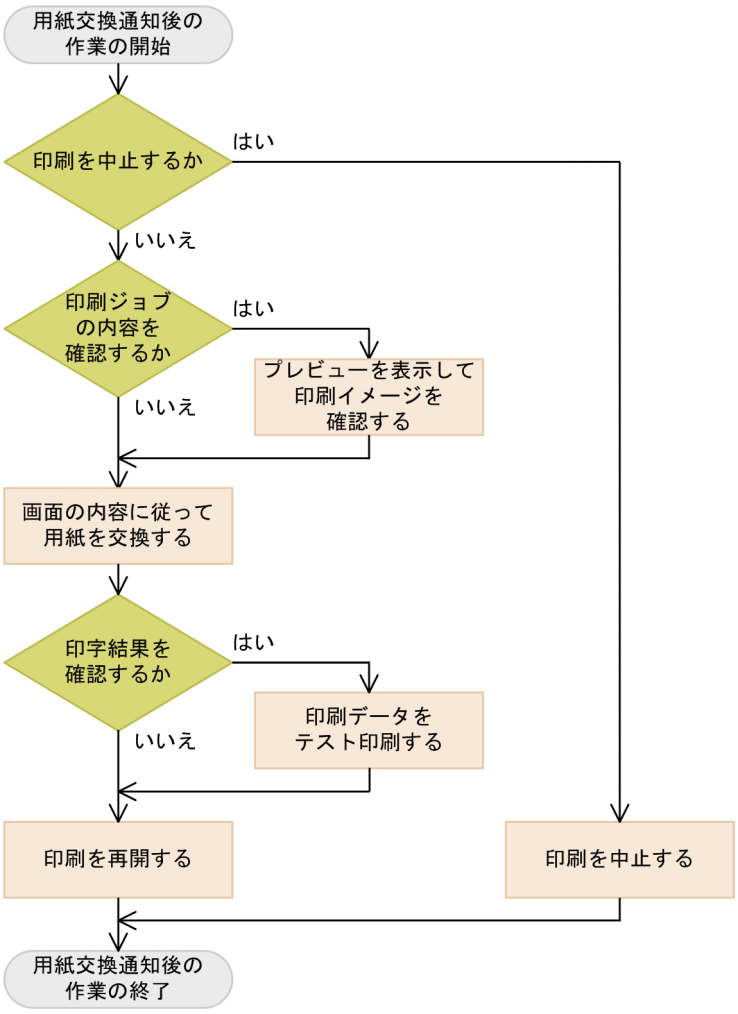
- 5.4.2　ウィンドウの表示項目をカスタマイズする
- 5.4.3　フィルタリング条件で印刷ジョブの一覧をフィルタリングする
- 5.4.4　印刷ジョブの表示項目に列のフィルタリングを設定する
- 5.4.5　印刷ジョブまたはプリンタの一覧を表示項目ごとにソートする

5.6 マネージャまたはマネージャ Client を使用した用紙交換通知または障害通知後の運用の流れ

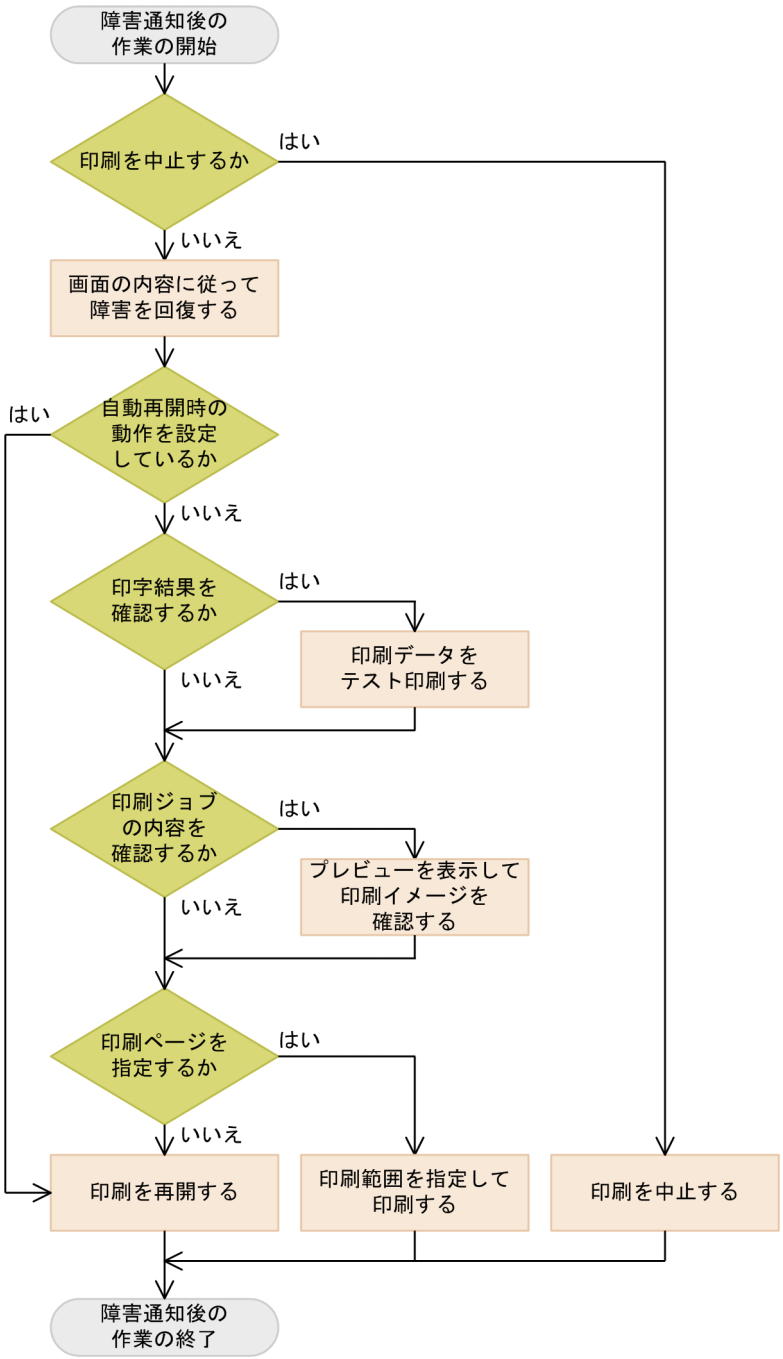
［用紙交換通知］画面、または［障害通知］画面が表示されたあとに実施する作業の流れを次に示します。

各画面は、用紙交換または障害が発生したプリンタを管理しているマネージャコンソールまたはマネージャクライアントに表示されます。マネージャまたはマネージャ Client 使用時、［用紙交換通知］画面、および［障害通知］画面は、モニタコンソールに表示されません。

［用紙交換通知］画面が表示されたあとに実施する作業の流れ



［障害通知］画面が表示されたあとに実施する作業の流れ



関連項目

- 4.3.2　印刷範囲を指定して印刷する
- 4.3.3　プレビューを表示して印刷イメージを確認する
- 4.3.4　印刷データをテスト印刷する
- 4.3.5　印刷を再開する
- 4.3.6　印刷を中止する

5.7　マネージャまたはマネージャ Client のプリンタの管理

5.7.1　管理対象プリンタの印刷前後の動作を変更する

背景

管理対象プリンタの管理設定情報（印刷ジョブの印刷前後の動作）を変更します。

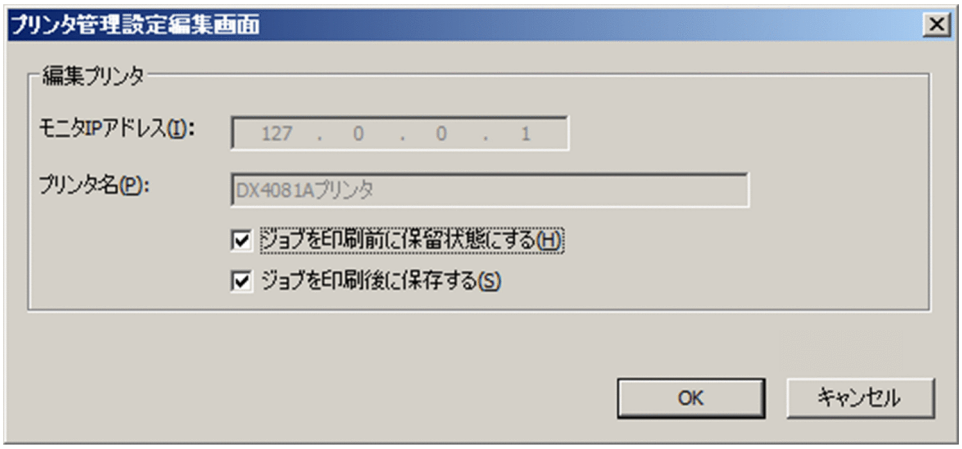
前提条件

- ［マネージャ環境設定］画面が起動している
- マネージャの環境設定を実行するユーザが管理者権限を持っている
- 管理対象プリンタが作成済みである

操作手順

1. ［マネージャ環境設定］画面で［管理設定］ボタンをクリックします。
   ［管理設定］画面が表示されます。

2. ［プリンター覧］から管理設定情報を変更する管理対象プリンタを選択して、［編集］ボタンをクリックします。
   ［プリンタ管理設定編集画面］が表示されます。



3. 管理設定情報を変更します。
   ［プリンタ管理設定編集画面］の設定項目を次に示します。

設定項目	内容
［モニタ IP アドレス］	プリンタを監視しているモニタの IP アドレスが表示されます。
［プリンタ名］	管理対象プリンタの名称が表示されます。

設定項目	内容
［ジョブを印刷前に保留状態にする］チェックボックス	プリンタに出力された印刷ジョブを印刷前に保留状態にするかどうかを指定します。印刷データをマネージャが管理するジョブ保存先フォルダへ保存し、印刷を開始しないで印刷保留状態とする場合は、このチェックボックスをチェックしてください。なお、印刷前保留の印刷ジョブを印刷する場合は、マネージャコンソールまたはマネージャクライアントから操作して印刷を開始します。
［ジョブを印刷後に保存する］チェックボックス	印刷が完了した印刷ジョブを保存しておくかどうかを指定します。印刷済みの印刷ジョブをプリンタに保存する場合は、このチェックボックスをチェックしてください。 保存した印刷済みのジョブは、マネージャコンソールまたはマネージャクライアントから操作して削除できます。また、自動ジョブ削除の指定を行っている場合は、保存期間が過ぎると印刷ジョブが削除されます。

4. 変更後の管理設定情報を確認して、［OK］ボタンをクリックします。
   ［プリンタ管理設定編集画面］が閉じられ、［管理設定］画面が表示されます。

5. ［OK］ボタンをクリックします。
   ［管理設定］画面が閉じられ、［マネージャ環境設定］画面が表示されます。

5.7.2　マネージャの管理対象プリンタを削除する

背景

マネージャで用紙交換通知や障害通知、印刷ジョブを管理する管理対象プリンタを削除します。

前提条件

- ［マネージャ環境設定］画面が起動している
- マネージャの環境設定を実行するユーザが管理者権限を持っている
- 管理対象プリンタが登録済みである

操作手順

1. ［マネージャ環境設定］画面で［管理設定］ボタンをクリックします。
   ［管理設定］画面が表示されます。

2. ［プリンター覧］から削除する管理対象プリンタを選択して、［削除］ボタンをクリックします。
   管理対象プリンタの削除を確認するメッセージが表示されます。

3. ［はい］ボタンをクリックします。
   ［管理設定］画面が表示されます。

4. 削除した管理対象プリンタが［プリンター覧］に表示されていないことを確認して、［OK］ボタンをクリックします。
［管理設定］画面が閉じられ、［マネージャ環境設定］画面が表示されます。

> **メモ**
>
> 管理対象プリンタを削除すると、マネージャはモニタからプリンタ情報を取得できなくなり、マネージャコンソールの［プリンター覧］ウィンドウには管理対象プリンタが表示されなくなります。
>
> ただし、出力先プリンタに登録済みの印刷ジョブは、マネージャコンソールの［ジョブ一覧］ウィンドウに表示され、条件指定印刷で出力先プリンタを変更して印刷できます。

関連項目

- 5.7.3　マネージャ Client の管理対象プリンタを削除する

5.7.3　マネージャ Client の管理対象プリンタを削除する

背景

マネージャ Client で用紙交換通知や障害通知、印刷ジョブを管理する管理対象プリンタを削除します。

前提条件

- ［マネージャクライアント環境設定］画面が起動している
- 管理対象プリンタが登録済みである

操作手順

1. ［マネージャクライアント環境設定］画面で［管理設定］ボタンをクリックします。
［管理設定］画面が表示されます。

2. ［プリンター覧］から削除する管理対象プリンタを選択して、［削除］ボタンをクリックします。
管理対象プリンタの削除を確認するメッセージが表示されます。

3. ［はい］ボタンをクリックします。
［管理設定］画面が表示されます。

4. 削除した管理対象プリンタが［プリンター覧］に表示されていないことを確認して、［OK］ボタンをクリックします。
［管理設定］画面が閉じられ、［マネージャクライアント環境設定］画面が表示されます。

メモ

管理対象プリンタを削除すると、マネージャ Client はモニタからプリンタ情報を取得できなくなり、マネージャクライアントの［プリンター覧］ウィンドウには管理対象プリンタが表示されなくなります。

ただし、出力先プリンタに登録済みの印刷ジョブは、マネージャクライアントの［ジョブ一覧］ウィンドウに表示され、条件指定印刷で出力先プリンタを変更して印刷できます。

5.7.4 印刷ジョブを定期的に削除する

背景

ジョブ一覧の中で、「状態」が「印刷処理済み」で、かつ「処理結果」が「印刷完了」の印刷ジョブを削除対象とします。自動削除は、この削除対象のジョブの中から自動削除の条件に該当するジョブを削除します。

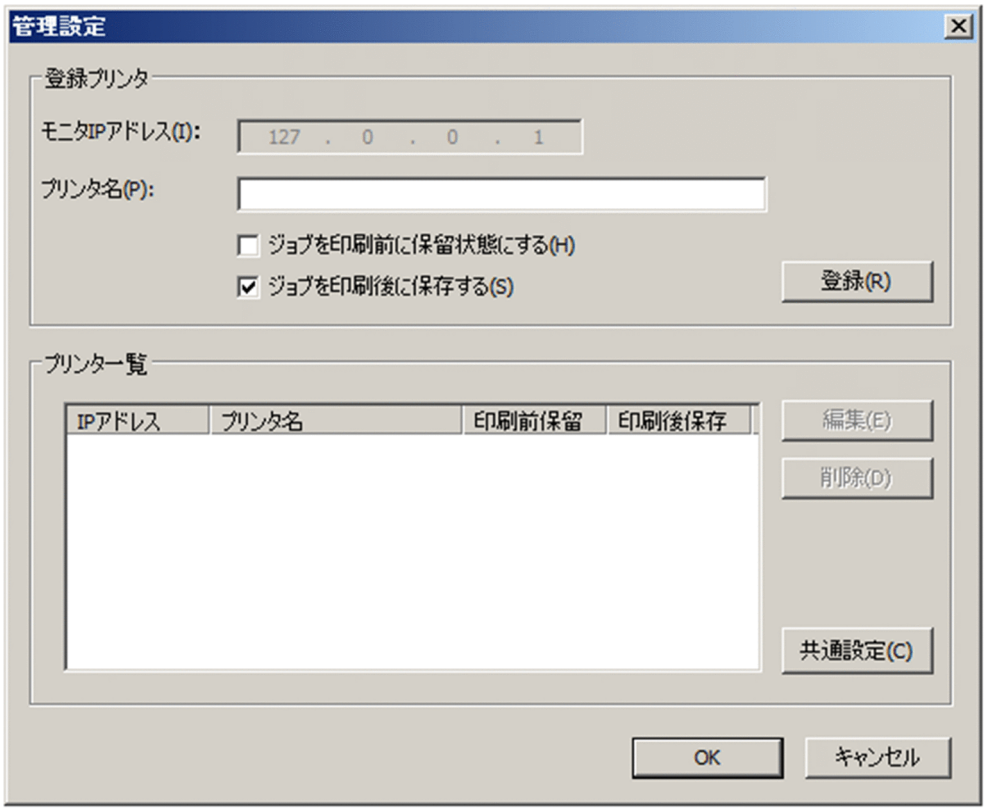
印刷ジョブの自動削除は、すべてのプリンタを対象とした共通設定です。プリンタごとの設定はできません。 ただし、ジョブ一覧の中で対応するプリンタがない（プリンタの IP アドレスが「0.0.0.0」となっている）場合は対象外となります。このため、IP アドレスが「0.0.0.0」のプリンタに対する印刷ジョブは削除されません。

前提条件

- ［マネージャ環境設定］画面が起動している
- マネージャの環境設定を実行するユーザが管理者権限を持っている

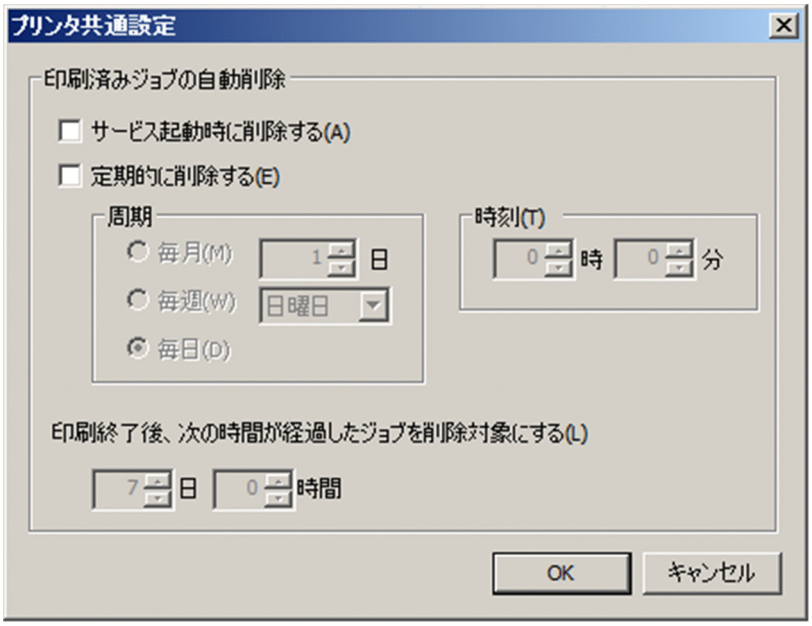
操作手順

1. Windows のスタートメニューから、［すべてのプログラム］－［日立 プリンタマネージャ］－［環境設定］を選択します。
   ［マネージャ環境設定］画面が表示されます。
2. ［管理設定］ボタンをクリックします。
   ［管理設定］画面が表示されます。



3. [共通設定] ボタンをクリックします。

[プリンタ共通設定] 画面が表示されます。



4. 印刷ジョブの自動削除の条件を設定して、[OK] ボタンをクリックします。

[プリンタ共通設定] 画面の設定項目を次に示します。

設定項目	内容
[サービス起動時に削除する] チェックボックス	プリンタマネージャのサービス起動時に自動削除処理を実行するかどうかを指定します。 この項目にチェックを入れると、[定期的に削除する] チェックボックスのチェックが外れます。
[定期的に削除する] チェックボックス	任意の条件を指定して定期的に自動削除処理を実行するかどうかを指定します。 この項目にチェックを入れると、[サービス起動時に削除する] チェックボックスのチェックが外れます。
[周期]	自動削除を実行する周期を選択します。この項目は [定期的に削除する] チェックボックスが選択されている場合だけ表示されます。 • [毎月] ラジオボタン 毎月指定した日に自動削除を実行する場合に選択します。 このラジオボタンを選択した場合、自動的に削除する毎月の指定日を 1～28 の中から指定できます。 • [毎週] ラジオボタン 毎週指定した曜日に自動削除を実行する場合に選択します。 このラジオボタンを選択した場合、自動的に削除する曜日を次の中から 1 つだけ選択できます。 [日曜日]、[月曜日]、[火曜日]、[水曜日]、[木曜日]、[金曜日]、[土曜日] • [毎日] ラジオボタン 毎日自動削除を実行する場合に選択します。
[時刻]	自動削除を実行する時刻を指定します。この項目は [定期的に削除する] チェックボックスが選択されている場合だけ表示されます。 指定できる時刻は、0 時 0 分～23 時 59 分の 24 時間表記の範囲内です。 (例 1) AM0:00 の場合 0 時 0 分 (例 2) PM11:59 の場合 23 時 59 分
[印刷終了後、次の時間が経過したジョブを削除対象にする]	印刷済みジョブの保存期間を日数と時間で指定します。 指定できる日数は、0～97 です。 指定できる時間は、0～23 の 24 時間表記の範囲内です。 保存期間を [0] 日 [0] 時間とした場合は、[サービス起動時に削除する] または [定期的に削除する] で指定した条件に従って、即時に印刷ジョブを削除します。

注

印刷ジョブを自動的に削除しない場合は、[サービス起動時に削除する] チェックボックスと [定期的に削除する] チェックボックスの両方のチェックを外してください。

メモ

設定項目の指定誤りを示すメッセージが表示された場合は、メッセージの内容に従って指定値を見直してください。

[プリンタ共通設定] 画面が閉じられ、[管理設定] 画面が表示されます。

5.8 マネージャおよびマネージャ Client 運用時の注意事項

マネージャおよびマネージャ Client の運用時に注意することを次に示します。

- マネージャサービスの起動時、停止時、再起動時に考慮すること
  - マネージャサービスの起動

    モニタサービスを起動した状態で、マネージャサービスを起動してください。
  - マネージャサービスの停止

    モニタサービスを停止する前に、マネージャサービスを停止してください。
  - マネージャサービスの再起動

    マネージャサービス単独での停止および起動を実施しないでください。マネージャサービスの停止、モニタサービスの停止、モニタサービスの起動、マネージャサービスの起動の順で再起動してください。
- 出力処理中にマネージャサービスを停止、および再起動した場合の動作について
  - 印刷ジョブに対する動作

    印刷ジョブのジョブ状態によって、マネージャサービス停止時の動作は異なります。ジョブ状態ごとの動作について、次の表に示します。

ジョブ状態	動作
印刷要求開始待ち 印刷要求中 印刷データ受付 印刷データ作成中 印刷データ送信待ち 印刷データ送信開始 用紙交換待ち 印刷待ち	印刷ジョブの削除処理は実施されません。ただし、印刷は中止されます。 次にマネージャサービスを開始したときに、印刷ジョブは次のように処理されて、印刷ログに記録されます。 ジョブ状態：印刷処理済み 処理結果：印刷中止（未印刷）
印刷中	印刷ジョブの削除処理は実施されません。ただし、印刷は中止されます。 次にマネージャサービスを開始したときに、印刷ジョブは次のように処理されて、印刷ログに記録されます。 ジョブ状態：印刷処理済み 処理結果：印刷中止（印刷）

  - モニタサービスで処理している印刷ジョブに対する動作

    モニタサービスで処理している印刷ジョブは、ジョブ状態に応じて処理されるため、保留や再処理はされません。また、処理結果はモニタの印刷ログに出力されます。
- 印刷後保存設定と印刷ジョブの関係

  印刷後保存設定を OFF にしている場合、印刷後に印刷ジョブは削除されます。ただし、印刷ジョブの処理が完了していない場合（印刷中止など)、印刷後保存設定を OFF にしていても印刷ジョブは保存されます。

- プレビューできないデータ

  プレビューの対象となるのは、サポートしている ESC/P コマンド、およびすべての XPS データです。サポート範囲外の ESC/P コマンドが含まれる印刷ジョブは正しくプレビューできません。

- 両面印刷ジョブに対してページ範囲指定印刷をする場合のページ数補正

  上位アプリケーションで指定する両面印刷ジョブでページ範囲指定をした場合、印刷結果が紙面の表裏で 1 枚になるようにページ数が補正されます。開始ページに偶数ページを指定した場合でも表面から印刷されます。終了ページに奇数ページを指定した場合でも裏面まで印刷されます。

  詳しい補正方法は次の表のとおりです。

印刷種別	**ユーザ指定**		**印刷結果**	
	開始ページ	**終了ページ**	**開始ページ**	**終了ページ**
テスト印刷	奇数	奇数	<指定値>	<指定値>+1
		偶数	<指定値>	<指定値>
	偶数	奇数	<指定値>-1	<指定値>+1
		偶数	<指定値>-1	<指定値>
再印刷または印刷	奇数	奇数	<指定値>	<指定値>+1
		偶数	<指定値>	<指定値>
	偶数	奇数	<指定値>-1	<指定値>+1
		偶数	<指定値>-1	<指定値>

- 障害リカバリ制御方式で［ページ単位で制御］選択時の印刷ログについて

  マネージャコンソール、またはマネージャクライアントから、「ページ単位で制御」を設定したプリンタに対して、複数ページの帳票を出力する印刷指示を実行した場合、最終ページの印刷ログ情報は出力されません。

6 プリンタマネージャのバックアップおよびリストア

プリンタマネージャのマネージャでは、印刷ジョブを操作するユティリティを提供しています。マネージャのユティリティには、印刷ジョブをファイルに保管できるバックアップと、保管したバックアップファイルから印刷ジョブを復元できるリストアがあります。これらのユティリティの概要、実行方法、および運用例について説明します。

6.1　バックアップおよびリストアの概要

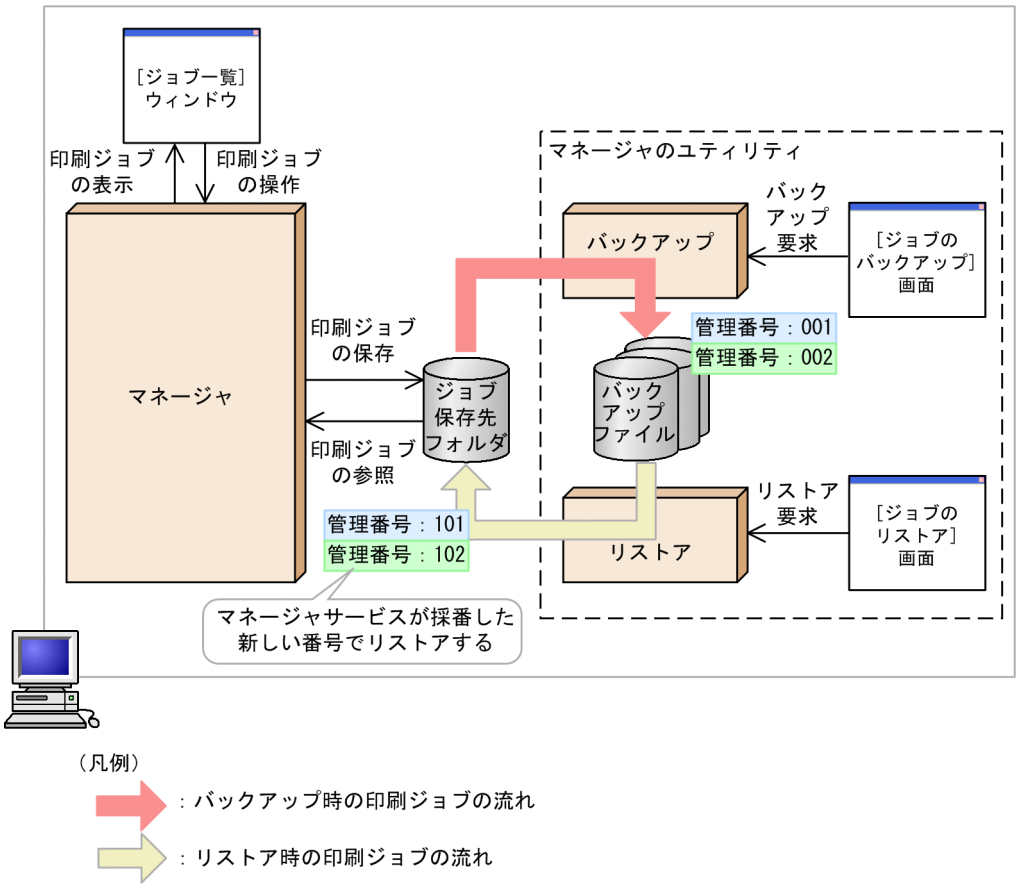
プリンタマネージャでは、マネージャのユティリティとして、印刷ジョブをファイルに保管し、ファイルから復元する機能を提供しています。印刷ジョブをファイルに保管するユティリティをバックアップ、ファイルから印刷ジョブを復元するユティリティをリストアといいます。これらのユティリティは、マネージャをインストールすると、インストールされます。

バックアップを利用すると、任意の印刷ジョブを選択してバックアップファイルを作成できます。そのバックアップファイルからリストアを利用して、使用したい印刷ジョブだけを復元できます。

また、運用開始後にジョブ保存先フォルダを変更する場合は、バックアップおよびリストアを使用して、印刷ジョブを変更先フォルダへ移行してください。

バックアップおよびリストアの位置づけを次の図に示します。

図 6-1　バックアップおよびリストアの位置づけ



この図では、管理番号「001」と「002」の印刷ジョブをバックアップし、リストアする例です。

バックアップ時には、マネージャのジョブ保存先フォルダからバックアップする印刷ジョブをバックアップファイルに保管します。このとき、保管した印刷ジョブは、ジョブ保存先フォルダから削除することも、そのまま残すこともできます。

リストア時には、復元する印刷ジョブにマネージャサービスが管理番号を採番して、新たなジョブとして、バックアップファイルからマネージャのジョブ保存先フォルダに復元します。復元した印刷ジョブは、マネージャコンソールの［ジョブ一覧］ウィンドウに追加されます。

6.1.1　印刷ジョブのバックアップについて

印刷ジョブのバックアップでは、マネージャのバックアップを使用します。バックアップを使用すると、［ジョブ一覧］ウィンドウに表示されている印刷ジョブを、受付プリンタごとのバックアップファイルとして保管できます。

バックアップを利用すると、次のような運用ができます。

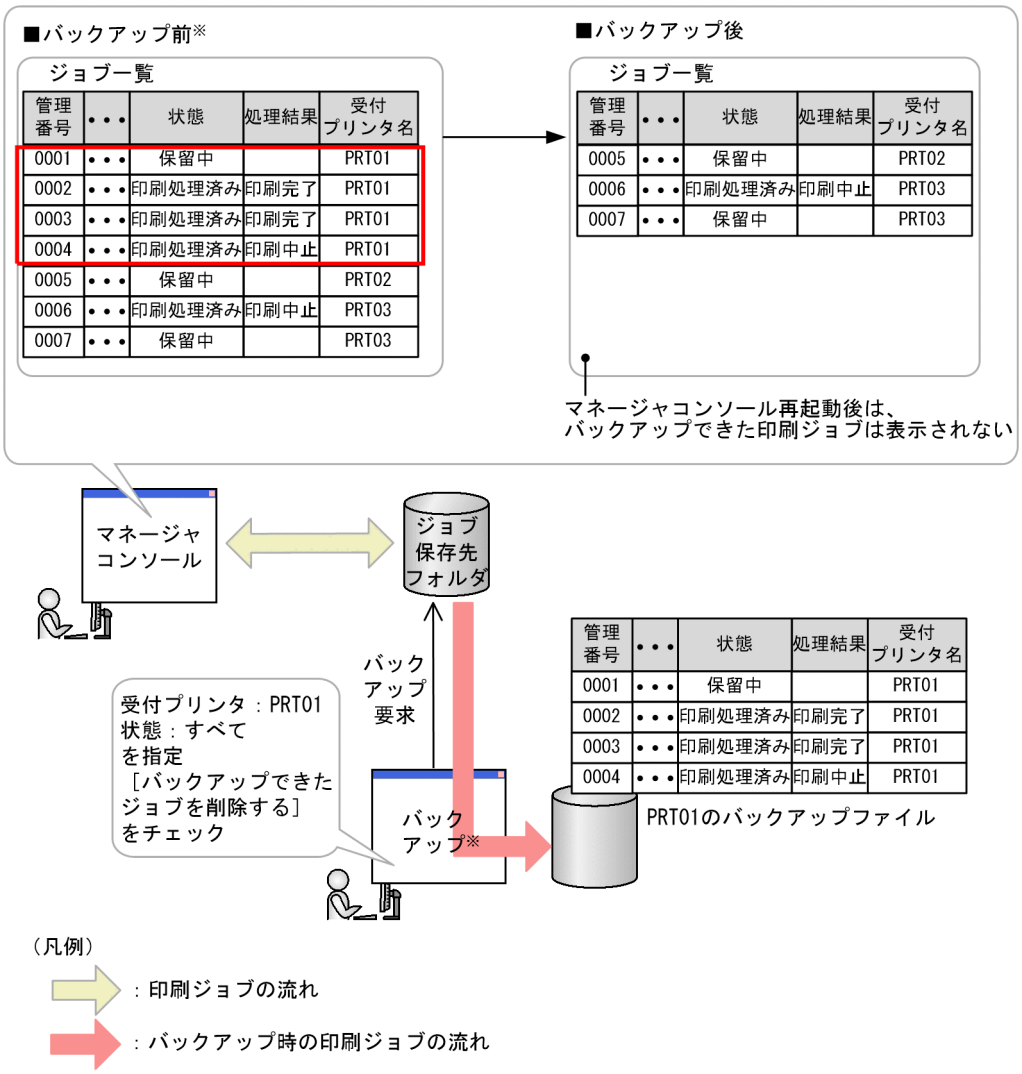
- ［ジョブ一覧］ウィンドウに表示される大量の印刷ジョブの中から、再印刷などの目的に合わせて印刷ジョブを保管しておくと、任意のタイミングで復元して使用できます。
- すぐに印刷しない印刷ジョブをファイルに保管し、あとで出力できます。
- 印刷出力した内容をバックアップとして退避できます。
- マネージャのジョブ保存先フォルダを変更する場合に、印刷ジョブをバックアップして移行します。

バックアップでは、受付プリンタと印刷ジョブの状態を選択して、バックアップ対象の印刷ジョブを指定します。選択できる印刷ジョブの状態は、次に示す状態のすべて、またはどれかです。指定した印刷ジョブは、受付プリンタ単位に 1 つのバックアップファイルにまとめられます。印刷ジョブの属性（状態や処理結果など）は、バックアップ前の状態がそのまま引き継がれます。バックアップした印刷ジョブは、マネージャのジョブ保存先フォルダから削除することも、そのまま残すこともできます。印刷ジョブがジョブ保存先フォルダから削除されると、次にマネージャコンソールを起動したときに、マネージャコンソールに表示されなくなります。

- 印刷していないジョブ（[状態］が「保留中」）
- 印刷が完了したジョブ（[状態］が「印刷処理済み」で［処理結果］が「印刷完了」）
- 印刷途中でキャンセルまたは中止となったジョブ（[状態］が「印刷処理済み」で［処理結果］が「印刷完了」以外）

バックアップを利用した例を次の図に示します。

図 6-2　バックアップを利用した例



注※　バックアップ起動前に、モニタサービスおよびマネージャサービスは停止してください。

この図では、バックアップの画面で、受付プリンタに「PRT01」、状態に「すべて」を指定し、［バックアップできたジョブを削除する］をチェックしています。バックアップを実行すると、PRT01 のバックアップファイルが作成され、バックアップできた印刷ジョブが保存されます。バックアップできた印刷ジョブは、マネージャのジョブ保存先フォルダから削除されます。マネージャを起動したあと、［ジョブ一覧］ウィンドウには、バックアップできた印刷ジョブが削除された一覧が表示されます。

バックアップ起動時の前提条件

バックアップを起動する場合、次の条件を満たしている必要があります。条件を満たしていない場合、エラーメッセージが出力され、バックアップは起動できません。

- モニタサービスおよびマネージャサービスが停止している
- マネージャのユティリティ（バックアップおよびリストア）がすべて停止している

バックアップ失敗時の動作

バックアップでは、バックアップ処理中にバックアップできない印刷ジョブを検知した場合に、その印刷ジョブをスキップして処理を続行するか、検知した時点で処理を中断するかを選択できます。

バックアップできない印刷ジョブをスキップして処理を続行する場合

この動作を選択する場合は、[ジョブのバックアップ] 画面で [該当ジョブを除外してバックアップファイルを作成する] をチェックしてください。[該当ジョブを除外してバックアップファイルを作成する] をチェックすると、バックアップできない印刷ジョブを検知しても、その印刷ジョブをスキップして、バックアップ処理を続行します。バックアップできた印刷ジョブは、バックアップファイルに保存され、バックアップできない印刷ジョブはログに出力されます。処理終了時には、一部でエラーがあったことを示すメッセージが出力されます。

[バックアップできたジョブを削除する] をチェックしているときは、バックアップできた印刷ジョブはマネージャのジョブ保存先フォルダから削除され、バックアップできない印刷ジョブはマネージャのジョブ保存先フォルダにそのまま残ります。[バックアップできたジョブを削除する] をチェックしていないときは、バックアップできた印刷ジョブも、バックアップできない印刷ジョブも、マネージャのジョブ保存先フォルダにそのまま残ります。

バックアップできない印刷ジョブを検知した時点で処理を中断する場合

この動作を選択する場合は、[ジョブのバックアップ] 画面で [バックアップファイルを作成しない] をチェックしてください。[バックアップファイルを作成しない] をチェックすると、バックアップできない印刷ジョブを検知した時点で、エラーメッセージを出力し、処理を終了します。検知前にバックアップできた印刷ジョブは、バックアップファイルに保存されます。

[バックアップできたジョブを削除する] をチェックしているかどうかに関係なく、バックアップできた印刷ジョブも、バックアップできない印刷ジョブも、マネージャのジョブ保存先フォルダにそのまま残ります。

6.1.2 印刷ジョブのリストアについて

印刷ジョブのリストアでは、マネージャのリストアを使用します。リストアを使用すると、選択した印刷ジョブをバックアップファイルから復元できます。復元した印刷ジョブは、マネージャサービスによって新たな管理番号が採番され、[ジョブ一覧] ウィンドウに表示されます。

リストアでは、受付プリンタを選択して、そのバックアップファイルのジョブ一覧からリストア対象の印刷ジョブを指定します。リストア時に、印刷ジョブの管理番号は新たに採番されますが、印刷ジョブの属性（状態や処理結果など）は、バックアップ時の状態がそのまま引き継がれます。また、バックアップ時と異なる受付プリンタにもリストアできます。

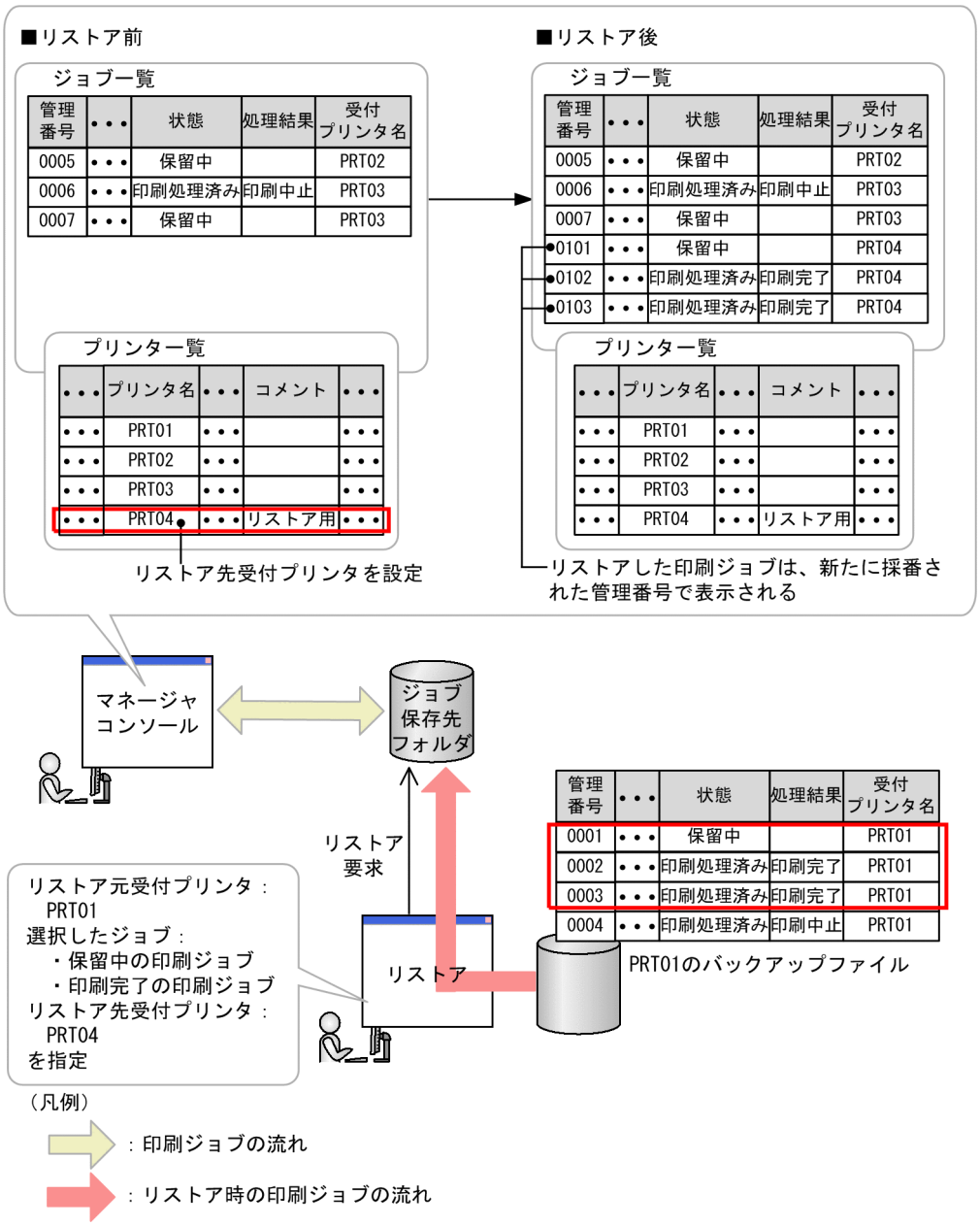
重要

リストア時には、リストア用の受付プリンタを用意することをお勧めします。すでに運用している受付プリンタにリストアしてしまうと、リストアした印刷ジョブが、[ジョブ一覧] ウィンドウの大量にある印刷ジョブの中に埋もれてしまうため、確認しにくくなることがあります。

また、リストア用にほかの受付プリンタを使用する場合、プリンタドライバの違いなどによって、リストア後に正常に印刷されないことがあります。この場合、リストア元の受付プリンタと、リストア用の受付プリンタを同じプリンタの設定にすると、印刷結果が改善されることがあります。ただし、リストア元の受付プリンタとプリンタドライバが異なるプリンタを、リストア先の受付プリンタで選択した場合の印刷結果は保証しません。

リストアを利用した例を次の図に示します。

図 6-3　リストアを利用した例



この図では、リストアで、PRT01 のバックアップファイルから対象の印刷ジョブを選択し、マネージャであらかじめ用意した受付プリンタ「PRT04」をリストア先の受付プリンタに指定しています。リストアを実行すると、対象の印刷ジョブが受付プリンタ「PRT04」にリストアされます。マネージャの［ジョブ一覧］ウィンドウには、リストアされた印刷ジョブが、新たな管理番号で追加された一覧が表示されます。

リストア起動時の前提条件

リストアを起動する場合、次の条件を満たしている必要があります。条件を満たしていない場合、エラーメッセージが出力され、リストアは起動できません。また、ほかのマシンで作成したバックアップファイルはリストアできません。同一マシン内で作成したバックアップファイルをリストアしてください。

- マネージャのユティリティ（バックアップおよびリストア）がすべて停止している

6.1.3　印刷ジョブのバックアップおよびリストアの運用

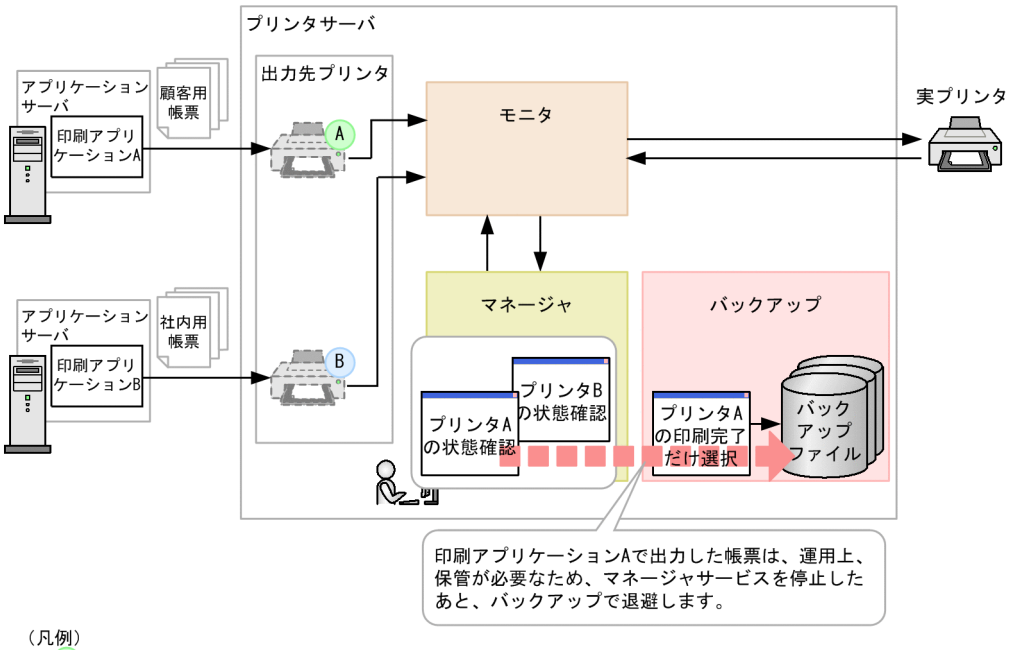
プリンタマネージャのバックアップとリストアでは、さまざまな運用に応じて、複数の出力先プリンタ（受付プリンタ）ごとに、バックアップによる帳票データの保管や退避、およびリストアによる帳票データの復元や再印刷ができます。

（例 1）重要な帳票データだけを退避、保管する場合

顧客用帳票のように重要な帳票データだけを退避、保管する運用では、あらかじめ、ほかの帳票データと出力先プリンタを使い分けておくと、バックアップを利用して、一括でファイルに退避、保管できます。バックアップでは、出力先プリンタ（受付プリンタ）ごとにバックアップファイルが作成できます。また、退避、保管した帳票データは、必要に応じて、バックアップファイルからマネージャの［ジョブ一覧］ウィンドウに復元して、再印刷もできます。

印刷アプリケーションごとにプリンタを使い分けて、保管が必要な帳票データだけを退避する例を次の図に示します。

図 6-4　印刷アプリケーションごとにプリンタを使い分けて、保管が必要な帳票データだけを退避する例



（凡例）
A：印刷アプリケーションAからの印刷用に用意したプリンタ（プリンタA）を示します。
B：印刷アプリケーションBからの印刷用に用意したプリンタ（プリンタB）を示します。

この図では、顧客用帳票を印刷する印刷アプリケーション A 用にプリンタ A と、社内用帳票を印刷する印刷アプリケーション B 用にプリンタ B を用意して使い分けています。運用上、顧客用帳票は印刷後に退避、保管が必要なため、プリンタ A の帳票データのうち印刷が完了したものだけを、マネージャサービス停止後、バックアップを使用してバックアップファイルに退避します。

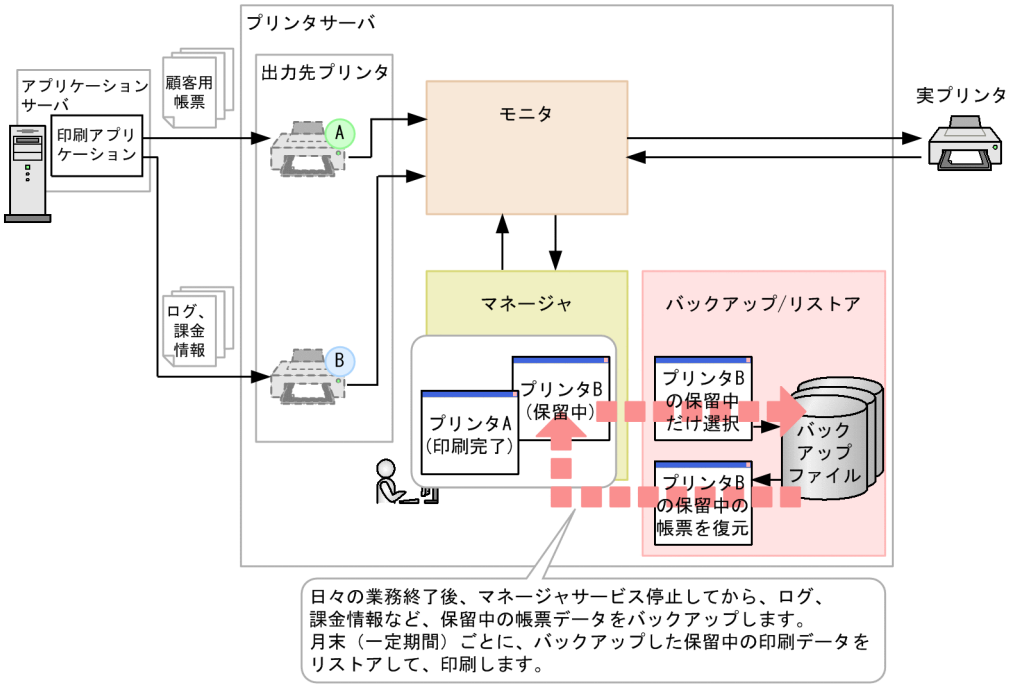
（例 2）日々印刷しない帳票データを一定期間まとめて、あとで出力する場合

日々の運用では、顧客用帳票を印刷し、月末には、日々の運用で出力された印刷ログや課金情報などをまとめて印刷します。このような運用では、日々の運用で印刷しないデータ（印刷ログや課金情報など）が、［ジョブ一覧］ウィンドウに大量に蓄積されてしまいます。この場合、バックアップを利用すると、日々の運用で印刷しない帳票データ（保留中の帳票データ）を、業務終了後にバックアップファ

イルへ退避できます。また、月末には、バックアップした帳票データをまとめてリストアし、[ジョブ一覧] ウィンドウから再印刷できます。

印刷しない帳票データを退避して、あとでまとめて再印刷する例を次の図に示します。

図 6-5　印刷しない帳票データを退避して、あとでまとめて再印刷する例



（凡例）

A：印刷アプリケーションからの顧客用帳票印刷用に用意したプリンタ（プリンタA）を示します。

B：印刷アプリケーションからのログ、課金情報印刷用に用意したプリンタ（プリンタB）を示します。

この図では、顧客用帳票を印刷する印刷アプリケーション A 用にプリンタ A と、顧客用帳票の印刷ログや課金情報などの帳票データを印刷するプリンタ B を用意して使い分けています。プリンタ B の帳票データは、日々の業務終了後にマネージャサービスを停止したあと、バックアップを使用してバックアップファイルに退避します。月末には、印刷ログや課金情報の帳票データを、リストアを使用して [ジョブ一覧] ウィンドウに復元して、印刷します。

6.2　バックアップおよびリストアの実行

6.2.1　印刷ジョブをバックアップする

背景

マネージャのバックアップの［ジョブのバックアップ］画面で、バックアップする印刷ジョブの受付プリンタとジョブ状態を選択して、マネージャに対してバックアップを要求します。必要に応じて、バックアップ失敗時の動作も指定します。

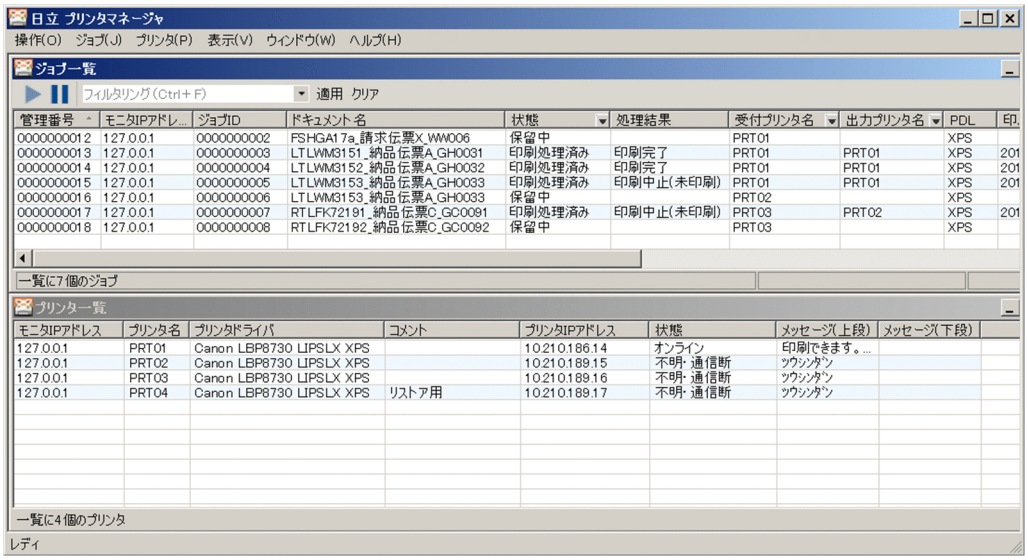
前提条件

- モニタサービスおよびマネージャサービスが停止している
- マネージャのユティリティ（バックアップおよびリストア）がすべて停止している
- バックアップを実行するユーザが管理者権限を持っている

操作手順

1. 必要に応じて、マネージャコンソールの［ジョブ一覧］ウィンドウで、バックアップしたい印刷ジョブがある受付プリンタを確認します。

   これ以降の手順では、受付プリンタ「PRT01」の印刷ジョブすべてをバックアップする場合を例に説明します。

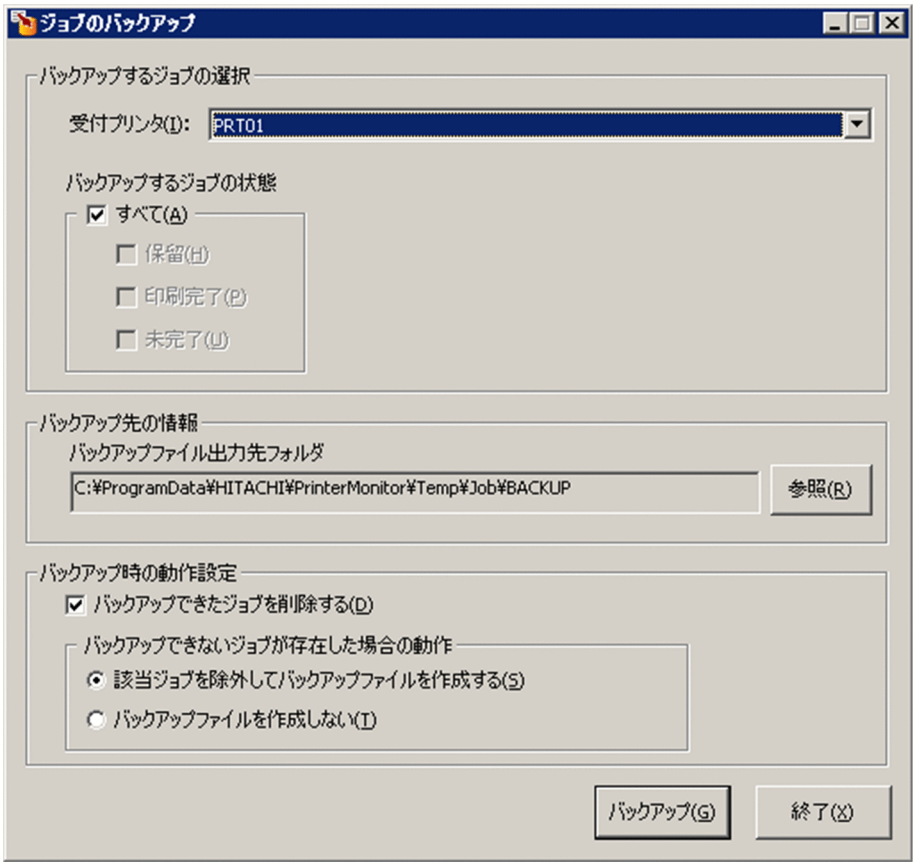


2. マネージャサービス、およびモニタサービスを停止します。

   サービスを停止する前に、すべての印刷が完了しているか、［用紙交換通知］画面や［障害通知］画面が表示されていないか確認してください。すべての印刷運用が完了していることを確認してから、サービスを停止してください。

3. Windows のスタートメニューから、［すべてのプログラム］－［日立プリンタマネージャ］－［ユティリティ］－［バックアップ］を選択します。

［ジョブのバックアップ］画面が表示されます。この画面は、モニタの環境設定で［マネージャ設定］画面の［保存先フォルダ名］に、「C:¥ProgramData¥HITACHI¥PrinterMonitor¥Temp¥Job」を指定した例です。



4. バックアップ対象の印刷ジョブを選択し、バックアップ先の情報やバックアップ時の動作を設定します。

画面に次の内容を設定します。

- 受付プリンタ：「PRT01」
- バックアップファイル出力先フォルダ：「C:¥ProgramData¥HITACHI¥PrinterMonitor¥Temp¥Job¥BACKUP」
- ［バックアップできたジョブを削除する］：チェックする※

注※

バックアップできた印刷ジョブを削除する場合はチェックし、バックアップできた印刷ジョブを削除しない場合はチェックを外してください。チェックすると、バックアップできた印刷ジョブは、マネージャの保存先フォルダから削除され、マネージャコンソールの［ジョブ一覧］ウィンドウに表示されなくなります。

［ジョブのバックアップ］画面の設定項目を次に示します。

項目	内容
[受付プリンタ]	受付プリンタをドロップダウンリストから選択します。選択できる受付プリンタは、マネージャの環境設定で登録した管理対象プリンタです。受付プリンタは複数選択できません。
[バックアップするジョブの状態]	バックアップする印刷ジョブのジョブ状態を指定します。 • [すべて] チェックボックス [状態] が「保留中」、および「印刷処理済み」の印刷ジョブをバックアップする場合に選択します。 • [保留] チェックボックス [状態] が「保留中」の印刷ジョブをバックアップする場合に選択します。 • [印刷完了] チェックボックス [状態] が「印刷処理済み」で [処理結果] が「印刷完了」の印刷ジョブをバックアップする場合に選択します。 • [未完了] チェックボックス [状態] が「印刷処理済み」で [処理結果] が「印刷完了」以外の印刷ジョブをバックアップする場合に選択します。 デフォルト値は、[すべて] チェックボックスをチェックした状態です。ほかのチェックボックスをチェックする場合は、[すべて] チェックボックスのチェックを外してください。
[バックアップファイル出力先フォルダ]	バックアップファイルの出力先フォルダを 228 文字以内の絶対パスで指定します。出力先フォルダは、[参照] ボタンをクリックして [フォルダの選択画面] から選択します。出力先フォルダには、マネージャのジョブ保存先フォルダと同じフォルダは指定できません。また、フォルダ名には、?、*、"、>、<、¦、サロゲート文字、および IVS フォントは使用できません。 デフォルト値は、「<マネージャのジョブ保存先フォルダ>¥BACKUP」です（<マネージャのジョブ保存先フォルダ>には、モニタの環境設定で [マネージャ設定] 画面の [保存先フォルダ名] に指定した値が設定されます）。BACKUP フォルダが存在しない場合、[フォルダの選択画面] の初期値には「マネージャのジョブ保存先フォルダ」が表示されるため、必ず、マネージャのジョブ保存先フォルダ以外を選択してください。 バックアップファイルは、印刷ジョブをリストアしたあとも削除されません。バックアップファイルの出力先フォルダには、ディスク容量に十分な空き容量があるフォルダを指定してください。
[バックアップできたジョブを削除する] チェックボックス	バックアップが正常に終了した印刷ジョブを、マネージャの保存先フォルダから削除するかどうかを指定します。バックアップしたあとも、印刷ジョブをマネージャコンソールの [ジョブ一覧] ウィンドウで管理する場合は、このチェックボックスのチェックを外してください。 チェックボックスをチェックすると、バックアップが正常に終了した印刷ジョブは、マネージャの保存先フォルダから削除され、エラーが発生した印刷ジョブは、マネージャの保存先フォルダに残ります。マネージャの保存先フォルダから削除された印刷ジョブは、マネージャコンソールの [ジョブ一覧] ウィンドウに表示されなくなります。 チェックボックスのチェックを外すと、バックアップが正常に終了した印刷ジョブも、エラーが発生した印刷ジョブも、マネージャの保存先フォルダに残ります。
[バックアップできないジョブが存在した場合の動作]	バックアップできない印刷ジョブがあった場合に、バックアップ処理を続行してバックアップできた印刷ジョブのバックアップファイルを作成するか、バックアップ処理を中断してバックアップファイルを作成しないかを選択します。 • [該当ジョブを除外してバックアップファイルを作成する] ラジオボタン

項目	内容
	エラーが発生した印刷ジョブはバックアップ処理をスキップして、次の印刷ジョブのバックアップ処理を続行し、バックアップが正常に終了した印刷ジョブのバックアップファイルを作成します。 この場合、[バックアップできたジョブを削除する] をチェックしているときは、バックアップが正常に終了した印刷ジョブは、マネージャのジョブ保存先フォルダから削除され、エラーが発生してバックアップできなかった印刷ジョブは、マネージャのジョブ保存先フォルダにそのまま残ります。[バックアップできたジョブを削除する] をチェックしていないときは、バックアップが正常に終了した印刷ジョブも、エラーが発生してバックアップできなかった印刷ジョブも、マネージャのジョブ保存先フォルダにそのまま残ります。 • [バックアップファイルを作成しない] ラジオボタン エラーを検知した時点でバックアップ処理を中断し、バックアップファイルは作成しません。 この場合、[バックアップできたジョブを削除する] のチェックに関係なく、中断する前までにバックアップが正常に終了した印刷ジョブも、エラーが発生してバックアップできなかった印刷ジョブもマネージャの保存先フォルダにそのまま残ります。

5. [バックアップ] ボタンをクリックします。

バックアップ処理が開始され、バックアップファイル出力先フォルダに次のファイルが出力されます。

- バックアップファイル

  バックアップできた印刷ジョブが出力されます。ファイル名は、「<受付プリンタ名>_<バックアップ処理の開始日時※>.bak」です。

- ログファイル

  バックアップ処理の結果（ジョブの一覧を含む）が出力されます。ファイル名は、「<受付プリンタ名>_<バックアップ処理の開始日時※>.log」です。

注※

日時は、「YYYYMMDDHHMMSS」の形式（YYYY：西暦、MM：月、DD：日、HH：時、MM：分、SS：秒）で出力されます。

バックアップ中は、バックアップ処理の進捗状況を示すメッセージが表示されます。

バックアップ処理が完了すると、バックアップ処理の結果（正常終了またはエラー終了）を示すメッセージが出力されます。なお、バックアップできた印刷ジョブは、[バックアップできたジョブを削除する] をチェックしている場合は削除され、チェックしていない場合は削除されません。

重要

[バックアップ] ボタンをクリックした時に、モニタサービスまたはマネージャサービスが起動中の場合や、バックアップまたはリストアが実行中の場合は、エラーになります。

> **メモ**
>
> 印刷ジョブのバックアップ処理を実行しないで終了する場合は、[終了]ボタン、または画面の右上の[×]ボタンをクリックしてください。設定した内容を破棄して、バックアップを終了します。

6. [OK]ボタンをクリックします。

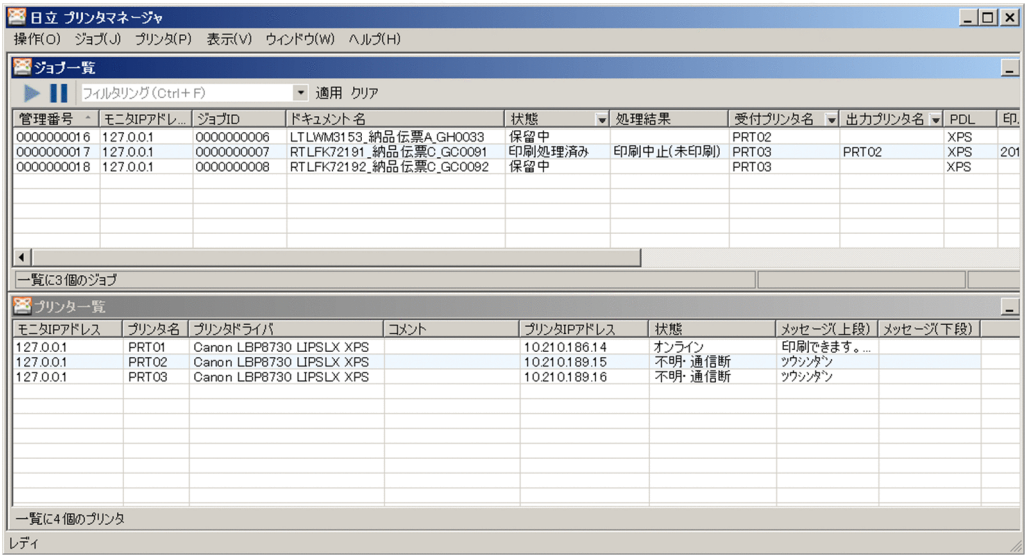
   バックアップを終了します。

   一部のジョブがバックアップできない、またはバックアップファイルが作成できないメッセージが出力された場合は、ログを参照しエラー内容を確認してください。メッセージに従って対処したあと、再度、バックアップを実行してください。

7. 必要に応じて、バックアップできなかった印刷ジョブがないかを確認します。

   [バックアップできたジョブを削除する]をチェックしている場合

   マネージャコンソールの[ジョブ一覧]ウィンドウで、バックアップできなかった印刷ジョブがないかを確認します。



   [バックアップできたジョブを削除する]をチェックしていない場合

   ログファイルに「バックアップできなかったジョブがありました。(<バックアップファイル名>)」が出力されていないかを確認します。

   バックアップできなかった印刷ジョブがある場合は、再度、バックアップを実行してください。

関連項目

- 4.2.2 モニタサービスを停止する
- 5.2.3 マネージャのマネージャコンソールを起動する
- 5.2.5 マネージャサービスを停止する

6.2.2　印刷ジョブをリストアする

背景

マネージャのリストアの［ジョブのリストア］画面で、バックアップファイルからリストアする印刷ジョブを選択し、リストア先情報を設定して、マネージャに対してリストアを要求します。リストアで指定できるバックアップファイルは、同一マシン内で作成したバックアップファイルだけです。

［ジョブ一覧］ウィンドウに追加した表示項目を［ジョブのリストア］画面に表示する場合は、マネージャの環境設定の［ジョブ一覧ウィンドウ共通設定］画面の［項目追加］タブで［追加項目をリストア機能の［リストアするジョブの選択］一覧に表示する］チェックボックスをチェックしてください。

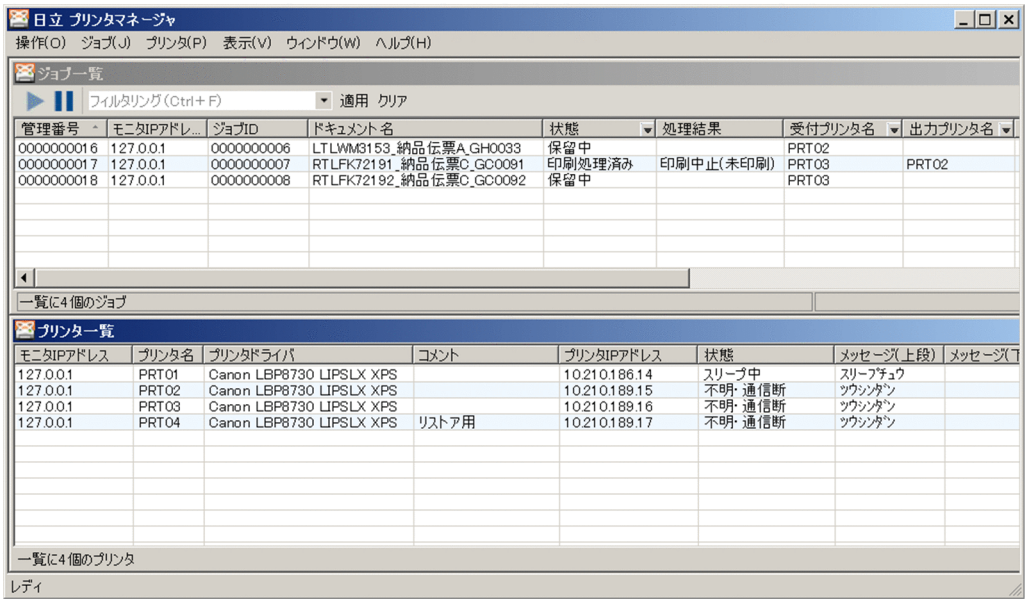
前提条件

- マネージャのユティリティ（バックアップおよびリストア）がすべて停止している
- リストアを実行するユーザが管理者権限を持っている

操作手順

1. リストア先の受付プリンタを変更する場合は、リストア用の受付プリンタを、モニタで出力先プリンタとして作成し、マネージャで管理対象プリンタとして追加します。

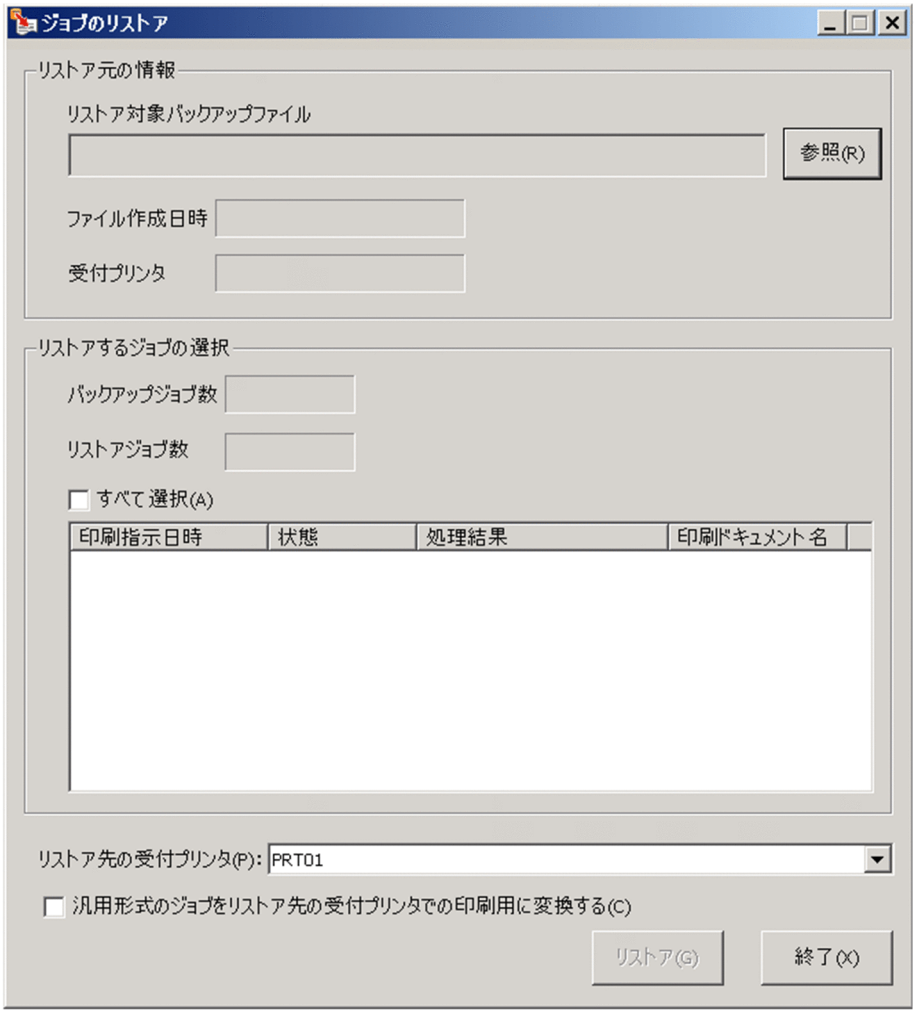
   これ以降の手順では、受付プリンタ「PRT01」の印刷ジョブを、リストア用の受付プリンタ「PRT04」にリストアする場合を例に説明します。



2. Windows のスタートメニューから、［すべてのプログラム］－［日立プリンタマネージャ］－［ユティリティ］－［リストア］を選択します。

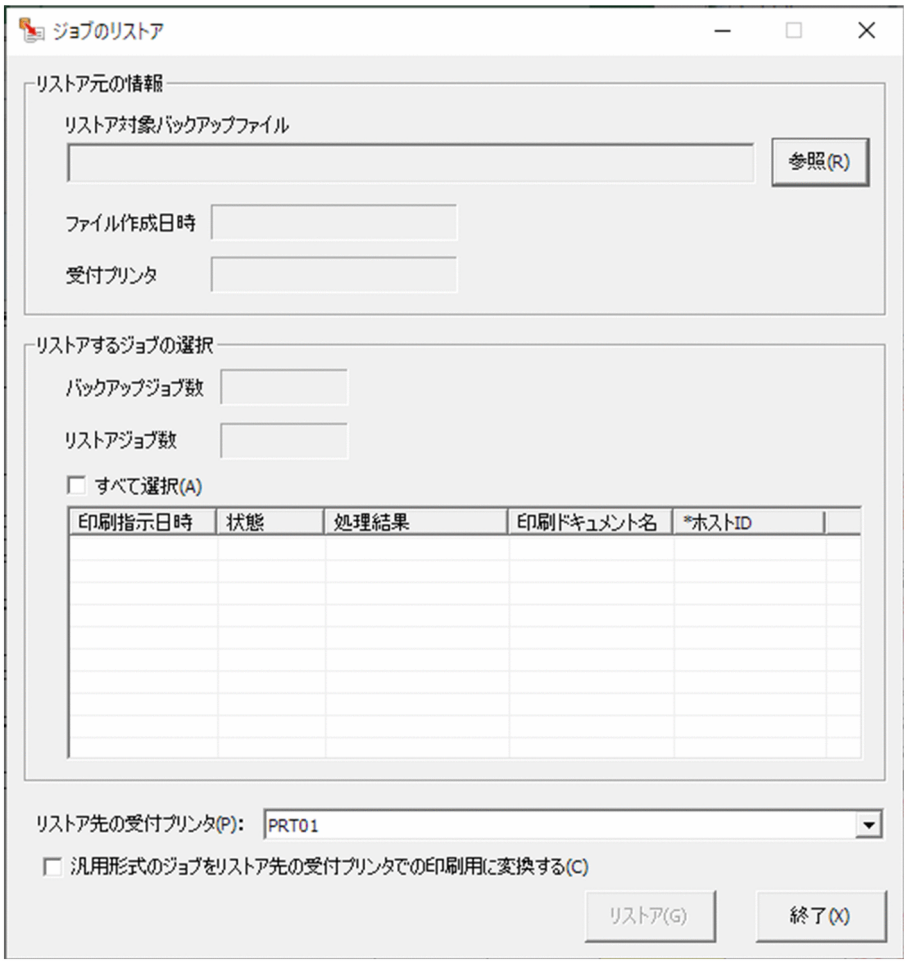
   ［ジョブのリストア］画面が表示されます。

マネージャの環境設定で［ジョブ一覧］ウィンドウの表示項目を追加していない、または追加した表示項目を［リストアするジョブの選択］に表示する設定をしていない場合



マネージャの環境設定で［ジョブ一覧］ウィンドウに追加した表示項目を［リストアするジョブの選択］に表示する設定をしている場合

ここで示す［ジョブのリストア］画面は、マネージャの環境設定で［ジョブ一覧］ウィンドウの追加項目として「ホスト ID」を指定している例です。

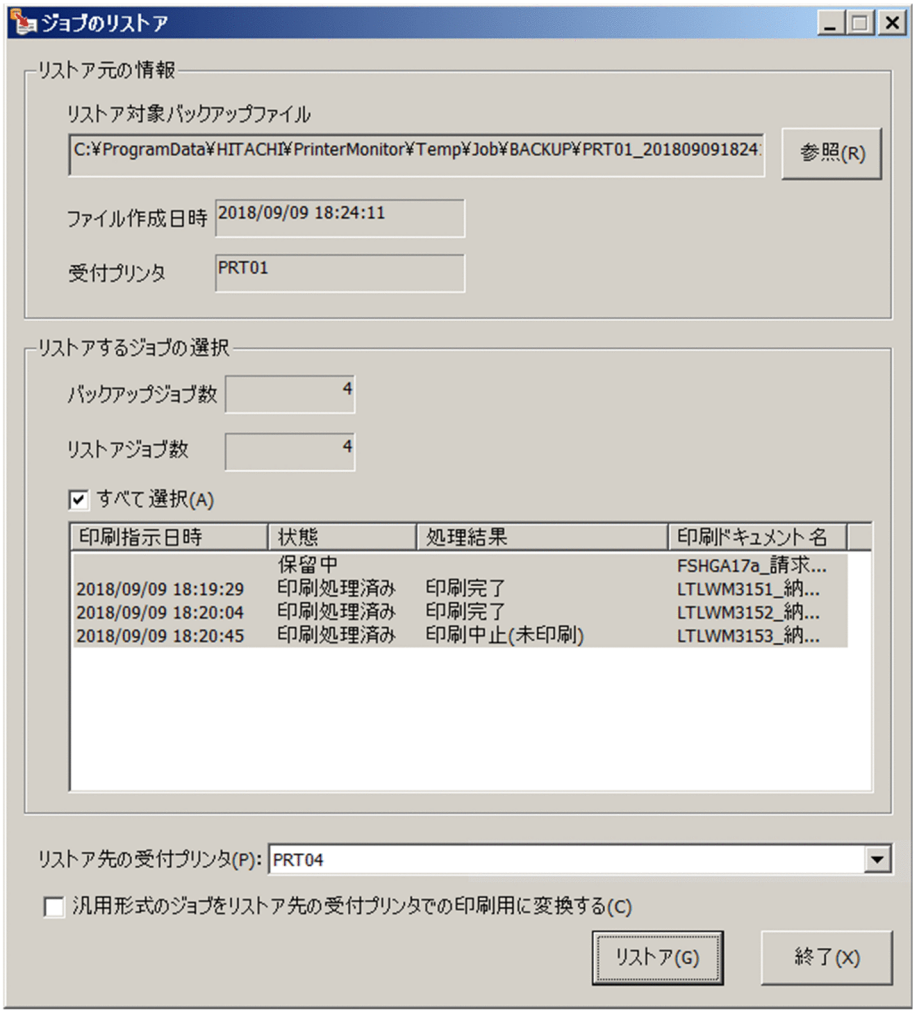


3. リストア対象の印刷ジョブを選択し、リストア先の受付プリンタを設定します。

   画面に次の内容を設定します。

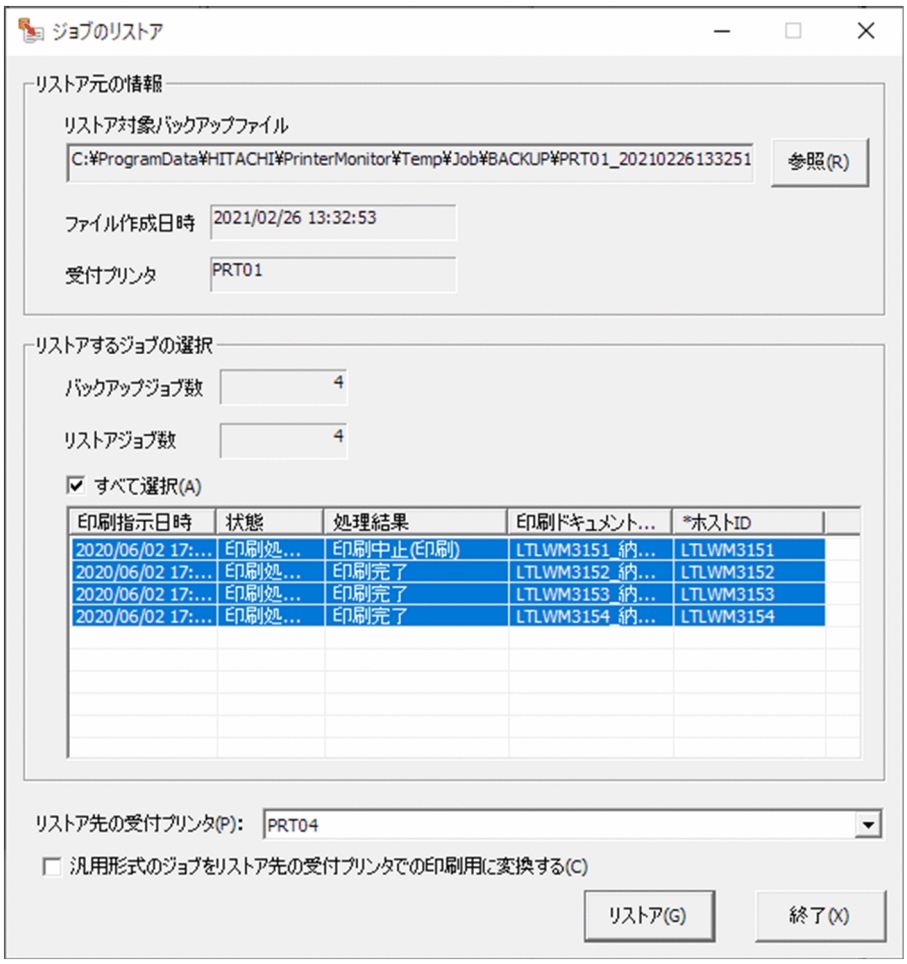
   - リストア対象バックアップファイル：受付プリンタ「PRT01」のリストア対象バックアップファイル
     (C:¥ProgramData¥HITACHI¥PrinterMonitor¥Temp¥Job¥BACKUP¥PRT01_20180909182411.bak)
   - リストア先の受付プリンタ：「PRT04」

マネージャの環境設定で［ジョブ一覧］ウィンドウの表示項目を追加していない、または追加した表示項目を［リストアするジョブの選択］に表示する設定をしていない場合



マネージャの環境設定で［ジョブ一覧］ウィンドウに追加した表示項目を［リストアするジョブの選択］に表示する設定をしている場合

ここで示す［ジョブのリストア］画面は、マネージャの環境設定で［ジョブ一覧］ウィンドウの追加項目として「ホスト ID」を指定している例です。



［ジョブのリストア］画面の設定項目を次に示します。

項目	内容
［リストア対象バックアップファイル］	リストアする印刷ジョブが格納されているバックアップファイルを絶対パスで指定します。リストア対象バックアップファイルは、［参照］ボタンをクリックして［フォルダの選択画面］から選択します。ほかのマシンで作成したバックアップファイルは指定できません。同一マシン内で作成したバックアップファイルを指定してください。
［ファイル作成日時］	選択したリストア対象バックアップファイルの作成日時が表示されます。
［受付プリンタ］	選択したリストア対象バックアップファイルの受付プリンタが表示されます。
［リストアするジョブの選択］	一覧から、リストアする印刷ジョブをクリックして選択します。選択を解除する場合も印刷ジョブをクリックしてください。［Shift］キーや［Ctrl］キーを押したまま操作すると、複数の印刷ジョブを選択したり、選択を解除したりできます。一覧の印刷ジョブすべてをリストアする場合は、［すべて選択］チェックボックスをチェックしてください。なお、［すべて選択］チェックボックスは、一覧の印刷ジョブをすべてクリックして選択した場合も自動的にチェックされます。 一覧には、選択したリストア対象バックアップファイルに格納されている、印刷ジョブの情報（印刷指示日時、状態、処理結果、および印刷ドキュメント名）が表示されます。マネージャの環境設定で［ジョブ一覧］ウィンドウに追加した表示項目を［リストアするジョブの選択］に表示する設定をしている場合は、追加した項目も「*<項目名>」の形式で一覧に表示されます。<項目名>には、［ジョブ一覧ウィンドウ共通設定］画面の［項目追加］タブで指定した名称が表示されます。

項目	内容
	一覧では、項目ごとに昇順または降順を切り替えたり、項目の並び順をドラッグ&ドロップで変更したりできます。 項目の昇順または降順を切り替える場合は、項目のヘッダをクリックします。昇順に切り替えた場合は項目名のあとに △ ボタン、降順に切り替えた場合は項目名のあとに ▽ ボタンが表示されます。 なお、ドラッグ&ドロップで変更した項目の並び順は保存されないため、［ジョブのリストア］画面を再起動するとデフォルトの並び順に戻ります。
［バックアップジョブ数］	選択したリストア対象バックアップファイルに格納されている、印刷ジョブの数が表示されます。
［リストアジョブ数］	［リストアするジョブの選択］の一覧で選択した印刷ジョブの数が表示されます。［リストアするジョブの選択］で［すべて選択］チェックボックスをチェックすると、バックアップジョブ数と同じ値が表示され、チェックを外すと、「0」が表示されます。リストアジョブ数は、［リストアするジョブの選択］の一覧で印刷ジョブを選択すると加算され、選択を解除すると減算されます。
［リストア先の受付プリンタ］	リストア先の受付プリンタをドロップダウンリストから選択します。選択できる受付プリンタは、マネージャの環境設定で登録した管理対象プリンタです。受付プリンタは複数選択できません。
［汎用形式のジョブをリストア先の受付プリンタでの印刷用に変換する］	リストア実行時に、リストア先の受付プリンタに合わせて、印刷ジョブの設定を変換するかどうかを選択します。 リストア対象バックアップファイルの受付プリンタと、リストア先の受付プリンタが異なる場合に、印刷ジョブの設定をリストア先の受付プリンタに合わせて変換するときは、このチェックボックスをチェックしてください。 リストア先の受付プリンタに合わせて、印刷ジョブの設定を変換する対象は、印刷データ形式が汎用形式の印刷ジョブだけです。印刷データ形式が汎用形式以外の印刷ジョブは無視され、変換されません。印刷データ形式に汎用形式や RAW 形式の印刷ジョブが混在していた場合は、汎用形式のジョブだけが変換されます。 このチェックボックスをチェックすると、リストア元と異なる受付プリンタにリストアする場合に、印刷結果が改善されることがありますが、リストア処理に時間が掛かります。

4. ［リストア］ボタンをクリックします。

印刷ジョブのリストアが実行され、指定したバックファイルと同じフォルダに次のファイルが出力されます。

- ログファイル

  リストア処理の結果（ジョブの一覧を含む）が出力されます。ファイル名は、「<指定したバックアップファイル名（拡張子除く）>→<受付プリンタ名>.log」です。

リストア中は、リストア処理の進捗状況を示すメッセージが表示されます。

リストア処理が完了すると、リストア処理の結果（正常終了またはエラー終了）を示すメッセージが出力されます。

重要

［リストア］ボタンをクリックした時に、バックアップ、またはリストアが実行中の場合は、エラーになります。

> **メモ**
>
> 印刷ジョブのリストア処理を実行しないで終了する場合は、[終了] ボタン、または画面の右上の [×] ボタンをクリックしてください。設定した内容を破棄して、リストアを終了します。

5. [OK] ボタンをクリックします。

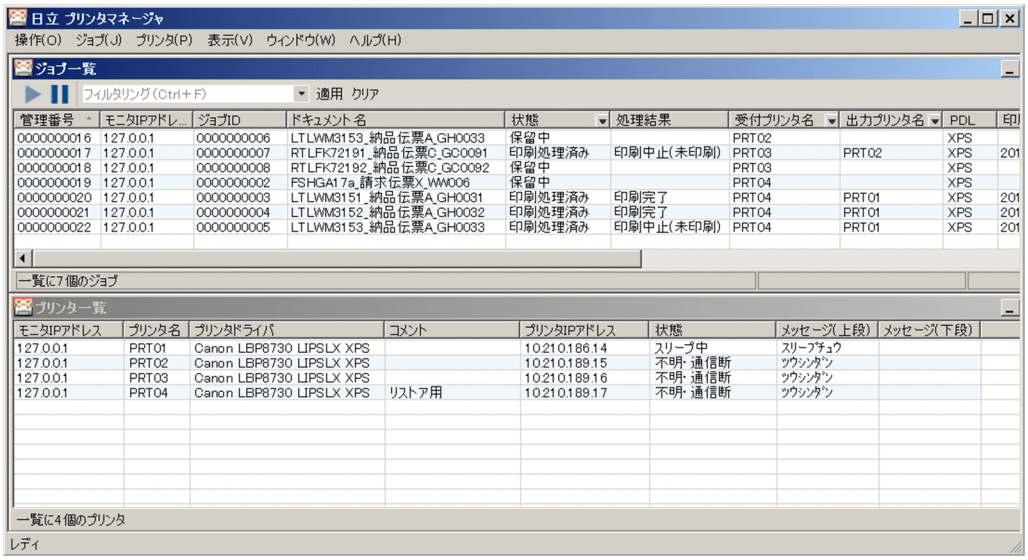
   リストアを終了します。

   エラー終了のメッセージが出力された場合は、メッセージに従って対処したあと、再度、リストアを実行してください。なお、前回リストアされた印刷ジョブは、上書きされません。

6. 必要に応じて、リストア対象バックアップファイルを手動で削除します。

> **重要**
>
> バックアップファイルは、リストアしても自動的に削除されません。削除しない場合はディスク容量を圧迫するおそれがあります。

7. 必要に応じて、マネージャコンソールの [ジョブ一覧] ウィンドウで、リストアした印刷ジョブを確認します。



関連項目

- 3.4.3 出力先プリンタを新規に作成する
- 3.5.3 マネージャの管理対象プリンタを新規に追加する
- 3.5.4 ジョブ一覧ウィンドウに表示項目を追加する
- 5.2.3 マネージャのマネージャコンソールを起動する

6.3 プリンタマネージャのバックアップおよびリストアの注意事項

印刷ジョブのバックアップ時の注意事項

印刷ジョブのバックアップ時に注意することを次に示します。

- バックアップファイルを作成したあと、印刷ジョブの削除に失敗した場合、印刷ジョブはそのままマネージャコンソールに残ります。マネージャコンソールに残った印刷ジョブがある場合は、再度、バックアップを実行してください。
- バックアップ実行中に、タスクマネージャなどでバックアップを強制終了しないでください。強制終了した場合、バックアップファイルは、リストアで使用できない不正なファイルとして残ります。印刷ジョブも削除されません。

  この場合、タスクマネージャでプロセスが残っていないことを確認したあと、再度、バックアップを実行してください。また、不正なファイルは手動で削除してください。

印刷ジョブのリストア時の注意事項

印刷ジョブのリストア時に注意することを次に示します。

- リストア用にほかの受付プリンタを使用する場合、プリンタドライバの違いなどによって、リストア後に正常に印刷されないことがあります。また、リストア元の受付プリンタとプリンタドライバが異なるプリンタを、リストア先の受付プリンタで選択した場合の印刷結果は保証しません。
- 01-70 より前にバックアップした印刷ジョブをリストアした場合、[ジョブ一覧] ウィンドウの次に示す表示項目には、空白が表示されます。
  - 印刷受付日時
  - 印刷回数
  - 部数
  - コンピュータ名
  - ユーザ名

7 他製品とのインタフェース

他製品からプリンタマネージャを使用するために必要な設定について説明します。印刷アプリケーションでは、印刷モードおよび用紙交換通知に関する設定が必要になります。

7.1 XMAP3 からプリンタマネージャを使用するための設定

印刷出力の設定

印刷データを出力する場合、XMAP3 でプリンタ出力時に適用する印刷モードと、プリンタの設定が必要です。

XMAP3 の［表示・印刷セットアップ］ダイアログの［プリンタ］タブで、次に示す印刷モードのどれかを選択し、プリンタにモニタで作成したプリンタを指定します。指定方法については、マニュアル「画面・帳票サポートシステム XMAP3 実行ガイド」、または XMAP3 の帳票管理ソフトウェアとの連携に関するドキュメントを参照してください。

GDI で出力する場合

- GDI：ページプリンタ
- GDI：シリアルインパクトプリンタ

ESC/P で出力する場合

- PDL スルー：ESC/P 準拠シリアルインパクトプリンタ
- PDL スルー：拡張 ESC/P シリアルインパクトプリンタ
- 日立 ESC/P（A）：用紙吸入量 0mm のインサータプリンタ
- 日立 ESC/P（B）：用紙吸入量 9mm のインサータプリンタ

用紙交換通知との連携

モニタの用紙交換通知を使用する場合は、XMAP3 で用紙交換メッセージの設定が必要になります。

XMAP3 の［表示・印刷セットアップ］ダイアログの［プリンタ］タブで［用紙の確認通知］の設定をすることで、印刷ジョブ名は、次のどちらかの名称になり、物理マップ名変更時に［用紙交換通知］画面が表示されます。

- XMAP3△△△FNAM-<物理マップ名>
- <印刷ドキュメント名>△△△FNAM-<物理マップ名>※

（凡例）

△：スペースを示します。

注※

AP から印刷ドキュメント名が指定されている場合の印刷ジョブ名です。

> **メモ**
>
> モニタは、印刷ジョブ名に「FNAM-」キーワードが指定されているときは、「用紙交換が必要である」と判断します。このため業務アプリケーションで異なる帳票（物理マップ名）を出力

する場合に、用紙交換通知画面を表示します。前の印刷ジョブと同じ物理マップ名の場合は、用紙交換通知画面を表示しません。

7.2 PDE からプリンタマネージャを使用するための設定

ESC/P 出力の設定

PDE から ESC/P 形式の帳票データを直接出力するためには、次の製品が必要です。PDE のタイプごとに必要な製品が異なります。

分散タイプ

PRINT DATA EXCHANGE - Line Printer Edition

インストール方法については、マニュアル「PRINT DATA EXCHANGE」を参照してください。

オープンタイプ

PRINT DATA EXCHANGE - Line Printer Option

インストール方法については、マニュアル「PRINT DATA EXCHANGE for Open」を参照してください。

また、PDE - LP Edition、および PDE - LP Option の環境設定ユティリティで、モニタが作成したプリンタを指定します。

用紙交換通知との連携

モニタの用紙交換通知を使用する場合は、用紙交換メッセージの設定が必要になります。PDE のタイプごとに必要な設定が異なります。

分散タイプ

帳票作成時に「用紙形式コード」を指定します。

オープンタイプ

次のどちらかで指定します。

- バッチジョブ実行システム（BJEX）環境の場合は、SYSOUT 属性に「用紙形式コード」を指定します。
- PRINT DATA EXCHANGE for Open に渡すファイル名（ジョブ属性）に「用紙形式コード」を指定します。指定方法については、マニュアル「PRINT DATA EXCHANGE for Open」を参照してください。

7.3　EUR からプリンタマネージャを使用するための設定

ESC/P 出力の設定

EUR では、モニタが作成したプリンタ（ESC/P 対応プリンタ用ドライバ）に対して帳票印刷します。

用紙交換通知との連携

モニタの用紙交換通知を使用する場合は、EUR で用紙交換メッセージの設定が必要になります。

EUR Client から印刷する場合

EUR のオプション記述ファイルの ReportTitle キーワードに、出力先で表示する帳票名を指定できます。帳票名は、次の形式で指定します。帳票名の指定方法については、マニュアル「EUR 帳票出力 EUR Designer/EUR Viewer 編」を参照してください。

```
ReportTitle="<ドキュメント名(任意)>△△△FNAM-<用紙交換メッセージ>"
```

（凡例）

△：スペースを示します。

EUR Server から印刷する場合

帳票をプリンタに出力する場合に、属性情報として「出力先に表示する帳票名」を指定できます。この「出力先に表示する帳票名」は、次の形式で指定します。

```
<ドキュメント名(任意)>△△△FNAM-<用紙交換メッセージ>
```

（凡例）

△：スペースを示します。

属性情報の指定方法については、マニュアル「EUR 帳票出力 機能解説 EUR Server 編」を参照してください。

7.4 CommuniNet からプリンタマネージャを使用するための設定

プリンタの定義

CommuniNet では、出力する印刷データの対象デバイスが「5344（ESC/P)」の場合、次に示すプリンタドライバのどれかを使用しているプリンタの設定が必要です。モニタでは、環境設定でプリンタを定義するときにドライバ名で指定します。

- 「EPSON VP-1000」
- 「EPSON VP-1100」
- 「EPSON VP Series 1 (136)」

CommunINet の「環境設定ユティリティ」の「プリンタ情報」ダイアログの［プリンタ］タブで、プリンタを設定するときにモニタで作成したプリンタを指定します。

プリンタの指定方法については、マニュアル「CommuniNet Version 4」を参照してください。

> **メモ**
>
> 対象デバイス「5344（ESC/P)」以外のデバイスを利用する場合は、プリンタドライバの指定に条件はありません。

用紙交換通知との連携

モニタの用紙交換通知を使用する場合は、CommuniNet で必要な設定はありません。 上位のメインフレーム側の AP から印刷データを出力することで、用紙交換指定がされている印刷ジョブの場合は、モニタ側で用紙交換通知画面を表示します。

8 トラブルシュート

製品が出力するログや、情報採取ツールを利用した資料の取得方法について説明します。

8.1 プリンタマネージャが出力するログの取得

8.1.1 システム稼働ログの取得

システム稼働ログの出力先と出力方法

項目	内容
出力フォルダ	製品の環境設定で指定するログフォルダ
ファイル形式	CSV 形式
文字コード	シフト JIS（Shift_JIS）
改行形式	CR+LF
ファイル名	• モニタおよびモニタ Client の場合 SystemLog_<世代番号>.csv • マネージャの場合 SystemMgrLog_<世代番号>.csv • マネージャ Client の場合 SystemMgrClLog_<世代番号>.csv <世代番号>：3 桁の数値。初期値は「001」とし、1 ずつインクリメントします。インクリメントした値が世代管理数を超える場合は「001」に戻ります。 （例） SystemLog_010.csv
設定項目	製品の環境設定で、次の項目が設定できます。 • ログ出力レベル：ログを出力するレベルを「情報」、「警告」または「エラー」で指定します。 • 最大サイズ：1 ファイルの最大サイズを 1～100 MB で指定します。初期値は 1MB です。 • 世代管理数：ログファイルを世代管理する数を 3～10 で指定します。初期値は 3 です。 ログ設定ファイルはモニタサービスの起動時に読み込み、サービスの稼働中に設定ファイルが編集された場合でも、次回起動時に設定を動作に反映します。
世代管理方式	ログファイルの世代管理方式を次に示します。 • プリンタマネージャの稼働中にファイルサイズが「最大サイズ」を超えた場合、世代番号をインクリメントしたファイルに続きを出力します。インクリメントした値が世代管理数を超える場合は「001」に戻ります。 • インクリメント後のファイル名と同名のファイルが存在する場合は上書きします。

システム稼働ログの出力項目

項目	内容	出力形式
バージョン	モニタのバージョン情報	xxyy、または xxyyzz （例）0100、または 0100/A
ログ出力年月日	ログの事象が発生した日付	yyyy/MM/dd （例）2010/04/22

項目	内容	出力形式
ログ出力時刻	ログの事象が発生した時刻	HH:mm:ss （例）13:10:05
ログ出力ミリ秒	ログの事象が発生した時刻のミリ秒	SSS （例）045
メッセージ ID	ログメッセージの ID	KBPMxxxx-y xxxx は 4 桁の数字 y はログレベル （I（INFO）、W（WARN）、E（ERROR）） （例）KBPM0001-I
ログメッセージ	ログの内容、および意味を表す文字列	文字列

8.1.2 印刷ログの取得

印刷ログの出力先と出力方法

項目	内容
出力フォルダ	製品の環境設定で指定するログフォルダ
ファイル形式	CSV 形式
文字コード	Shift-JIS
改行形式	CR+LF
ファイル名	• モニタの場合 PrintJobLog_<世代番号>.csv • マネージャの場合 PrintJobMgrLog_<世代番号>.csv <世代番号>：3 桁の数値。初期値は「001」とし、1 ずつインクリメントします。インクリメントした値が世代管理数を超える場合は「001」に戻ります。 （例）PrintJobLog_010.csv
設定項目	製品の環境設定で、次の項目が設定できます。 • ログ出力レベル：ログを出力するレベルを「情報」、「警告」または「エラー」で指定します。 • 最大サイズ：1 ファイルの最大サイズを 1～100 MB で指定します。初期値は 1MB です。 • 世代管理数：ログファイルを世代管理する数を 3～10 で指定します。初期値は 3 です。 ログ設定ファイルは、モニタサービス、またはマネージャサービスの起動時にそれぞれ読み込まれ、サービスの稼働中にログ設定ファイルが編集された場合でも、次回起動時に設定を動作に反映します。
世代管理方式	ログファイルの世代管理方式を次に示します。

項目	内容
	• モニタ、またはマネージャの稼働中にファイルサイズが「最大サイズ」を超えた場合、世代番号をインクリメントしたファイルに続きを出力します。インクリメントした値が世代管理数を超える場合は「001」に戻ります。 • インクリメント後のファイル名と同名のファイルが存在する場合は上書きします。

印刷ログの出力項目

製品ごとに印刷ログの出力項目を次の表に示します。

項目	内容	出力形式	出力有無	
			モニタ	マネージャ
ログ出力年月日	事象が発生した日付	yyyy/MM/dd （例）2010/04/22	○	○
ログ出力時刻	事象が発生した時刻	HH:mm:ss （例）03:10:45	○	○
ログ出力ミリ秒	事象が発生した時刻のミリ秒	SSS （例）045	○	○
ログレベル	重要度を表す文字列	出力される文字列と、文字列の意味は次のとおりです。 • ERROR 異常結果（プリンタエラー）を表します。 • WARN 正常処理結果（印刷の中止、およびジョブの削除）を表します。 • INFO 正常処理結果（上記以外）を表します。	○	○
モニタ IP アドレス	対象モニタの IP アドレス	IPv4 形式	×	○
管理番号	マネージャサービスで採番する番号	10 桁の数値 なお、不足している桁は前から 0 で埋められます。	×	○
状態	現在の状態	出力される文字列と、文字列が出力される条件は次のとおりです。 • ジョブ登録中 管理フォルダへ投入されたジョブをマネージャが受け付けたときに出力されます。 • 保留中 プリンタへの印刷を保留したときに出力されます。 • 印刷要求開始待ち 出力指示の操作をして、印刷要求処理の開始を待機している時に出力されます。	○	○

項目	内容	出力形式	出力有無	
			モニタ	マネージャ
		• 印刷要求中 モニタへ印刷要求を送信しているときに出力されます。 • 印刷データ受付 ジョブ管理が印刷データを受け付けたときに出力されます。 • 印刷データ作成中※1 印刷データの作成を開始したときに出力されます。 • 印刷データ送信待ち※1 印刷データの作成が終了したときに出力されます。 • 用紙交換待ち 用紙交換条件を満たしたときに出力されます。 • 印刷データ送信開始※1※2 印刷データをプリンタへ送信し始めたときに出力されます。 • 印刷待ち※1※2 印刷データの送信が終了して、印刷の開始を待機しているときに出力されます。 • 印刷中※1※2※3 ジョブの状態が印刷中になったときに一度だけ出力されます。 • 印刷処理済み※1 印刷処理が完了したときに出力されます。 • 印刷完了※1 印刷が完了したときに出力されます。 • 障害通知※3 障害が発生したときに出力されます。 • 印刷エラー※1※3 印刷中にエラーが発生したときに出力されます。 • 印刷中止中※3※4 印刷中止の操作が完了したときに出力されます。 • 削除処理中 マネージャのジョブ保存先フォルダからのジョブの削除を開始したときに出力されます。 • 削除済 ジョブの削除が完了したときに出力されます。		
印刷種別	印刷データタイプ	「テスト印刷」または「通常印刷」	○	○
処理結果	印刷処理結果	出力される文字列と、文字列が出力される条件、出力された場合の対処は次のとおりです。 • 受付エラー	○	○

項目	内容	出力形式	出力有無	
			モニタ	マネージャ
		出力条件：次の場合に出力されます。 ・印刷データを受け付けたあとの処理でエラーが発生した 対処：再度、印刷ジョブに対して出力指示をしてください。 • 印刷中止（未印刷） 出力条件：次の場合に出力されます。 ・プリンタで印刷をする前に印刷中止の操作をした ・プリンタ印刷前の出力処理中にエラーが発生した ・モニタサービスまたはマネージャサービスを終了した ・モニタサービスでエラーが発生した 対処：モニタサービスまたはマネージャサービスが起動しているか確認してください。 • 印刷中止（印刷） 出力条件：次の場合に出力されます。 ・プリンタで印刷しているときに印刷中止の操作をした ・ジョブの状態が印刷中、回復待ち、または転写完了状態のときにモニタサービスまたはマネージャサービスを終了した 対処：モニタサービスまたはマネージャサービスが起動しているか確認してください。 • 異常終了（通信断） 出力条件：モニタとプリンタの間のネットワークが切断されて、通信をリトライしたあともネットワークが回復していなかった場合に出力されます。 対処：ネットワークが正しく接続されているか確認してください。 • 異常終了（内部処理エラー） 出力条件：内部処理でのエラー（ディスク容量不足、ファイルアクセスエラーなど）が発生した場合に出力されます。 対処：ディスク容量に十分な空き容量があるかどうか確認してください。また、ほかのアプリケーションが起動している場合は、起動しているアプリケーションを終了してください。 • 印刷完了 出力条件：プリンタへの印刷処理が正常に完了した場合に出力されます。		

項目	内容	出力形式	出力有無	
			モニタ	マネージャ
		対処：なし。		
ジョブ ID	モニタの場合 マネージャ機能を使用するときはマネージャサービスで採番する番号、マネージャ機能を使用しないときは Windows スプーラが割り当てるジョブ ID マネージャの場合 Windows スプーラが割り当てるジョブ ID	文字列	○	○
ドキュメント名	ジョブに付けられたドキュメント名	文字列	○	○
受付プリンタ	印刷データを受け付けたプリンタ	文字列※5	○	○
出力先プリンタ	印刷データを印刷する実プリンタの IP アドレス、または IP アドレスと出力先プリンタ名	• モニタの場合※5 実プリンタ 1 台に対して出力先プリンタを 1 つ設定しているとき：<xxx.xxx.xxx.xxx>※5 実プリンタ 1 台に対して出力先プリンタを複数設定しているとき：<xxx.xxx.xxx.xxx>(<出力先プリンタ名>) • マネージャの場合※5 <xxx.xxx.xxx.xxx>(<出力先プリンタ名>)	○	○
PDL	PDL 種別	• ESC/P の場合：ESC/P • XPS の場合：XPS • 上記以外の場合：-	○	○
受付日時	ジョブがモニタに登録された日時	yyyy/MM/dd HH:mm:ss.SSS （例）2015/03/03 18:05:20.033	○	○
印刷開始日時	印刷を開始した日時（プリンタが印刷開始したことをモニタが認識した日時）	yyyy/MM/dd HH:mm:ss.SSS （例）2015/03/03 08:25:20.033	○	○
印刷終了日時	印刷が終了した日時（プリンタが印刷終了したことをモニタが認識した日時） なお、印刷しないで異常終了した場合も、印刷終了時間が出力されます。	yyyy/MM/dd HH:mm:ss.SSS （例）2015/03/03 18:25:20.333	○	○
総ページ数	総ページ数 • ページ数が特定できる場合は解析したページ数	数値	○	○

項目	内容	出力形式	出力有無	
			モニタ	マネージャ
	• ページ数が特定できない場合はWindows スプールから取得したページ数			
印刷開始ページ数	印刷を開始したページ数	ジョブの印刷開始ページ数の数値 ページ数が特定できない場合は-	○	○
印刷要求ページ数	印刷を要求したページ数 • ページ同期の場合は 1 • ジョブ同期の場合 ページが特定できるときは印刷要求ページ数 ページが特定できないときはWindows スプールから取得したページ数	数値	○	○
ファイルサイズ	印刷データのファイルサイズ	数値	○	○
印刷部数	印刷した部数	数値	○	○
印刷ページ数	印刷したページ数	数値※6	○	○
コンピュータ名	印刷ジョブ作成時に、OS によって設定されたマシン名 01-70 より前に作成された印刷ジョブの場合は、モニタサービスが起動しているマシンのホスト名	文字列	○	○
ユーザ名	印刷ジョブ作成時に、OS によって設定されたユーザ名 01-70 より前に作成された印刷ジョブの場合は、モニタサービスが起動しているマシンのユーザ名	文字列	○	○
用紙交換メッセージ	用紙交換メッセージ	文字列	○	○
用紙サイズ	用紙サイズ	文字列 XPS 形式以外、解析で取得できない場合は-が出力されます。	○	○
*追加項目 1	印刷ドキュメント名を区切り文字（_）で区切ったときの前から 1 番目の項目情報	文字列	×	○※7
*追加項目 2	印刷ドキュメント名を区切り文字（_）で区切ったときの前から 2 番目の項目情報	文字列	×	○※7

項目	内容	出力形式	出力有無	
			モニタ	マネージャ
*追加項目３	印刷ドキュメント名を区切り文字（_）で区切ったときの前から３番目の項目情報	文字列	×	○※7
*追加項目４	印刷ドキュメント名を区切り文字（_）で区切ったときの前から４番目の項目情報	文字列	×	○※7
*追加項目５	印刷ドキュメント名を区切り文字（_）で区切ったときの前から５番目の項目情報	文字列	×	○※7

（凡例）

○：出力します。

×：出力しません。

注※1

ページ単位でプリンタ監視をしている場合はページ単位に出力されます。

注※2

プリンタ監視のタイミングで出力されます。次の状態へ遷移中など、タイミングによっては出力されない場合もあります。

注※3

プリンタ監視をしていない場合は出力されません。

注※4

印刷処理開始後に印刷を中止した場合は、処理結果が「-」の印刷ログと、印刷中止処理の結果を示す印刷ログが出力されることがあります。

注※5

マネージャ機能を使用して、かつ出力先プリンタを複数設定している場合、障害回復時のタイミングによって、「-」が出力されることがあります。

注※6

監視方式が「インパクトプリンタ（モデル 1)」の場合、状態が「障害通知」でページ数が特定できるときは印刷済みのページ数が出力され、特定できないときは「0」が出力されます。

注※7

マネージャの環境設定の［ジョブ一覧ウィンドウ共通設定］画面の［項目追加］タブで、［ジョブ一覧］ウィンドウに追加する項目を登録している場合に出力されます。［項目追加］タブで項目名を登録していない場合、印刷ログの出力項目の列名には「*指定なし」、項目情報には「-」が出力されます。

（例）［項目追加］タブで 1 番目（ホスト ID）と 3 番目（ジョブ通し番号）の項目を追加している場合

ログ出力年月日,…,用紙サイズ,*追加項目 1,*指定なし,*追加項目 3,*指定なし,*指定なし

2021/04/03,…,-,"LTLWM3151",-,"JOB0001",-,-

8.1.3 トレースログの取得

トレースログの出力先と出力方法

トレースログは、プリンタマネージャで発生したプログラム障害を調査するために使用する、各製品の起動から終了までの動作状況を出力するログファイルです。製品で障害が発生した場合に取得してください。

項目	内容
出力フォルダ	• モニタの場合 %ALLUSERSPROFILE%¥HITACHI¥PrinterMonitor¥Log • マネージャの場合 %ALLUSERSPROFILE%¥HITACHI¥PrinterManager¥Log %AppData%¥HITACHI¥PrinterManager¥Log • モニタ Client の場合 %AppData%¥HITACHI¥PrinterMonitorCL¥Log • マネージャ Client の場合 %AppData%¥HITACHI¥PrinterManagerCL¥Log
ファイル形式	CSV 形式
文字コード	Shift-JIS
改行形式	CR+LF
ファイル名	次のどちらかの名称で出力されます。 • <モジュール名>_TraceLog_<プリンタ IP アドレス>_<世代番号>.csv • <モジュール名>_TraceLog_<世代番号>.csv <プリンタ IP アドレス>：モニタの環境設定で指定したプリンタの IP アドレスを 16 進数に変換した数値。プリンタ監視のモジュールの場合、ファイル名に付加されます。 <世代番号>：3 桁の数値。初期値は「001」とし、1 ずつインクリメントします。インクリメントした値が世代管理数を超える場合は「001」に戻ります。 （例 1）プリンタ監視のモジュールの場合 プリンタ IP アドレスが「10.20.30.40」（16 進数では「0A141E28」）、世代番号が「001」の例を次に示します。 PrMonWatch_TraceLog_0A141E28_001.csv （例 2）プリンタ監視のモジュール以外の場合 PrMgrSvr_TraceLog_008.csv
最大サイズ	ファイルの最大サイズは、10MB となります。
世代管理方式	ログファイルの世代管理方式を次に示します。

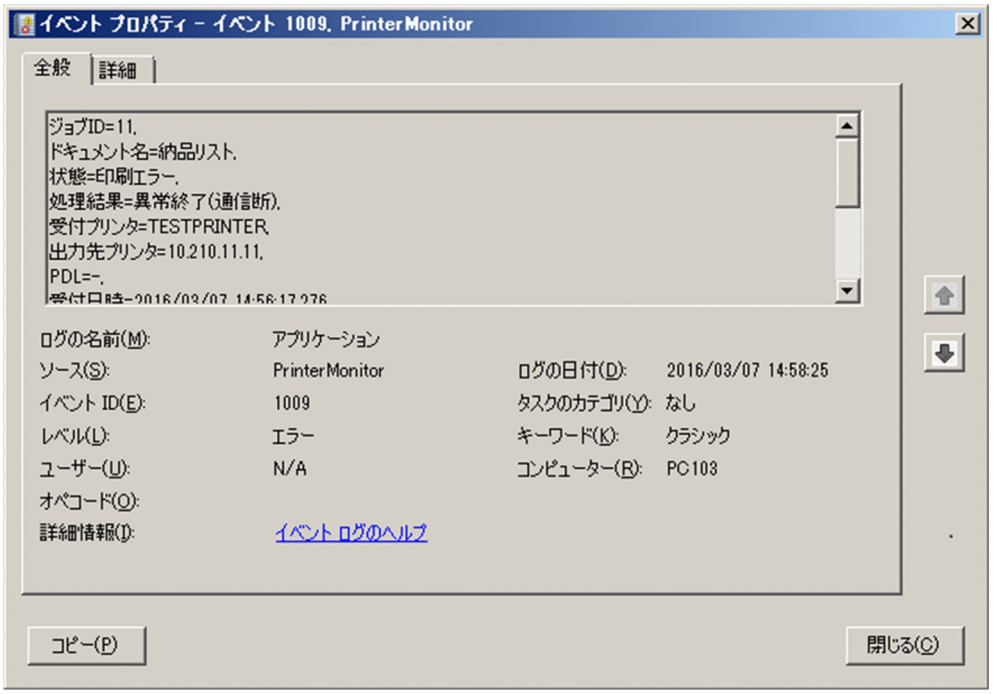
項目	内容
	• プリンタマネージャの稼働中にファイルサイズが「最大サイズ」を超えた場合、世代番号をインクリメントしたファイルに続きを出力します。インクリメントした値が世代管理数を超える場合は「001」に戻ります。 • インクリメント後のファイル名と同名のファイルが存在する場合は上書きします。 • 1 ファイルの世代管理数は、最大 10 となります。

8.1.4　イベントログに出力されるログレベルと対処

イベントログの出力先、出力方法などは、Windows イベントログの形式に準拠します。

Windows ログの出力例

Windows ログの出力例を次に示します。



Windows ログの出力内容

Windows ログに出力される内容を次の表に示します。

項目内容	出力内容
メッセージ領域	文字列を出力します。詳細は、「表 8-1　メッセージ領域の出力内容」を参照してください。
ログの名前	アプリケーション（固定）
ソース	次のどれかを出力します。 • モニタの場合：PrinterMonitor（固定）

項目内容	出力内容
	• モニタ Client の場合：PrinterMonitorCL（固定） • マネージャの場合：PrinterManager（固定） • マネージャ Client の場合：PrinterManagerCL（固定）
イベント ID	イベント ID は「1」以上の整数で、出力するログの内容によって異なります。 詳細については、次の表を参照してください。
レベル	次のどれかを出力します。 • 情報メッセージの場合：情報 • 警告メッセージの場合：警告 • エラーメッセージの場合：エラー
ログの日付	イベントログを出力した日時（yyyy/MM/dd HH:mm:ss）を出力します。 （yyyy：西暦、MM：月、dd：日、HH：時、mm：分、ss：秒）

Windows ログのメッセージ領域に出力される内容を次の表に示します。

表 8-1　メッセージ領域の出力内容

出力内容	説明
ジョブ ID=<ジョブ ID>	Windows スプーラが割り当てたジョブ ID を出力します。
ドキュメント名=<ドキュメント名>	印刷ジョブにつけられた名称（印刷ジョブ名）を出力します。
状態=<状態の内容>	次のどれかを出力します。 • 印刷完了 • 印刷エラー • 印刷中止中 • 障害回復
処理結果=<処理結果の内容>	次のどれかを出力します。 • 印刷中止（未印刷） • 印刷中止（印刷） • 異常終了（通信断） • 異常終了（内部処理エラー） • 印刷完了
受付プリンタ=<受付プリンタの内容>	印刷データを受け付けたプリンタ名を出力します。
出力先プリンタ=<出力先プリンタの内容>	印刷データの印刷を実行するプリンタの IP アドレスを出力します。
PDL=<PDL の内容>	次のどれかを出力します。 • ECS/P の場合：ESC/P • XPS の場合：XPS • 上記以外の場合： -
受付日時=<受付日時の内容>	ジョブがモニタに登録された日時（yyyy/MM/dd HH:mm:ss mmm.fff）を出力します。

出力内容	説明
	(yyyy：西暦、MM：月、dd：日、HH：時、mm：分、ss：秒、fff：ミリ秒)
印刷開始日時=<印刷開始日時の内容>	印刷を開始した日時（yyyy/MM/dd HH:mm:ss mmm.fff）を出力します。 (yyyy：西暦、MM：月、dd：日、HH：時、mm：分、ss：秒、fff：ミリ秒)
印刷終了日時=<印刷終了日時の内容>	印刷を終了した日時（yyyy/MM/dd HH:mm:ss mmm.fff）を出力します。 (yyyy：西暦、MM：月、dd：日、HH：時、mm：分、ss：秒、fff：ミリ秒)
総ページ数=<総ページ数の内容>	次のどちらかを出力します。 • ページ数が特定できる場合：解析ページ数 • ページ数が特定できない場合：Windows スプールからの取得ページ数
ファイルサイズ=<ファイルサイズの内容>	印刷データのファイルサイズを出力します。 (単位：バイト)
用紙交換メッセージ=<用紙交換メッセージの内容>	「ドキュメント名△△△FNAM-用紙交換メッセージ」のメッセージ部分を出力します。
用紙サイズ=<用紙サイズの内容>	印刷データの用紙サイズを出力します。XPS 形式以外、解析で取得できない場合は「-」が出力されます。

製品ごとに出力されるイベントログと、その対処方法を次の表に示します。

表 8-2　イベントログの出力内容と対処方法

イベント ID	レベル	ログ	説明と対処	出力有無			
				モニタ	モニタ Client	マネージャ	マネージャ Client
1	情報	<サービス名※1>を開始しました。	説明：サービスの起動を確認しました。 対処：なし。	○	×	○	×
2	情報	<サービス名※1>を停止しました。	説明：サービスの終了を確認しました。 対処：なし。	○	×	○	×
5	エラー	サービス起動に失敗しました。(サービス制御マネージャに接続できませんでした。)	説明：サービス起動に失敗しました。 対処：システム管理者、またはサポートサービスへ問い合わせてください。	○	○	×	○
5	エラー	サービス制御マネージャに接続できませんでした。	説明：サービス制御マネージャに接続できませんでした。 対処：システム管理者、またはサポートサービスへ問い合わせてください。	×	×	○	×

イベントID	レベル	ログ	説明と対処	出力有無			
				モニタ	モニタClient	マネージャ	マネージャClient
5	エラー	サービス起動に失敗しました。(メモリが確保できませんでした。)	説明：サービス起動時、製品が動作するためのメモリが確保できませんでした。 対処：ほかのアプリケーションが起動している場合は、起動しているアプリケーションを終了して、メモリを確保してください。	○	○	○	○
5	エラー	サービス起動に失敗しました。(出力先プリンタが登録されていません。)	説明：出力先プリンタが定義されていません。 対処：モニタの環境設定で出力先プリンタを定義してからサービスを起動してください。	○	×	×	×
5	エラー	サービス起動に失敗しました。(PrintSpooler が起動していません。)	説明：PrintSpooler サービスが起動していないため、サービスの起動ができません。 対処：Print Spooler サービスを起動後、モニタのサービスを起動してください。	○	×	×	×
5	エラー	サービス起動に失敗しました。(<起動したモジュールのフルパス><サービスのプロセスID>)	説明：サービス起動時に予期しないエラーが発生しました。 対処：サービスを停止・終了してから、再起動してください。 解決しない場合、システム管理者、またはサポートサービスへ問い合わせてください。	○	×	○	×
5	エラー	内部エラーが発生しました。(<エラーコード※2>)	説明：処理中に予期しないエラーが発生しました。 対処： エラーコードが 5 または 32 の場合 使用するログのフォルダやファイル（例えば、ログ出力フォルダやログファイル）が書き込みできなくなっていないか、編集中になっていないか確認してください。確認後、サービスを再起動して、操作し直してください。 エラーコードが 5 および 32 以外、または解決しない場合	○	○	○	○

イベントID	レベル	ログ	説明と対処	出力有無			
				モニタ	モニタClient	マネージャ	マネージャClient
			システム管理者、またはサポートサービスへ問い合わせてください。				
7	エラー	詳細コード：<詳細コード> エラー内容：<内部処理エラー>（<行番号>）	説明：エラーの詳細内容を提示します。 対処：操作を中止し、該当製品とサービスを停止・終了したあと、再度サービスを起動してください。 解決しない場合は、システム管理者、またはサポートサービスへ問い合わせてください。	○	○	○	○
8	エラー	<サービス名※1>がエラーにより停止しました。	説明：エラーが発生したため、サービスを停止しました。 対処：システム管理者、またはサポートサービスへ問い合わせてください。	○	×	○	×
1007	情報	ジョブID=<ジョブID>,ドキュメント名=<ドキュメント名>,状態=印刷完了,…※3	説明：該当印刷ジョブが印刷完了となりました。 対処：なし。	○	×	×	×
1009	エラー	ジョブID=<ジョブID>,ドキュメント名=<ドキュメント名>,状態=印刷エラー,…※3	説明：該当印刷ジョブが印刷エラーとなりました。 対処：障害通知画面に応答してください。	○	×	×	×
1011	情報	ジョブID=<ジョブID>,ドキュメント名=<ドキュメント名>,状態=印刷中止中,…※3	説明：該当印刷ジョブが印刷中止中となりました。 対処：該当ジョブの印刷を中止しています。印刷物を出力する場合は、印刷し直してください。	○	×	×	×
1020	エラー	<プリンタ名>が存在しません。	説明：プリンタが存在しないため、サービスを起動できません。 対処：モニタの環境設定で該当するプリンタを削除してから、サービスを再起動してください。	○	×	×	×
1020	エラー	マネージャ機能設定がOFFのため，PrinterManagerサービスが起動できません。	説明：モニタの環境設定で[マネージャ機能を使用する]がチェックされていないため、	○	×	×	×

イベントID	レベル	ログ	説明と対処	出力有無			
				モニタ	モニタClient	マネージャ	マネージャClient
			PrinterManagerサービスを起動できません。 対処：モニタの環境設定でマネージャ設定が正しいか確認してから、サービスを再起動してください。 解決しない場合は、システム管理者、またはサポートサービスへ問い合わせてください。				
1021	情報	ジョブID=<ジョブID>,ドキュメント名=<ドキュメント名>,状態=障害回復,…※3	説明：プリンタの障害が回復しました。 対処：対象のジョブIDの状態が「印刷完了」となったあと、出力した印刷物を確認して、再度印刷する必要があるか確認をしてください。	○	×	×	×

（凡例）

○：出力します。

×：出力しません。

注※1

モニタの場合は「PrinterMonitorサービス」、マネージャの場合は「PrinterManagerサービス」が出力されます。

注※2

Win32APIを実行することで発生するGetLastError()で取得できるエラーコードです。

注※3

各項目の内容については、「表 8-1　メッセージ領域の出力内容」を参照してください。

8.2　情報採取ツールを利用した資料の取得

プリンタマネージャでは、運用中にトラブルが発生した場合、製品が出力するメッセージに従って対処します。しかし、発生したトラブルによっては、システム管理者やサポートサービスによる、システムや製品の関連情報を使用したエラー発生原因の調査が必要になることがあります。情報採取ツールは、トラブルシューティングに必要なシステムや製品の関連情報を収集できるツールです。

情報採取ツールで取得できる資料

情報採取ツールでは、次の 2 種類の資料を取得できます。どの資料を取得するかは、ツール実行時に選択できます。

- システム関連情報

  Windows OS の種類やバージョン、イベントログ、システムで使用中のネットワークなどの情報です。
- 製品ごとの関連情報

  製品のレジストリやデータフォルダの情報、ログファイル、ジョブ保存先フォルダ内の印刷ジョブの情報、製品のデータフォルダやログの出力フォルダのファイル一覧です。製品によって収集される内容が異なります。

> **メモ**
>
> どの製品の関連情報を取得するかは、製品のイベントログ、システム稼働ログやメッセージの内容によって決めてください。また、ログの対処やメッセージのユーザの処理に、システム管理者またはサポートサービスへの問い合わせ指示がある場合は、情報採取ツールで情報を採取してから問い合わせてください。

情報採取ツールを利用した資料の取得方法

情報採取ツールを利用して資料を取得する手順を次に示します。

1. 情報採取ツール（PrGetInfo.exe）を起動します。

   情報採取ツールは、Windows のビルトイン Administrator アカウント、管理者アカウント、および標準ユーザーアカウントで起動できます。

   エクスプローラを使用して、製品のインストールフォルダ下の Tools フォルダにある「PrGetInfo.exe」をダブルクリックしてください。

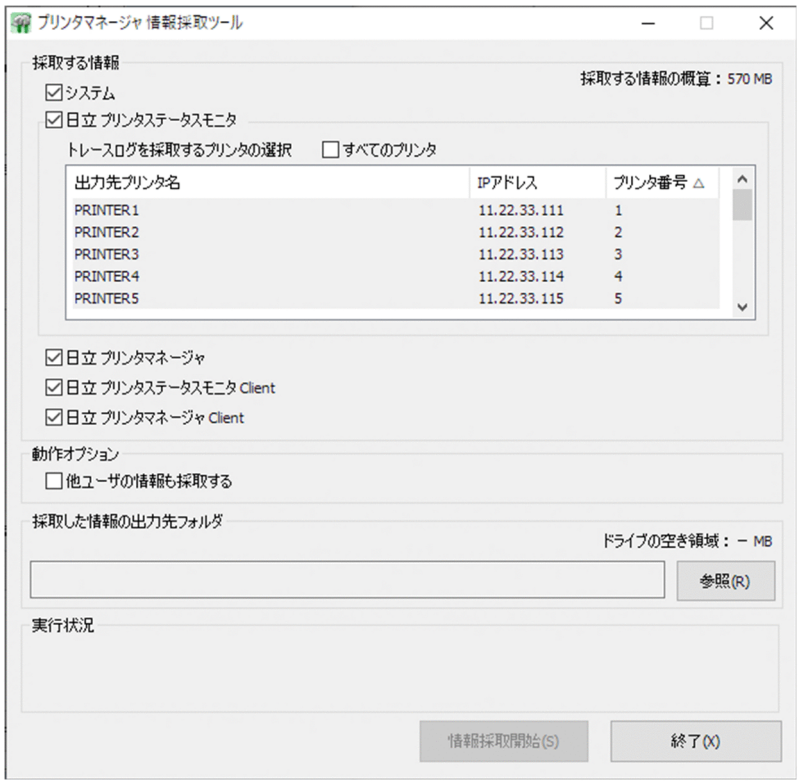
   > **重要**
   >
   > Windows のビルトイン Administrator アカウント以外ですべてのユーザ環境の情報を採取したい場合は、PrGetInfo.exe を右クリックし、[管理者として実行] からユーザアカウント制御ダイアログで管理者権限に昇格して起動してください。常に管理者権限に昇格して起動する場合は、PrGetInfo.exe のショートカットを作成し、[詳細プロパティ] 画面で [管理者として実行] を設定しておくこともできます。

情報採取ツールのデフォルトのインストールフォルダを次に示します。複数の製品をインストールしている場合は、どれかの製品の情報採取ツールを起動すればまとめて収集できます。

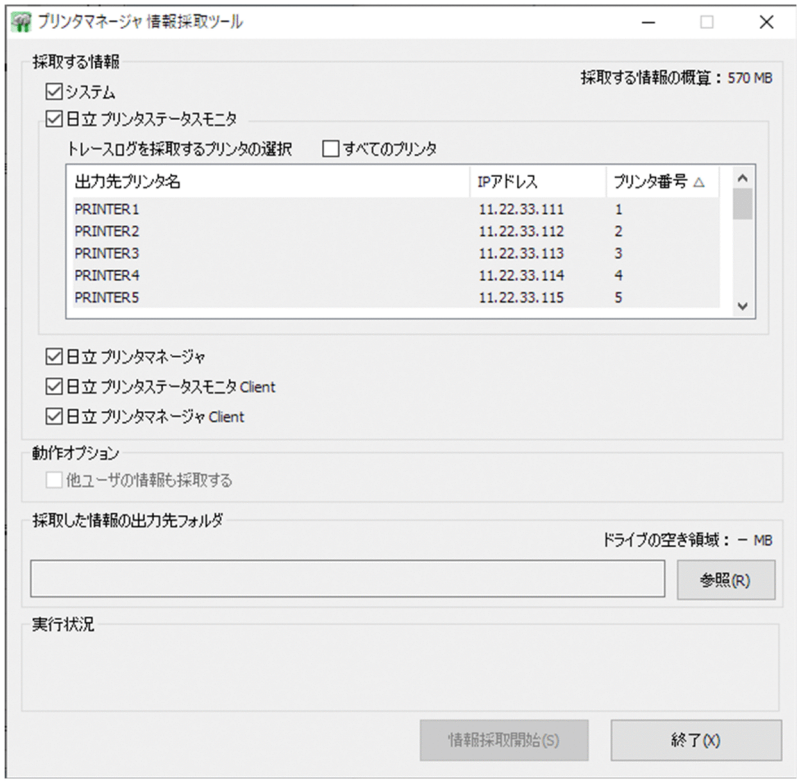
製品名	デフォルトのインストールフォルダ
モニタ	• 32 ビット環境の場合 %PROGRAMFILES%¥HITACHI¥PrinterMonitor¥Tools • 64 ビット環境の場合 %PROGRAMFILES(x86)%¥HITACHI¥PrinterMonitor¥Tools
マネージャ	• 32 ビット環境の場合 %PROGRAMFILES%¥HITACHI¥PrinterManager¥Tools • 64 ビット環境の場合 %PROGRAMFILES(x86)%¥HITACHI¥PrinterManager¥Tools
モニタ Client	• 32 ビット環境の場合 %PROGRAMFILES%¥HITACHI¥PrinterMonitorCL¥Tools • 64 ビット環境の場合 %PROGRAMFILES(x86)%¥HITACHI¥PrinterMonitorCL¥Tools
マネージャ Client	• 32 ビット環境の場合 %PROGRAMFILES%¥HITACHI¥PrinterManagerCL¥Tools • 64 ビット環境の場合 %PROGRAMFILES(x86)%¥HITACHI¥PrinterManagerCL¥Tools

［情報採取ツール］画面が表示されます。

Windows のビルトイン Administrator アカウント、または管理者権限に昇格したアカウントで起動した場合



管理者権限に昇格していない管理者アカウントまたは標準ユーザーアカウントで起動した場合



2. 採取する情報を選択し、情報の出力先フォルダを指定します。

［情報採取ツール］画面の設定項目を次に示します。

項目	内容
［採取する情報］	情報採取ツールで採取する情報を指定します。 • ［システム］チェックボックス Windows OS の種類やバージョン、イベントログ、システムで使用中のネットワークなどのシステム関連情報を採取する場合に選択します。 • ［日立 プリンタステータスモニタ］チェックボックス モニタのレジストリ（拡張オプションのレジストリを含む）やデータフォルダの情報、ログファイル、ジョブ保存先フォルダ内の印刷ジョブ、モニタのデータフォルダやログの出力フォルダのファイル一覧を採取する場合に選択します。 また、トレースログを採取するプリンタを選択できます。［トレースログを採取するプリンタの選択］には、モニタが監視する出力先プリンタ情報が一覧表示されます。項目ごとに昇順または降順を切り替えられます。一覧には、拡張オプションで追加した特定のプリンタの出力先プリンタ情報も表示されます。 ［出力先プリンタ名］：出力先プリンタの名称が表示されます。 ［IP アドレス］：出力先プリンタの IP アドレスが表示されます。 ［プリンタ番号］：モニタサービスで採番する番号が表示されます。 トレースログを採取するプリンタは複数選択できます。一覧表示されているプリンタすべてのトレースログを採取する場合は、［すべてのプリンタ］チェックボックスをチェックします。 • ［日立 プリンタマネージャ］チェックボックス マネージャのレジストリやデータフォルダの情報、ログファイル、マネージャのデータフォルダやログの出力フォルダのファイル一覧を採取する場合に選択します。

項目	内容
	• ［日立 プリンタステータスモニタ Client］チェックボックス モニタ Client のレジストリやデータフォルダの情報、ログファイル、モニタ Client のデータフォルダやログの出力フォルダのファイル一覧を採取する場合に選択します。 • ［日立 プリンタマネージャ Client］チェックボックス マネージャ Client のレジストリやデータフォルダの情報、ログファイル、マネージャ Client のデータフォルダやログの出力フォルダのファイル一覧を採取する場合に選択します。 デフォルト値は、マシンにインストールされている製品のチェックボックスをチェックした状態です。
［採取する情報の概算］	チェックした製品、および選択したプリンタの採取情報の合計サイズ （単位：MB）が表示されます。何も採取情報を選択していない場合は「0MB」と表示されます。 ［他ユーザの情報も採取する］チェックボックスをチェックしている場合は、他ユーザの採取情報（マネージャのトレースログ、モニタ Client およびマネージャ Client のデータフォルダの情報）を含む合計サイズが表示されます。 採取情報の合計サイズは、次のように表示されます。 • 1MB 未満の場合：1MB • 1～9MB の場合：<1MB 単位で切り上げた値>MB • 10MB 以上の場合：<10MB 単位で切り上げて 3 桁ごとにコンマ（,）で区切った値>MB （例）採取情報の合計サイズが 4321MB の場合の表示例 4,330MB
［動作オプション］	情報を採取する際の動作を指定します。 • ［他ユーザの情報も採取する］チェックボックス Windows のビルトイン Administrator アカウント、または管理者権限に昇格したアカウントで起動した場合に、起動したユーザ以外のユーザの情報も採取するかどうかを設定します。製品を使用するすべてのユーザの情報を採取するときは、このチェックボックスをチェックしてください。 チェックボックスをチェックすると、起動したユーザを含むすべてのユーザの情報が採取されます。管理者権限に昇格した標準ユーザーアカウントで起動した場合は、昇格元の標準ユーザーアカウントの情報も採取されます。 チェックボックスのチェックを外すと、起動したユーザの情報が採取されます。 なお、次の場合、このチェックボックスは非活性となります。 ・管理者権限に昇格していない管理者アカウントまたは標準ユーザーアカウントで起動した場合 ・［採取する情報］の［日立 プリンタマネージャ］チェックボックス、［日立 プリンタステータスモニタ Client］チェックボックス、または［日立 プリンタマネージャ Client］チェックボックスのどれもチェックしていない場合 デフォルト値は、チェックボックスのチェックを外した状態（起動したユーザの情報だけを採取する）です。
［採取した情報の出力先フォルダ］	採取情報の出力先フォルダを絶対パスで指定します。出力先フォルダは、［参照］ボタンをクリックして［フォルダの選択画面］から選択します。 採取情報の出力先フォルダには、ディスク容量に十分な空き容量があるフォルダ（［ドライブの空き領域］ ＞ ［採取する情報の概算］）を指定してください。

項目	内容
[ドライブの空き領域]	採取情報の出力先フォルダのあるドライブの空き領域サイズ（単位：MB）が表示されます。[採取した情報の出力先フォルダ] を指定していない場合は「−MB」と表示されます。 ドライブの空き領域サイズは、次のように表示されます。 • 1MB 未満の場合：0MB • 1～9MB の場合：<1MB 単位で切り捨てた値>MB • 10MB 以上の場合：<10MB 単位で切り捨てて 3 桁ごとにコンマ（,）で区切った値>MB （例）ドライブの空き領域サイズが 4321MB の場合の表示例 4,320MB
[実行状況]	情報採取処理の進捗状況が表示されます。
[情報採取開始] ボタン	[採取する情報] で選択した情報の採取を開始します。
[終了] ボタン	[情報採取ツール] 画面を閉じます。

メモ

モニタの情報採取時、[トレースログを採取するプリンタの選択] は、障害が発生しているプリンタを特定できるかどうかによって、次のように設定してください。

- 障害が発生しているプリンタを特定できる場合
  [出力先プリンタ名] で対象のプリンタを選択し、かつ [IP アドレス] で対象のプリンタと同じ IP アドレスのプリンタを選択してください。
- 障害が発生しているプリンタを特定できない場合
  [すべてのプリンタ] チェックボックスをチェックしてください。

3. [情報採取開始] ボタンをクリックします。

メモ

[採取する情報の概算] が [ドライブの空き領域] を超えている場合に [情報採取開始] ボタンをクリックすると、空き領域不足で情報採取を開始できないことを示す警告メッセージが出力されます。[採取した情報の出力先フォルダ] の指定を見直し、再度、情報採取を開始し てください。

なお、情報採取中に、ほかのプログラムの影響でドライブの空き領域が不足してエラーが発生した場合、警告メッセージは出力されません。

情報採取処理が開始されます。情報採取中は、情報採取処理の進捗状況が [実行状況] に表示されます。

重要

- 情報採取処理中に [採取した情報の出力先フォルダ] 下に生成される「PrGetInfo_<情報採取ツールの実行日時※>_<実行プロセス ID>」フォルダを操作すると、情報採取が正しく行われなかったり、情報採取処理中止時に不要なファイルが削除されないで残っ

たりすることがあります。「PrGetInfo_<情報採取ツールの実行日時※>_<実行プロセスID>」フォルダは、情報採取処理中に参照したり、削除したり、名称を変更したりしないでください。

- 情報採取処理中に［情報採取ツール］画面の終了操作をすると、情報採取処理の中止を確認するメッセージが出力されます。情報採取処理を中止する場合は［はい］ボタンを、中止しない場合は［いいえ］ボタンをクリックしてください。

情報採取処理が完了すると、［実行状況］に正常終了、または異常終了を示すメッセージが出力されます。正常終了時には、収集したシステムや製品の関連情報が、「<採取した情報の出力先フォルダ>¥PrGetInfo_<情報採取ツールの実行日時※>_<実行プロセス ID>」フォルダ下に出力されます。

注※

日時は、「YYYYMMDDHHMMSS」の形式（YYYY：西暦、MM：月、DD：日、HH：時、MM：分、SS：秒）で出力されます。

4. ［終了］ボタンをクリックします。

［情報採取ツール］画面が閉じられます。

情報採取ツール利用時の注意事項

情報採取ツール利用時の注意事項を次に示します。

- 情報採取ツールは、ツール起動時の環境設定情報を基に情報を採取します。ツール起動時と情報採取開始時とでプリンタ数などの環境設定情報が異なると、正しい情報を採取できません。情報採取ツールは情報採取時に起動してください。
- 情報採取中は、採取情報が不正になることを避けるため、採取対象のプリンタを極力使用しないでください。
- 業務運用中に情報採取ツールを実行すると、実際の採取情報サイズが［情報採取ツール］画面の［採取する情報の概算］より大きくなることがあります。
- ［ドライブの空き領域］は［採取した情報の出力先フォルダ］指定時に算出されます。このため、出力先フォルダのあるドライブでファイの削除、追加などを実施した場合は、［採取した情報の出力先フォルダ］を再指定し、［ドライブの空き領域］を確認してから情報採取を開始してください。
- 「このドライブを圧縮してディスク領域を空ける」を設定したドライブでは、システムの圧縮動作が非同期に実行されます。このため、この設定のドライブ下のフォルダを［採取した情報の出力先フォルダ］で選択した場合、［ドライブの空き領域］に表示されるサイズが実際の空き領域サイズと異なることがあります。

9 メッセージ

製品のシステム稼働ログに出力されるメッセージや、環境設定時および運用時に製品が出力するメッセージについて説明します。

9.1　プリンタマネージャ共通でシステム稼働ログに出力されるメッセージ

KBPM1001-E

ディスク容量が不足しています。

対処

システムの処理

処理を終了します。

ユーザの処理

ディスク容量に十分な空きがあるか確認してください。

KBPM1002-E

メモリが不足しています。

対処

システムの処理

処理を終了します。

ユーザの処理

ほかのプログラムを終了するなどして、メモリを増やしてください。

KBPM1003-E

受信初期化に失敗(詳細コード:XXXXX)しました。

対処

システムの処理

処理を終了します。

ユーザの処理

モニタ環境設定の［出力先プリンタ設定］画面の［障害監視］タブで、［監視方式］に［インパクトプリンタ（モデル 1)］を選択している場合は、ポートとして UDP の 162 番ポートを使用するため、モニタは UDP の 162 番ポートを設定します。

次の対処を実施したあと、モニタサービスを再起動してください。

- ほかのアプリケーションと UDP の 162 番ポートを競合している場合は、ポートの設定を見直してください。
- ファイアウォールなどを使用している場合は、UDP の 162 番ポートの利用を許可するように設定してください。
- Windows の SNMP Trap サービスが起動されている場合は、UDP の 162 番ポートで競合が発生するため、SNMP Trap サービスを停止してください。

KBPM9999-E

予期せぬエラーが発生しました。

対処

システムの処理

処理を終了します。

ユーザの処理

システム管理者、またはサポートサービスへの問い合わせを行ってください。

9.2　モニタの画面操作で出力されるメッセージ

9.2.1　モニタの環境設定時に出力されるメッセージ

［モニタ環境設定］画面の操作時に出力されるメッセージを次に示します。

メッセージ	説明	対処
IP アドレスが重複する出力先プリンタにおいて共通項目に差異があります。上書きしてよろしいですか？	［出力先プリンタ設定］画面で［OK］ボタンをクリックしたときの確認メッセージです。	クリックするボタンに従って、次のとおり動作します。 • ［はい］：共通項目の設定を上書きする • ［いいえ］：共通項目の設定を上書きしない
IP アドレスが入力されていません。	IP アドレスが入力されていません。	IP アドレスを入力して操作し直してください。
印字文字が入力されていません。	スタンプ印字実行時の印字文字が入力されていません。	印字文字を入力して、操作し直してください。
監視方式を選択してください。	監視方式が選択されていません。新規に出力先プリンタを作成する場合は、監視方式には必ず空白以外を選択してください。	監視方式を選択して操作し直してください。
キーワードが入力されていません。	キーワードが入力されていません。	キーワードを入力して操作し直してください。
キュー名が入力されていません。	キュー名が入力されていません。	キュー名を入力して操作し直してください。
共有名が入力されていません。	共有設定に共有名が入力されていません。	共有名を入力して操作し直してください。
共有名は既に登録されています。別の共有名で登録してください。	共有名がほかの共有名と同じです。	指定した共有名を、既存の共有名と異なる名称に修正して操作し直してください。
コミュニティ名が入力されていません。	コミュニティ名が入力されていません。	コミュニティ名を入力して操作し直してください。
「サービス起動中に設定変更を反映する」のチェックが OFF のため，これ以降の設定変更はサービスを再起動するまで反映されません。 このまま設定変更してよろしいですか？	モニタサービス起動中に、［出力先プリンタ設定］画面で［サービス起動中に設定変更を反映する］チェックボックスがチェックされていないときの確認メッセージです。	クリックするボタンに従って、次のとおり動作します。 • ［はい］：設定変更する。ただし、これ以降の設定変更はサービスに反映されない • ［いいえ］：設定変更しないで、［出力先プリンタ設定］画面を表示する
サービスの起動を検知したため，プリンタの削除を中止します。 プリンタを削除する場合はサービスを停止させてください。	プリンタ削除時に、モニタサービスが起動しています。プリンタの削除処理を中止します。	モニタサービスを停止してから、プリンタを削除してください。

メッセージ	説明	対処
最大サイズには 1～100 の整数を入力してください。	ログファイルの最大サイズに 1～100 以外の値が入力されています。	最大サイズの値を修正して、操作し直してください。
システムリソースの不足が発生しました。	システムのリソースが不足しています。	メモリ、およびディスク容量がシステム要件を満たしているか見直して、OS を再起動してください。 OS 環境の見直しの結果、改善されない場合は、システム管理者、またはサポートサービスへ問い合わせてください。
指定されたプリンタドライバ名と監視方式の組み合わせは使用できません。	指定されたプリンタドライバ名と監視方式の組み合わせが不正です。	指定するプリンタドライバ名に合わせた監視方式の値を選択して、操作し直してください。
出力先プリンタ設定情報の追加に失敗しました。	Windows への出力先プリンタの登録に失敗しました。	指定した共有名が、既存のプリンタ名に使用されていないか、プリンタドライバのグループ表示で同じプリンタ名が使用されていないか、見直してください。同じプリンタ名がある場合は、既存のプリンタを削除してから、再度、環境設定してください。 見直しの結果、改善されない場合は、システム管理者、またはサポートサービスへ問い合わせてください。
出力先プリンタ設定情報の変更に失敗しました。	変更対象の出力先プリンタの設定変更処理でエラーが発生しました。	該当の出力先プリンタ設定を削除して、再度作成してください。見直しの結果、改善されない場合は、システム管理者、またはサポートサービスへ問い合わせてください。
出力先プリンタの情報が見つかりませんでした（出力先プリンタ名：<出力先プリンタ名>）。	変更対象の出力先プリンタが見つかりません。	出力先プリンタが削除されていないか見直して、操作し直してください。 見直しの結果、改善されない場合は、該当のプリンタ設定を削除して、再度作成してください。
出力先プリンタ名が入力されていません。	出力先プリンタ名が入力されていません。	出力先プリンタ名を入力して、操作し直してください。
出力先プリンタ名は既に登録されています。別のプリンタ名で登録してください。	対象の出力先プリンタ名は登録済みです。	異なる名称に修正して、操作し直してください。
障害キーワードは既に登録されています。別の障害キーワードで登録してください。	対象の障害キーワードは登録済みです。	登録されていない障害キーワードに修正して、操作し直してください。
使用禁止文字が含まれています。	対象の入力個所に使用禁止文字が含まれています（サロゲートペア、IVS フォントなど）。	対象の入力個所に使用禁止文字が含まれていないか確認してください。
情報出力に失敗しました（補足情報：<Windows のエラーコード>）。	情報出力ファイルへの書き込みに失敗しました。	次の内容を見直して、操作し直してください。

メッセージ	説明	対処
		• 情報出力時に選択したフォルダが読み取り専用になっていないか • 情報出力時に選択したフォルダ以下のファイルを別のプロセスで使用していないか 見直しの結果、改善されない場合は、システム管理者、またはサポートサービスへ問い合わせてください。
ジョブ ID 出現位置は 0-10 を指定してください。	ジョブ ID 出現位置に範囲外の値が入力されています。	ジョブ ID 出現位置の値を修正して、操作し直してください。
すでに起動されています。	環境設定は起動済みです。	すでに起動されている環境設定を終了させてから、起動し直してください。
整数を入力してください。	ログファイルの最大サイズ、世代管理数に整数以外の値が入力されました。	ログファイルの最大サイズ、世代管理数の値を修正して操作し直してください。
世代管理数には 3～10 の整数を入力してください。	世代管理数に 3～10 以外の値が入力されています。	世代管理数の値を修正して、操作し直してください。
設定情報の書き込みに失敗しました（補足情報：<Windows のエラーコード>）。	環境設定ファイルの書き込みに失敗しました。	次の内容を見直して、操作し直してください。 • 「%ALLUSERSPROFILE%¥HITACHI¥PrinterMonitor」下のフォルダ、またはファイルが読み取り専用になっていないか • 「%ALLUSERSPROFILE%¥HITACHI¥PrinterMonitor」下のフォルダ、またはファイルを別プロセスで使用していないか 見直しの結果、改善されない場合は、システム管理者、またはサポートサービスへ問い合わせてください。
説明が入力されていません。	説明が入力されていません。	説明を入力して、操作し直してください。
選択された設定を削除してよろしいですか？	[出力先プリンタ設定] 画面で［削除］ボタンをクリックしたときの確認メッセージです。	クリックするボタンに従って、次のとおり動作します。 • [はい]：設定を削除する • [いいえ]：設定を削除しない
送信多重度は 1-80 を指定してください。	障害リカバリ制御の送信多重度に 1-80 以外の値が入力されています。	障害リカバリ制御の送信多重度の値を修正して、操作し直してください。
パス名に次の文字は使用できません。 * ? " < > ¦	ログ出力先フォルダまたはログ出力先の予備フォルダのパス名に禁止文字が入力されました。	ログ出力先フォルダまたはログ出力先の予備フォルダのパス名を次の禁則文字以外に設定し直してください。 *、?、”、<、>、¦

メッセージ	説明	対処
フォルダ名に指定されたフォルダにアクセスできません（補足情報：<Windows のエラーコード>）。	ログ出力先フォルダに指定されたフォルダにアクセスできません。	指定したフォルダがあるか、フォルダにアクセスできるかを確認し、操作し直してください。 なお、ネットワークパスは指定できません。 見直しの結果、改善されない場合は、システム管理者、またはサポートサービスへ問い合わせてください。
フォルダ名を入力してください。	ログ出力先のフォルダ名が入力されていません。	フォルダ名を入力して、操作し直してください。
プリンタドライバの情報が見つかりませんでした（プリンタドライバ名：<プリンタドライバ名>）。	変更対象の出力先プリンタ情報に使用されているプリンタドライバが見つかりません。	<プリンタドライバ名>に示すプリンタドライバがインストールされているかどうかを確認してください。インストールされていない場合は、<プリンタドライバ名>に示すプリンタドライバをインストールしてください。
プリンタ名の長さが上限を超えています。汎用形式を用いる際は、200 文字以内で設定してください。	汎用形式を設定している場合に、出力先プリンタ名の長さが上限を超えています。	出力先プリンタ名を修正して、操作し直してください。
変更対象のプリンタで印刷処理が実行中のため設定変更を中止します。 印刷完了もしくは印刷中止後に再度，設定変更を実施してください。	設定変更対象のプリンタで印刷処理を実行中です。	設定変更対象のプリンタが印刷処理済み（印刷完了または印刷中止）になったあと、操作し直してください。
変更対象のプリンタにジョブが残っているため設定変更できません。	プリンタドライバ名、またはコメントを変更する Windows プリンタ（出力先プリンタ、または RAW 変換用プリンタ（##PRMON_<プリンタ名>））に、印刷ジョブが残っています。	設定変更対象の Windows プリンタ（出力先プリンタ、または RAW 変換用プリンタ（##PRMON_<プリンタ名>））の印刷ジョブを削除して、操作し直してください。
ポート情報の追加に失敗しました。	ポート情報の追加に失敗しました。	Print Spooler サービスが起動しているか確認して操作し直してください。
予期せぬエラーが発生しました（補足情報：<Windows のエラーコード>）。	想定外のエラーが発生しました。	環境設定を再起動して操作し直してください。再起動できない場合は、システム管理者、またはサポートサービスへ問い合わせてください。

9.2.2　モニタの運用時に出力されるメッセージ

モニタでモニタコンソールの操作時に出力されるメッセージを次に示します。

メッセージ	説明	対処
印刷してよろしいですか？	[印刷開始] ボタンをクリックしたときの確認メッセージです。	クリックするボタンに従って、次のとおり動作します。 • [はい]：印刷を実行する • [いいえ]：印刷を実行しない
印刷を中止してよろしいですか？	[印刷中止] ボタンをクリックしたときの確認メッセージです。	クリックするボタンに従って、次のとおり動作します。 • [はい]：印刷を中止する • [いいえ]：印刷を続行する
開始ページの値が終了ページの値より大きく設定されています。開始ページは終了ページより小さい値で設定してください。	開始ページ、または終了ページに不正な値が指定されました。	設定されている開始ページ、および終了ページの大小関係を確認してください。適切な値を設定してから、再度印刷を実行してください。
検索対象の文字列は見つかりませんでした。	検索テキストボックスに指定した文字列は見つかりません。	{OK} ボタンをクリックして、検索を終了します。再検索する場合は、文字列または検索方向（前または次）を見直してください。
検索対象の文字列は見つかりませんでした。 なお、イメージとして出力された文字列や、ドライバで生成された文字列は検索できません。	検索テキストボックスに指定した文字列は見つかりません。	{OK} ボタンをクリックして、検索を終了します。再検索する場合は、文字列または検索方向（前または次）を見直してください。
テスト印刷が完了しました。プリンタにて実行結果を確認してください。	テスト印刷が完了しました。	実プリンタでテスト印刷の出力結果を確認してください。
テスト印刷が失敗しました。プリンタにて実行結果を確認してください。	テスト印刷が中止されました。またはテスト印刷に失敗しました。	実プリンタでテスト印刷の出力結果を確認してください。
テスト印刷してよろしいですか？	[テスト印刷] ボタンをクリックしたときの確認メッセージです。	クリックするボタンに従って、次のとおり動作します。 • [はい]：テスト印刷を実行する • [いいえ]：テスト印刷を実行しない
テスト印刷を中止してよろしいですか？	[中止] ボタンをクリックしたときの確認メッセージです。	クリックするボタンに従って、次のとおり動作します。 • [はい]：テスト印刷を中止する • [いいえ]：テスト印刷を続行する
プレビュー表示に失敗しました。	プレビュー表示に失敗しました。	• ほかの［プレビュー］画面がすでに表示されていないか確認してください。すでに表示されている場合は、［プレビュー］画面を閉じてから、再度プレビューを実行してください。 • システムリソースに空きがあるか確認してください。空きがない場合は、システムリソースを確保してから、再度プレビューを実行してください。 対処を実施してもエラーが表示される場合は、システム管理者、またはサポートサービスに問い合わせてください。

メッセージ	説明	対処
ページ数を<最小ページ数>～<最大ページ数>の範囲で入力してください。	印刷範囲に範囲外の値が指定されました。	設定されているページ数を確認してください。メッセージに表示された範囲内のページ数を設定してから、再度印刷を実行してください。
モニタからの要求は受け付けられませんでした。	モニタコンソールからの要求が、モニタサービスで拒否されました。	ほかのモニタクライアント、またはモニタコンソールで、該当するジョブに対する操作を実施していることを確認してください。

9.3　モニタのシステム稼働ログに出力されるメッセージ

複数のログインユーザでモニタクライアントおよびマネージャクライアント起動時に出力されるメッセージの場合、「ユーザ名」には接続元のプリンタサーバまたは監視サーバの「ユーザ名」、「IP アドレス」には接続元のプリンタサーバまたは監視サーバの「IP アドレス」が出力されます。

KBPM0001-I

モニタコンソールを起動しました。

対処

システムの処理

処理を続行します。

ユーザの処理

なし

KBPM0002-I

モニタコンソールを終了しました。

対処

システムの処理

処理を終了します。

ユーザの処理

なし

KBPM0003-I

印刷制御を起動しました。

対処

システムの処理

処理を続行します。

ユーザの処理

なし

KBPM0004-I

印刷制御を終了しました。

対処

システムの処理

処理を終了します。

ユーザの処理

なし

KBPM0005-I

プリンタ監視制御[<プリンタ名>]を開始しました。

プリンタ名

モニタ環境設定で作成した出力先プリンタ名。

対処

システムの処理

処理を続行します。

ユーザの処理

なし

KBPM0006-I

プリンタ監視制御[<プリンタ名>]を停止しました。

プリンタ名

モニタ環境設定で作成した出力先プリンタ名。

対処

システムの処理

処理を終了します。

ユーザの処理

なし

KBPM0007-I

モニタサーバを起動しました。

対処

システムの処理

処理を続行します。

ユーザの処理

なし

KBPM0008-I

モニタサーバを終了しました。

対処

システムの処理

処理を終了します。

ユーザの処理

なし

KBPM0101-I

ジョブ受付[<プリンタ名>]を開始しました。

プリンタ名

モニタ環境設定で作成した出力先プリンタ名。

対処

システムの処理
　処理を続行します。
ユーザの処理
　なし

KBPM0102-I

ジョブ受付[<プリンタ名>]を停止しました。

プリンタ名
　モニタ環境設定で作成した出力先プリンタ名。

対処

システムの処理
　処理を終了します。
ユーザの処理
　なし

KBPM0103-E

プリンタ[<プリンタ名>]のスプール取得に失敗しました。

プリンタ名
　モニタ環境設定で作成した出力先プリンタ名。

対処

システムの処理
　処理を終了します。
ユーザの処理
　システム管理者、またはサポートサービスへ問い合わせてください。

KBPM0104-I

プリンタ名[<プリンタ名>]を一時停止しました。

プリンタ名

モニタ環境設定で作成した出力先プリンタ名。

対処

システムの処理

処理を続行します。

ユーザの処理

なし

KBPM0105-I

プリンタ[<プリンタ名>]を再開しました。

プリンタ名

モニタ環境設定で作成した出力先プリンタ名。

対処

システムの処理

処理を続行します。

ユーザの処理

なし

KBPM0106-I

プリンタ[<プリンタ名>]を更新します。

プリンタ名

モニタ環境設定で作成した出力先プリンタ名。

対処

システムの処理

処理を続行します。

ユーザの処理

なし

KBPM0107-I

プリンタ[<プリンタ名>]を追加します。

プリンタ名

モニタ環境設定で作成した出力先プリンタ名。

対処

システムの処理

処理を続行します。

ユーザの処理

なし

KBPM0111-W

プリンタ[<プリンタ IP アドレス>]でエラーが発生しました
(<OCP メッセージ上>／<OCP メッセージ下>)。

プリンタ IP アドレス

モニタ環境設定で作成した出力先プリンタの IP アドレス。

OCP メッセージ上／OCP メッセージ下

プリンタエラー発生時プリンタに表示される OCP メッセージ。

対処

システムの処理

処理を続行します。

ユーザの処理

プリンタが印刷できる状態であるか確認してください。

KBPM0301-I

ユーザ[<ユーザ名>][<IP アドレス>]がログインしました。

ユーザ名

モニタコンソールから接続されている場合は 0 バイト文字で出力されます。

IP アドレス

モニタコンソールから接続されている場合は 127.0.0.1 で出力されます。

対処

システムの処理

処理を続行します。

ユーザの処理

なし

KBPM0302-I

ユーザ[<ユーザ名>][<IP アドレス>]がログアウトしました。

ユーザ名

モニタコンソールから接続されている場合は 0 バイト文字で出力されます。

IP アドレス

モニタコンソールから接続されている場合は 127.0.0.1 で出力されます。

対処

システムの処理

処理を続行します。

ユーザの処理

なし

KBPM0303-W

クライアントとの接続確認ができないため，ユーザ[<ユーザ名>][<IP アドレス>]をログアウトしました。

ユーザ名

モニタコンソールから接続されている場合は 0 バイト文字で出力されます。

IP アドレス

モニタコンソールから接続されている場合は 127.0.0.1 で出力されます。

対処

システムの処理

処理を終了します。

ユーザの処理

ネットワークが切断されていないか確認してください。

KBPM0304-W

ログイン最大数([<ログイン最大数>])を超過しました。

ログイン最大数

モニタクライアントの接続数。

対処

システムの処理

処理を終了します。

ユーザの処理

モニタに接続しているモニタクライアントの数を確認してください。

KBPM0306-W

環境設定「マネージャ機能を使用する」が OFF の状態のため，マネージャ (IP アドレス[<IP アドレス>])の接続要求を破棄しました。

IP アドレス

マネージャが動作するマシンの IP アドレス。

対処

システムの処理

処理を続行します。

ユーザの処理

ログが示す IP アドレスのマシンで、マネージャ環境設定に設定されているモニタの IP アドレスを確認してください。

KBPM0401-I

ジョブ(ジョブ ID：[<ジョブ ID>])のジョブ操作要求(イベント名：[<イベント名>])をユーザ[<ユーザ名>]から受信しました。

ジョブ ID

Windows スプーラが採番する ID。

イベント名

プログラム間での機能連携のために、独自に付与した要求、応答の名前。

ユーザ名

モニタコンソールから接続されている場合は 0 バイト文字で出力されます。

対処

システムの処理

処理を続行します。

ユーザの処理

なし

KBPM0402-W

指定されたジョブ(ジョブ ID：[<ジョブ ID>])のジョブ状態が[<指定ジョブ操作受信可能ジョブ状態>]以外であるため，ユーザ[<ユーザ名>]のジョブ操作要求(イベント名：[<イベント名>])を拒否しました。

ジョブ ID

Windows スプーラが採番する ID。

指定ジョブ操作受信可能ジョブ状態

操作できるジョブ状態。

ユーザ名

モニタコンソールから接続されている場合は 0 バイト文字で出力されます。

イベント名

プログラム間での機能連携のために、独自に付与した要求、応答の名前。

対処

システムの処理

処理を続行します。

ユーザの処理

別のクライアントから同時に対象ジョブを操作していないか確認してください。

KBPM0403-W

指定されたジョブ(ジョブ ID：[<ジョブ ID>])が存在しないため，ユーザ[<ユーザ名>]のジョブ操作要求(イベント名：[<イベント名>])を破棄しました。

ジョブ ID

Windows スプーラが採番する ID。

ユーザ名

モニタコンソールから接続されている場合は 0 バイト文字で出力されます。

イベント名

プログラム間での機能連携のために、独自に付与した要求、応答の名前。

対処

システムの処理

処理を続行します。

ユーザの処理

別のクライアントから対象ジョブを削除していないか確認してください。

KBPM0404-I

プリンタ[<プリンタ名>]のプリンタ状態変更要求(イベント名：[<イベント名>])をユーザ[<ユーザ名>]から受信しました。

プリンタ名

モニタ環境設定で作成した出力先プリンタ名。

イベント名

プログラム間での機能連携のために、独自に付与した要求、応答の名前。

ユーザ名

モニタコンソールから接続されている場合は 0 バイト文字で出力されます。

対処

システムの処理

処理を続行します。

ユーザの処理

なし

KBPM0405-W

指定されたプリンタ名[<プリンタ名>]のプリンタ状態は既に[<イベント名>]状態のため，ユーザ名[<ユーザ名>]のプリンタ状態変更要求(イベント名：[<イベント名>])を破棄しました。

プリンタ名

モニタ環境設定で作成した出力先プリンタ名。

イベント名

プログラム間での機能連携のために、独自に付与した要求、応答の名前。

ユーザ名

モニタコンソールから接続されている場合は 0 バイト文字で出力されます。

対処

システムの処理

処理を続行します。

ユーザの処理

要求したプリンタ状態になっていることを確認してください。

KBPM0501-E

不正なジョブ情報ファイル[<ファイル名>(詳細コード:<エラーコード>)]を検出しました。

ファイル名

対象とするジョブ情報ファイル名。

エラーコード

Windows のエラーコード。

対処

システムの処理

処理を終了します。

ユーザの処理

<ファイル名>に示すファイルを削除してください。

KBPM0502-E

アクセス[<フォルダまたはファイルパス>(詳細コード:<エラーコード>)]に失敗しました。

フォルダまたはファイルパス

該当のエラー個所のフォルダまたはファイルパスの名称。

エラーコード

Windows のエラーコード。

対処

システムの処理

処理を終了します。

ユーザの処理

<フォルダまたはファイルパス>のアクセス権を見直してください。

9.4　マネージャの画面操作で出力されるメッセージ

9.4.1　マネージャの環境設定時に出力されるメッセージ

［マネージャ環境設定］画面の操作時に出力されるメッセージを次に示します。

メッセージ	説明	対処
解除済みの追加項目です。	選択した抽出位置の行では、すでに項目が解除されています。	選択した抽出位置の行が正しいか確認し、操作し直してください。
項目名が入力されていません。	項目名が入力されていないため、［追加項目一覧］に登録できません。	項目名を指定して、操作し直してください。
最大サイズには 1～100 の整数を入力してください。	ログファイルの最大サイズに 1～100 以外の値が入力されています。	最大サイズの値を修正して、操作し直してください。
システムリソースの不足が発生しました。	システムのリソースが不足しています。	メモリ、およびディスク容量がシステム要件を満たしているか見直して、OS を再起動してください。 OS 環境の見直しの結果、改善されない場合は、システム管理者、またはサポートサービスへ問い合わせてください。
出力先プリンタが入力されていません。	プリンタ名が入力されていません。	プリンタ名を入力して、操作し直してください。
使用禁止文字が含まれています。	対象の入力個所に使用禁止文字が含まれています（サロゲートペア、IVS フォント、$(0x00)_{16}$～$(0x1f)_{16}$ の文字コードなど）。	対象の入力個所に使用禁止文字が含まれていないか確認してください。
すでに起動されています。	環境設定は起動済みです。	すでに起動されている環境設定を終了させてから、起動し直してください。
整数を入力してください。	ログファイルの最大サイズ、世代管理数に整数以外の値が入力されました。	ログファイルの最大サイズ、世代管理数の値を修正して操作し直してください。
世代管理数には 3～10 の整数を入力してください。	世代管理数に 3～10 以外の値が入力されています。	世代管理数の値を修正して、操作し直してください。
設定情報の書き込みに失敗しました（補足情報：<Windows のエラーコード>）。	環境設定ファイルの書き込みに失敗しました。	次の内容を見直して、操作し直してください。 • 「%ALLUSERSPROFILE%¥HITACHI¥PrinterManager」下のフォルダ、またはファイルが読み取り専用となっていないか • 「%ALLUSERSPROFILE%¥HITACHI¥PrinterManager」下のフォルダ、またはファイルを別のプロセスで使用していないか

メッセージ	説明	対処
		見直しの結果、改善されない場合は、システム管理者、またはサポートサービスへ問い合わせてください。
選択された設定を削除してよろしいですか？	プリンター一覧でプリンタを選択して［削除］ボタンをクリックしたときの確認メッセージです。	クリックするボタンに従って、次のとおり動作します。 • ［はい］：選択したプリンタの設定を削除する • ［いいえ］：選択したプリンタの設定を削除しない
選択された追加項目の設定を解除してよろしいですか？	追加項目一覧で項目名が指定された抽出位置を選択して［解除］ボタンをクリックしたときの確認メッセージです。	クリックするボタンに従って、次のとおり動作します。 • ［はい］：選択した追加項目の設定を解除する • ［いいえ］：選択した追加項目の設定を解除しない
追加項目が選択されていません。	［追加項目一覧］で抽出位置の行が選択されていないため、項目名の設定を登録または解除できません。	［追加項目一覧］で抽出位置の行を選択して、操作し直してください。
パス名に次の文字は使用できません。 * ? " < > ¦	ログ出力先フォルダ、またはログ出力先の予備フォルダのパス名に禁止文字が入力されました。	ログ出力先フォルダ、またはログ出力先の予備フォルダのパス名を次の禁則文字以外に設定し直してください。 *、?、"、<、>、¦
フォルダ名に指定されたフォルダにアクセスできません（補足情報：<Windows のエラーコード>）。	ログ出力先フォルダに指定されたフォルダにアクセスできません。	指定したフォルダがあるか、フォルダにアクセスできるかを確認し、操作し直してください。 なお、ネットワークパスは指定できません。 見直しの結果、改善されない場合は、システム管理者、またはサポートサービスへ問い合わせてください。
フォルダ名を入力してください。	ログ出力先のフォルダ名が入力されていません。	フォルダ名を入力して、操作し直してください。
プリンタ名は既に登録されています。別のプリンタ名で登録してください。	対象のプリンタ名は登録済みです。	別のプリンタ名に修正して、操作し直してください。
予期せぬエラーが発生しました。（補足情報：<Windows のエラーコード>）。	想定外のエラーが発生しました。	環境設定を再起動して操作し直してください。再起動できない場合は、システム管理者、またはサポートサービスへ問い合わせてください。

9.4.2　マネージャの運用時に出力されるメッセージ

マネージャでマネージャコンソールの操作時に出力されるメッセージを次に示します。

メッセージ	説明	対処
イベント（イベントコード：[<イベントコード>]）受信解析処理でエラーが発生しました。マネージャコンソールを終了します。	マネージャサーバから受信したイベントの情報が不正です。	マネージャコンソールを再度起動して、操作し直してください。再起動できない場合は、システム管理者、またはサポートサービスへ問い合わせてください。
印刷してよろしいですか？	[印刷開始] ボタンをクリックしたときの確認メッセージです。	クリックするボタンに従って、次のとおり動作します。 • [はい]：印刷を実行する • [いいえ]：印刷を実行しない
印刷を中止してよろしいですか？	[印刷中止] ボタンをクリックしたときの確認メッセージです。	クリックするボタンに従って、次のとおり動作します。 • [はい]：印刷を中止する • [いいえ]：印刷を続行する
開始ページの値が終了ページの値より大きく設定されています。開始ページは終了ページより小さい値で設定してください。	開始ページ、または終了ページに不正な値が指定されました。	設定されている開始ページ、および終了ページの大小関係を確認してください。適切な値を設定してから、再度印刷を実行してください。
現在の画面レイアウトを保存します。 よろしいですか？	画面レイアウト保存時の確認メッセージです。	クリックするボタンに従って、次のとおり動作します。 • [はい]：表示中の画面レイアウトを保存する • [いいえ]：画面レイアウトを保存しない
検索対象の文字列は見つかりませんでした。	検索テキストボックスに指定した文字列は見つかりません。	{OK} ボタンをクリックして、検索を終了します。再検索する場合は、文字列または検索方向（前または次）を見直してください。
検索対象の文字列は見つかりませんでした。 なお、イメージとして出力された文字列や、ドライバで生成された文字列は検索できません。	検索テキストボックスに指定した文字列は見つかりません。	{OK} ボタンをクリックして、検索を終了します。再検索する場合は、文字列または検索方向（前または次）を見直してください。
サーバが終了しました。マネージャコンソールを終了します。	マネージャサービスが終了しました。	対処はありません。
サーバがジョブの削除を実行中です。 起動するまでしばらくお待ちください...	マネージャサーバでジョブ削除を実行中です。	対処はありません。
サーバから最新の情報を取得しています。	マネージャサーバから表示用情報取得中です。	対処はありません。

メッセージ	説明	対処
起動するまでしばらくお待ちください...		
サーバ起動状態を確認中です。しばらくお待ちください...	マネージャサーバとの接続中です。	対処はありません。
サーバと通信ができません。接続状態を確認してください。マネージャコンソールを終了します。	マネージャサーバとの通信に失敗しました。	マネージャサーバとの通信状態（LAN 接続、マネージャサービスの稼働、ネットワークのトラフィックなど）に問題がないか確認してください。
サーバへの通信処理に失敗しました。	マネージャサーバへのイベント送信に失敗しました。	マネージャサーバとの通信状態（LAN 接続、マネージャサービスの稼働、ネットワークのトラフィックなど）に問題がないか確認してください。
サーバへの要求が一部拒否されました。ジョブの状態を確認してから再度要求を行ってください。	ジョブ状態が原因で、サーバへの要求が受け付けられませんでした。	ジョブ一覧から該当するジョブを右クリックし、コンテキストメニューからジョブ操作をやり直してください。
サーバへの要求が拒否されました。ジョブの状態を確認してから再度要求を行ってください。	ジョブ状態が原因で、サーバへの要求が受け付けられませんでした。	ジョブ一覧から該当するジョブを右クリックし、コンテキストメニューからジョブ操作をやり直してください。
ジョブ一覧ウィンドウ（<ウィンドウタイトル名>）を削除します。 よろしいですか？	ジョブ一覧ウィンドウ削除時の確認メッセージです。	クリックするボタンに従って、次のとおり動作します。 • [はい]：ジョブ一覧ウィンドウを削除する • [いいえ]：ジョブ一覧ウィンドウを削除しない
ジョブが選択されていません。	ジョブが選択されていません。	ジョブ一覧でジョブを選択してから、操作し直してください。
すでに起動されています。	マネージャコンソールは起動済みです。	すでに起動されているマネージャコンソールを終了させてから、起動し直してください。
選択されたジョブにおいて印刷中止可能なジョブがありません。	選択したジョブの印刷は中止できません。	ジョブ一覧から該当するジョブを右クリックし、コンテキストメニューからジョブ操作をやり直してください。
選択されたジョブにおいて削除可能なジョブがありません。	選択したジョブは削除できません。	ジョブ一覧から該当するジョブを右クリックし、コンテキストメニューからジョブ操作をやり直してください。
選択されたジョブの印刷を中止しています。しばらくお待ちください...	印刷中止を実行中です。	対処はありません。
選択されたジョブを削除しています。しばらくお待ちください...	ジョブ削除を実行中です。	対処はありません。
選択されたジョブを削除してよろしいですか？	ジョブ一覧で削除できるジョブ状態の印刷ジョブを 1 つ以上選択した状態で、次のどれ	クリックするボタンに従って、次のとおり動作します。 • [はい]：ジョブを削除する • [いいえ]：ジョブを削除しない

メッセージ	説明	対処
	かの操作をしたときの確認メッセージです。 • マネージャコンソールのメニューバーから、[ジョブ]－［削除］を選択する • 右クリックし、コンテキストメニューから［削除］を選択する • ［Delete］キーを押す	
選択された複数のジョブを印刷してよろしいですか？ ドライバの異なるプリンタに切り替えて印刷する場合，正常に出力されない可能性があります。	[条件指定印刷（複数ジョブ選択)]画面で［印刷開始］ボタンをクリックしたときの確認メッセージです。	クリックするボタンに従って、次のとおり動作します。 • [はい]：印刷を実行する • [いいえ]：印刷を実行しない
選択したジョブの状態を保留中にしてよろしいですか？	印刷ジョブの状態を「保留中」にするときの確認メッセージです。	クリックするボタンに従って、次のとおり動作します。 • [はい]：選択した印刷ジョブの状態を「保留中」にする • [いいえ]：選択した印刷ジョブの状態を「保留中」にしない（「印刷処理済み」のままとする）
対象ジョブのジョブ状態に対して指定ジョブ操作はできません。	操作の対象に指定したジョブは操作できない状態です。	ジョブ一覧から該当するジョブを右クリックし、コンテキストメニューからジョブ操作をやり直してください。
テスト印刷が完了しました。プリンタにて実行結果を確認してください。	テスト印刷が完了しました。	実プリンタでテスト印刷の出力結果を確認してください。
テスト印刷が失敗しました。プリンタにて実行結果を確認してください。	テスト印刷が中止されました。またはテスト印刷に失敗しました。	実プリンタでテスト印刷の出力結果を確認してください。
テスト印刷してよろしいですか？	[テスト印刷］ボタンをクリックしたときの確認メッセージです。	クリックするボタンに従って、次のとおり動作します。 • [はい]：テスト印刷を実行する • [いいえ]：テスト印刷を実行しない
テスト印刷を中止してよろしいですか？	[中止］ボタンをクリックしたときの確認メッセージです。	クリックするボタンに従って、次のとおり動作します。 • [はい]：テスト印刷を中止する • [いいえ]：テスト印刷を続行する
ドライバの異なるプリンタに切り替えて印刷する場合、正常に出力されない可能性があります。印刷してよろしいですか？	次に示すプリンタのプリンタドライバが異なります。 • ジョブに登録されているプリンタ • ［条件指定印刷］画面で選択した出力先プリンタ	クリックするボタンに従って、次のとおり動作します。 • [はい]：印刷を実行する • [いいえ]：印刷を実行しない
プレビュー表示に失敗しました。	プレビュー表示に失敗しました。	• ほかの［プレビュー］画面がすでに表示されていないか確認してください。すでに表示されている場合は、[プレ

メッセージ	説明	対処
		ビュー］画面を閉じてから、再度プレビューを実行してください。 • システムリソースに空きがあるか確認してください。空きがない場合は、システムリソースを確保してから、再度プレビューを実行してください。 対処を実施してもエラーが表示される場合は、システム管理者、またはサポートサービスに問い合わせてください。
ページ数を<最小ページ数>～<最大ページ数>の範囲で入力してください。	印刷範囲に範囲外の値が指定されました。	設定されているページ数を確認してください。メッセージに表示された範囲内のページ数を設定してから、再度印刷を実行してください。
保存時の画面レイアウトに戻します。 よろしいですか？	保存済みの画面レイアウトに戻す時の確認メッセージです。	クリックするボタンに従って、次のとおり動作します。 • [はい]：保存済みの画面レイアウトに戻す • [いいえ]：画面レイアウトを戻さない（表示中の画面レイアウトのままとする）
マネージャコンソールを終了します。よろしいですか？	マネージャコンソール終了時の確認メッセージです。	クリックするボタンに従って、次のとおり動作します。 • [はい]：マネージャコンソールを終了する • [いいえ]：マネージャコンソールを終了しない
ローカルコンピューターの日立 プリンタマネージャ サービスを開始できません。 エラー 1067：プロセスを途中で強制終了しました。	次のどれかの要因が考えられます。 • モニタサービスが停止している • モニタサービスが起動しているが、モニタ環境設定で［マネージャ機能を使用する］チェックボックスがチェックされていない • マネージャの環境設定で、監視対象のプリンタが指定されていない • マネージャの環境設定で、監視対象のプリンタとして指定されているが、接続可能なプリンタがない	モニタサービスが起動しているか確認してください。 モニタサービスが起動している場合、モニタ環境設定の［マネージャ機能を使用する］チェックボックスがチェックされているか確認してください。 マネージャの環境設定で、監視対象とするプリンタを指定してください。 マネージャの環境設定で、監視対象とするプリンタの電源が入っているか、ネットワークがつながっているか確認してください。

9.5 マネージャのシステム稼働ログに出力されるメッセージ

KBPM2001-I

マネージャサーバを起動しました。

対処

システムの処理

処理を続行します。

ユーザの処理

なし

KBPM2002-I

マネージャサーバを終了しました。

対処

システムの処理

処理を終了します。

ユーザの処理

なし

KBPM2003-I

モニタ[<IP アドレス>]と接続しました。

IP アドレス

モニタが動作するマシンの IP アドレス。

対処

システムの処理

処理を続行します。

ユーザの処理

なし

KBPM2004-I

モニタ[<IP アドレス>]と切断しました。

IP アドレス
　モニタが動作するマシンの IP アドレス。

対処

システムの処理
　処理を終了します。
ユーザの処理
　なし

KBPM2005-I

マネージャコンソールと接続しました。

対処

システムの処理
　処理を続行します。
ユーザの処理
　なし

KBPM2006-I

マネージャコンソールと切断しました。

対処

システムの処理
　処理を続行します。
ユーザの処理
　なし

KBPM2007-E

モニタ[<IP アドレス>]に接続できませんでした。

IP アドレス
　モニタが動作するマシンの IP アドレス。

対処

システムの処理
　処理を終了します。

ユーザの処理
　次の条件を満たしているか確認してください。

- モニタが起動している
- マネージャで設定しているモニタの IP アドレスが正しい

KBPM2011-I

ジョブ受付[<プリンタ名>]を開始しました。

プリンタ名
　モニタ環境設定で作成した出力先プリンタ名。

対処

システムの処理
　処理を続行します。

ユーザの処理
　なし

KBPM2012-I

ジョブ受付[<プリンタ名>]を停止しました。

プリンタ名
　モニタ環境設定で作成した出力先プリンタ名。

対処

システムの処理
　処理を終了します。
ユーザの処理
　なし

KBPM2013-I

ジョブ[<管理番号>][<ジョブ ID>]を登録しました。

管理番号
　マネージャサービスで採番する番号。
ジョブ ID
　Windows スプーラが割り当てるジョブ ID。

対処

システムの処理
　処理を続行します。
ユーザの処理
　なし

KBPM2014-I

ジョブ[<管理番号>][<ジョブ ID>]を削除しました。

管理番号
　マネージャサービスで採番する番号。
ジョブ ID
　Windows スプーラが割り当てるジョブ ID。

対処

システムの処理
　処理を続行します。
ユーザの処理
　なし

KBPM2015-I

モニタにジョブ操作要求[<イベント名>]を送信しました。

イベント名

プログラム間での機能連携のために、独自付与した要求、応答の名前。

対処

システムの処理

処理を続行します。

ユーザの処理

なし

KBPM2016-W

プリンタ[<プリンタ名>]がモニタサービスにおいて監視対象ではありませんでした。

プリンタ名

モニタ環境設定で作成した出力先プリンタ名。

対処

システムの処理

処理を続行します。

ユーザの処理

モニタの設定情報が正しいか確認してください。

KBPM2017-E

監視対象のプリンタがありません。マネージャサーバを終了します。

対処

システムの処理

処理を終了します。

ユーザの処理

モニタおよびマネージャの設定情報が正しいか確認してください。

KBPM2018-W

不正なジョブ情報ファイル[<ファイル名>]を削除しました。

ファイル名

対象とするジョブ情報ファイル名。

対処

システムの処理

処理を継続します。

ユーザの処理

<ファイル名>に示すファイルが削除されていることを確認してください。

KBPM2019-E

不正なジョブ情報ファイル[<ファイル名>(詳細コード:<エラーコード>)]を検出しました。

ファイル名

対象とするジョブ情報ファイル名。

エラーコード

Windows のエラーコード。

対処

システムの処理

処理を終了します。

ユーザの処理

<ファイル名>に示すファイルを削除してください。

KBPM2020-E

アクセス[<フォルダまたはファイルパス>(詳細コード:<エラーコード>)]に失敗しました。

フォルダまたはファイルパス

該当のエラー個所のフォルダまたはファイルパスの名称。

エラーコード

Windows のエラーコード。

対処

システムの処理

処理を終了します。

ユーザの処理

<フォルダまたはファイルパス>のアクセス権を見直してください。

KBPM2021-I

ジョブの自動削除を開始します。<ジョブ数>個のジョブを削除します。

ジョブの個数

自動削除の対象となるジョブ数。

対処

システムの処理

処理を続行します。

ユーザの処理

なし

KBPM2022-I

ジョブの自動削除が終了しました。

対処

システムの処理

処理を続行します。

ユーザの処理

なし

KBPM2023-E

ジョブ[ジョブ管理番号] [ジョブ ID]の削除に失敗しました。

ジョブ管理番号

自動削除に失敗したジョブ管理番号。

ジョブ ID

自動削除に失敗したジョブ ID。

対処

システムの処理

該当する印刷ジョブをマネージャコンソールで検索します。

ユーザの処理

マネージャコンソール上から、印刷ジョブに対して「削除」操作を実行してください。

KBPM2024-I

マネージャクライアント[<IP アドレス>]と接続されました。

IP アドレス

マネージャクライアントが動作するマシンの IP アドレス。

対処

システムの処理

処理を続行します。

ユーザの処理

なし

KBPM2025-I

マネージャクライアント[<IP アドレス>]と切断しました。

IP アドレス

マネージャクライアントが動作するマシンの IP アドレス。

対処

システムの処理
　処理を続行します。

ユーザの処理
　なし

KBPM2026-I

マネージャクライアント[<IP アドレス>]からモニタにジョブ操作要求[<イベント名>]を送信しました。

IP アドレス
　マネージャクライアントが動作するマシンの IP アドレス。

イベント名
　プログラム間での機能連携のために、独自に付与した要求、応答の名前。

対処

システムの処理
　処理を続行します。

ユーザの処理
　なし

KBPM2027-W

不正なジョブ情報ファイル[<ファイル名>]を[<退避先フォルダ名>]へ退避しました。

ファイル名
　対象とするジョブ情報ファイル名。

退避先フォルダ名
　ジョブ情報ファイルを退避したフォルダ名。

対処

システムの処理
　処理を続行します。

ユーザの処理
　退避されたジョブを確認し、正しい方法でジョブ保存先フォルダへ移行してください。

KBPM2111-W

プリンタ[<プリンタ IP アドレス>] でエラーが発生しました（<OCP メッセージ上> ／<OCP メッセージ下>)。

プリンタ IP アドレス

マネージャ環境設定で作成した出力先プリンタ名の IP アドレス。

OCP メッセージ上／OCP メッセージ下

プリンタエラー発生時プリンタに表示される OCP メッセージ。

対処

システムの処理

処理を続行します。

ユーザの処理

プリンタが印刷できる状態であるかどうか確認してください。

9.6　モニタ Client の画面操作で出力されるメッセージ

9.6.1　モニタ Client の環境設定時に出力されるメッセージ

［モニタクライアント環境設定］画面の操作時に出力されるメッセージを次に示します。

メッセージ	説明	対処
IP アドレスが入力されていません。	モニタ IP アドレスが入力されていません。	モニタ IP アドレスを入力して操作し直してください。
画面情報の作成に失敗しました。（補足情報：<補足情報のコード>）	［モニタクライアント環境設定］画面を起動できませんでした。	環境設定を起動し直してください。見直しの結果、改善されない場合は、システム管理者、またはサポートサービスへ問い合わせてください。
環境設定ファイルにアクセスできません（補足情報：<Windows のエラーコード>）。変更できません。	環境設定ファイルへのアクセスに失敗しました。	次の内容を見直して、操作し直してください。 • 「%AppData%¥HITACHI¥PrinterMonitorCL」下のフォルダ、またはファイルが読み取り専用となっていないか • 「%AppData%¥HITACHI¥PrinterMonitorCL」下のフォルダ、またはファイルを別のプロセスで使用していないか 見直しの結果、改善されない場合は、システム管理者、またはサポートサービスへ問い合わせてください。
「すべてのログインユーザで共通のプリンタを監視する」設定へ変更します。 ログインユーザごとのプリンタの設定は無効となります。 よろしいですか？	［管理設定］画面の［すべてのログインユーザで共通のプリンタを監視する］チェックボックスをチェックしたときの確認メッセージです。	クリックするボタンに従って、次のとおり動作します。 • ［はい］：チェックボックスをチェックする（すべてのログインユーザで共通のプリンタを監視する設定に変更する） • ［いいえ］：チェックボックスのチェックを外す（ログインユーザでユーザごとに設定したプリンタを監視する設定に戻す）
「すべてのログインユーザで共通のプリンタを監視する」設定を解除します。 ログインユーザごとにプリンタの設定が必要となります。 よろしいですか？	［管理設定］画面の［すべてのログインユーザで共通のプリンタを監視する］チェックボックスのチェックを外したときの確認メッセージです。	クリックするボタンに従って、次のとおり動作します。 • ［はい］：チェックボックスのチェックを外す（ログインユーザでユーザごとに設定したプリンタを監視する設定に変更する） • ［いいえ］：チェックボックスをチェックする（すべてのログインユーザで

メッセージ	説明	対処
		共通のプリンタを監視する設定に戻す)
最大サイズには 1～100 の整数を入力してください。	ログファイルの最大サイズに 1～100 以外の値が入力されています。	最大サイズの値を修正して、操作し直してください。
システムリソースの不足が発生しました。	システムのリソースが不足しています。	メモリ、およびディスク容量がシステム要件を満たしているか見直して、OS を再起動してください。 OS 環境の見直しの結果、改善されない場合は、システム管理者、またはサポートサービスへ問い合わせてください。
指定内容を共通設定ファイルに上書きします。よろしいですか？	[管理設定] 画面の［すべてのログインユーザで共通のプリンタを監視する］チェックボックスをチェックして、[OK] ボタンをクリックしたときの確認メッセージです。	「<製品のインストールフォルダ>¥standard」下の設定ファイルを上書きして、すべてのユーザで共通のプリンタを監視します。
指定内容をユーザごとの設定ファイルに上書きします。よろしいですか？	[管理設定] 画面の［すべてのログインユーザで共通のプリンタを監視する］チェックボックスのチェックを外して、[OK] ボタンをクリックしたときの確認メッセージです。	「%AppData%¥HITACHI¥PrinterMonitorCL」下の設定ファイルを上書きして、ログインユーザごとに設定したプリンタを監視します。
使用禁止文字が含まれています。	対象の入力個所に使用禁止文字が含まれています（サロゲートペア、IVS フォントなど)。	対象の入力個所に使用禁止文字が含まれていないか確認してください。
すでに起動されています。	環境設定は起動済みです。	すでに起動されている環境設定を終了させてから、起動し直してください。
整数を入力してください。	ログファイルの最大サイズ、世代管理数に整数以外の値が入力されました。	ログファイルの最大サイズ、世代管理数の値を修正して操作し直してください。
世代管理数には 3～10 の整数を入力してください。	世代管理数に 3～10 以外の値が入力されています。	世代管理数の値を修正して、操作し直してください。
設定情報の書き込みに失敗しました（補足情報：<Windows のエラーコード>)。	環境設定ファイルの書き込みに失敗しました。	次の内容を見直して、操作し直してください。 • 「%AppData%¥HITACHI¥PrinterMonitorCL」下のフォルダ、またはファイルが読み取り専用となっていないか • 「%AppData%¥HITACHI¥PrinterMonitorCL」下のフォルダ、またはファイルを別のプロセスで使用していないか 見直しの結果、改善されない場合は、システム管理者、またはサポートサービスへ問い合わせてください。

メッセージ	説明	対処
選択された設定を削除してよろしいですか？	プリンター一覧でプリンタを選択して、[削除] ボタンをクリックしたときの確認メッセージです。	クリックするボタンに従って、次のとおり動作します。 • [はい]：選択したプリンタの設定を削除する • [いいえ]：選択したプリンタの設定を削除しない
入力したプリンタ名は既にプリンター一覧に登録されています。別のプリンタ名で登録してください。	対象のプリンタ名は登録済みです。	別のプリンタ名に修正して、操作し直してください。
パス名に次の文字は使用できません。 * ? " < > ¦	ログ出力先フォルダまたはログ出力先の予備フォルダのパス名に禁止文字が入力されました。	ログ出力先フォルダまたはログ出力先の予備フォルダのパス名を次の禁則文字以外に設定し直してください。 *、?、”、<、>、¦
フォルダ名に指定されたフォルダにアクセスできません（補足情報：<Windows のエラーコード>）。	ログ出力先フォルダに指定されたフォルダにアクセスできません。	指定したフォルダがあるか、指定したフォルダ名が正しいかを確認し、操作し直してください。 見直しの結果、改善されない場合は、システム管理者、またはサポートサービスへ問い合わせてください。
フォルダ名を入力してください。	ログ出力先のフォルダ名が入力されていません。	フォルダ名を入力して、操作し直してください。
プリンタ名が入力されていません。	プリンタ名が入力されていません。	プリンタ名を入力して、操作し直してください。
予期せぬエラーが発生しました（補足情報：<Windows のエラーコード>）。	想定外のエラーが発生しました。	環境設定を再起動して操作し直してください。再起動できない場合は、システム管理者、またはサポートサービスへ問い合わせてください。

9.6.2 モニタ Client の運用時に出力されるメッセージ

モニタ Client でモニタクライアントの操作時に出力されるメッセージを次に示します。

メッセージ	説明	対処
監視プリンタ登録に失敗しました。	監視プリンタ登録に失敗しました。	次の内容を見直して、操作し直してください。 • ログに出力されたプリンタは監視対象か • 環境設定ファイルの設定内容に誤りはないか 見直しの結果、改善されない場合は、システム管理者、またはサポートサービスへ問い合わせてください。
検索対象の文字列は見つかりませんでした。	検索テキストボックスに指定した文字列は見つかりません。	{OK} ボタンをクリックして、検索を終了します。再検索する場合は、文字列または検索方向（前または次）を見直してください。

メッセージ	説明	対処
検索対象の文字列は見つかりませんでした。 なお、イメージとして出力された文字列や、ドライバで生成された文字列は検索できません。	検索テキストボックスに指定した文字列は見つかりません。	{OK} ボタンをクリックして、検索を終了します。再検索する場合は、文字列または検索方向（前または次）を見直してください。
すでに起動されています。	モニタクライアントは起動済みです。	すでに起動されているモニタクライアントを終了させてから、起動し直してください。
マネージャサービスが起動していないため，モニタサービスから切断されました。(補足情報：初期処理)	モニタサービスとの接続に失敗しました。	次の内容を見直して、操作し直してください。 • マネージャサービスが起動されているか • 環境設定ファイルの設定内容に誤りはないか 見直しの結果、改善されない場合は、システム管理者、またはサポートサービスへ問い合わせてください。
モニタクライアントからの要求は受け付けられませんでした。	モニタクライアントからの要求が、モニタサービスで拒否されました。	ほかのモニタクライアント、またはモニタコンソールで、該当するジョブに対する操作を実施していることを確認してください。
モニタクライアントを起動中です。	モニタサーバとの接続中です。	対処はありません。
モニタクライアントを終了します。よろしいですか？	モニタクライアントのアイコンを右クリックし、コンテキストメニューから［終了］が選択されました。	対処はありません。
モニタサービス・マネージャサービスでは監視対象ではないプリンタがありました。マネージャ機能を使用している場合，モニタとマネージャの両方の環境設定に監視対象プリンタを登録してください。	監視対象外のプリンタが存在します。	次の内容を見直して、操作し直してください。 • ログに出力されたプリンタは監視対象か • 環境設定ファイルの設定内容に誤りはないか 見直しの結果、改善されない場合は、システム管理者、またはサポートサービスへ問い合わせてください。
モニタサービスでは監視対象ではないプリンタがありました。確認してください。	監視対象外のプリンタが存在します。	次の内容を見直して、操作し直してください。 • ログに出力されたプリンタは監視対象か • 環境設定ファイルの設定内容に誤りはないか 見直しの結果、改善されない場合は、システム管理者、またはサポートサービスへ問い合わせてください。
モニタサービスとの接続に失敗しました。(補足情報：APIエラー)	モニタサービスとの接続に失敗しました。	マネージャコンソールを再度起動して、操作し直してください。再起動できない場合は、システム管理者、またはサポートサービスへ問い合わせてください。
モニタサービスとの接続に失敗しました。(補足情報：初期処理)	モニタサービスとの接続に失敗しました。	次の内容を見直して、操作し直してください。 • モニタサービスが起動されているか • 環境設定ファイルの設定内容に誤りはないか 見直しの結果、改善されない場合は、システム管理者、またはサポートサービスへ問い合わせてください。

メッセージ	説明	対処
モニタサービスとの接続に失敗しました。(補足情報：タイムアウト)	モニタサービスとの接続に失敗しました。	次の内容を見直して、操作し直してください。 • モニタサービスが起動されているか • 環境設定ファイルの設定内容に誤りはないか • モニタサーバのマシンとの通信網に不備はないか 見直しの結果、改善されない場合は、システム管理者、またはサポートサービスへ問い合わせてください。
ログ設定ファイルの読込に失敗しました。(補足情報：ログ情報取得)	ログ設定ファイルの読み込みに失敗しました。	次の内容を見直して、操作し直してください。 • ログ設定ファイルがあるか • ログ設定ファイルの設定内容に誤りがないか 見直しの結果、改善されない場合は、システム管理者、またはサポートサービスへ問い合わせてください。

9.7　モニタ Client のシステム稼働ログに出力されるメッセージ

KBPM3001-I

モニタクライアントを起動しました。

対処

システムの処理

　処理を続行します。

ユーザの処理

　なし

KBPM3002-I

モニタクライアントを終了しました。

対処

システムの処理

　処理を終了します。

ユーザの処理

　なし

KBPM3003-I

モニタサービスと接続しました。

対処

システムの処理

　処理を続行します。

ユーザの処理

　なし

KBPM3004-E

モニタサービスと接続に失敗しました。

対処

システムの処理

処理を終了します。

ユーザの処理

環境設定が正しいか確認してください。

KBPM3005-W

プリンタ[<プリンタ名>]がモニタサービスにおいて監視対象ではありませんでした。

プリンタ名

モニタ環境設定で作成した出力先プリンタ名。

対処

システムの処理

処理を続行します。

ユーザの処理

環境設定が正しいか確認してください。

KBPM3006-E

監視プリンタ登録に失敗しました。

対処

システムの処理

処理を終了します。

ユーザの処理

環境設定が正しいか確認してください。

解決しない場合、システム管理者、またはサポートサービスへ問い合わせてください。

KBPM3007-I

モニタサービスへの再接続を試行します。

対処

システムの処理

処理を続行します。

ユーザの処理

なし

KBPM3008-W

モニタサービスへの再接続に失敗しました。

対処

システムの処理

処理を続行します。

ユーザの処理

モニタサービスが起動しているか確認してください。

KBPM3009-W

プリンタ[<プリンタ名>]がモニタサービスまたはマネージャサービスにおいて監視対象ではありませんでした。

対処

システムの処理

処理を続行します。

ユーザの処理

環境設定が正しいか確認してください。

KBPM3010-E

モニタの「複数のログインユーザでモニタ/マネージャクライアントを起動する」が設定されていないためクライアントは起動できません。

対処

システムの処理

処理を終了します。

ユーザの処理

モニタの環境設定が正しいか確認してください。

KBPM3101-I

モニタサービスからの用紙交換通知を受信しました。

対処

システムの処理

処理を続行します。

ユーザの処理

なし

KBPM3102-I

モニタサービスからの障害通知を受信しました。

対処

システムの処理

処理を続行します。

ユーザの処理

なし

KBPM3103-I

モニタサービスからの終了通知を受信しました。

対処

システムの処理

処理を終了します。

ユーザの処理

なし

KBPM3104-W

モニタサービスから通信を切断されました。

対処

システムの処理

処理を終了します。

ユーザの処理

モニタサービスが終了していないか確認してください。

KBPM3105-I

モニタサービスへ指示要求を送信しました。

対処

システムの処理

処理を続行します。

ユーザの処理

なし

KBPM3106-I

モニタサービスからの要求受付応答を受信しました。

対処

システムの処理

処理を続行します。

ユーザの処理

なし

KBPM3107-I

モニタサービスからの処理結果通知を受信しました。

対処

システムの処理

処理を続行します。

ユーザの処理

なし

KBPM3108-E

モニタサービスとの通信に失敗しました。

対処

システムの処理

- モニタクライアントの自動再接続が有効な場合
  処理を続行します。
- モニタクライアントの自動再接続が無効な場合
  処理を終了します。

ユーザの処理

モニタサービスが起動しているか確認してください。

KBPM3109-W

マネージャサービスが起動していないため，モニタサービスから切断されました。

対処

システムの処理

処理を終了します。

ユーザの処理

マネージャサービスが起動しているか確認してください。

9.8　マネージャ Client の画面操作で出力されるメッセージ

9.8.1　マネージャ Client の環境設定時に出力されるメッセージ

［マネージャクライアント環境設定］画面の操作時に出力されるメッセージを次に示します。

メッセージ	説明	対処
IP アドレスが入力されていません。	登録する管理対象プリンタを監視しているマネージャが動作するマシンの、IP アドレスが入力されていません。	マネージャ IP アドレスを入力して操作し直してください。
画面情報の作成に失敗しました。(補足情報：<補足情報のコード>)	［マネージャクライアント環境設定］画面を起動できませんでした。	環境設定を起動し直してください。見直しの結果、改善されない場合は、システム管理者、またはサポートサービスへ問い合わせてください。
環境設定ファイルにアクセスできません(補足情報：<Windows のエラーコード>)。変更できません。	環境設定ファイルへのアクセスに失敗しました。	次の内容を見直して、操作し直してください。 • 「%AppData%¥HITACHI¥PrinterManagerCL」下のフォルダ、またはファイルが読み取り専用となっていないか • 「%AppData%¥HITACHI¥PrinterManagerCL」下のフォルダ、またはファイルを別のプロセスで使用していないか 見直しの結果、改善されない場合は、システム管理者、またはサポートサービスへ問い合わせてください。
「すべてのログインユーザで共通のプリンタを監視する」設定へ変更します。 ログインユーザごとのプリンタの設定は無効となります。 よろしいですか？	［管理設定］画面の［すべてのログインユーザで共通のプリンタを監視する］チェックボックスをチェックしたときの確認メッセージです。	クリックするボタンに従って、次のとおり動作します。 • ［はい］：チェックボックスをチェックする（すべてのログインユーザで共通のプリンタを監視する設定に変更する） • ［いいえ］：チェックボックスのチェックを外す（ログインユーザでユーザごとに設定したプリンタを監視する設定に戻す）
「すべてのログインユーザで共通のプリンタを監視する」設定を解除します。 ログインユーザごとにプリンタの設定が必要となります。 よろしいですか？	［管理設定］画面の［すべてのログインユーザで共通のプリンタを監視する］チェックボックスのチェックを外したときの確認メッセージです。	クリックするボタンに従って、次のとおり動作します。 • ［はい］：チェックボックスのチェックを外す（ログインユーザでユーザごとに設定したプリンタを監視する設定に変更する）

メッセージ	説明	対処
		• [いいえ]：チェックボックスをチェックする（すべてのログインユーザで共通のプリンタを監視する設定に戻す）
最大サイズには 1～100 の整数を入力してください。	ログファイルの最大サイズに 1～100 以外の値が入力されています。	最大サイズの値を修正して、操作し直してください。
システムリソースの不足が発生しました。	システムのリソースが不足しています。	メモリ、およびディスク容量がシステム要件を満たしているか見直して、OS を再起動してください。 OS 環境の見直しの結果、改善されない場合は、システム管理者、またはサポートサービスへ問い合わせてください。
指定内容を共通設定ファイルに上書きします。よろしいですか？	[管理設定] 画面の［すべてのログインユーザで共通のプリンタを監視する］チェックボックスをチェックして、[OK] ボタンをクリックしたときの確認メッセージです。	「<製品のインストールフォルダ>¥standard」下の設定ファイルを上書きして、すべてのユーザで共通のプリンタを監視します。
指定内容をユーザごとの設定ファイルに上書きします。よろしいですか？	[管理設定] 画面の［すべてのログインユーザで共通のプリンタを監視する］チェックボックスのチェックを外して、[OK] ボタンをクリックしたときの確認メッセージです。	「%AppData%¥HITACHI¥PrinterManagerCL」下の設定ファイルを上書きして、ログインユーザごとに設定したプリンタを監視します。
使用禁止文字が含まれています。	対象の入力個所に使用禁止文字が含まれています（サロゲートペア、IVS フォントなど）。	対象の入力個所に使用禁止文字が含まれていないか確認してください。
すでに起動されています。	環境設定は起動済みです。	すでに起動されている環境設定を終了させてから、起動し直してください。
整数を入力してください。	ログファイルの最大サイズ、世代管理数に整数以外の値が入力されました。	ログファイルの最大サイズ、世代管理数の値を修正して操作し直してください。
世代管理数には 3～10 の整数を入力してください。	世代管理数に 3～10 以外の値が入力されています。	世代管理数の値を修正して、操作し直してください。
設定情報の書き込みに失敗しました（補足情報：<Windows のエラーコード>）。	環境設定ファイルの書き込みに失敗しました。	次の内容を見直して、操作し直してください。 • 「<製品のインストールフォルダ>¥standard」または、「%AppData%¥HITACHI¥PrinterManagerCL」下のフォルダ、またはファイルが読み取り専用となっていないか • 「<製品のインストールフォルダ>¥standard」または、「%AppData%¥HITACHI¥PrinterManagerCL」下のフォルダ、またはファイルを別のプロセスで使用していないか

メッセージ	説明	対処
		見直しの結果、改善されない場合は、システム管理者、またはサポートサービスへ問い合わせてください。
選択された設定を削除してよろしいですか？	プリンター一覧でプリンタを選択して、[削除] ボタンをクリックしたときの確認メッセージです。	クリックするボタンに従って、次のとおり動作します。 • [はい]：選択したプリンタの設定を削除する • [いいえ]：選択したプリンタの設定を削除しない
入力したプリンタ名は既にプリンター一覧に登録されています。別のプリンタ名で登録してください。	対象のプリンタ名は登録済みです。	別のプリンタ名に修正して、操作し直してください。
パス名に次の文字は使用できません。 * ? " < > ¦	ログ出力先フォルダまたはログ出力先の予備フォルダのパス名に禁止文字が入力されました。	ログ出力先フォルダまたはログ出力先の予備フォルダのパス名を次の禁則文字以外に設定し直してください。 *、?、”、<、>、¦
フォルダ名に指定されたフォルダにアクセスできません（補足情報：<Windows のエラーコード>）。	ログ出力先フォルダに指定されたフォルダにアクセスできません。	指定したフォルダがあるか、指定したフォルダ名が正しいかを確認し、操作し直してください。 見直しの結果、改善されない場合は、システム管理者、またはサポートサービスへ問い合わせてください。
フォルダ名を入力してください。	ログ出力先のフォルダ名が入力されていません。	フォルダ名を入力して、操作し直してください。
プリンタ名が入力されていません。	プリンタ名が入力されていません。	プリンタ名を入力して、操作し直してください。
予期せぬエラーが発生しました（補足情報：<Windows のエラーコード>）。	想定外のエラーが発生しました。	環境設定を再起動して操作し直してください。再起動できない場合は、システム管理者、またはサポートサービスへ問い合わせてください。

9.8.2 マネージャ Client の運用時に出力されるメッセージ

マネージャ Client でマネージャクライアントの操作時に出力されるメッセージを次に示します。

メッセージ	説明	対処
イベント（イベントコード：[<イベントコード>]）受信解析処理でエラーが発生しました。マネージャクライアントを終了します。	マネージャサーバから受信したイベントの情報が不正です。	マネージャクライアントを再度起動して、操作し直してください。再起動できない場合は、システム管理者、またはサポートサービスへ問い合わせてください。

メッセージ	説明	対処
印刷してよろしいですか？	[印刷開始] ボタンをクリックしたときの確認メッセージです。	クリックするボタンに従って、次のとおり動作します。 • [はい]：印刷を実行する • [いいえ]：印刷を実行しない
印刷を中止してよろしいですか？	[印刷中止] ボタンをクリックしたときの確認メッセージです。	クリックするボタンに従って、次のとおり動作します。 • [はい]：印刷を中止する • [いいえ]：印刷を続行する
開始ページの値が終了ページの値より大きく設定されています。開始ページは終了ページより小さい値で設定してください。	開始ページ、または終了ページに不正な値が指定されました。	設定されている開始ページ、および終了ページの大小関係を確認してください。適切な値を設定してから、再度印刷を実行してください。
監視対象プリンタがありません。マネージャクライアントを終了します。	監視対象プリンタがありません。	監視プリンタの登録内容を確認してください。
検索対象の文字列は見つかりませんでした。	検索テキストボックスに指定した文字列は見つかりません。	{OK} ボタンをクリックして、検索を終了します。再検索する場合は、文字列または検索方向（前または次）を見直してください。
検索対象の文字列は見つかりませんでした。 なお、イメージとして出力された文字列や、ドライバで生成された文字列は検索できません。	検索テキストボックスに指定した文字列は見つかりません。	{OK} ボタンをクリックして、検索を終了します。再検索する場合は、文字列または検索方向（前または次）を見直してください。
サーバがジョブの自動削除を実行中です。しばらくお待ちください...	マネージャサーバによるジョブの自動削除中です。	対処はありません。
サーバが終了しました。マネージャクライアントを終了します。	マネージャサービスが終了しました。	対処はありません。
サーバがジョブの削除を実行中です。 起動するまでしばらくお待ちください...	マネージャサーバでジョブ削除を実行中です。	対処はありません。
サーバから最新の情報を取得しています。 起動するまでしばらくお待ちください...	マネージャサーバから表示用情報取得中です。	対処はありません。
サーバ起動状態を確認中です。しばらくお待ちください...	マネージャサーバとの接続中です。	対処はありません。
サーバと通信ができません。接続状態を確認してください。	マネージャサーバとの通信に失敗しました。	マネージャサーバとの通信状態（LAN 接続、マネージャサービスの稼働、ネットワークのトラフィックなど）に問題がないか確認してください。

メッセージ	説明	対処
マネージャクライアントを終了します。		
サーバへの通信処理に失敗しました。	マネージャサーバへのイベント送信に失敗しました。	マネージャサーバとの通信状態（LAN 接続、マネージャサービスの稼働、ネットワークのトラフィックなど）に問題がないか確認してください。
サーバへの要求が拒否されました。ジョブの状態を確認してから再度要求を行ってください。	ジョブ状態が原因で、サーバへの要求が受け付けられませんでした。	ジョブ一覧から該当するジョブを右クリックし、コンテキストメニューからジョブ操作をやり直してください。
ジョブ一覧ウィンドウ（<ウィンドウタイトル名>）を削除します。 よろしいですか？	ジョブ一覧ウィンドウ削除時の確認メッセージです。	クリックするボタンに従って、次のとおり動作します。 • [はい]：ジョブ一覧ウィンドウを削除する • [いいえ]：ジョブ一覧ウィンドウを削除しない
ジョブが選択されていません。	ジョブが選択されていません。	ジョブ一覧でジョブを選択してから、操作し直してください。
すでに起動されています。	マネージャクライアントは起動済みです。	すでに起動されているマネージャクライアントを終了させてから、起動し直してください。
選択されたジョブにおいて印刷中止可能なジョブがありません。	選択したジョブの印刷は中止できません。	ジョブ一覧から該当するジョブを右クリックし、コンテキストメニューからジョブ操作をやり直してください。
選択されたジョブにおいて削除可能なジョブがありません。	選択したジョブは削除できません。	ジョブ一覧から該当するジョブを右クリックし、コンテキストメニューからジョブ操作をやり直してください。
選択されたジョブの印刷を中止しています。しばらくお待ちください...	印刷中止を実行中です。	対処はありません。
選択されたジョブを削除しています。しばらくお待ちください...	ジョブ削除を実行中です。	対処はありません。
選択されたジョブを削除してよろしいですか？	ジョブ一覧で削除できるジョブ状態の印刷ジョブを 1 つ以上選択した状態で、次のどれかの操作をしたときの確認メッセージです。 • マネージャクライアントのメニューバーから、［ジョブ］－［削除］を選択する • 右クリックし、コンテキストメニューから［削除］を選択する • ［Delete］キーを押す	クリックするボタンに従って、次のとおり動作します。 • [はい]：ジョブを削除する • [いいえ]：ジョブを削除しない
選択された複数のジョブを印刷してよろしいですか？	[条件指定印刷（複数ジョブ選択)］画面で［印刷開始］	クリックするボタンに従って、次のとおり動作します。 • [はい]：印刷を実行する

メッセージ	説明	対処
ドライバの異なるプリンタに切り替えて印刷する場合，正常に出力されない可能性があります。	ボタンをクリックしたときの確認メッセージです。	• [いいえ]：印刷を実行しない
選択したジョブの状態を保留中にしてよろしいですか？	印刷ジョブの状態を「保留中」にするときの確認メッセージです。	クリックするボタンに従って、次のとおり動作します。 • [はい]：選択した印刷ジョブの状態を「保留中」にする • [いいえ]：選択した印刷ジョブの状態を「保留中」にしない（「印刷処理済み」のままとする）
対象ジョブのジョブ状態に対して指定ジョブ操作はできません。	操作の対象に指定したジョブは操作できない状態です。	ジョブ一覧から該当するジョブを右クリックし、コンテキストメニューからジョブ操作をやり直してください。
テスト印刷が完了しました。プリンタにて実行結果を確認してください。	テスト印刷が完了しました。	実プリンタでテスト印刷の出力結果を確認してください。
テスト印刷が失敗しました。プリンタにて実行結果を確認してください。	テスト印刷が中止されました。またはテスト印刷に失敗しました。	実プリンタでテスト印刷の出力結果を確認してください。
テスト印刷してよろしいですか？	[テスト印刷] ボタンをクリックしたときの確認メッセージです。	クリックするボタンに従って、次のとおり動作します。 • [はい]：テスト印刷を実行する • [いいえ]：テスト印刷を実行しない
ドライバの異なるプリンタに切り替えて印刷する場合、正常に出力されない可能性があります。印刷してよろしいですか？	次に示すプリンタのプリンタドライバが異なります。 • ジョブに登録されているプリンタ • [条件指定印刷] 画面で選択した出力先プリンタ	クリックするボタンに従って、次のとおり動作します。 • [はい]：印刷を実行する • [いいえ]：印刷を実行しない
プレビュー表示に失敗しました。	プレビュー表示に失敗しました。	• ほかの [プレビュー] 画面がすでに表示されていないか確認してください。すでに表示されている場合は、[プレビュー] 画面を閉じてから、再度プレビューを実行してください。 • システムリソースに空きがあるか確認してください。空きがない場合は、システムリソースを確保してから、再度プレビューを実行してください。 対処を実施してもエラーが表示される場合は、システム管理者、またはサポートサービスに問い合わせてください。
ページ数を<最小ページ数>～<最大ページ数>の範囲で入力してください。	印刷範囲に範囲外の値が指定されました。	設定されているページ数を確認してください。メッセージに表示された範囲内のページ数を設定してから、再度印刷を実行してください。
マネージャクライアントを終了します。よろしいですか？	マネージャクライアント終了時の確認メッセージです。	クリックするボタンに従って、次のとおり動作します。 • [はい]：マネージャクライアントを終了する • [いいえ]：マネージャクライアントを終了しない

9.9 マネージャ Client のシステム稼働ログに出力されるメッセージ

KBPM4001-I

マネージャクライアントを起動しました。

対処

システムの処理

処理を続行します。

ユーザの処理

なし

KBPM4002-I

マネージャクライアントを終了しました。

対処

システムの処理

処理を終了します。

ユーザの処理

なし

KBPM4003-I

マネージャサービス[<IP アドレス>]と接続しました。

IP アドレス

マネージャが動作するマシンの IP アドレス。

対処

システムの処理

処理を続行します。

ユーザの処理

なし

KBPM4004-E

マネージャサービスと接続に失敗しました。

対処

システムの処理

処理を終了します。

ユーザの処理

環境設定が正しいか確認してください。

KBPM4005-W

プリンタ[<プリンタ名>]がマネージャサービスにおいて監視対象ではありませんでした。

プリンタ名

マネージャクライアント環境設定で作成した出力先プリンタ名。

対処

システムの処理

処理を続行します。

ユーザの処理

環境設定が正しいか確認してください。

KBPM4006-E

監視プリンタ登録に失敗しました。

対処

システムの処理

処理を終了します。

ユーザの処理

環境設定が正しいか確認してください。

解決しない場合、システム管理者、またはサポートサービスへ問い合わせてください。

KBPM4007-I

マネージャにジョブ操作要求[<イベント名>]を送信しました。

イベント名

プログラム間での機能連携のために、独自に付与した要求、応答の名前。

対処

システムの処理

処理を続行します。

ユーザの処理

なし

KBPM4008-I

モニタサービスからの[<通知名>]通知を受信しました。

通知名

モニタサービスから通知された内容。

- 終了
- 障害
- 用紙交換

対処

システムの処理

処理を続行します。

ユーザの処理

なし

KBPM4009-E

モニタの「複数のログインユーザでモニタ/マネージャクライアントを起動する」が設定されていないためクライアントは起動できません。

対処

システムの処理

　処理を終了します。

ユーザの処理

　モニタの環境設定が正しいか確認してください。

9.10　印刷ジョブのバックアップおよびリストアで出力されるメッセージ

印刷ジョブのバックアップおよびリストアで出力されるメッセージを次に示します。

メッセージ	説明	対処
ジョブ保存先フォルダはバックアップファイル出力先フォルダとして指定できません。	ジョブ保存先フォルダはバックアップファイル出力先フォルダとして指定できません。	ほかのフォルダを指定してください。
すべてのジョブのバックアップに失敗したため，バックアップファイルを作成できませんでした。	すべてのジョブのバックアップに失敗したため、バックアップファイルを作成できませんでした。	ログを参照し、エラー内容を確認してください。
選択したファイルは形式が異なるためリストア対象にできません。(<選択したファイル名>)	形式不正のバックアップファイルが選択されたため、リストア処理を実行できません。	プリンタマネージャで作成したバックアップファイルを選択してください。
バックアップ実行中にエラーが発生しました。(エラー情報(<処理内容>，<フォルダ名またはファイル名>，<エラーコード>，<行番号>))	指定したフォルダもしくはファイルがないか、またはフォルダもしくはファイルがアクセス禁止になっています。	指定したフォルダまたはファイルがあるか、フォルダまたはファイルにアクセスできるかを確認してから、操作し直してください。
バックアップ実行中にエラーが発生しました。 エラー情報(<処理内容>，<エラーコード>，<行番号>)	バックアップの進行状況表示処理でエラーが発生しました。	しばらく時間を空けてから、再度、バックアップを実行してください。
バックアップ対象の印刷ジョブがありません。	バックアップ対象の印刷ジョブがないため、バックアップファイルを作成しませんでした。	バックアップ対象の指定を見直し、必要に応じて、再度、バックアップを実行してください。
バックアップファイルを作成しました。(<バックアップファイル名>)	バックアップファイルを作成しました。	対処はありません。
バックアップファイルを作成しました。(<バックアップファイル名>) なお，バックアップできなかったジョブがあります。ログを参照して内容を確認してください。	バックアップを実行しましたが、一部エラーとなったジョブがあります。	ログを参照し、エラー内容を確認してください。
バックアップまたはリストアはすでに実行中です。	バックアップ、またはリストアが起動済みです。	起動中のバックアップ、またはリストアを停止したあと、再度、起動し直してください。
バックアップを中止しました。	バックアップ処理の中止を確認する画面で［はい］ボタンをクリックしたときのメッセージです。	［OK］ボタンをクリックしてバックアップを終了してください。
バックアップを中止しますか？	バックアップ処理中に進捗状況を示す画面で［キャンセル］ボタンをクリックしたときの確認メッセージです。	クリックするボタンに従って、次のとおり動作します。 • ［はい］：バックアップ処理を中止する • ［いいえ］：バックアップ処理を中止しない

メッセージ	説明	対処
汎用形式のジョブを変換するための Windows プリンタ(<受付プリンタ名>)が存在しません。エラー情報(<エラーコード>)	受付プリンタ名（<受付プリンタ名>）の Windows プリンタが存在しないか、アクセスできませんでした。また、モニタやマネージャの環境設定に登録されているプリンタ名が不一致か、もしくは Windows プリンタが手動で削除されています。	受付プリンタ名（<受付プリンタ名>）の Windows プリンタがない場合は、モニタの環境設定でプリンタを作成してください。 バックアップファイル中の汎用形式以外の印刷ジョブをリストアする場合は、［ジョブのリストア］画面の［リストアするジョブ選択］で対象ジョブを選択し、［汎用形式のジョブをリストア先の受入プリンタでの印刷用に変換する］のチェックを外してリストアを実行してください。
日立プリンタステータスモニタまたは日立プリンタマネージャのサービスが実行中のため実行できません。	モニタサービス、またはマネージャサービスが起動しているため、バックアップを起動できません。	マネージャサービス、およびモニタサービスを停止したあと、再度、バックアップを起動し直してください。
フォルダの指定に失敗しました。	指定したフォルダがないか、またはアクセスできません。	指定したフォルダがあるか、フォルダにアクセスできるかを確認し、操作し直してください。
リストア実行中にエラーが発生しました。(エラー情報(<処理内容>，<フォルダ名またはファイル名>，<エラーコード>，<行番号>))	指定したフォルダもしくはファイルがないか、またはフォルダもしくはファイルがアクセス禁止になっています。	指定したフォルダまたはファイルがあるか、フォルダまたはファイルにアクセスできるかを確認してから、操作し直してください。
リストア実行中にエラーが発生しました。 エラー情報(<処理内容>，<エラーコード>，<行番号>)	リストアの進行状況表示処理でエラーが発生しました。	しばらく時間を空けてから、再度、リストアを実行してください。
リストアを終了しました。	リストアを終了しました。	対処はありません。
リストアを中止しました。	リストア処理の中止を確認する画面で［はい］ボタンをクリックしたときのメッセージです。	［OK］ボタンをクリックしてリストアを終了してください。
リストアを中止しますか？	リストア処理中に進捗状況を示す画面で［キャンセル］ボタンをクリックしたときの確認メッセージです。	クリックするボタンに従って、次のとおり動作します。 • ［はい］：リストア処理を中止する • ［いいえ］：リストア処理を中止しない

付録

付録 A　各バージョンの変更内容

変更内容(3021-3-G00-B0)

日立 プリンタステータスモニタ 01-83、日立 プリンタステータスモニタ Client 01-83、日立 プリンタステータスモニタ 拡張オプション 01-83、日立 プリンタマネージャ 01-83、日立 プリンタマネージャ Client 01-83

追加・変更内容
ESC/P 形式の印刷データをプレビュー表示する場合に、[プレビュー表示] 画面で次の操作をできるようにした。 • プレビュー表示領域のページを文字列を指定して検索する
マネージャの環境設定で、印刷アプリケーションで登録される印刷ジョブから要素を抽出して、マネージャコンソールおよびマネージャクライアントの［ジョブ一覧］ウィンドウに表示項目を追加できるようにした。 この変更に伴い、次の画面の［詳細］に、マネージャの環境設定で追加した表示項目の説明を追加した。 • ［表示列の設定］画面（[ジョブ一覧] タブ） • ［フィルタリング対象属性の設定］画面
印刷ジョブのリストア時、[ジョブのリストア] 画面で次の操作をできるようにした。 • 一覧の表示項目ごとに昇順または降順を切り替える • 一覧の表示項目の並び順をドラッグ&ドロップで移動する
インパクトプリンタ（モデル 5）の「プリンタの自動再開時に障害通知ダイアログを閉じる」の設定値を「OFF（固定)」から「ON」に変更した。

変更内容(3021-3-G00-A0)

日立 プリンタステータスモニタ 01-82、日立 プリンタステータスモニタ Client 01-82、日立 プリンタステータスモニタ 拡張オプション 01-82、日立 プリンタマネージャ 01-82、日立 プリンタマネージャ Client 01-82

追加・変更内容
プリンタマネージャで、特定のプリンタのプリンタ管理や印刷管理をするためのオプション製品を追加した。 • P-F242B-11142 日立 プリンタステータスモニタ 拡張オプション また、特定のプリンタの場合に選択できる監視方式（インパクトプリンタ（モデル 5)）を追加した。
汎用形式の印刷データをプレビュー表示する場合に、[プレビュー表示] 画面で次の操作をできるようにした。 • プレビュー表示領域のページを文字列を指定して検索する • プレビュー表示領域のページを拡大または縮小する
情報収集ツールで製品のデータフォルダやログの出力フォルダのファイル一覧を取得できるようにした。
情報採取ツールで選択した採取する情報の概算と、出力先フォルダのあるドライブの空き領域を表示するようにした。
情報収集ツール利用時の注意事項を追加した。

変更内容(3021-3-G00-90)

日立 プリンタステータスモニタ 01-81、日立 プリンタステータスモニタ Client 01-81、日立 プリンタマネージャ 01-81、日立 プリンタマネージャ Client 01-81

追加・変更内容
次の製品の適用 OS から Windows Server 2008、WindowsServer 2008 R2、Windows 7、および Windows 8 を削除した。 • 日立 プリンタステータスモニタ • 日立 プリンタステータスモニタ Client • 日立 プリンタマネージャ • 日立 プリンタマネージャ Client
次の画面操作で表示した［プレビュー表示］画面から、印刷データをページ指定した範囲で出力先プリンタへ印刷できるようにした。 • マネージャコンソールまたはマネージャクライアントで印刷ジョブを選択し、右クリックで［プレビュー表示］、またはメニューバーから［ジョブ］－［プレビュー表示］を選択する • ［条件指定印刷］画面で［プレビュー表示］ボタンをクリックする この変更に伴い、マネージャコンソールまたはマネージャクライアントの場合に、次の画面操作で表示される［プレビュー表示］画面も変更した。 • ［用紙交換通知］画面で［プレビュー表示］ボタンをクリックする • ［障害通知］画面で［プレビュー表示］ボタンをクリックする
標準 MIB を使用している場合に、モニタの環境設定の［障害監視］タブでプリンタから取得する OCP メッセージの文字コードを指定できるようにした。
バックアップ処理のログファイル名を「<受付プリンタ名>_<バックアップ処理の完了日時>.log」から「<受付プリンタ名>_<バックアップ処理の開始日時>.log」に変更した。
トラブルシューティングに必要なシステムや製品の関連情報を収集できる機能（情報収集ツール）を追加した。

変更内容(3021-3-G00-80)

日立 プリンタステータスモニタ 01-80、日立 プリンタステータスモニタ Client 01-80、日立 プリンタマネージャ 01-80、日立 プリンタマネージャ Client 01-80

追加・変更内容
マネージャコンソールおよびマネージャクライアントの［ジョブ一覧］ウィンドウで、［処理結果］に出力される次の項目の説明を変更した。 • 印刷中止（未印刷） • 印刷中止（印刷）
バックアップした印刷ジョブをマネージャのジョブ保存先フォルダから削除するかどうかを［ジョブのバックアップ］画面で設定できるようにした。
印刷ログの次の項目について、マネージャコンソールおよびマネージャクライアントの［ジョブ一覧］ウィンドウと同じ内容が出力されるように改善した。 • コンピュータ名 • ユーザ名

追加・変更内容
イベントログに出力されるメッセージを改善した。
マネージャコンソールおよびマネージャクライアントの起動中に出力されるメッセージを追加した。
監視方式にインパクトプリンタ（モデル 4）を適用しているプリンタで、[リセット] ボタンまたは [キャンセル] ボタンが押された場合に、[障害通知] 画面に表示する OCP メッセージを追加した。

変更内容(3021-3-G00-70)

日立 プリンタステータスモニタ 01-70、日立 プリンタステータスモニタ Client 01-70、日立 プリンタマネージャ 01-70、日立 プリンタマネージャ Client 01-70

追加・変更内容
次の画面で、モニタの環境設定の [障害リカバリ制御] の設定に関係なく、プレビュー表示できるように変更した。 • [障害通知] 画面 • [用紙交換通知] 画面 • [条件指定印刷] 画面 この変更に伴い、モニタの環境設定の [印刷データ形式] の設定値を [汎用形式で扱う]、[RAW 形式で扱う（ESC/P)] および [RAW 形式で扱う（その他)] に変更した。
マネージャコンソールおよびマネージャクライアントの [ジョブ一覧] ウィンドウで複数の印刷ジョブを出力する際に、出力先プリンタを変更できる [条件指定印刷（複数ジョブ選択)] 画面を追加した。
マネージャコンソールおよびマネージャクライアントの [ジョブ一覧] ウィンドウで、次の項目で を使用した列のフィルタリングを設定できるようにした。 • 出力プリンタ名 • ユーザ名 • コンピュータ名
マネージャコンソールおよびマネージャクライアントの [ジョブ一覧] ウィンドウに、次の項目を表示するようにした。 • 印刷受付日時 • 印刷回数 • 部数 • コンピュータ名 • ユーザ名 この追加に伴い、[ジョブ一覧] ウィンドウをカスタマイズする次の画面を変更した。 • [表示列の設定] 画面 • [フィルタリング対象属性の設定] 画面
マネージャコンソールおよびマネージャクライアントの [ジョブ一覧] ウィンドウで [状態] のフィルタリング設定時に、「印刷処理済み」を「印刷処理済み（すべて)」または「印刷処理済み（<［処理結果］の表示項目>)」で絞り込めるようにリスト項目を変更した。
インパクトプリンタの場合に選択できる監視方式に、「インパクトプリンタ（モデル 4)」を追加した。
印刷ジョブのバックアップおよびリストア時に、処理の進捗状況を示すメッセージを表示するように変更した。

変更内容(3021-3-G00-60)

日立 プリンタステータスモニタ 01-60、日立 プリンタステータスモニタ Client 01-60、日立 プリンタマネージャ 01-60、日立 プリンタマネージャ Client 01-60

追加・変更内容
印刷が完了した印刷ジョブをファイルにプリンタ単位で保管（バックアップ）できるようにした。また、保管したファイルを［ジョブ一覧］ウィンドウに復元（リストア）できるようにした。
ESC/P 形式の印刷データをプレビュー表示する場合に、［プレビュー表示］画面のプレビュー表示領域でページを拡大または縮小できるようにした。
マネージャコンソール、およびマネージャクライアントで次の機能を追加した。 • 画面レイアウトを保存、復元できる機能 • 起動時に、常に保存済みの画面レイアウトで表示できる機能
印刷処理済みの印刷ジョブの状態を保留中に変更できる機能を追加した。
運用中に出力先プリンタを追加、複製、および設定変更できるようにした。 これに伴い、モニタサービス起動中は、［出力先プリンタ設定］画面の［削除］ボタンが非活性になるように変更した。 この変更に伴い、システム稼働ログに出力されるメッセージに次のメッセージを追加した。 KBPM0106-I 、 KBPM0107-I
出力先プリンタのプリンタ情報のうち、次の設定項目をモニタの環境設定で変更できるようにした。 • プリンタドライバ名 • コメント

変更内容(3021-3-G00-50)

日立 プリンタステータスモニタ 01-50、日立 プリンタステータスモニタ Client 01-50、日立 プリンタマネージャ 01-50、日立 プリンタマネージャ Client 01-50

追加・変更内容
次の製品を同一システム、同一マシンに共存できるように変更した。 • 日立 プリンタステータスモニタ Client • 日立 プリンタマネージャ Client
ページプリンタの監視方式に、XPS 対応ドライバを指定している場合に選択する「モデル 3」を追加した。
次のメッセージを追加した。 KBPM1003-E

変更内容(3021-3-G00-40)

日立 プリンタステータスモニタ 01-40、日立 プリンタステータスモニタ Client 01-40、日立 プリンタマネージャ 01-40、日立 プリンタマネージャ Client 01-40

追加・変更内容
次の製品の適用 OS に Windows Server 2016 を追加した。 • 日立 プリンタステータスモニタ • 日立 プリンタマネージャ
1 台の実プリンタに対して、複数の出力先プリンタ（Windows プリンタ）を設定できるようにした。 この機能の追加に伴い、作成済みの出力先プリンタの設定を複製して、新たに出力先プリンタを作成する機能を追加した。
［用紙交換通知］画面の表示を抑止できる機能を追加した。
次のボタンを操作した時に表示される確認メッセージの表示を抑止できる機能を追加した。 • ［用紙交換通知］画面の［テスト印刷］ボタン、［印刷開始］ボタン • ［障害通知］画面の［テスト印刷］ボタン、［印刷開始］ボタン
印刷エラーが発生した印刷ジョブを、自動的にキャンセルして印刷を中止できる機能を追加した。
［プレビュー表示］画面に、先頭ページまたは最終ページへ移動できるボタンを追加した。
マネージャコンソールまたはマネージャクライアントで、［ジョブ一覧］ウィンドウを追加、複製、および削除できるようにした。 この機能の追加に伴い、操作対象の［ジョブ一覧］ウィンドウを選択するための［ウィンドウ］メニュー、および［ウィンドウの選択］画面を追加した。 また、次の画面に編集対象の［ジョブ一覧］ウィンドウを選択できる［対象ジョブ一覧］コンボボックスを追加した。 • ［表示列の設定］画面 • ［フィルタリング対象属性の設定］画面
マネージャコンソールまたはマネージャクライアントで、用紙交換通知の有無によるジョブ状態の遷移を変更した。
マネージャコンソールまたはマネージャクライアントの［ジョブ一覧］ウィンドウで、［状態］および［受付プリンタ名］でフィルタを設定できる機能を追加した。
マネージャコンソールまたはマネージャクライアントの［プリンター覧］ウィンドウで、プリンタの一時停止、再開を設定できる機能を追加した。
ページプリンタの場合に選択できる監視方式に、「ページプリンタ（モデル 2)」を追加した。
モニタサービス起動後にマネージャサービスを開始する際の注意事項を追加した。
監視方式が「インパクトプリンタ（モデル 1)」の場合、印刷エラー発生時にページ数が特定できるときは、障害通知の印刷ログで印刷済みのページ数を出力するように変更した。
監視方式で「インパクトプリンタ（モデル 1)」を選択した場合に、「プリンタの自動再開時に障害通知ダイアログを閉じる」を選択できるようにした。

変更内容(3021-3-G00-30)

日立 プリンタステータスモニタ 01-30、日立 プリンタステータスモニタ Client 01-30、日立 プリンタマネージャ 01-30、日立 プリンタマネージャ Client 01-30

追加・変更内容
管理対象プリンタごとの監視設定を一括で設定できる項目（[監視方式]）を追加した。 これに伴い、プリンタマネージャで使用するプリンタの監視方式の説明を変更した。

追加・変更内容
特定のプリンタに対して、モニタの Windows イベントログにプリンタ状態を出力できるようにした。
通信障害やモニタの停止によって、モニタからの通信が切断された際に、モニタクライアントからモニタへ自動的に再接続する設定を追加した。 この追加に伴い、システム稼働ログに出力されるメッセージに次のメッセージを追加した。 KBPM3007-I 、 KBPM3008-W 、 KBPM3108-E
拡張 MIB を使用した監視の追加に伴い、プリンタの監視方式から LPQ を使用した監視（障害キーワードによる障害の切り分け）を削除した。

変更内容(3021-3-G00-20)

日立 プリンタステータスモニタ 01-20、日立 プリンタステータスモニタ Client 01-20、日立 プリンタマネージャ 01-20、日立 プリンタマネージャ Client 01-20

追加・変更内容
次の製品をサポートした。製品のサポートに伴い、製品を使用したシステム構築、およびマネージャクライアントを使用した運用の説明を追加した。 • 日立 プリンタマネージャ Client
マネージャコンソールの次に示すウィンドウで、ヘッダーの表示項目をカスタマイズできる機能（[列の設定] 画面）を追加した。 • [ジョブ一覧] ウィンドウ • [プリンター一覧] ウィンドウ
マネージャコンソールの次に示すウィンドウで、ヘッダーの項目を基準とした昇順/降順の表示切り替え（ソート）ができる機能を追加した。 • [ジョブ一覧] ウィンドウ • [プリンター一覧] ウィンドウ
マネージャコンソールの［ジョブ一覧］ウィンドウで表示条件を設定して、ジョブをフィルタリングできる機能を追加した。
マネージャコンソールの［ジョブ一覧］ウィンドウで、印刷ジョブの自動更新を一時停止できる機能を追加した。

変更内容(3021-3-G00-10)

日立 プリンタステータスモニタ 01-10、日立 プリンタステータスモニタ Client 01-10、日立 プリンタマネージャ 01-10

追加・変更内容
製品の適用 OS に Windows 10 を追加した。
モニタおよびモニタ Client に出力する障害通知ダイアログ、および用紙交換通知ダイアログの表示を次のとおり変更した。 • モニタだけを利用しているときに、通知先を指定されたユーザがログインしている場合、障害通知ダイアログ、および用紙交換通知ダイアログを表示するようにした。 • モニタ Client を利用してプリンタの監視をしているときに、障害が発生した場合、モニタ Client にだけ障害通知ダイアログ、および用紙交換通知ダイアログを表示するようにした。

追加・変更内容
マネージャの環境設定で、印刷済みの印刷ジョブの自動削除の条件を指定できるようにした。 また、条件を指定した場合、定期的にジョブ保存先フォルダの印刷済みの印刷ジョブを削除できるようにした。
システムログ（Windows アプリケーションログ）の出力項目に、ジョブやプリンタの状態を追加出力できるようにした。
モニタの環境設定画面で、[出力プリンタ設定] ダイアログの［障害監視］タブの［障害通知］グループボックスー［印刷前にバッファをリセットする］チェックボタンを、[受信バッファをクリアする] チェックボタンに変更した。
クライアント環境で、モニタ Client の環境設定の設定内容を、クライアント PC 上の異なるユーザでログインした場合でも共通に設定できるようにした。
他製品のインタフェースとして、CommuniNet Print Extension を追記した。

付録 B　監視方式ごとの設定値

プリンタマネージャでは、監視方式を選択するだけで、出力先プリンタの障害監視情報に最適な値を一括設定できます。監視方式および障害監視情報は、［出力先プリンタ設定］画面の［障害監視］タブで指定します。監視方式の指定値と［障害監視］タブの項目ごとに設定される値を次の表に示します。

表 B-1　監視方式の指定値と［障害監視］タブの項目ごとの設定値

監視方式の指定値	ジョブ状態		障害リカバリ制御	プリンタへ送信する多重度	障害通知					
	印刷中キーワード	ジョブ ID 出現位置			プリンタの自動再開時に障害通知ダイアログを閉じる	自動的に印刷中止する	待機時間	通知先ユーザ	プリンタ状態をイベントログに出力する	プリンタメッセージの文字コード
インパクトプリンタ（モデル 1）	active（固定）	0（固定）	ジョブ単位（固定）	1（固定）	OFF	OFF	0（固定）※1	－	OFF	－
インパクトプリンタ（モデル 2）	active（固定）	0（固定）	ジョブ単位	1（固定）	OFF（固定）	OFF	0（固定）※1	－	OFF	Shift_JIS
インパクトプリンタ（モデル 3）	active（固定）	0（固定）	ジョブ単位	1（固定）	OFF（固定）	OFF	0（固定）※1	－	OFF	Shift_JIS
インパクトプリンタ（モデル 4）	active（固定）	0（固定）	ジョブ単位（固定）	1（固定）	OFF	OFF	0（固定）※1	－	OFF	Shift_JIS
ページプリンタ（モデル 1）	active	3	ジョブ単位	1	ON	OFF	0（固定）※1	－	OFF	Shift_JIS
ページプリンタ（モデル 2）	active	3	ジョブ単位	1	ON	OFF	0（固定）※1	－	OFF	Shift_JIS
ページプリンタ（モデル 3）	active	3	ジョブ単位	1	ON	OFF	0（固定）※1	－	OFF	Shift_JIS
インパクトプリンタ（モデル 5）※2	active（固定）	0（固定）	ジョブ単位（固定）	1（固定）	ON	OFF	0（固定）※1	－	OFF	その他（固定）

（凡例）

－：何も設定されません（空欄となります）。

（固定）：値が非活性で表示されることを示します。

注

プリンタごとの監視方式の指定値については、取扱説明書を参照してください。

注※1

「自動的に印刷中止する」が ON の場合に活性で表示されます。

注※2

拡張オプションをインストールしている場合に選択できます。

付録 C　障害通知画面に表示される OCP メッセージ

[障害通知] 画面に表示される標準 MIB の OCP メッセージについて

モニタは、標準 MIB を使用して OCP を取得し、OCP 上段と OCP 下段の内容を［障害通知］画面の OCP メッセージに表示します。[障害通知］画面に表示される OCP メッセージの対応を次の表に示します。この表に示す OCP メッセージは、システム稼働ログの OCP メッセージにも出力されます。

表 C-1　［障害通知］画面に表示される OCP メッセージの対応（標準 MIB の場合）

モニタが表示する OCP メッセージ	意味	対処
ﾂｳｼﾝﾀﾞﾝ	標準 MIB によるプリンタ監視でタイムアウトが発生しました。	プリンタ、または LAN アダプタが電源断状態のことがあります。プリンタ、または LAN アダプタの状態を確認してください。
モニタでエラーが発生しました。	印刷ジョブの取り込み後に印刷ジョブが完了し、その印刷ジョブが削除される前に、モニタサービスを終了してから再起動したため、モニタでエラーが発生しました。	実際に印刷が完了したかどうかをプリンタで確認してください。印刷されていない場合は、再印刷してください。
上記以外※	上記以外※	上記以外※

注※

出力先プリンタの OCP メッセージがモニタに出力されます。メッセージの意味、および対処は、各プリンタのマニュアルを参照してください。

また、プリンタによっては、モニタが OCP を取得できないことがあります。次の場合、モニタは、標準 MIB のプリンタステータス状態、デバイスステータス状態、および印刷機構状態を組み合わせて OCP メッセージを生成して、[障害通知］画面の OCP メッセージに表示します。

- モニタが出力先プリンタから OCP メッセージを取得できない場合
- モニタの環境設定の［出力先プリンタ設定］画面の［障害監視］タブで、[プリンタメッセージの文字コード］に［その他］を選択している場合

[障害通知］画面にモニタが生成する OCP メッセージの対応を次の表に示します。この表に示す OCP メッセージは、システム稼働ログの OCP メッセージにも出力されます。

表 C-2　［障害通知］画面にモニタが生成する OCP メッセージの対応（標準 MIB の場合）

モニタが生成する OCP メッセージ	意味	対処
ﾂｳｼﾝﾀﾞﾝ	標準 MIB による OCP の取得中にタイムアウトが発生しました。	プリンタ、または LAN アダプタが電源断状態のことがあります。プリンタ、または LAN アダプタの状態を確認してください。
ﾌﾟﾘﾝﾄﾃﾞｷﾏｽ	オンライン状態です。	対処は不要です（印刷できます）。

モニタが生成する OCP メッセージ	意味	対処
ｲﾝｻﾂﾁｭｳ	印刷状態です。	対処は不要です（印刷できます）。
ｽﾘｰﾌﾟﾁｭｳ	スリープ状態です。	プリンタのスリープを解除して、オンライン（準備完）にしてください。
ｳｫｰﾑｱｯﾌﾟﾁｭｳ	プリンタ起動中です。	プリンタが起動されるまで、しばらくお待ちください。
ｴﾗｰ※1 ﾖｳｼｷﾞﾚ	用紙切れ障害が発生しました。	プリンタ障害を取り除いて、オンライン（準備完）にしてください。※2
ｴﾗｰ※1 ｼﾞｬﾑ	紙詰まりが発生しました。	プリンタ障害を取り除いて、用紙をセットしたあと、オンライン（準備完）にしてください。※2
ｴﾗｰ※1 ｶﾊﾞｰｵｰﾌﾟﾝ	プリンタのカバーが開いています。	プリンタ障害を取り除いて、オンライン（準備完）にしてください。※2
ｴﾗｰ※1 ﾄﾅｰｷﾞﾚ	トナーがありません。	トナーをセットし、オンライン（準備完）にしてください。※2
ｴﾗｰ※1 ﾖｳｼﾌｿｸ	用紙が少なくなっています。または、一部のトレーに用紙がセットされていません。	印刷できます。プリンタを確認し、必要に応じて用紙をセットしてください。
ｴﾗｰ※1 ﾄﾅｰﾌｿｸ	トナーが少なくなっています。	印刷できます。プリンタを確認し、必要に応じてトナーをセットしてください。
ｴﾗｰ※1 ｵﾌﾗｲﾝ	オフライン状態です。	オンライン（準備完）にしてください。
ｴﾗ※1 ｻｰﾋﾞｽﾖｳｷｭｳ	プリンタで障害が発生しています。	プリンタ状態を確認して、プリンタ障害を取り除いてください。
モニタでエラーが発生しました。	印刷ジョブの取り込み後に印刷ジョブが完了し、その印刷ジョブが削除される前に、モニタサービスを終了してから再起動したため、モニタでエラーが発生しました。	実際に印刷が完了したかどうかをプリンタで確認してください。印刷されていない場合は、再印刷してください。
ジョブ状態不明	印刷エラー受信時、またはプリンタからの通知の受信タイムアウト処理時に、印刷ジョブの状態を取得できませんでした。 また、プリンタからの印刷完了の通知が受信できなかったため、障害通知が発生しました。	ネットワークの接続を確認してプリンタを再起動したあと、次のどちらかの対処を実施してください。 モニタの環境設定でプリンタの自動再開に対応する設定を有効にしている場合 印刷済みのページ数を確認の上、印刷中止をしたあとに再印刷してください。 モニタの環境設定でプリンタの自動再開に対応する設定を無効にしている場合 印刷済みのページ数を確認の上、開始ページを設定し、再印刷してください。

モニタが生成する OCP メッセージ	意味	対処
印刷データ送信エラー	印刷データ送信中にエラーが発生しました。	ネットワークの接続を確認してプリンタを再起動したあと、次のどちらかの対処を実施してください。 モニタの環境設定でプリンタの自動再開に対応する設定を有効にしている場合 印刷済みのページ数を確認の上、印刷中止をしたあとに再印刷してください。 モニタの環境設定でプリンタの自動再開に対応する設定を無効にしている場合 印刷済みのページ数を確認の上、再印刷時に開始ページを設定してください。
印刷が中止されました	プリンタの［リセット］ボタンまたは［キャンセル］ボタンが押されて、印刷を中止しました。	対処は不要です。 ［印刷中止］ボタンをクリックして［障害通知］画面を閉じてください。

注※1

プリンタによっては、「ｴﾗｰ」ではなく「ﾌﾒｲ」と表示されることがあります。

注※2

プリンタによっては、プリンタ障害発生後に、次のどちらかの対処が必要になります。

- プリンタのリセットボタンを押す
- 電源の OFF または ON を設定する

［障害通知］画面に表示される拡張 MIB の OCP メッセージについて

モニタは、拡張 MIB を使用して OCP を取得し、その内容から OCP メッセージを生成して、［障害通知］画面の OCP メッセージに表示します。［障害通知］画面にモニタが生成する OCP メッセージの対応を次の表に示します。

表 C-3 ［障害通知］画面にモニタが生成する OCP メッセージの対応（拡張 MIB の場合）

モニタが生成する OCP メッセージ	意味	対処
ﾂｳｼﾝﾀﾞﾝ	拡張 MIB による OCP の取得中にタイムアウトが発生しました。	プリンタ、または LAN アダプタが電源断状態のことがあります。プリンタ、または LAN アダプタの状態を確認してください。
ﾃﾞﾝｹﾞﾝﾀﾞﾝ	プリンタ障害でオフライン状態が一定期間続いています。	プリンタ障害を取り除いて、オンライン（準備完）にしてください。
ﾌﾟﾘﾝﾄﾃﾞｷﾏｽ	オンライン状態です。	対処は不要です（印刷できます）。
ｵﾌﾗｲﾝ	オフライン状態です。	オンライン（準備完）にしてください。

モニタが生成する OCP メッセージ	意味	対処
ﾖｳｼｷﾞﾚ	用紙切れ障害が発生しました。	プリンタ障害を取り除いて、オンライン（準備完）にしてください。
印刷完了待ちタイムアウト	プリンタからの印刷完了通知を受信できませんでした。	印刷済みのページ数を確認の上、開始ページを設定し、再印刷してください。
印刷データ送信エラー	印刷データ送信中にエラーが発生しました。	ネットワークの接続を確認してプリンタを再起動したあと、次のどちらかの対処を実施してください。 モニタの環境設定でプリンタの自動再開に対応する設定を有効にしている場合 印刷済みのページ数を確認の上、印刷中止をしたあとに再印刷してください。 モニタの環境設定でプリンタの自動再開に対応する設定を無効にしている場合 印刷済みのページ数を確認の上、再印刷時に開始ページを設定してください。

用語解説

英字

ESC/P

- Epson Standard Code for Printer の略称です。セイコーエプソン株式会社が開発したプリンタ制御コードの体系のことです。
- インパクト系プリンタ用の RAW データのことです。

LPQ

指定したプリンタの印刷ジョブの状況を取得するコマンドです。

MIB

Management Information Base の略称です。SNMP で参照する管理情報のことです。プリンタマネージャで使用する MIB には、RFC に規定されている標準 MIB と、ベンダで拡張した拡張 MIB があります。

OCP メッセージ

Operator Control Panel の略称です。プリンタのコンソールパネルに表示されるメッセージのことで、MIB を用いて取得します。

PDL

Page Description Language の略称です。プリンタに対して描画を指示するためのプログラミング言語のことです。

SNMP

Simple Network Management Protocol の略称です。IP ネットワーク上のネットワーク機器を監視および制御するための情報について、通信方式を定めるプロトコルのことです。

Windows プリンタ

Windows のコントロールパネルに表示されるプリンタのことです。

XPS

Microsoft 社が開発した、電子文書を記述するための XML ベースのフォーマットのことです。

ア行

印刷機構状態

SNMP でネットワーク機器を監視する場合に、標準 MIB 内のプリンタの印刷機構を示す情報のことです。

カ行

キュー名

印刷データを出力する際に、プリンタ上で印刷データを受け付ける部分の名称のことです。プリンタによっては複数個存在する場合もあり、各機器によって異なる名称となります。

コミュニティ名

ネットワーク機器を監視する場合に、監視対象をグルーピングするために設定する名称です。

サ行

障害キーワード

プリンタに LPQ コマンドを入力した場合に返却されるメッセージのうち、障害発生を示す文字列のことです。

タ行

デバイスステータス状態

SNMP でネットワーク機器を監視する場合に、標準 MIB 内のデバイス状態を示す情報のことです。

ハ行

プリンタステータス状態

SNMP でネットワーク機器を監視する場合に、標準 MIB 内のプリンタの状態を示す情報のことです。

索引

C

CommuniNet からプリンタマネージャを使用するための設定　280

E

ESC/P 形式　43

EUR からプリンタマネージャを使用するための設定　279

O

OCP メッセージ　374

P

PDE からプリンタマネージャを使用するための設定　278

R

RAW 形式　43

W

Windows ネットワーク関連の設定（インパクトプリンタ使用時）　106

Windows ログの出力方法　291

X

XMAP3 からプリンタマネージャを使用するための設定　276

XPS 形式　43

い

イベントログに出力されるログレベルと対処　291

イベントログの出力を設定する　135

印刷環境を構築する作業の流れ　101

印刷後の印刷ジョブの保存　67

印刷後の印刷ジョブの保留　67

印刷ジョブに印刷範囲を指定して印刷する　229

印刷ジョブの一覧表示　67

印刷ジョブの一覧を表示項目ごとにソートする　214

印刷ジョブの印刷中止指示　67

印刷ジョブの印刷を中止する　237

印刷ジョブの削除　67

印刷ジョブの自動更新の一時停止　67

印刷ジョブの自動更新の再開　67

印刷ジョブの自動削除　67

印刷ジョブの出力先プリンタを変更する　231

印刷ジョブの出力指示　67

印刷ジョブの状態を確認する　220

印刷ジョブの操作に関する機能について　67

印刷ジョブのバックアップおよびリストアで出力されるメッセージ　362

印刷ジョブのバックアップおよびリストアの運用　260

印刷ジョブのバックアップ時の注意事項　274

印刷ジョブのバックアップについて　255

印刷ジョブの表示項目に列のフィルタリングを設定する　213

印刷ジョブの保留　67

印刷ジョブのリストア時の注意事項　274

印刷ジョブのリストアについて　257

印刷ジョブを削除する　240

印刷ジョブを全ページ印刷する　227

印刷ジョブを定期的に削除する　248

印刷ジョブをバックアップする　262

印刷ジョブをプレビュー表示して印刷するる　234

印刷ジョブをリストアする　267

印刷処理済みの印刷ジョブを保留中にする　238

印刷前の印刷ジョブの保留　67

印刷データ形式

- RAW 形式（ESC/P）　43
- RAW 形式（その他）　43
- 汎用形式　43

印刷データ形式と障害リカバリ制御の組み合わせ　43

印刷データ送信処理の多重化　62

印刷データの印刷中止　62

印刷データの操作に関する機能について　62

印刷データのテスト印刷　62

印刷データの範囲指定印刷　62
印刷データのプレビュー表示　62
印刷データをテスト印刷する　177
印刷範囲を指定して印刷する　175
印刷ログの取得　283
印刷を再開する　178
印刷を中止する　179

う

ウィンドウの画面レイアウトを保存する　217
ウィンドウの選択画面　67, 90
ウィンドウの表示項目をカスタマイズする　207

か

拡張 MIB の OCP メッセージ　374
拡張オプションとは　35
画面レイアウトの保存と復元〔印刷ジョブの一覧表示〕　67
画面レイアウトの保存と復元〔出力先プリンタの一覧表示〕　90
監査サーバ　31
監視サーバ　27
監視サーバ上のクライアントの複数のログインユーザでの起動を設定する　139
監視方式ごとの設定値　372
管理設定画面〔マネージャ Client の場合〕　163
管理設定画面〔マネージャの場合〕　144
管理設定画面〔モニタ Client の場合〕　156
管理対象プリンタの印刷前後の動作を変更する　245

く

クライアント環境での印刷管理の概要　15
クライアント設定画面　139

さ

サーバ環境での印刷管理の概要　15
作成済みの出力先プリンタを複製する　127
サポートする印刷データ形式　43
サポートする障害リカバリ制御　43

し

システム稼働ログの取得　282
出力先プリンタ新規作成画面　113
出力先プリンタ設定画面　113
出力先プリンタ設定画面（印刷タブ）　118
出力先プリンタ設定画面（障害監視タブ）　121
出力先プリンタ設定画面（プリンタタブ）　185
出力先プリンタによる印刷の一時停止　90
出力先プリンタによる印刷の再開　90
出力先プリンタの一覧表示　90
出力先プリンタの切り替え　90
出力先プリンタ複製画面　127
出力先プリンタを新規に作成する　113
障害通知画面　57
障害通知画面に表示される OCP メッセージ　374
障害通知後の運用の流れ〔マネージャ Client の場合〕　243
障害通知後の運用の流れ〔マネージャの場合〕　243
障害通知後の運用の流れ〔モニタ Client の場合〕　183
障害通知後の運用の流れ〔モニタの場合〕　173
障害通知について　57
障害リカバリ制御　43
　ジョブ単位で監視する場合の障害検知の仕組み　43
　制御しない場合の障害検知の仕組み　43
　ページ単位で監視する場合の障害検知の仕組み　43
条件指定印刷　67
条件指定印刷（複数ジョブ選択）　67
条件指定印刷画面　67
情報採取ツール　297
情報採取ツールで取得できる資料　297
情報採取ツール利用時の注意事項　297
情報採取ツールを利用した資料の取得方法　297
ジョブ一覧ウィンドウ　67, 220
ジョブ一覧ウィンドウ共通設定画面（項目追加タブ）　146
ジョブ一覧ウィンドウに表示項目を追加する　146
ジョブ一覧ウィンドウの削除〔印刷ジョブの一覧表示〕　67

ジョブ一覧ウィンドウの新規追加〔印刷ジョブの一覧表示〕 67
ジョブ一覧ウィンドウの追加画面 67, 205
ジョブ一覧ウィンドウの表示項目をカスタマイズする 207
ジョブ一覧ウィンドウの複製〔印刷ジョブの一覧表示〕 67
ジョブ一覧ウィンドウの複製画面 67, 215
ジョブ一覧ウィンドウを削除する 216
ジョブ一覧ウィンドウを複製する 215
ジョブ一覧のソート〔印刷ジョブの一覧表示〕 67
ジョブ一覧の表示項目のカスタマイズ〔印刷ジョブの一覧表示〕 67
ジョブ一覧の表示項目の追加〔印刷ジョブの一覧表示〕 67
ジョブ一覧のフィルタリング条件の設定〔印刷ジョブの一覧表示〕 67
ジョブ一覧のマルチウィンドウ表示〔印刷ジョブの一覧表示〕 67
ジョブ一覧の列のフィルタリング設定〔印刷ジョブの一覧表示〕 67
ジョブのバックアップ画面 262
ジョブのリストア画面 267
新規にジョブ一覧ウィンドウを追加する 205

せ

製品インストール時の注意 107
製品間の通信で使用するポート番号 105
全ページ印刷 67

て

デフォルトのインストールフォルダ 107

と

トレースログの取得 290

は

バックアップの位置づけ 254
バックアップの概要 254
汎用形式 43

ひ

日立 プリンタステータスモニタ 15
日立 プリンタステータスモニタ Client 15
日立 プリンタステータスモニタ 拡張オプション 15
日立 プリンタマネージャ 15
日立 プリンタマネージャ Client 15
日立 プリンタマネージャ クライアント画面 202
日立 プリンタマネージャ クライアント画面〔印刷ジョブの一覧表示〕 67
日立 プリンタマネージャ クライアント画面〔出力先プリンタの一覧表示〕 90
日立 プリンタマネージャ画面 198
日立 プリンタマネージャ画面〔印刷ジョブの一覧表示〕 67
日立 プリンタマネージャ画面〔出力先プリンタの一覧表示〕 90
標準 MIB の OCP メッセージ 374
表示列の設定画面（ジョブ一覧ウィンドウの場合） 67, 207
表示列の設定画面（プリンター覧ウィンドウの場合） 90, 207

ふ

ファイアウォールに指定するポート番号 105
フィルタリング条件で印刷ジョブの一覧をフィルタリングする 210
フィルタリング対象属性の設定画面 67, 210
プリンター覧ウィンドウ 90, 224
プリンター覧ウィンドウの表示項目をカスタマイズする 207
プリンター覧のソート〔出力先プリンタの一覧表示〕 90
プリンター覧の表示項目のカスタマイズ〔出力先プリンタの一覧表示〕 90
プリンタ管理設定編集画面 245
プリンタと接続するために必要な情報の決定 104
プリンタドライバをインストールする 103
プリンタによる印刷を一時停止する 225
プリンタによる印刷を再開する 226
プリンタの一覧を表示項目ごとにソートする 214
プリンタの印刷情報を設定する 118

プリンタの印刷情報を変更する　185
プリンタの印刷ジョブをクライアントマシンで制御するシステム　39
プリンタの印刷ジョブを制御するマネージャを利用するシステム　39
プリンタの監視方式を設定する　121
プリンタの障害監視情報を設定する　121
プリンタの障害監視情報を変更する　185
プリンタの障害をクライアントマシンで検知するシステム　39
プリンタの障害を検知するモニタを利用するシステム　39
プリンタの状態を確認する　224
プリンタの操作に関する機能について　90
プリンタのプリンタ情報を変更する　185
プリンタマネージャが出力するログの種類について 99
プリンタマネージャで使用するポート番号の確認 105
プリンタマネージャとは　15
プリンタマネージャのインストールについて　107
プリンタマネージャのサポート範囲　43
プリンタマネージャのシステム構成　39
プリンタマネージャの特長　15
プリンタマネージャのバックアップおよびリストアの注意事項　274
プリンタマネージャのプリンタ運用について　47
プリンタマネージャをアンインストールする　109
プリンタマネージャをインストールする　108
プリンタマネージャを使用した印刷管理の概要　15
プリンタマネージャを使用したシステムの前提環境 15
プレビュー表示画面　62
プレビューを表示して印刷イメージを確認する　175

へ

変更後の出力フォルダを作成する　103

ほ

保存済みの画面レイアウトに戻す　218

ま

マネージャ Client 運用時の注意事項　251
マネージャ Client とは　31
マネージャ Client の運用時に出力されるメッセージ　354
マネージャ Client の開始と停止の流れ　202
マネージャ Client の環境設定時に出力されるメッセージ　352
マネージャ Client の環境設定について　162
マネージャ Client の環境設定を開始する　162
マネージャ Client の環境設定を終了する　168
マネージャ Client の管理対象プリンタを削除する 247
マネージャ Client の管理対象プリンタを新規に追加する　163
マネージャ Client のシステム稼働ログの出力方式を設定する　166
マネージャ Client のマネージャクライアントを起動する　202
マネージャ Client のマネージャクライアントを停止する　203
マネージャ Client を使用した用紙交換通知または障害通知後の運用の流れ　243
マネージャ運用時の注意事項　251
マネージャ環境設定画面　142
マネージャクライアント〔印刷ジョブの一覧表示〕 67
マネージャクライアント〔出力先プリンタの一覧表示〕　90
マネージャクライアント環境設定画面　162
マネージャクライアントを起動する　202
マネージャクライアントを停止する　203
マネージャコンソール〔印刷ジョブの一覧表示〕　67
マネージャコンソール〔出力先プリンタの一覧表示〕 90
マネージャコンソールを起動する　198
マネージャコンソールを終了する　199
マネージャサービスを開始する　197
マネージャサービスを停止する　200
マネージャ設定画面　137
マネージャとは　23
マネージャの印刷ログの出力方式を設定する　150
マネージャの運用時に出力されるメッセージ　326
マネージャの運用を開始するための準備　196
マネージャの開始と停止の流れ　197

マネージャの環境設定時に出力されるメッセージ 324
マネージャの環境設定について 142
マネージャの環境設定を開始する 142
マネージャの環境設定を終了する 153
マネージャの管理対象プリンタを削除する 246
マネージャの管理対象プリンタを新規に追加する 144
マネージャのシステム稼働ログの出力方式を設定する 151
マネージャのマネージャコンソールを起動する 198
マネージャのマネージャコンソールを終了する 199
マネージャを使用した用紙交換通知または障害通知後の運用の流れ 243

も

モニタ Client とは 27
モニタ Client の運用時に出力されるメッセージ 342
モニタ Client の開始と停止の流れ 180
モニタ Client の環境設定時に出力されるメッセージ 340
モニタ Client の環境設定について 155
モニタ Client の環境設定を開始する 155
モニタ Client の環境設定を終了する 161
モニタ Client の管理対象プリンタを削除する 190
モニタ Client の管理対象プリンタを新規に追加する 156
モニタ Client のシステム稼働ログの出力方式を設定する 159
モニタ Client のモニタクライアントを起動する 180
モニタ Client のモニタクライアントを停止する 181
モニタ Client を使用した用紙交換通知または障害通知後の運用の流れ 183
モニタおよびモニタ Client の運用時の注意事項 191
モニタ環境設定画面 112
モニタクライアント環境設定画面 155
モニタクライアントの自動再接続を設定する 139
モニタクライアントを起動する 180
モニタクライアントを停止する 181
モニタサービスを開始する 171
モニタサービスを停止する 172
モニタでクライアントの接続や起動のための設定をする 139
モニタでマネージャを使用するための設定をする 137
モニタとは 20
モニタの印刷ログの出力方式を設定する 131
モニタの運用時に出力されるメッセージ 309
モニタの運用を開始するための準備 170
モニタの環境設定時に出力されるメッセージ 306
モニタの環境設定について 111
モニタの環境設定を開始する 112
モニタの環境設定を終了する 141
モニタのシステム稼働ログの出力方式を設定する 133
モニタの出力先プリンタ情報を編集する 185
モニタの出力先プリンタを削除する 188

よ

用紙交換通知画面 50
用紙交換通知後の運用の流れ〔マネージャ Client の場合〕 243
用紙交換通知後の運用の流れ〔マネージャの場合〕 243
用紙交換通知後の運用の流れ〔モニタ Client の場合〕 183
用紙交換通知後の運用の流れ〔モニタの場合〕 173
用紙交換通知について 50
用紙交換通知または障害通知後の運用の流れ 173

り

リストアの位置づけ 254
リストアの概要 254

ろ

ログ設定画面（イベントログタブ）〔モニタの場合〕 135
ログ設定画面（印刷ログタブ）〔マネージャの場合〕 150
ログ設定画面（印刷ログタブ）〔モニタの場合〕 131
ログ設定画面（システム稼動ログ）〔マネージャの場合〕 151
ログ設定画面（システム稼動ログタブ）〔マネージャ Client の場合〕 166

ログ設定画面（システム稼動ログタブ）〔モニタ Client の場合〕 159
ログ設定画面（システム稼動ログタブ）〔モニタの場合〕 133

株式会社 日立製作所
〒 100-8280　東京都千代田区丸の内一丁目 6 番 6 号